

和仏法律学校講義録

掛下, 重次郎

(出版者 / Publisher)

和佛法律學校

(巻 / Volume)

2-7

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

198

(発行年 / Year)

1901-10-31

明治三十四年十月三十一日發行

(第貳部)

三十四年度乙種講習科用

和佛法律學校講義錄

第七號

商法海商

法律學士

掛下重次郎



0006

A5e
25
B7

法律學士 掛下重次郎 講述

商 法 海 商

和佛法律學校發行

0007

商法海商目次

緒言

第一章 船舶及船舶所有者.....一

第二章 船員.....六八

第一節 船長.....六八

第二節 海員.....一二三

第三章 運送.....一五三

第一節 物品運送.....一五四

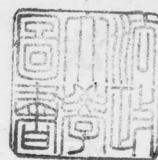
第一款 總則.....一五四

第二款 船荷證券.....一五九

第二節 旅客運送.....一七九

第四章 海損.....二七七

第五章 保險.....三〇一



174400

第六章 船舶債權者

三六〇

商法海商目次終

商法海商

緒言

○海上法ノ意義 凡ソ海上法ハ汎ク之ヲ論スレハ幾多ノ部類ニ分タル其部類ノ一ハ國際公法ニ其ニハ行政即チ警察上ノ立法ニ其三ハ民法ニ屬ス國際海上法即チ佛語ニ所謂海上國際法(Ja diplomatie de la mer)ナルモノハ海上船舶及ヒ海上交通ニ付キ各國ノ間ニ通用スヘキ法律上ノ原則ニシテ國際公法上ノ關係ヲ有スル各國政府ニ於テ同シク遵奉スヘキモノヲ包含ス然レトモ該法ニ屬スル事項中咸ハ一國ノ法律ヲ以テ之ヲ定ムルモノナシトセス例ハ捕獲法及ヒ封港法ノ如ク殊ニ軍艦商船ノ區別海上交通ノ自由海賊等ニ關スル國際海上警察

及七海上儀式等ニシテ此外海戰法即チ局外中立封港及ヒ戰時禁制品等ニ關スル原則亦之ニ算スルモノハ其國船舶ノ行政官廳ニ對シ遵守スヘキ規則ニ係リ此規則タル專ラ商船ニ關スルモノナリ何トナレハ軍艦ハ軍隊ト同シク特別ノ行政ニ屬シ普通行政ノ外ニ在レハナリ故ニ右規則ニ屬スルモノハ管海官廳管港官廳及ヒ其事務船舶及ヒ港上警察其他船舶ノ製造水先案内船員ノ警察ニ對スル關係即チ船員教育並ニ試驗等はナリ

海上民法ハ船舶及ヒ航海上ノ事ニ付キ各箇人ノ間ニ於テ遵守スヘキ原則ニシテ普通民法ト同シク成文法ト慣習トヨリ成ル今ヤ航海ハ重ニ海商ヲ目的トスルカ故ニ海上民法ハ海商法ト同一物ナリ而シテ海商ハ一般ニ云ヘハ船客貨物ノ運送漁獵國土發見又ハ娛樂ノ爲メニスル艦艇ヲ必スシモ除クニ非スト雖モ主トシテ海上運送ニ係ル何トナレハ航海ハ其目的ノ如何ヲ問ハス海商法ノ要項ニシテ航海ノ業ハ縱令商業ヲ本トセサルモ常ニ商業ト看做スヘクレハナリ故ニ海上船舶ハ爲替或ハ手形振出ノ如ク必ス之ヲ商事ト看做シ殊ニ實際ニ於

テハ軍艦ヲ除クノ外百種ノ船舶殆ト皆海商即チ海上運送ニ供スルモノナリ是ヲ以テ娛樂船舶ヲ艦艇シテ世界ヲ一周セシカ其船員並ニ其船舶ニ關スル契約及ヒ海難ニ付テハ其ノ商船ト同一ノ原則ニ依ラシムル國多シ

近時ノ法律ニ於テハ海上法ノ諸部類ヲ區別スルコトヲ始メ佛國商法第二編第一九〇條以下ニ專ラ民事上ノ事ヲ規定ス其他ノ商法モ亦多ク之ニ類ス又海上警察ニ屬スル事ハ之ヲ合記スルコトナキニ非ス實ニ分別スルコトヲ得サルモノアリ何トナレハ是レ併セテ行政法及ヒ民法上ニ關係ヲ有スレハナリ即チ船舶ノ検査登錄船員ノ權利義務及ヒ海難等ニ係ル規則ノ如キ是ナリ本法ハ此點ニ付テハ全ク右商法ニ模倣シ萬國海上法海上行政即チ海上警察法ノ原則ハ海商法ノ外ニ置キ之ヲ特別法ニ讓レリ

萬國海上法及ヒ海上行政法ニ關スル英佛伊獨國ノ重要ナル法令ハ左ノ如シ
佛國法令
千六百八十一年ノ勅令アルドナンス

千八百四十五年六月十三日ノ法律

千八百六十六年五月十九日ノ法律

伊國法令

千八百六十五年六月二十五日ノ法律(商船法)

千八百七十七年五月二十四日ノ法律(商船法)

英國法令

千八百五十四年八月十日ノ商船條例(メルチャントシフビンダクト)

其附錄追加即チ千八百五十五年八月十四日ノ法律

千八百五十五年八月十四日ノ船客運送規則

千八百六十二年七月二十九日ノ法律

千八百七十六年八月十五日ノ法律

千八百六十九年五月十三日ノ殖民地其他ノ商船條例

獨國法令

千八百六十七年十月二十五日ノ商船屬籍規則

千八百七十六年八月十四日ノ海難信號條例

千八百七十七年七月二十七日ノ海難調查規則

千八百七十三年六月二十八日ノ商船登錄及ヒ記號規則

千八百七十二年七月五日ノ船舶測度條例

千八百七十二年十二月二十七日ノ海員條例

千八百七十四年五月十七日ノ座礁ニ關スル法律

本邦ノ法令ノ重要ナルモノハ左ノ如シ

明治三年正月第二十七號布告(商船規則)

同五年四月外務省達外國船乘組心得

同六年六月第三百十五號布告(海關輸出入荷物取扱規則)

同八年五月三十一日第九十八號布告(西洋形船へ賊難防禦ノ爲メ大小砲設備

ヲ許ス件

同八年九月二十四日第四十四號布告(西洋形船信號)

同八年十二月第百八十四號布告(廻漕貨物取扱條例)

同九年三月第三十號布告(內國船舶乘組規則)

- 同十年三月八日第二十八號布告船舶ノ賣買書入質ニ付キ公證ヲ受クルコト
 同十年七月第五十二號布告外國航日本形船へ國旗ヲ掲揚スルコト
 同十一年十二月九日第三十七號布告西洋形船水先免狀規則
 同十二年二月五日第五號布告西洋形船船籍編入方
 同十二年二月第九號布告西洋形商船海員雇入雇止規則
 同十二年五月十五日第十九號布告航海公證規則ヲ廢シ西洋形船免狀改正ノ
 件
 同十三年七月十六日第三十五號布告海上衝突豫防規則
 同十四年二月十七日第十二號布告汽船十噸帆船二十噸以下及ヒ湖川港灣限
 リ運轉スル西洋形船免狀ヲ要セサルコト
 同十四年十二月二十八日第七十五號布告西洋形船船長運轉手續關手免狀規
 則
 同十七年四月第十號布告船舶積量測定規則
 同十七年十二月第三十號布告西洋形船舶檢査規則

- 同十九年八月法律第一號登記法
 同二十三年七月勅令第三百三十三號商業及ヒ船舶ノ登記ニ關スル件
 同二十三年十月勅令第二百十九號船籍規則
 同二十五年六月法律第五號海上衝突豫防法
 同二十六年十月逕信省令第十八號西洋形船舶檢査細則
 同二十八年一月逕信省令第一號外國航海中海難届出手續
 同三十二年三月七日法律第四十六號船舶法
 同三十二年三月七日法律第四十七號船員法
 同三十二年三月十三日法律第六十三號水先法
 同三十二年三月二十八日法律第九十五號水難救護法
 同三十二年五月二十六日逕信省令第十九號商法第五百六十二條ニ揭クル書
 類ノ件
 同三十二年五月二十六日逕信省令第二十號商法施行法第二百二十二條ニ依ル
 湖川港灣及沿岸小航海ノ範圍ノ件

同三十二年六月十二日逕信省令第二十四號船舶法施行細則
 同三十二年六月十二日逕信省令第二十五號船員法施行細則
 同三十二年六月十二日逕信省令第二十六號船員法第七十九條ニ關スル件
 同三十二年六月十五日勅令第二百七十號船舶登記規則
 同三十二年七月二十九日逕信省令第三十三號水先法施行細則
 同三十二年七月二十九日逕信省令第三十四號水先人試驗規則
 同三十二年七月二十九日逕信省令第三十五號水難救護法施行細則
 以上列舉シタル法令中漸次廢改セラレタルモノ數多アリ
 海商編ヲ分チテ六章トス即チ第一章船舶及船舶所有者第二章船員第三章運送第四章海損第五章保險第六章船舶債權者是ナリ

第一章 船舶及船舶所有者

舊商法ニ於テハ船舶ト船舶所有者トハ章ヲ異ニシ之ヲ各一章ト爲シタレトモ
 新商法ハ之ヲ合シテ一章ト爲シタリ而シテ新商法カ之ヲ併合シタル所以ハ舊

法ノ船舶ニ關スル規定ハ行政法若クハ手續法ニ屬スルモノ多クシテ新商法ノ
 主義ヨリ云ヘハ商法中ニ存スヘキ規定ニ非サルヲ以テ之ヲ他ノ法令ニ譲リタ
 レハ單ニ船舶ニ關スル規定ノ殘存スルモノ極メテ僅少ナルヲ以テ之ヲ一章ト
 爲シテ掲クルノ必要ナク且ツ船舶ニ關スル規定ト船舶所有者ニ關スル規定ト
 ハ密接ノ關係ヲ有スレハナリ

○海商ノ目的タル船舶 第五百三十八條 本法ニ於テ船舶トハ商行爲ヲ爲ス
 目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スルモノヲ謂フ本編ノ規定ハ端舟其他櫓櫓ノミヲ以
 テ運轉シ又ハ主トシテ櫓櫓ヲ以テ運轉スル舟ニハ之ヲ適用セス(舊商法第八二
 四條第八三五條第二項佛商法第一九〇條、獨逸商法第四三二條)

海商法ハ直接間接ニ船舶ニ關スル規定ナルヲ以テ其船舶トハ單ニ營利ヲ目的
 トシテ航海ノ用ニ供セラルルモノニ限ルカ將タ單ニ航海ノ用ニ供セラルレハ
 可ナルカ獨逸舊商法第四三二條ノ如キハ航海ヲ以テ利ヲ營ムヲ目的トスル船
 舶ニ限リ其他ノ船舶ハ海商法ノ目的タラサルナリ(狹隘主義佛國商法第九十
 條ニハ商船其他ノ船舶トアリテ海商法上ノ船舶ハ唯リ航海ヲ以テ營利ヲ目的

トスルモノニ止マラス況ク其他ノ船舶モ海商法ノ適用ヲ受クルモノト爲シタリ(沉博主義)而シテ我舊商法モ其第八百二十四條ニ商船其他ノ海船ト云ヒテ此沉博主義ヲ採用シタリシカ新商法ハ之ト異ナリテ原則トシテハ狹隘主義ヲ採用シタリ是ヲ以テ海商法ノ適用ヲ受クル船舶ハ唯リ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スルモノニ限リ其以外ノ目的例ヘハ國土發見ノ爲メ航海スルモノ、娛樂ノ爲メニスルモノ等ハ本法ノ適用ヲ受ケサルナリ而シテ本法カ此ノ如キ主義ヲ採リタルハ本法ハ素ト主トシテ商行爲ノミニ關スル規定ヲ設クルヲ以テ商法全體ニ通スル立法ノ主義ト爲セルカ故ニ船舶ニ付テモ同主義ヲ採リタルニ外ナラサルナリ然レトモ船舶法第三十五條ニ於テ商法第五編ノ規定ハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テセサルモ航海ノ用ニ供スル船舶ニ之ヲ準用ス但官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶ニ付テハ此限ニ在ラスト規定シタルヲ以テ本法ノ適用ノ結果ヨリ云ヘハ本法ハ單ニ營利ヲ目的トシテ航海スル船舶ニ限ラス其他ノ船舶ヲモ支配スルモノナレハ右船舶法ノ存スル以上ハ其表面ハ狹隘主義ヲ採用スレトモ其内容ハ沉博主義ト爲レリ彼ノ千八百五十四年發布ノ英國

商船條例モ亦殆ト同一ノ規定ナリ

官廳公署ニ屬スル船舶ハ軍艦ニ非サルモ本法ヲ準用スヘキモノニ非ス是レ海商法ノ私法タル性質ヨリ生スル當然ノ結果タルヲ以テナリ

又總令商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スル船舶ニ在リテモ湖川港灣ヲ航行スル船舶ニ關シテハ運送ヲ爲スヲ以テ業トスル點ニ付テハ第三編第八章ノ規定アルヲ以テ足レリトセリ故ニ第三百三十一條ニ運送人トハ陸上又ハ湖川港灣ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フトアル所以ニシテ本法ノ適用ヲ受クルハ唯リ海上航海ノ用ニ供スル船舶ニ限ルモノト爲シタリ而シテ湖川港灣ノ範圍ハ商法施行法第二百二十二條ニ依リ遞信大臣之ヲ定ムルコトト爲シタルヲ以テ遞信大臣ハ明治三十二年五月二十六日省令第二十號ヲ發シ其範圍ヲ定メタリ湖川港灣ノ範圍ハ平水航路ノ區域ニ依ル

眞ノ航海ニ堪ヘサル船舶ハ總テ之ヲ海上法中ヨリ除カサルヘカラス其航海ニ堪ヘサル船舶ニ算スルニハ船舶ノ巨大及ヒ遠洋ノ航行ヲ必要トスルニ非ス即チ風波ニ堪ヘ海上百種ノ變事及ヒ危險ヲ凌クノ能力アルヲ要ス而シテ此能力

アルモノハ唯リ漂船及ヒ帆船ニ限リ機樞ヲ以テ運轉スル舟ハ然ラス何トナレハ機樞ヲ以テ運轉スルモノハ海上ノ變災ニ堪ヘス遠洋ノ航行ニ適セサレハナリ而シテ機樞ヲ用フル小舟ト雖モ併セテ帆ヲ用フルノ準備ナキニ非スト雖モ是レ唯附屬ニ止マリ其力小ナルカ故ニ此ノ如キモノハ帆ヲ備フルト雖モ未タ以テ法律上海船ト視ルヘカラサルナリ

○船舶ノ屬具 第五百三十九條 船舶ノ屬具目錄ニ記載シタル物ハ其從物ト推定ス(舊商法第八三八條佛商法第一九一條獨舊商法第四四三條)

船舶トハ船體其物ノミヲ指スニ非シテ之ニ附著セル桅樞帆具機關碇錨端舟網具其他ノ物ヲ包含セル名稱ナリ是レ猶ホ家屋ノ名稱中ニ其從物タル農建具ヲ包含スルト一般ナリ而シテ新商法ハ如何ナル物カ船舶ノ從物ナルカ一之ヲ指示セス單ニ船舶ノ屬具目錄ニ記載シタル物ヲ從物トストノミ云ヘリ蓋シ新商法カ舊商法ノ如ク列舉主義ヲ探ラスシテ右ノ如ク概括的ニ之ヲ規定シタルハ他ナシ若シ之ヲ列舉スルトキハ往往ニシテ脫漏ヲ生スルノ虞ナキニ非ス縱令列舉シタル物ニシテ今日脫漏ナキモ世ノ進歩ト共ニ他日屬具ノ種類ヲ増

スコトアル場合ニ於テ本法ノ規定ノ適用ヲ受ケサルコトハ虞フルヲ以テナリ而シテ法律ハ第五百六十二條第三號ニ屬具目錄ハ之ヲ船中ニ備ヘ置クヘキコトヲ船長ノ義務ト爲シタレハ船舶ノ屬具ハ必スヤ之ニ記載セラルヘキナリ船中ニ備ヘ置ケル屬具ハ多クハ船舶所有者ノ所有ナルヘシト雖モ屬具目錄ニ記載セシ物亦必スシモ船舶所有者ノ所有ニ非シテ或ハ他人ノ物ヲ以テ之カ用ヲ充タスコトナキヲ保セサレトモ法律ハ多數ノ場合ヲ想像シテ船舶ノ屬具目錄ニ記載シタル物ハ之ヲ其從物ト推定シタル所以ナリ但シ其所有者ハ推定ニ關スル一般ノ原則ニ從ヒテ自己ノ所有ナルコトノ反證ヲ舉ケ船舶カ賣却セラレ若クハ差押ヲ受ケタルカ如キ場合ニ於テ之ヲ取還スルコトヲ得ヘキハ勿論ナリ

法律カ船舶ノ屬具ヲ其從物ナリト規定スルト否トニ依リテ實際上ノ利益ニ大ナル關係ヲ有セリ例ヘハ船舶ノ所有權移轉ノ場合船舶ヲ保險ニ付シタル場合及ヒ共同海損ノ場合等ニ於テ船舶ノ屬具カ其從物ニ非ストスルトキハ船舶ヲ賣却シタル場合ニ屬具ハ其中ニ包含セス船舶ヲ保險ニ付シタルトキ其屬具カ

海難ニ依リテ滅失シタルトモ船舶ノ被保險者ハ保險者ヲシテ之カ損害ノ填補ヲ爲サシムルコトヲ得ス又共同海損ノ場合ニ於テハ船舶ノ價格ヲ算定スルトモ其價額ヲ實行スル場合ニ於テモ亦之ニ類スル利益アルヲ見ル
 茲ニ注意スヘキハ船舶ノ屬具ハ其物件ニシテ荷モ航海ノ爲メニ用フヘキモノナレハ常ニ之ヲ用フルニ非スシテ唯其要用ノ時ニ供スルモノタリトモ亦此中ニ算スルコト是ナリ故ニ豫備機檣豫備帆布等既ニ作成シタル材木白布鐵厚板等ノ如ク原料品トシテ存スルトモ問ハス屬具目錄ニ記載セラレタル物ハ皆屬具ノ中ニ算スルナリ之ヲ要スルニ船舶ノ從物トハ總テ船舶ニ附屬シテ其用ニ供スルモノナリ然レトモ縱令航海中船舶ノ爲メニ用フル物ナリト雖モ船舶所有者ニ屬セス船長船員又ハ旅客ノ私有タル物件ハ從物ニ算スヘカラサルナリ例ヘハ航海用地圖書望遠鏡時辰儀等ニシテ船長船員ノ所有ナル場合ノ如キ是ナリ若シ此等ノ物件ニシテ屬具目錄中ニ記載セラレタルトモキハ既ニ叙述スルカ如ク其所有者ヨリ自己ニ屬スルコトノ立證ヲ爲ササルヘカラス

○船舶ノ登記及ヒ國籍證書 第五百四十條 船舶所有者ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ登記ヲ爲シ且 船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ要ス前項ノ規定ハ總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶ニハ之ヲ適用セス(舊商法第八二五條第一項第八二六條千八百四十五年六月十三日ノ佛國法律)

船舶所有者カ船舶ノ國籍證書ヲ請受クルコトハ國ト船舶所有者トノ關係公法關係ニシテ曩ニモ說キタルカ如ク是レ私法タル商法ノ目的ニ非サルヲ以テ又船舶ノ登記ハ私法關係ナレトモ本法ニ規定セサルヲ便宜ナリトスルヲ以テ本法ハ之ヲ特別法ニ讓リタリ然レトモ此二者ハ海商法ノ目的タル船舶ト密著ノ關係ヲ有スルヲ以テ之ニ關スル概念ヲ茲ニ叙述セン

舊商法ノ規定ニテハ船舶所有者ハ管海官廳遞信省海事局明治三十二年六月勅令第二百六十三號ヨリ船舶證書ヲ受ケタル後船籍港ヲ管轄スル裁判所ニ於テ船舶登記簿ニ登記ヲ受ケ且ツ必ス其登記證書ノ交付ヲ受クルコトト爲シタレトモ本法ニ於テハ二者ノ必要ヲ認メス唯リ船舶國籍證書ノミニテ足レリト爲セリ蓋シ舊商法カ二者ヲ併セテ必要ナリト爲シタルハ國籍證書ハ行政監督ノ

爲メニシ登記證書ハ私權ノ證明ノ爲メニスル趣意ナルヘシト雖モ本法ニ於テハ船舶ノ登記ハ不動産ニ於ケル登記ト同シク單ニ之ヲ登記セシムルハ足ルモノニシテ常ニ必スシモ其登記證書ノ交付ヲ受ケテ之ヲ所持セシムルコトヲ要セサルヲ以テ船舶登記證書ニ付テハ敢テ之ヲ規定セサルナリ

船舶ノ登記ニ關スル特別法船舶登記規則ハ船舶法第三十四條ノ規定ニ從ヒ明治三十二年六月十五日勅令第二百七十號ヲ以テ發布セラレタルカ船舶ハ所有權抵當權及ヒ貸賃借ニ關スル登記ヲ爲スコトヲ得ルモノニシテ同規則ニハ不動産登記ノ規定ヲ準用スルモノ數多アレトモ亦特別ノ規定甚タ多シ而シテ明治十九年八月法律第一號登記法中船舶ノ登記ニ關スル規定ハ船舶法ノ施行ト共ニ廢止セラレタリ

舊商法ニ於テハ日本船舶タル爲メニ要スル條件ヲ定メ日本船舶ニ非ナレハ日本ノ國旗ヲ掲グル權利ヲ有セス其積量十五噸以上ノ船舶ハ總テ航海ノ用ニ供スル前測度ヲ受ケヘキ旨ヲ規定舊商法第八二四條第八二五條シタレトモ此等ノ事項ハ總テ公法關係ナルヲ以テ法律ハ之ヲ海商法中ニ置カスシテ船舶法ニ

譲リタリ

船舶法ニ從ヘハ日本船舶ノ所有者ハ登記ヲ爲シタル後船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ備ヘタル船舶原簿ニ登錄ヲ受ケサルヘカラサルモノニシテ其登錄ヲ受ケタルトキハ管海官廳ハ船舶國籍證書ヲ交付スルモノトセリ(船舶法第五條)茲ニ一ノ注意スヘキモノアリ即チ船舶ノ登記ト船舶原簿ニ登錄ヲ爲ストハ同一ノモノニ非ス登記ハ船籍港ヲ管轄スル區裁判所又ハ其出張所ノ管掌スルモノニシテ其目的全ク私權保護ニ在リ之ニ反シテ船舶原簿ニ登錄ヲ爲スハ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ノ管掌スルモノニシテ行政監督ノ爲メニ設ケタル全ク公法關係ノ規定ナリ

船舶ノ國籍ヨリ生スル結果ハ其國ノ裁判權ニ服スルコト及ヒ其國ノ立法及ヒ行政權ヨリ其自國ノ船舶ニ與フル特權或ハ國際條約ヲ以テ他國ノ船ニ與フル特權ヲ論スルニ其船舶ノ國籍如何ヲ以テスルコト是ナリ又戰爭及ヒ局外中立等ニ係ル萬國公法上ノ權利義務モ亦其國籍ニ依リテ定マルモノナリ是ヲ以テ船舶ノ國籍ハ法律ヲ以テ之ヲ規定シ之ヲシテ他國法律及ヒ國際公法ノ原則ニ

抵觸セザラシムルハ種種ノ點ヨリ論シテ甚タ緊要ナリ蓋シ戰時ニ在リテハ場
合ニ依リ他國ノ政府ヨリ某船舶ノ國籍ヲ認可セサルコトアリ或ハ又反對ノ認
定ヲ爲スコトナシトセス然レトモ是レ國際公法上ノ問題ニ屬シ茲ニ論述スヘ
キモノニ非ス
又船舶ノ國籍ヨリ生スル最モ汎博ナル結果ニシテ併セテ國籍ノ公然タル目標
ト爲ルモノハ國旗ヲ用フルノ權利是ナリ而シテ國旗ヲ用フルノ權利ハ其國ノ
船舶ニ屬スル百種ノ權利ヲ包含スルモノナルカ故ニ船舶法第二條ニ日本船舶
ニ非サレハ日本ノ國旗ヲ掲クルコトヲ得スト明文ヲ以テ規定スル所以ナリ然
レトモ權利アレハ必ス之ニ對スル義務アリ何國ノ船舶ト雖モ平常他國ノ國旗
ヲ掲ケ其國籍權利ヲ濫用スルコトヲ得サルヲ以テ船舶法ニ捕獲ヲ避クル目的
ヲ以テスル場合ヲ除キ日本船舶ニ非スル船舶ノ國籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本
ノ國旗ヲ掲ケタルトキ又日本船舶カ國籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ニ非サ
ル旗章ヲ掲ケタルトキハ孰レモ制裁ヲ付セリ船舶法第二條、第二三條、舊商法
第八三二條

以上船舶ノ登記ヲ爲シ且ツ船舶國籍證書ヲ請受クルコトノ規定ハ船舶ノ稍大
ナルモノニ限リ總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶ハ之カ適用ヲ
受ケサルモノト爲セリ舊商法第八百二十五條ハ十五噸以下トス英國亦同シ獨
逸ニテハ帆船ハ二十二噸以下、汽船ハ十五噸以下ト爲ス蓋シ二十噸又ハ二百石
未滿ノ小船ハ商船ノ國籍ニ屬スルコト僅少ニシテ本國ノ沿岸ヲ離ルルコト例
外ナレハ之ヲ大船ト同一視スルコト能ハサレハナリ

○船舶ノ讓渡——第五百四十一條 船舶所有權ノ讓渡ハ其登記ヲ爲シ且船舶國
籍證書ニ之ヲ記載スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス(舊商
法第八三五條、佛商法第一九五條、獨舊商法第四三九條、第四四〇條)

民法第八十六條ニ依レハ土地及ヒ其定著物ハ不動產ニシテ其他ノ物ハ總テ動
產タルカ故ニ船舶モ亦動產ナルコト明白ナリ然ルニ多數ノ立法例ニ於テハ故
ラニ之ヲ動產ナリト明言セリ佛商法第一九〇條、伊商法第四八〇條而シテ舊商
法第八百三十四條ニモ同一ノ明文ヲ掲ケタリ蓋シ多數ノ立法例ニ船舶ハ動產
ナリト明言スルハ往時ハ船舶ノ價貴キカ爲メニ之ヲ土地ノ如ク看做スノ傾向

アリシヲ以テナリ又國際上ニ於テハ本國ニ屬スル土地ノ一部タルノ效力アラシムルコト多シ然レトモ概近ニ於テハ動産法ニ從ハシムルヲ以テ其當ヲ得タリトスルニ至レリ是レ貿易並ニ航海上ニ利便大ナルカ故ナリ然レトモ船舶ハ他ノ動産ニ於ケルカ如キモノニ非ス特別ノ固有質ヲ有シ不動産ニ關スル原則若クハ之ニ類スル原則頗ル多シ例ヘハ(一)普通ノ動産ノ讓渡公證ヲ受ケ又ハ登記ヲ爲スコトナキニ船舶ハ特別法明治十年三月八日第二十八號布告明治十九年八月法律第一號登記法ノ規定ニ依リ公證ヲ受ケ又ハ登記ヲ爲スニ至レリ(二)船舶ハ質入又ハ抵當ノ目的ト爲スコトヲ得(三)船舶ニ對スル強制執行ハ普通ノ動産ニ對スルモノト異ナリテ概シテ不動産ニ關スルモノニ同シキ民事訴訟法第七一七條乃至第七二九條カ如キ是ナリ又外國ノ立法例ノ如キモ多ク之ニ類ス夫レ此ノ如ク船舶ハ不動産ニ關スル規定ニ類スルカ故ニ佛法伊法ノ如キハ船舶ハ不動産ニ非スシテ動産ナル旨ヲ明言シ注意ヲ爲シタリ而シテ此等ノ法律ニ模倣シタル舊商法モ同シク船舶ハ動産ナル旨ヲ明言シタリト雖モ吾邦ニ於テハ動産不動産ノ定義ハ民法第八十六條ニ在リテ船舶カ

不動産ニ非サルコト明カナルヲ以テ新商法ニハ復タ之ヲ特記スルノ必要アラサルナリ

民法ノ規定ニ依ルトキハ動産ノ讓渡ハ當事者間ニ在リテハ意思表示ノミニ因リテ其效力ヲ生スルヲ原則民法第一七六條ト爲シ唯第三者ニ對抗スルコトヲ得ルカ爲メニ引渡ヲ要スル旨ヲ規定セリ是ヲ以テ此規定ノミニ依ルトキハ船舶ハ動産ナルカ故ニ單ニ其引渡ヲ以テ之カ所有權ヲ讓渡シ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルカ如シト雖モ抑モ船舶ハ必スシモ船籍港ニ碇泊スルモノニ非ス他ノ港ニ在ルコトアリ航行中ナルコトアリ加之船舶共有者カ其持分ヲ讓渡ス場合ニハ其引渡ナル事ヲ想像スルヲ得ス昔時ハ船舶ノ所有權ヲ表示スル證書ノ引渡ヲ以テ若クハ單ニ證書ノ作成ヲ以テ其引渡ニ換ヘタルコトアリモ近世ノ法律ニ於テハ此ノ如キ形式ニ依リテ船舶所有權ノ移轉ヲ決定セシムルモノ少ク多クハ其讓渡ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルカ爲メニ若クハ證據トシテ一定ノ方法ヲ規定スルモノアリ今ヤ諸國ノ法律ヲ分類スレハ或ハ書面ヲ要スト爲シ或ハ書面ト登記トヲ要スト爲シ或ハ公正證書ヲ要スト爲シ或

ハ公正證書ト登記トヲ要スト爲セリ我舊商法第八百三十五條ハ船舶構造ノ契約ハ勿論賣買其他ノ權利行爲ニ因リテ船舶ノ全部若クハ股份持分ヲ取得スル契約ハ特ニ作レル契約證書ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ取結フコトヲ得スト規定セリ而シテ此規定ハ契約ノ證據ノ爲メニ必要ナルニ非スシテ其成立ノ要件タルナリ

本法ハ商事契約ノ成立要件トシテ形式ヲ要セサルコトヲ以テ通則ト爲スカ故ニ船舶ノ所有權移轉ノ契約ニ契約證書ノ作成ヲ其成立ノ要件ト爲スコトハ之ヲ採用セス而シテ船舶ノ所有權ノ移轉ハ不動產ニ於ケルト同シク當事者間ニハ意思表示ノミヲ以テ有效トシ唯第三者ニ對抗スルコトヲ得ル爲メニハ所有權移轉ノ登記ヲ爲シ且ツ船舶國籍證書ニ之ヲ記載セサルヘカラサルコトト爲セリ故ニ船舶ハ航海中若クハ他港ニ碇泊シテ船舶港ニ在ラス隨テ引渡ナシト雖モ讓渡ノ登記ヲ爲シ且ツ船舶國籍證書ニ其旨ヲ記載スルニ於テハ第三者ニ之ヲ對抗ヲ爲スコトヲ得ヘシ

又舊商法ニハ續續結婚其他此類ノ事由ニ因レル船舶所有權ノ移轉ハ公正ノ證

書ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ要ス舊商法第八三五條第二項ト規定シタレトモ是レ船舶登記法ニ定ムヘキモノナレハ本法中ニハ之ヲ規定セス此ノ如キ登記ノ變更ハ船舶登記規則ニ從ヒ登記セサルヘカラス

○讓渡ノ場合ニ於テ航海中船舶ヨリ生ジタル利益 第五百四十二條 航海中ニ在ル船舶ノ所有權ヲ讓渡シタル場合ニ於テ特約ナキトキハ其航海ニ因リテ生スル損益ハ讓受人ニ歸スヘキモノトス舊商法第八九三條、獨舊商法第四四一條

民法ノ規定ニ從フトキハ物件ヲ賣買シタル場合ニ於テ其物件ニ附著スル物權例ヘハ地役權、質權、抵當權等ノ如キハ買主ニ移ル然レトモ讓渡シタル物件ニ係ル契約上ノ關係ニ至リテハ然ラサルナリ例ヘハ土地、建物ノ借貸ノ如キハ別段ノ契約ヲ以テスルニ非サレハ買主ニ移轉スルコトナシ之ニ反シテ船舶ノ運送賃ハ多少船舶ノ權利ノ一部分タルコト其從物ト相似タリ故ニ運送賃ハ船舶所有者ノ船舶ノ義務ニ充ツルコトナシトセス例ヘハ船舶所有者カ船長其他船員ノ行爲ニ付キ船舶債權者ニ對シテ責任ヲ負フ場合第五四四條ノ如キハ運送賃

及船舶所有者者カ其船舶ニ付キ有スル損害賠償又ハ報酬ノ請求權ハ船舶ノ一部ト看做サルルナリ是ヲ以テ運送貨ヲ船舶トシテ之ヲ算シ之ヲシテ新所有者ニ移轉セムルハ海上法上ノ原則ナリ又航海中生スル所ノ損失モ亦之ト同シク新所有者ヲシテ負擔セシムヘク且ツ運送契約ハ不可分の契約ニシテ運送貨ハ運送時間ノ割合ヲ以テ支拂フヘキモノニ非ス運送ヲ終了シ到著港ニ於テ荷物ヲ引渡シタル後支拂フヘキヲ通例トス又荷主ノ要償ハ船舶ヲ相手第六八〇條第九號トスレハ右ノ場合ニ於テハ買主ニ對スルモノナリ又外國法中或ハ讓渡ノ日ヲ以テ限界ト爲シ其前後ニ依リ損益ノ歸屬者ヲ定ムルノ立法例ナキニ非スト雖モ航海中ノ損益ハ前後不同ニシテ時間ノ割合ヲ以テ妄ニ之ヲ分割スヘカラス若シ偶然ノ期日ニ依リテ其前後ヲ劃シ以テ損益ノ歸屬者ヲ定ムルニ於テハ利益ヲ多ク取得スル者ト少ク取得スル者トヲ生シ甚キハ一方ニハ利益ノミヲ取得スル者ヲ生シ他ノ一方ニハ損失ノミヲ負擔スル者ヲ生シ不公平ノ結果ヲ生スルコトナキヲ保シ難シ是レ特約ナキ場合ニハ當事者ノ意思ニ反スルコト多カルヘシ是ニ由リテ之ヲ觀レハ航海中船舶ヲ賣買シタル場合ニ

於テ其航海ヨリ生スル損益ハ契約當事者ニ特約アルニ非サレハ賣買契約結了以後ニ係ルモノニ止マラス其航海ニ因リテ生シタル全運送貨ヲ以テ船舶ニ附屬シタルモノト爲スハ其當ヲ得タリト謂フヘシ然レトモ此規定ハ契約當事者ノ意思ヲ推定シテ設ケタルモノナレハ其當事者ハ特ニ意思ヲ表示シテ此規定ニ反スル契約ヲ爲スコトヲ得ルハ勿論ナリ

茲ニ注意スヘキコトアリ以上ノ規定ハ其航海ヨリ生スル利益及ヒ損失ト云フカ故ニ船舶自體ノ毀損ヨリ生スル損害ニ至リテハ賣主買主中何人カ之ヲ負擔スヘキヤハ讓渡ノ日ノ前後ニ依リテ之ヲ區別スルモノニシテ是レ民法ノ適用ニ依リ明瞭ナルヲ以テ此場合ニ本條ノ規定ヲ適用スヘキモノニ非サルナリ
○發航ノ準備ノ終リタル船舶ニ對スル差押ノ禁止——第五百四十三條 差押及ヒ假差押ハ發航ノ準備ヲ終ハリタル船舶ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ得ス但其他船舶カ發航ヲ爲ス爲メニ生シタル債務ニ付テハ此限ニ在ラス舊商法第八五九條佛商法第二一五條第二三一條獨舊商法第四四六條
債務者タル船舶所有者ニ於テ船舶カ擔保スル所ノ債權ニ對シテ辨濟ヲ怠ルト

キハ其債權者ハ船舶ニ對シテ其債權ノ執行ヲ爲スヲ得ヘキコトハ普通ノ原則ナルカ法律ハ此原則ニ對シテ船舶ヲ差押フルコトヲ禁シタル一ノ例外ヲ設ケタリ而シテ此規定ハ航海ニ係ル因襲上ノ特權ニシテ諸國ノ法律ニモ認容スル所ナリ蓋シ航海ハ荷主又ハ旅客等ノ如キ種種ノ人ノ重大ナル利益ニ關係ヲ有スルカ故ニ専ラ船舶債權者ノ爲メニ其航海ノ利益ヲ犧牲ニセサルハ至當ナリ然レトモ其航海準備以前ニ請求ヲ爲ス能ハサル債權者即チ該航海ノ爲メニ債權ヲ有スル者ハ此限ニ在ラサルナリ例ヘハ航海ノ用ニ供スル石炭食料等ノ代金はナリ何トナレハ發航ノ準備ヲ終ルマテニ請求ヲ爲ササル他ノ債權者ニ對シテハ債務履行ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタリト謂フコトヲ得ヘケレトモ發航ヲ爲ス爲メニ生シタル債權ニ付テハ其債權者ハ發航ノ準備以前ニ債務ノ履行ノ請求ヲ爲スヘキコトヲ怠リタルニ非ス且ツ此債權アリテ始メテ發航ノ準備モ既ニ成リタルモノナルカ故ニ該債權ハ所謂擔保ノ原因ヲ爲シタルモノナレハ隨テ船舶ハ該債務履行ノ擔保ト爲ラサルヲ得サルナリ

發航ノ準備ノ終リタルトハ如何ナル所爲ヲ行ヒ終リタルヲ謂フカ法律ハ別ニ

之ヲ明示セザレトモ佛商法第二百十五條ニ於テハ船長既ニ其發航ニ必要ナル書類ヲ具備シタルトキハ發航ノ準備ヲ爲シタルモノト看做スト爲シタリ其必要ノ書類トハ海員名簿航海旅券及ヒ積荷ノ税關ノ納稅受領書等所謂我商法第五百六十二條ニ記載シタルモノヲ指スモノナレハ本條ニ於ケル準備トハ蓋シ此ノ如キ書類ノ具備シタル場合ナリト解スルコトヲ得ヘシ

○船長及ヒ海員ノ行爲ヨリ生スル船舶所有者ノ責任 第五百四十四條 船舶所有者ハ船長カ其法定ノ權限内ニ於テ爲シタル行爲又ハ船長其他ノ船員カ其職務ヲ行フニ當タリ他人ニ加ヘタル損害ニ付テハ航海ノ終ニ於テ船舶運送貨及ヒ船舶所有者カ其船舶ニ付キ有スル損害賠償又ハ報酬ノ請求權ヲ債權者ニ委付シテ其責ヲ免ルルコトヲ得但船舶所有者ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ雇傭契約ニ因リテ生シタル船員ノ權利ニ付テハ之ヲ適用セス

商法第八四二條佛商法第二一六條獨舊商法第四五一條乃至第四五三條

船舶所有者ノ責任ハ種種ノ點ヨリ觀察スルコトヲ得ヘシ或ハ傭船者ニ對スル責任アリ或ハ旅客若クハ荷主ニ對スル責任アリ或ハ其他ノ債權者ニ對スル責

任アリ然レトモ今茲ニ檢覈スル所ハ此等ノ各場合ニ付テ船舶所有者ノ責任ヲ論スルニ非スシテ船舶所有者カ船長其他ノ船員ノ行爲ニ付テ負フ所ノ責任ノ範圍ニ關スルナリ夫レ船舶所有者ハ普通ノ原則ニ從フトキハ自己ノ行爲不法行爲及ヒ契約上ノ取引ト其代理人ノ行爲(代理人ノ行爲ニ付テハ責任ヲ有スハキモノニ限リ)トニ付キ自己ノ全財産ヲ以テ其責任ニ任セサルヘカラス而シテ船舶所有者者カ其代理人ノ行爲ニ付キ以上ノ責任アルハ船長及ヒ船員ノ船舶所有者ヨリ特別ノ委任ヲ受ケテ爲シタル行爲ニ付テハ論ヲ埃タサルナリ然レトモ此特別ノ場合ヲ除クノ外ハ船舶所有者ノ船長及ヒ船員ノ行爲ニ對スル責任ノ範圍ヲ制限スルコトハ從來既ニ一般ニ認メラレタル所ナリト雖モ之ヲ制限スル理由ニ至リテハ未タ一定スル所アラサルナリ要スルニ其理由ハ主トシテ左ノ二點ニ存スルモノノ如シ(一)ニ曰ク船長カ一旦航海ヲ開始スルトキハ船舶所有者ハ其行爲ニ付キ殆ト之ヲ監視スルコトヲ得スト(二)ニ曰ク航海ノ便宜ト安全トヲ計ラシムルカ爲メニ船長ノ權限ヲシテ頗ル廣大ナラセタリ然ルニ船舶所有者者カ其全財産ヲ以テ無限ノ責任ヲ負ハサルヘカラサルモノトストキ

ハ大ニ航海業ノ發達ヲ妨タル虞アレハナリト而シテ之ヲ制限スル方法ニ付キ立法例ヲ大別スルトキハ左ノ三種アリ

第一 獨逸主義 此主義ハ一名海產主義トモ稱スルモノニシテ特定ノ原因ヨリ生スル債權ニ付テハ債權者ハ船舶所有者ノ船長及ヒ運送貨ノ如キ海上ノ財産ニ付テノミ執行スルコトヲ得ルニ止マリ其他ノ財産ニ付テハ執行スルコトヲ得ス(獨逸商法第四五一條乃至第四五三條同新商法第四八五條乃至第四八七條第五〇一條第七六三條)

第二 佛蘭西主義 此主義ハ一名委付主義ト稱スルモノニシテ船舶所有者ハ全財産即チ海上ノ財産ハ勿論陸上ノ財産ニ至ルマテ自己ノ有スル總テノ財産ヲ以テ責任ヲ負フヲ原則トス然レトモ特定ノ原因ヨリ生タル債權ニ付テハ船舶運送貨ノ如キ所謂海上財産ヲ委付シテ總テ其責任ヲ免ルルコトヲ得(佛商法第二一六條)

第三 英吉利主義 此主義ハ一名船價主義ト稱スルモノニシテ船舶ノ噸數ノ割合ニ應シテ船舶所有者ノ責任ヲ定ムルナリ(千八百五十四年英國商船條例

第五一六節

右三主義中孰レカ最モ是ナリトスヘキカ英主義ノ如ク噸數ニ比例シテ船舶所有者ノ責任ノ度ヲ定ムルニ於テハ或ハ船舶ノ價格ノ異ナルニ從ヒ或ハ船舶ノ種類ノ異ナルニ從ヒ例ヘハ新造船ト老朽船トノ如ク或ハ漁船ト帆船トノ如キハ其間ニ徑庭ヲ設ケ詳細ナル規定ヲ立テサルトキハ不公平ト謂ハサルヲ得ス故ニ本法ハ英主義ヲ採用セザリシナリ然ラハ我商法ハ獨佛孰レノ主義ヲ採リタルカ舊商法第八百四十九條ハ「船舶ハ其附屬物及ヒ未收ハ運送貨ト共ニ左ニ掲タル債權ノ爲メ……責任ヲ負フ」云ヒ又ハ第八百四十二條ニハ「所有者ハ船長及ヒ船員ノ職務執行ニ關スル行為ニ付テハ船舶及ヒ運送貨ヲ以テ責任ヲ負フ」云云トアルヲ以テ獨逸主義即チ海產主義ヲ採リタルナリ而シテ新商法ハ此獨逸主義ヲ排シテ佛主義即チ委付主義ヲ採リタリ今新商法カ舊商法ノ採リタル主義ヲ改メタル所以ヲ尋繹スルニ獨逸主義ト曰ヒ佛主義ト曰ヒ既ニ船舶所有者ノ責任ヲ制限シ其全財產ヲ以テ責任ヲ負ハスシテ可ナリトスル以上ハ船舶所有者ニ委付權ヲ與ヘテ可ナリ何ソ必スシモ船舶債權者ヲシ

テ船舶運送貨等ニ對シテ執行セシメタルヘカラサル理由アランヤト云フニ在リ而シテ獨逸主義ハ獨逸ノミニ行ハレ英吉利主義ハ英國ノミニ行ハルレトモ獨リ佛蘭西主義ニ至リテハ佛國以外ノ諸國ニモ亦廣ク行ハレ將來益々擴張シテ行ハルルノ傾向アルコトモ亦新商法カ此主義ヲ採用セタル附隨ノ理由タルナリ

本條(第五四四條)ニ在ル損害賠償又ハ報酬ノ請求權トハ如何ナルモノヲ指スカ蓋シ船舶カ他船ト衝突シ其曲他船ニ在リテ之ヨリ得ヘキ所ノ損害賠償第六五〇條又ハ共同海損第六四一條ニ因リテ生シタル損害賠償ノ請求權又ハ保險契約アリテ之ニ因リテ得ル所ノ保險金請求權ノ如キハ損害賠償ノ請求權ニシテ船舶所有者カ海難ニ遭ヘル他ノ船舶及ヒ積荷等ヲ救助シタルニ因リテ得ヘキモノノ如キハ報酬ノ請求權ナリ而シテ此等ノ金額ハ船舶及ヒ運送貨ニ代リ若クハ之ヲ補充スルモノナルヲ以テ海產ニ等シケレハ法律ハ之ヲ船舶及ヒ運送貨ト同視シタリ

船舶所有者カ船長其他ノ船員ノ行為ニ付キ船舶債權者ニ對シテ船舶及ヒ運送

0025

責任ヲ寛恕スヘキ理由タラサレハナリ

商法海商 船舶及船舶所有者

ニ對シテ損害ヲ生シタルヨリ船舶所有者カ之ニ對シテ委付スルコトヲ得ヘキ
運送貨ハ第二ノ航海ニ因リテ既ニ取得シタル又ハ未タ受取ラサル運送貨ニ止
マリ第一ノ航海ヨリ生スルモノニハ及ハサルナリ損害賠償ノ請求權及ヒ報酬
ノ請求權ノ如キモ亦同シキナリ

船舶所有者ノ有スル委付權ハ法律カ之ヲ雇傭契約ニ因リテ生シタル船員ノ權
利ニ適用セサルハ他ナシ若シ此場合ニモ他ノ債權者ニ對スルト同シク委付權
ノ適用ヲ爲スモノトスルトキハ船員カ雇傭契約ニ因リテ有スル權利ニ對スル
擔保ヲ減シ船員ハ安心シテ就職セサルヲ以テ其保護ノ爲メニ設ケタルナリ
舊商法ハ船員カ同時ニ船舶ノ所有者ナルトキ又ハ股分所有者ナルトキニ付キ
特別規定ヲ設ケ他ノ一般ノ場合ニ於ケル船舶所有者ノ責任ト其程度ヲ異ニシ
タリ即チ船長カ船舶所有者ナルトキハ船長ハ無限ノ責任ヲ負フ然レトモ股分
所有者ナルトキハ過失ノ爲メ自己ニ不分ノ責任ノ歸セサルトキニ限り其股分
ノ割合ニ應ジテ責任ヲ負ヒ尙ホ不足アルトキハ其不足額ニ對シテ無限ノ責任
ヲ負フモノト爲セリ(舊商法第八四二條此ノ如キ規定ハ外國ノ立法例ニモ存ス

レトモ學者ノ一般ニ非難スル所ナリ蓋シ船長カ同時ニ船舶所有者ナル場合ニ
全財産ヲ以テ責任ヲ負フヘキモノトスルトキハ船長ハ安心シテ航海ニ關スル
處置ヲ行フコトヲ得スシテ或ハ弊害ヲ生スルコトナキヲ保シ難ク隨テ航海業
ノ發達ヲ害スルニ至ルモ知ルヘカラス故ニ佛國ノ如キモ千八百五十五年ノ法
律ヲ以テ此區別ヲ廢シタルハ新商法ハ此點ニ付テハ舊商法ニ存セシ區別ヲ採
用セサリシナリ

○委付權ノ消滅 第五百四十五條 船舶所有者カ債權者ノ同意ヲ得スシテ更
ニ航海ヲ爲サシメタルトキハ前條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得ス
船舶所有者ハ船舶及ヒ運送貨等ヲ委付シテ其責任ヲ免ルルコトノ權利ヲ付與
セラレテ保護ヲ受クル以上ハ自己モ亦債權者ノ利益ヲ害セサル様努メサルヘカ
ラス故ニ船舶所有者カ船舶及ヒ運送貨等ヲ委付シテ船長其他ノ船員ノ爲シタ
ル行爲ニ付キ其責任ヲ免レント欲セハ委付ヲ爲シテ責任ヲ免ルルコトヲ得ル
債務カ生シタルトキハ直チニ其航海ヲ限リ船舶ノ航海ヲ休メ委付ヲ爲ササル
ヘカラス然ルニ船舶所有者カ債權者ノ同意ナキニ新ニ航海ヲ爲サシメタルト

キハ船舶ハ益毀損朽敗シ甚シキニ至リテ沈没スルコトアラハ債權者ハ之カ爲メニ其債權ノ辨濟ヲ受クルニ付テノ擔保ヲ減シ又ハ失フニ至リ所謂海產ノ範圍ハ減少シテ委付ヲ許シタル趣旨ニ背戾スヘキヲ以テ此場合ニ於テハ船舶所有者ヨリ委付權ヲ奪ヒ普通ノ原則ニ從ヒ全財産ヲ以テ責任ヲ負ハシムルコト爲シタリ

○船舶ノ共有

船舶ヲ二人以上ニテ共同シテ所有スルトキ或ハ之ヲ船舶ノ、股分、所有、舊商法第八四一條以下ト曰ヒ或ハ之ヲ船舶ノ、共有ト曰ヒ各其共同所有者ノ有スル部分ヲ一方ニ於テハ股分ト稱シ他ノ一方ニ於テハ共有ノ、持分ト稱スレトモ是レ孰レモ民法ニ規定スル共有民法第二四九條以下ト全ク其性質ヲ同シウスルヤ將タ異ナルヤニ付テハ舊商法ハ毫モ之ヲ説明セサリシナリ或論者ハ曰ク船舶カ自然人ニ屬スル場合凡ソ三アリ一人專有數人共有及ヒ數人股分所有是ナリ其數人共有トハ民法ニ規定スル共有ノ場合ナリ其數人、股分、所有トハ一船舶ヲ法律上獨立セル數多ノ部分ヨリ成立スルモノト看做シ其一部若クハ數部ヲ所有

スルヲ謂フ而シテ股分所有者ハ此ノ如ク獨立セル一部ノ所有權ヲ有スル者ナリト雖モ是レ唯法律上ノ觀念ニ止マリ船舶ヲ有形的ニ分割シ其一部ヲ所有スルニ非サルヲ以テ船舶全部ニ對シ不分ノ利害關係ヲ有スルナリ故ニ人或ハ股分所有者ハ全員ニテ一ノ組合ヲ爲スモノナリヤト疑フ者アラシ然レトモ各國ノ法律ニ於テ此股分所有者ノ組合トハ全ク之ヲ區別シ船舶ノ全部ヲ數人ニテ共有スルトキハ之ヲ船舶ニ關スル組合ト爲シ其數人ノ所有者カ船舶ノ一部ヲツツ分有スル場合ニハ之ヲ股分所有者ト稱セリ而シテ外國ニ於テハ船舶共有ノ持分(股分)ヲ法律ヲ以テ定ムルモノアリ例ヘハ英國ニ於ケル六十四ノ如キ是ナリ或ハ慣習ニ從ハシムルモノアリ例ヘハ佛國ニ於テ法律ヲ以テ其數ヲ定メス慣習ニ依リテ二十四ト定ムルカ如キ是ナリ我舊商法ニ於テ船舶ノ股分ト曰ヒ新商法ニ於テ船舶ノ共有ト曰フモ唯其名稱ノ異ナルノミニシテ其實ハ同一ナリ而シテ我舊商法ニ於テハ船舶ノ共有船舶ノ股分ト組合ト會社トノ關係ヲ明示セサレトモ船舶ノ共有ハ組合ニ非ス亦會社ニモ非スシテ一種ノ共有ト謂ハサルヘカラサレトモ法律カ其性質ヲ明示セサルヲ以テ疑義ノ生スル虞アリ

リ故ニ新商法ハ股份ナル語辭ヲ用ヒス之ニ代フルニ共有ナル語辭ヲ以テシタ
レハ其性質ハ民法ニ規定セル共有ニ關スル規定ニ例外ヲ爲セルモノナルコト
明カナリ而シテ船舶ノ共有者間ニハ唯共有ノ關係アルノミニ過キスシテ組合
又ハ會社契約ノ存スルヲ必要トセス孰レノ共有者モ他ノ共有者ニ代リ若ク
ハ船舶全部ヲ處分スルノ權ヲ有セス亦孰レノ共有者モ他ノ共有者ト一致不分
ノ義務ヲ有セス隨意ニ共有ヨリ脫退シ自己ノ持分股份ヲ賣却シ之カ繼承者ヲ
以テ代フルコトヲ得ヘシ又他ノ一方ニ於テハ羅馬法ニ於ケルカ如ク共有ヲ廢
スルコト(共有物分割民法第二五六條第二五八條)ヲ請求シ船舶全部ノ賣却ヲ以
テ自己ノ持分ノ價額ヲ拂受クルコトヲ得ヘキ共有者ノ權利ヲ有セサルナリ而
シテ共有者間ニ於ケル權利上ノ關係ハ其締結セル契約ニ依リテ之ヲ定メ此點
ニ付テ一モ法律上ノ牽制ヲ受クルコトナキヲ普通ノ原則ト爲スモノニシテ此
契約ハ特殊ナル性質ヲ有ス即チ唯之ヲ締結シタル當初ノ當事者間ニ於テ之ヲ
遵守スルニ止マラス併セテ後日ノ繼承人モ之ヲ遵守スヘキ義務アリ故ニ多少
株式會社ノ定款ニ類シ船舶管理人ハ其取締役ニ似タリ但シ後日此契約ヲ共有

者ニ於テ廢止シ又ハ變更スルコトハ妨ナキナリ然レトモ其共有者間ニ別段契
約ヲ結ハスシテ其權利上ノ關係ヲ全ク法律ト慣習トニ放任スルコト尠シトセ
ス殊ニ互ニ相識ラス遠隔ノ地ニ居住スル數多ノ共有者間ニ在リテハ契約ヲ取
結フコト甚タ困難ナルノミナラス或ハ出來得ヘカラサルコトアリ故ニ法律ニ
於テ數多ノ共有者間ノ關係ヲ定ムヘキ概要ノ原則ヲ設クルハ必要ナリ

我新商法ハ舊商法ト同シテ船舶共有ノ持分數ヲ法律上定ムルコトナク之ヲ後
來生スヘキ慣習及ヒ國民ノ思想ニ放任セリ而シテ佛國ニ於ケル二十四ノ數ハ
固ヨリ少キニ過ク何トナレハ船舶ニ在リテハ其一持分ノ價額甚タ大ニシテ少
クトモ數萬圓ニ上リ船舶ノ所有權ヲ得ルハ獨リ富裕ナル資產家ニ止マルニ至
レハナリ英國ニ於ケル六十四ノ數ハ稍適當ナルカ如シト雖モ尙ホ少キヲ免レ
ス外國ニ於テハ船舶共有ノ持分ハ船舶ヲ製造セシメント欲スル者概チ自ラ其
船長ト爲ルノ企望ヲ以テ之ヲ知己其他ノ者ニ謀リテ資ヲ醗集スルヲ以テ生ス
ルコト多シトス而シテ其募ニ應スル者ハ造船及ヒ艦裝ニ關スル工事若クハ其
材料ヲ以テスルコト少カラス故ニ獨逸ニ於テハ船舶共有ノ持分ノ數ヲ定ムル

コトナク船ニ依リテ其數ハ各異ナルコトヲ得ルヲ以テ其數ハ千乃至數千ニ達スルコトナシトモス然レトモ一人ニシテ數多ノ持分ヲ有シ又ハ數人ニシテ一箇ノ持分ヲ共有スルモ妨ナシ但シ此共有ノ場合ニ於テハ一人ノ總代ヲ置キ代人タラシムルナリ

○船舶ノ利用ニ關スル規定 第五百四十六條 船舶共有者ノ間ニ在リテハ船舶ノ利用ニ關スル事項ハ各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス(舊商法第八四五條佛商法第二二〇條獨舊商法第四五八條)

船舶モ二人以上ノ共有ナルトキハ總テ船舶ニ關スル事項ハ共有者總員ノ同意ヲ以テ之ヲ算セス共有者ノ持分ノ數ニ依リテ算スルコト普通ノ例規ナリ故ニ共有持分ノ數百箇ナルトキハ五十一又其數六十四ナルトキハ三十三ノ持分同意シタル決議ハ有效ニシテ他ノ共有者ノ持分ハ之ニ從ハサルヘカラス而シテ共有者ノ員數ハ一モ之ヲ問フコトナシ共有者ノ一人ニシテ全數ノ一半ヲ超ユル持分ヲ有スルトキハ過半數タルナリ而シテ船舶ニ關スル事項ハ種種アレトモ舊商法ノ如ク之ヲ總テ議決權ノ過半數ヲ以テ決定セシムルハ過半數

ヲ以テ決定スル事項ノ範圍廣ニ失セリ佛國ノ如キハ過半數ヲ以テ決定スル事項ハ共同ノ利益ニ關スルコトノミニ之ヲ制限シ又獨逸ハ過半數ニテ決定セシムル事項ト共有者ノ一致ヲ要スル事項トヲ區別セテ規定セリ故ニ本法ニ於テモ船舶ニ關スル事項ハ總テ之ヲ過半數ヲ以テ決定セシメス其中區別ヲ設ケ船舶ノ利用ニ關スル事項ニ限リ過半數ヲ以テ決定スルコトト爲シタリ是レ共有ノ規定ニ關スル民法第二百五十二條ノ文例ニ同シキナリ船舶ノ利用以外ニ涉ル事ハ共有者總員ノ同意ヲ要スルハ論ヲ埃タサルナリ例ヘハ船舶ヲ賣却スルカ如キハ船舶ノ利用ニ非スシテ共有ヲ解除スルニ歸屬スルモノナレハ共有者總員ノ同意ヲ要スルナリ

○船舶利用ノ費用 第五百四十七條 船舶共有者ハ其持分ノ價格ニ應シ船舶ノ利用ニ關スル費用ヲ負擔スルコトヲ要ス(獨舊商法第四六七條)

船舶ノ利用ニ關スル事項ヲ共有者ノ員數ノ過半數ヲ以テ決定セシメテ其持分ノ價格ノ割合ニ從ヒ其過半數ヲ以テ決定スト爲シタル以上ハ船舶ノ利用ニ關スル費用モ亦議決權ニ於ケルト同シテ共有者ノ持分ノ價格ニ應シテ負擔スヘ

キモノト爲スハ至當ナリ是レ共ノ規定ニ關スル民法第二百五十三條ト同一ノ趣旨ナリ

○船舶共有者ノ脱退——第五百四十八條 船舶共有者カ新ニ航海ヲ爲シ又ハ船舶ノ大修繕ヲ爲スヘキコトヲ決議シタルトキハ其決議ニ對シテ異議アル者ハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得前項ノ請求ヲ爲サント欲スル者ハ決議ノ日ヨリ三日内ニ他ノ共有者又ハ船舶管理人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス但此期間ハ決議ニ加ハラサリシ者ニ付テハ其決議ノ通知ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス(舊商法第八四五條第三項獨舊商法第四六八條)

船舶ノ利用ニ關スル事項ニ付キ多數者ト意見ヲ異ニセタル少數者ハ其船舶ノ共有持分ニ課セラレタル費用ハ如何ニ多額ナリトモ之ヲ負擔セサルヘカラサルヤノ問題アリ若シ各共有者カ其持分ノ價格ノ割合ニ應シテ必スシモ之ヲ負擔セサルヘカラサルモノトスルトキハ共有者中ニハ實力乏シクシテ其負擔ニ堪ヘタル者ナシトセス此問題ニ付テハ各國ノ法律一ナラスシテ種種ノ規則アリ

佛國商法ハ此點ニ付キ直接ニ規定シタル所ナキカ爲メニ少數者ハ百種ノ費用ヲ分擔セサルヘカラサルコトハ其多數決ニ從フヘシトノ語句ノ中ニ包含スルモノトセサルヲ得然レトモ其費用ハ必要ノ程度ヲ超ユヘカラサルコトヲ定ムルカ故ニ船舶ノ修繕等ハ鑑定人ヲシテ鑑定セシメ最低價額ノ請負人ヲシテ請負ハシメサルヘカラス獨逸舊商法第四百六十七條第四百六十八條ニ於テハ少數者ハ其出金ヲ避ケンカ爲メニ自己ノ持分ヲ無價ニテ拋棄スルコトヲ得ヘク而シテ其持分ハ他ノ共有者ニ同一ノ割合ヲ以テ配分ス英國ニ於テハ多數者ノ權ハ此ノ如ク大ナラス多數決ヲ以テ新事業ヲ起スハ妨ナシト雖モ其費用ハ同意者ノミニ於テ支辨セサルヲ得ス且ツ少數者ノ持分ノ價格ヲ保證シ若シ損失アル場合ニハ之ヲ賠償セサルヘカラス少數者ハ其事業ノ費用ヲ出スノ義務ナク隨テ其利益ヲ受クルコトモ亦之ナシトス

英法ハ法理ニ適セサル所アリ何トナレハ一方ニハ多數者ニ全ク少數者ヲ排斥スルノ權ヲ付與シ他ノ一方ニ於テハ少數者ヲシテ不同意ノ爲メ其責任ヲ免レシメシノミナラス尙ホ利益ノ保證アレハナリ又獨法ハ不同意ノ少數者ヲシテ

毫モ賠償ヲ受クルコトナク其持分ヲ拋棄セシムルハ酷ニ失スルナリ故ニ我新
商法ハ此等ノ立法ニ倣ハス船舶ノ利用ニ關スル事項ハ既ニ叙述シタルカ如ク
(第五四六條)其原則トシテハ少數者ハ多數者ノ意見ニ屈從セサルヘカラサルモ
ノト爲シタルトモ例外ナク其原則ヲ適用スルモノト爲ストキハ少數者ニ對シ
テ頗ル酷ナルヲ以テ其事項中重大ナルモノニ付テハ少數者ヲシテ多數者ノ意
見ニ屈從セシメサルモノト爲セリ而シテ其場合ハ法律ニ於テ限定シ新ニ航海
ヲ爲シ又ハ船舶ハ大修繕ヲ爲スヘキコトヲ決議シタルトキニ限ルモノトシタ
リ故ニ此等二箇ノ場合ニ於テ少數者カ出金スルコトヲ欲セサルトキハ他ノ共
有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得
ヘシ而シテ法律ハ此等二箇ノ場合ニ限リタルカ故ニ其他ノ事ニ因リテ新支出
ヲ議決シタル場合ニ於テ少數者カ之ヲ欲セサルトキハ他ノ共有者以外ノ者ニ
自己ノ持分ヲ讓渡スヨリ外アラサルナリ
法文ニアル新ニ航海ヲ爲シトハ單ニ出港ヲ爲スノ謂ニ非スシテ一ノ新航路ヲ
開クコトヲ謂フナリ例ヘハ從來米國桑港ト長崎トノ間ニ航海ヲ爲セシヲ更ニ

香港マヲ延長スルカ如キ場合はナリ

決議ニ對シテ異議アル者カ自己ノ共有持分ヲ他ノ共有者ヲシテ買取ラシムル
コトノ請求ハ迅速ニ爲ササルヘカラス此ノ如キコトハ長キ間曖昧ニ付スヘカ
ラサルヲ以テ法律ハ右ノ請求ヲ爲サント欲スル者ニ對シ決議ノ日ヨリ三日内
ニ他ノ共有者又ハ管理人ニ其通知ヲ發セサルヘカラサルコトト爲セリ若シ此
請求ヲ爲サント欲スル者カ如何ナル事由アリトモ右期間内ニ通知ヲ爲ササルト
キハ他ノ共有者ヲシテ自己ノ持分ヲ買取ラシムヘキ權利ヲ喪失スルモノトス
而シテ決議ニ加ハラサリシ者ハ其決議ヲ了知セサルヲ常トスレハ此者ニ對シ
決議ノ日ヨリ三日内ニ請求ヲ爲スヘキモノト爲ストキハ知ラサル間ニ期間經
過スヘキヲ以テ此場合ニ於テハ決議ノ通知ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シテ
三日ト爲セリ

三日ノ期間ノ起算方ニ付キ注意スヘキモノアリ民事訴訟法第一六五條刑事訴訟
法第一五條及民法第一四〇條ニ依ルトキハ期間ヲ計算スルニ日ヲ以テスル
モノハ其初日ヲ算入セサル原則ト爲セトモ本條ノ場合ニ於テハ一ハ決議ノ

日ヨリ三日内トアリ他ノ一ハ決議ノ通知ヲ受ケタル日ハ翌日ヨリトアリ若シ此場合ニ於テ民法ノ期間ニ關スル原則ニ依ラシムヘキモノナラハ以上ノ如ク區別ヲ爲スヘキ必要アラサルナリ故ニ此場合ニ於テハ特ニ三日ノ期間ノ初日モ期間内ニ算入スヘキモノト解セサルヘカラス

○船舶利用ノ債務 第五百四十九條 船舶共有者ハ其持分ノ價格ニ應シ船舶ノ利用ニ付テ生シタル債務ヲ辨濟スル責ニ任ス

雖ニ說キタル船舶利用ノ費用分擔ニ關スル規定第五四七條ハ共有者間内部ノ關係ニ止マルモノナレハ是レ各共有者カ船舶ノ利用ニ付テ生シタル債務ヲ第三者ニ對シテ辨濟スルニハ如何ナル責任ヲ有スルヤノ事ヲ規定シタルニ非サルナリ是ヲ以テ法律ハ別ニ本條ヲ設ケテ共有者ノ第三者ニ對スル關係ヲ規定セタリ而シテ二人以上ノ者カ共同シテ法律行為ヲ爲シ債務ヲ負擔スル場合ニ於テ別段ノ意思表示ナキトキハ各債務者ハ平等ノ割合ヲ以テ之ヲ辨濟スルニ止マルコトハ民法第四二七條ノ原則ナリト雖モ商法ニ於テ二人以上ノ者カ共同シテ商行爲ヲ爲シタルトキニ在リテハ商取引ヲ安全ナラシメ當事者ニ便

宜ヲ與フルノ必要上民法ノ原則ヲ採用セスシテ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔スヘキヲ以テ通則ト爲セリ(第二七三條)而シテ是レ獨リ我新商法ノ主義ナルノミナラス各國ノ立法例並ニ舊商法第二八七條ノ共ニ認ムル所ナリ故ニ船舶共有ノ場合ニ於テモ商行爲ニ關スル規定アルニ止マラハ此規定ニ從ヒ其船舶ノ利用ニ付テ第三者ニ債務ヲ生シタルトキハ各共有者連帶シテ之ヲ負擔セサルヘカラスト雖モ海商法ノ規定ハ航海業獎勵ノ爲メ他ト異ナリテ危險分擔ノ主義ヲ採レルカ故ニ此場合ニモ商行爲ノ通則ヲ適用スルトキハ右ノ主義ニ反シ航海業ノ進歩ヲ妨害スルノ虞アリ是ヲ以テ商行爲ニ關スル通則ノ例外トシテ船舶共有者ハ其持分ノ價格ニ應シ船舶ノ利用ニ付テ生シタル債務ヲ分擔スルモノト爲セリ故ニ船舶共有者カ其船舶ノ債務ニ付キ債權者ニ對スル責任ハ民法ノ共有ノ場合ト同一ニ歸セリ而シテ各共有者カ其持分ノ價格ニ應シテ債務ヲ辨濟スル責任アルハ雖ニモ說キタルカ如ク船舶ノ利用ニ關スル事項ハ各共有者ノ持分ノ價格ノ割合ニ從ヒ其過半數ヲ以テ之ヲ決スルコトト爲シタル以上ハ共有者間内部ノ關係第五四七條ト同シク其三者ニ對スル場合ニ於テモ

各共有者ノ持分ノ價格ノ割合ニ從フモノトスルハ至當ノ事ニ屬ス
 ○損益ノ分配 第五百五十條 損益ノ分配ハ每航海ノ終ニ於テ船舶共有者ノ持分ノ價格ニ應シテ之ヲ爲ス(獨舊商法第四六九條
 損益ノ分配ハ共有者ニ於テ特ニ契約ヲ爲シ其割合及ヒ時期ヲ定メタルモノアルトキハ之ニ從フヘキコトハ論ヲ俟タズト雖モ其特約ナキ場合ニ於テハ損益ハ何時之ヲ分配スヘキカ又其割合如何ノ問題ヲ生スヘキヲ以テ法律ハ之ヲ規定シ損益ノ分配ハ每航海ノ終ニ於テ爲スヘク而シテ其割合ハ各所有者ノ持分ノ割合ニ應スヘキコトト爲シタリ蓋シ損益分配ノ時期ヲ每航海ノ終ト爲シタルハ船舶ニ付テハ一航海毎ニ損益ノ計算ヲ爲スコトヲ得ヘクレトモ其航海中ニ在リテハ之ヲ決定スルコト能ハサルヲ以テナリ又持分ノ價格ノ割合ニ應シテ損益ヲ分配スルハ疑ニ船舶ノ利用ニ關スル費用並ニ債務ノ負擔ニ付キ説キタルト同一ノ理由ニ基キタル至當ノ規定ナリ
 ○共有持分ノ讓渡 第五百五十一條 船舶共有者間ニ組合關係アルトキト雖モ各共有者ハ他ノ共有者ノ承諾ヲ得スシテ其持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓

渡スコトヲ得但船舶管理人ハ此限ニ在ラス(舊商法第八四七條獨舊商法第四七〇條
 共有持分ノ讓渡ニ付テハ民法ニ何等ノ規定ナキヲ以テ其持分ハ他ノ共有者ノ承諾ナク自由ニ讓渡スコトヲ得ヘキモノト解釋スヘキモノナレハ船舶ヲ共有スルニ當リ單ニ民法ノ共有ニ關スル規定ノミニ準據スヘキ場合ニ在リテハ船舶共有者ハ其規定ニ從ヒ自己ノ持分ヲ自由ニ他人ニ讓渡スコトヲ得ヘシ然レトモ船舶ノ共有者間ニハ船舶ノ使用ニ關シテ組合關係ノ存スルコトアルヘク此場合ニ於テ當事者ニ特別ノ約款ナキニ於テハ其關係ハ組合ノ關係ニ因リテ定マルヘキモノタルナリ而シテ船舶共有者間ニ組合ノ關係アル場合ニ於テ民法ノ組合ニ關スル規定民法第六七六條乃至第六七八條ヲ適用スルコトト爲ストキハ持分ハ自由ニ他人ニ讓渡スコトヲ得サルナリ若シ其讓渡ヲ他ノ組合員

カ許諾スルトキハ其讓渡ニ因リ一ノ新ナル組合ヲ組成スルニ過キス然レトモ此原則ヲ船舶共有ノ場合ニモ適用スルコトト爲ストキハ是レ危險分擔ノ主義ニ反シ航海業ノ進歩ヲ妨害スルニ至ルヘキヲ以テ新商法ハ民法ノ組合ニ關ス

ル原則ニ對シ特別ノ規定ヲ設ケ船舶共有者間ニ組合關係存スルト雖モ之ニ拘ラス各共有者ハ他ノ共有者ノ承諾ヲ得シテ自由ニ其持分ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ルモノト爲シタリ

船舶共有持分ノ讓渡ハ自由ナリトノ原則ニハ二箇ノ例外アリ即チ船舶管轄人カ共有者ニシテ其持分ヲ讓渡サント欲スル場合及ヒ第五百五十五條ニ規定スル場合持分ノ讓渡ニ因リ船舶カ國籍ヲ喪失スヘキ場合はナリ此第二ノ例外ハ後ニ叙述スヘケレハ今茲ニ第一ノ例外ノ場合ノミヲ說カン此場合ハ他ノ共有者カ船舶管理人ヲ選任セシムル其者カ共有者ナルカ爲メニシテ共有者ニ非サレハ之ヲ選任セザリシナラン等ノ事情存スヘシ然ルニ若シ管理人カ自由ニ其持分ヲ他人ニ讓渡ストキハ一方ニ於テハ共有者タル資格ヲ失ヒ船舶ノ運命ト密接ノ關係ナキニ至リ他方ニ於テハ管理人トシテ重大ノ權限ヲ有スルヲ以テ縱令惡事ヲ爲ササルトモ他ノ共有者カ豫期セシ所ト多少齟齬セサルヲ得ス故ニ管理人タル共有者カ自由ニ其持分ヲ讓渡スコトヲ得ルモノト爲ストキハ他ノ共有者ノ利益ヲ害スルヲ以テ法律ハ之ヲ許ササルモノト爲セリ依テ若シ管理

人タル共有者カ其持分ヲ讓渡サント欲セハ他ノ共有者ノ承諾ヲ得ルカ然ラザレハ先ツ其管理人タルコトヲ辭シ然ル後讓渡スコトヲ外アラサルナリ

○船舶管理人 第五百五十二條 船舶共有者ハ船舶管理人ヲ選任スルコトヲ要ス船舶共有者ニ非サル者ヲ船舶管理人ト爲スニハ共有者全員ノ同意アルコトヲ要ス船舶管理人ノ選任及ヒ其代理權ノ消滅ハ之ヲ登記スルコトヲ要ス舊

商法第八四一條、新商法第四五九條、第四六〇條、第四六二條

船舶ヲ二人以上ニテ共同シテ所有スル場合ハ稍、株式會社ニ似其共有者ハ株主ニ類シ他ノ共有者ノ同意ヲ得ルコトナクシテ脫退スルコトヲ得ル等全ク物的結合ニシテ一モ人的關係ヲ重ンスル合名會社ヲ成スニ非サレハ曩ニモ說キタルカ如ク共有者相互ニ代理スルコトヲ許サス唯同一物件ニ係ル不可分の所有者タルニ過キス故ニ之カ代理ヲ爲ス者ヲ置クコトハ關クヘカラサルナリ況ヤ各共有者ハ單ニ其持分ノ賣却ニ因リテ絶エス變更シ得ヘク且ツ其共有者各人ニ對シテ契約ヲ取結フハ不可成的ノコトタル多キニ於テヲヤ而シテ其管理人ハ船舶共有者各箇ノ代理人ニ非スシテ其總體ノ代理人タルナリ

船長ハ常ニ船舶ニ在リテ航海ニ關スル事務ヲ執レルカ故ニ船舶カ共有ナル場合ニ於テハ此者ヲ法律上船舶管理人ト爲スハ便宜ナルモノノ如シト雖モ船長ハ別ニ法定及ヒ契約上ノ重大ナル固有ノ職務アリテ此大任ニ當ルヲ得サルヲ以テ諸國ノ立法例ニ於テモ船長ノ外ニ船舶管理人ナル者ヲ設ケ其任ニ當ラシム而シテ船舶管理人ハ舊商法ニ於テハ其條文ニハ禁止ノ明文ヲ見サレトモ船舶共有者中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得ストノ解釋ヲ爲ス者アレトモ新法ハ共有者中ノ一人ヲ舉ケテ之ニ任スルコトヲ得ヘキ旨ヲ明定セリ故ニ共有者以外ノ者ヲ管理者ニ選任スルモ共有者中ノ一人ヲ選任スルモ共有者ノ自由ナリト雖モ彼ヲ選任スル場合ト此ヲ選任スル場合トニ依リ法律ノ規定同一ナラサル所アリ而シテ船舶管理人ヲ選任スルモ亦一ノ船舶ノ利用ニ關スル事項ニ外ナラサレハ第五百四十六條ノ規定ニ從ヒ議決權ノ過半数ニ依リテ決定セラルヘキモノニシテ共有者中ノ者ヲ選任スル場合ハ共有者相互ニ信用アルヲ以テ右ノ規定ニ從ヒテ選任シ毫モ弊害アルヲ見スト雖モ法律ハ共有者以外ノ者ヲ選任スルトキハ共有者總員ノ同意アルコトヲ要スト規定セリ何トナレハ船舶

管理人ノ權限ハ次條ニ示スカ如ク至テ廣大ナルモノナレハ此ノ如キ大任アル者ヲ選任スルニ普通ノ原則ニ從ヒテ各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半数ヲ以テ之ヲ選任スルコトト爲ストキハ或ハ二人ニシテ議決權ノ過半数ヲ有スル場合アリテ專斷ニ陷ルノ弊ナキヲ保シ難キヲ以テ此場合ニ例外ヲ設ケタル所以ナリ

船舶管理人ハ支配人ト同シク其權限頗ル廣大ナリ而シテ第三十一條ニ於テ支配人ノ選任及ヒ代理權ノ消滅ハ登記ヲ要スト爲セルカ故ニ船舶管理人ニ付テモ亦其選任及ヒ代理權ノ消滅ノ登記ヲ爲スヘキコトト爲シテ第三項ノ規定ヲ設ケタリ

○船舶管理人ノ權限 第五百五十三條 船舶管理人ハ左ニ掲ケタル行爲ヲ除ク外船舶共有者ニ代ハリテ船舶ノ利用ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

一 船舶ノ讓渡委付若クハ貸貸ヲ爲シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコト

二 船舶ヲ保險ニ付スルコト

三 新ニ航海ヲ爲スコト

四 船舶ノ大修繕ヲ爲スコト

五 借財ヲ爲スコト

船舶管理人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス(獨商法第四六〇條)

既ニ前條ニ於テ法律ハ船舶カ二人以上ノ共有ナル場合ニ於テハ必ス船舶管理人ヲ選任スルコトヲ強要セルカ故ニ其法定權限ヲ規定セルハ恰モ支配人等ノ法定權限ヲ規定セルト一般ニシテ商業上ノ便利頗ル多カルヘシ例ヘハ船舶管理人ト或取引ヲ爲シタル者カ其行爲ハ船舶管理人ノ權限内ノモノト信シテ之ト取引ヲ爲シタルニ豈ニ圖ランヤ後ニ至リ其權限外ナルコトヲ了知シ其取引ニ對シ船舶共有者ハ責任ヲ有セサルモノタルニ至リテハ船舶管理人ト取引ヲ爲ス者ハ安心シテ取引ヲ爲スコト能ハサルヘシ然レトモ船舶管理人ノ權限カ云云ナルコトヲ法文ヲ以テ明カニ規定スルトキハ之ト取引ヲ爲ス者ハ安心シテ取引ヲ爲スニ至ルヘシ

船舶管理人ノ權限ハ各國ノ立法例同一ナラスト雖モ我國法ニ於テハ原則トシテ船舶ノ利用即チ共有ノ目的タル利用ニ付テハ之ニ全權ヲ與ヘ縱令船舶共有者カ之ニ制限ヲ加フルト雖モ其制限ハ善意ノ第三者ニ對シテ效力ナキコト猶ホ支配人ノ權限ニ於ケルカ如キモノト爲セリ而シテ船舶管理人ノ權限ハ船舶ノ利用ニ關スルモノニ限ル故ニ其目的ヲ外レタルモノハ船舶管理人ノ專斷ニテ之ヲ爲スコトヲ許サス又其目的カ船舶ノ利用ニ關スルモノト雖モ重大ナル事柄ハ制限シテ其專斷ヲ許ササルコトト爲セリ今左ニ法律カ船舶管理人ノ行爲ニ對シテ制限シタル所ヲ叙述セン

第一號ノ船舶ノ讓渡委付若クハ貸貸ヲ爲シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコトハ先ツ船舶ノ讓渡ハ船舶ノ共有ヨリ之ヲ言フトキハ其消滅原因トモ爲ル終局ノ處分ニシテ之カ利用ト謂フヲ得サルヘシ此ノ如キ重大ナル事ハ船舶管理人ノ專斷ヲ以テ爲サシムルコトヲ得ス其他委付第五四四條第六七一條若クハ貸貸ヲ爲スコト又ハ船舶ヲ抵當ト爲スコト等ハ總テ重大ナル事ニ屬スルヲ以テ船舶管理人ノ權限ニ屬セシメタルナリ

茲ニ注意スヘキコトアリ即チ船舶ノ貸貸ノ意義はナリ此意義ハ民法ニ所謂貸貸ト同意義ナレハ之ヲ本法ニ於テ後ニ説ク所ノ借借契約ト混淆スヘカラス船舶ヲ貸貸シタルトキハ其所有者ハ其船體及ヒ屬具ヲ貸與スルニ過キヌレテ船舶ノ使用ニ必要ナル準備例ヘハ船舶ノ機裝海員ノ雇入等ハ總テ賃借人ニ於テ爲スモノニシテ其賃借人ハ船舶ノ利用ニ關スル事項ニ付テハ第三者ニ對シテ船舶所有者ト同一ノ位置ニ立テ之ト同一ノ權利義務ヲ有スルナリ然ルニ舊商法第八百八十七條乃至第八百九十八條ニ於テ規定セル船舶貸貸借契約ハ民法ニ所謂貸貸借契約ト其意義ヲ異ニシ新商法ニ規定セル所ノ借借契約ニ該當スルモノニシテ船舶ノ全部若クハ一部ニ賃借人(借借者)ノ荷物ヲ船積スルニ止マリ船舶ノ機裝海員ノ雇入等航海ニ必要ナル準備ハ船舶所有者之ヲ行ヒ其契約ノ性質タルヤ全ク運送ト云フ仕事ノ結果ヲ以テ目的ト爲スカ故ニ民法ニ所謂賃貸借ニハ該當セラルナリ

第二號乃至第五號ノ事項モ總テ船舶所有者ニ重大ナル關係ヲ有スルカ故ニ之ヲ船舶管理人ノ權限ニ屬セシメタルナリ

以上法律ニ依リテ制限セラレタル事項ヲ除ク外船舶ノ利用ニ關スル行爲ニ付テハ船舶管理人ノ權限ニ屬シ裁判上タルト裁判外タルト問ハス船舶共有者ヲ代表スルモノトス故ニ船舶管理人ハ船長其他海員ノ雇入船舶ノ機裝其保存及ヒ給養其他航海ニ必要ナル事運送契約收入金ノ領收金錢ノ計算出納及ヒ各共有者ニ對シ出金ヲ催告シ及ヒ之ヲ領收スル事等ハ總テ其權限ニ於テ專斷ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ是レ船舶管理人カ善意ノ第三者ニ對シテ其權限トシテ爲スコトヲ得ヘキモノナレハ第三者カ船舶管理人ト此等ノ行爲ニ關シテ取引ヲ爲シタルトキハ船舶共有者ハ自ラ之ヲ爲シタルト同シク總テ之カ責任ヲ負フヘシト雖モ是レ船舶共有者ト第三者ト間ノ關係ヲ規定シタルニ止マリ船舶共有者ト船舶管理人トノ間ニ在リテハ其代理權ニ制限ヲ加フルコトヲ得ヘキハ論ヲ俟タルナリ

○船舶管理人ノ義務 第五百五十四條 船舶管理人ハ特ニ帳簿ヲ備ヘ之ニ船舶ノ利用ニ關スル一切ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス船舶管理人ハ每航海ノ終ニ於テ遲滞ナク其航海ニ關スル計算ヲ爲シテ各船舶共有者ノ承認ヲ求ムルコ

トヲ要ス(獨商法第四六五條第四六六條)

船舶管理人ハ法律上右ニ説キタルカ如ク船舶ノ利用ニ關スル事項ニ付テハ廣大ナル權限ヲ有シテ之ヲ管理スルモノナレハ以上ノ規定ノ如キ義務ヲ負フハ當然ナリ

○船舶共有持分ノ買取リ又ハ競賣ノ強制——第五百五十五條 船舶共有者ノ持分ノ移轉又ハ其國籍喪失ニ因リテ船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失スヘキトキハ他ノ共有者ハ相當代價ヲ以テ其持分ヲ買取リ又ハ其競賣ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得社員ノ持分ノ移轉ニ因リ會社ノ所有ニ屬スル船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失スヘキトキハ合名會社ニ在テハ他ノ社員合資會社及ヒ株式合資會社ニ在テハ他ノ無限責任社員ハ相當代價ヲ以テ其持分ヲ買取ルコトヲ得舊商法第八四八條獨商法第四七〇條

此規定ハ曩ニ説キタル船舶ノ共有ニ於ケル持分ノ讓渡ハ自由ナリトノ原則ニ對スル第二ノ例外ナリ(第一ノ例外ハ第五百五十一條但書ナリ)船舶ノ賣却ハ內國人ニ限ラス外國人ニ對シテ爲スモ妨ケナシト雖モ船舶ノ共有者カ其持分ヲ外

國人ニ讓渡シタルトキハ船舶法第一條ノ規定ニ從ヒ其船舶ハ日本船舶タルコトノ資格ヲ喪失スヘク一人ノ共有者ノ行爲ノ爲メ他ノ共有者ハ其意思ニ反シ其共有船舶ヲシテ日本船舶タル利益ヲ受クルコトヲ得サラシム元來政略上ヨリ言フモ船舶所有權ノ一部分ノ外國所有ニ歸シタルカ爲メニ本國航海ノ減少スルハ喜フヘキニ非サレハ以上ノ公益ト他ノ共有者ノ利益ノ爲メニハ正當ノ方法ニ依リテ其國民ノ所有船舶ヲ維持スルヲ得セシムルコトヲ必要トスルカ故ニ本條ヲ設ケ第一、他ノ共有者ニ賣主ノ意ニ拘ラサル法律上ノ先買權ヲ付與シタリ而シテ此場合ニ於テハ他ノ共有者カ其持分ヲ買取ルニハ相當ノ代價ヲ支拂ハサルヘカラス其代價ノ相當ナルヤ否ヤハ事實問題ニ屬ス舊商法第八百四十八條但書ニ自己ノ計算ニ引受クル場合ニ在テ已ムヲ得サルトキハ裁判上ノ手續ヲ以テ其股分ノ價額ヲ定ムトアリテ此場合ニ代價額ノ協議調ハサルトキハ裁判上ノ手續鑑定ヲ以テ其價額ヲ定ムルコトト爲シ本法ニハ之ヲ明言セサレトモ當事者間ニ代價ニ付テ爭ヲ生シタルトキハ勢ヒ裁判所ノ認定ヲ請フノ外アラサルナリ但シ此場合ニハ簡便ナル手續ノ設アルヲ見サレハ訴訟ヲ以

ヲスルヨリ外アラサルナリ第二若シ他ノ共有者中該持分ヲ買取ルコトヲ欲セ
ス若クハ能ハサルトキハ其競賣ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ルモノト爲セリ
以上ノ場合ニ於テハ其賣却シタル持分ノ數ノ多少ハ之ヲ問フコトヲ要セス例
ヘハ一人ニシテ全船舶ノ十分ノ八九ヲ所有シ他ノ共有者ハ僅ニ其二分ヲ所
有スルトセンカ其多數ノ持分タリトモ少數ノ持分ヲ付與セラレタル特權ニ服
從セサルヘカラサルハ怪シムヘキ觀アルカ如シト雖モ持分多少ノ差ヲ定ムル
ハ殆ト難ク且ツ國籍ノ公權ハ私法上ノ所有權ノ上ニ在ルヘキナリ而シテ又此
規定ハ條文ニハ廣ク船舶共有者ノ持分ノ移轉アルカ故ニ賣買讓渡ノ場合ニ
限ラス相續結婚等ニ因リテ持分ノ移轉スル場合ニモ適用スヘキナリ

此規定ハ他ノ立法例ニ徴スルモ或國ハ外國人ニ對スル讓渡ハ無効ナリト爲シ
或國ハ外國人ニ船舶ヲ讓渡セハ其國籍ヲ喪失スト爲シ又或國ハ其船舶ニ備ヘ
アル船籍證書船舶登記證書等各種ノ證書ヲ取上ケ再ヒ之ヲ下付セサルコトト
爲シ若クハ其證書ニ外國人カ共有持分ヲ所有スル旨ヲ記入シ各港ヨリ其船舶
ノ發航ヲ禁止スルコトト爲セリ而シテ我邦ニ於テハ所謂公平主義ヲ執リ外國

人ニ對スル讓渡ハ固ヨリ之ヲ許シ唯他ノ共有者ニ先買權ヲ與ヘ又ハ其競賣ヲ
請求スルコトヲ得セシメタルニ過キサルナリ

日本ニ本店ヲ有スル商會社ハ縱令其社員ニ外國人アリト雖モ船舶法第一條
第三號ノ規定ニ適スルトキハ其所有船舶ハ日本船舶タル資格ヲ有ス詳言スレ
ハ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員合資會社及ヒ株式合資會社ニ在リテハ無限
責任社員ノ全部株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員カ日本臣民ナルトキハ其所
有ノ船舶ハ日本船舶タルナリ然ルニ其會社ニシテ社員ノ持分ノ移轉ニ因リ會
社ニ屬スル船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失スルコトアリ例ヘハ外國人カ合名會社ノ
社員合資會社若クハ株式合資會社ノ無限責任社員ト爲リタル場合ニ於テハ其
會社所有ノ船舶ハ日本ノ國籍ヲ喪失ス此場合ニ於テモ前ノ場合即チ船舶共有
者カ外國人ニ其持分ヲ讓渡ス場合ト同シク法律ハ合名會社ニ在リテハ他ノ社
員合資會社及ヒ株式合資會社ニ在リテハ他ノ無限責任社員ニ先買權ヲ與ヘタ
リ蓋シ船舶カ會社ノ所有ニ屬スルニ其社員カ會社ノ持分ヲ讓渡セタルカ爲メ
ニ船舶法ノ規定ニ從ヒテ日本船舶ノ國籍ヲ喪失スルハ他ノ社員ノ意思ニ反シ

其利益ヲ害シ且ツ日本ノ公益ニ關スルヲ以テ前ノ場合ニ於ケルト同一ノ制限ニ從ハシメタルナリ
舊商法ニ於テハ會社ニ競賣ノ請求權ヲ與ヘテ社員ニハ先買權若クハ競賣ノ請求權ヲ與ヘサリシカ新法ニ於テハ社員ニ右ノ權利ヲ與ヘ會社自身ニハ之ヲ與ヘサルノ差アリ若シ之ヲ舊商法ノ如ク會社ニ先買權若クハ競賣ノ請求權ヲ與フルコトト爲ストキハ會社ニ在リテ外國人カ勢力ヲ占ムルトキハ先買若クハ競賣ノ請求ヲ爲ササルコトノ議決ヲ爲スノ虞アリテ此ノ如クナルトキハ此規定ヲ設ケタル精神ニ背クヲ以テ本法ニ於テハ社員ニ右ノ權利ヲ與フルコトト爲シタル所以ナリ

○船舶ノ賃貸借 第五百五十六條 船舶ノ賃貸借ハ之ヲ登記シタルトキハ爾後其船舶ニ付キ物權ヲ取得セタル者ニ對シテモ其效力ヲ生ス
船舶ノ賃貸借ハ曩ニモ說キタルカ如ク船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合トハ異ニシテ民法ニ於ケル不動産ノ賃貸借ノ如ク賃借人カ船舶ヲ借受ケ自ラ經營セテ之ヲ航海ノ用ニ供スルナリ而シテ又船舶ハ元來

不動産ナレトモ不動産ト同視セラルル場合數多アルコトモ曩ニ船舶ノ讓渡第五四〇條ニ付キ說キタルカ此場合モ亦不動産ト同視セラルル場合ノ一ニシテ船舶ノ賃貸借ハ民法ニ規定スル不動産ノ賃貸借ノ如ク之ヲ登記スルトキハ爾後其船舶ニ付キ物權ヲ取得シタル者ニ之ヲ對抗スルコトヲ得ルモノト爲セリ民法第七十七條ニ依レハ不動産ニ關スル物權ノ喪失及ヒ變更ハ登記ヲ爲スニ非サレハ第三者ニ之ヲ對抗スルコトヲ得ス而シテ其賃貸借ハ舊民法財產編第二條第三號ニ於テハ之ヲ物權ト爲シタルニ反シ新法ハ之ヲ債權ト爲シタリ然レトモ民法第六百五條ニ於テ不動産ノ賃貸借ノ登記ヲ認メ之ヲ登記シタルトキハ爾後其不動産ニ付キ物權ヲ取得シタル者ニ對シテモ其效力ヲ生スルコトト爲シタリ蓋シ不動産ヲ賃借シテ之ヲ利用スルニ當リ容易スク第三者ヨリ其權利ヲ動カサルコトアラハ賃借人ノ不利益ヲ受クルコト甚タ大ナルヲ以テ法律ハ其保護ノ爲メニ之カ登記ヲ認メ爾後其不動産ニ付キ物權ヲ取得シタル者ニ對抗スルコトヲ得ルコトト爲シタルモノニシテ船舶モ亦之ト同シク登記ヲ方法ヲ設ケ之ヲ爲シタル賃借人ヲ保護スルコトト爲シタリ故ニ船舶ノ賃貸

人カ其權利ヲ以テ第三者ニ對抗セント欲セハ必ス其貸賃借ヲ登記セヤルヘカ
ラス

○賃借人カ船舶ノ利用ニ付キ第三者ニ對スル權利義務ノ關係 第五百五十七條
船舶ノ賃借人カ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ其船舶ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ
ハ其利用ニ關スル事項ニ付テハ第三者ニ對シテ船舶所有者ト同一ノ權利義務
ヲ有ス前項ノ場合ニ於テ船舶ノ利用ニ付キ生シタル先取特權ハ船舶所有者ニ
對シテモ其效力ヲ生ス但先取特權者カ其利用ノ契約ニ反スルコトヲ知レルト
キハ此限ニ在ラス

船舶ノ賃借人カ營利ノ目的ヲ以テ其船舶ヲ航海ノ用ニ供シ廣ク第三者ト運送
契約ヲ締結シタル場合ニ於テハ第三者ニ對シテ權利義務ノ關係ヲ有スル者ハ
船舶所有者ナルカ將タ賃借人ナルカ又船舶所有者カ船舶債權者ニ對シテ船舶
及ヒ運送賃等ヲ以テ責任ヲ盡スヘキ場合ニハ船舶所有者カ之カ責任ヲ有スル
カ將タ賃借人カ自己ノ財産ノミヲ以テ責任ヲ盡スヘキカ其第一問ニ付テハ其
運送契約ノ當事者ハ船舶所有者ニ非スシテ船舶ノ賃借人タルコト論ヲ埃タサ

ルナリ故ニ船舶賃借人カ其營業ニ關シテハ第三者ニ對シテ權利ヲ得義務ヲ負
フモノニシテ船舶所有者ハ毫モ之ニ關係ヲ有セサルナリ例ヘハ賃借人カ運送
契約ヲ爲シタル場合ニ於テ積荷カ毀損シ若クハ陸揚港ニ到着セザルトキハ荷
送人ハ賃借人ニ對シテ其損害ヲ請求セザルヘカラス又積荷ノ運送賃ニ付テハ
賃借人ノミ請求權ヲ有スルモノニシテ船舶所有者ハ積荷ニ對スル損害ノ責任
ナク亦運送賃ニ付キ請求權ヲ有セザルナリ蓋シ船舶ノ賃借人カ運送契約ノ當
事者タル場合ニ於テハ賃借人カ第三者ニ對シテ船舶所有者ト同一ノ權利義務
ヲ有スルニ非スシテ到底運送契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサルヲ以テ右第一
項ノ規定ヲ設ケタルナリ然レトモ此意義ハ賃借人ハ營業上ノ取引ヨリ生スル
權利義務ノ關係ヲ有スルニ止マリテ船舶所有者ノ所有スル船舶ニ付キ毫モ權
利義務ノ關係ヲ生セスト云フニハ非サルナリ右第一項ハ獨逸商法第四百七十七
條第一項ノ解釋ト同シク賃借人ハ船舶利用團體ノ營業ノ結果トシテ生スル權
利義務ヲ有スルコトヲ指シ全然船舶所有者ノ結果トシテ見ルヘキ權利義務ヲ
有スルノ意ニ非サルモノト解釋スルヲ穩當ト爲スカ故ニ賃借人ハ船長カ船舶

讓渡ノ權限ヲ有スル場合ニ限リテハ船舶ヲ讓渡スコトヲ得ル(第五七〇條モノニシテ其他ノ場合ニ於テハ船舶所有者ノ位置ニ立チテ船舶ヲ讓渡スコトヲ得サルナリ)

又賃借人カ船舶ノ利用ニ關シテ數多ノ債權者ヲ生シ又數多ノ優先權者ヲ生スルコトアルヘシ此場合ニ於テ船舶賃借人ハ船舶ノ所有者ニ非サルカ故ニ其所有ニ非サル船舶ニ對シテハ債權者カ先取特權ヲ行フコトヲ得サルモノト爲ストキハ債權者ヨリ觀レハ船舶所有者カ自身ニ其船舶ヲ航海ノ用ニ供スル場合ト賃借人カ之ヲ利用スル場合ト毫異ナル所ナキニ彼場合ニハ船舶カ債權ノ擔保ト爲リ此場合ニハ然ラスシテ其間大ニ公平ヲ失シ又法律カ或種ノ債權者ヲ保護スルカ爲メニ先取特權ヲ與ヘタル目的ヲ達スルコトヲ得サルモノニシテ隨テ其結果航海業ノ進歩ヲ妨害スルコトアルモ知ルヘカラス而シテ船舶ヲ賃貸シタル場合ニ於テ船舶債權者カ之ニ對シテ先取特權ヲ行使スルコトヲ得ルモノトスルトキハ船舶所有者ハ之カ爲メニ大ニ迷惑ヲ被ルコトアルヘシト雖モ既ニ船舶ヲ賃貸シ營利ノ爲メニ之ヲ航海ノ用ニ供スルコトヲ許諾シタ

ル以上ハ其結果種種ノ先取特權者ヲ生シ之カ權利行使ヲ對抗セラルコトアルハ當初既ニ許諾シタル所ナリト謂ハサルヲ得ス若シ船舶所有者ニ於テ賃貸ヲ爲シタル場合ニ於テ其船舶カ先取特權ノ目的タルコトヲ欲セサルニ於テハ之ヲ賃貸セスシテ自ラ之ヲ利用スレハ可ナリ然レトモ此場合ニ於テハ固ヨリ船舶ハ先取特權ノ目的タルヘキナリ

賃借人カ船舶ヲ利用スル場合ニ於テ右ニ説キタルカ如ク其船舶ハ先取特權ノ目的タルヲ原則ト爲スト雖モ若シ先取特權者ニシテ賃借人ノ船舶ノ利用カ賃貸契約ニ背戾スルモノナルコトヲ了知セル場合ニ於テハ船舶所有者ニ對シ其權利ヲ行使スルコトヲ得サルトモ損害ヲ生スルモノト謂フコトヲ得サルヘシ此場合ニ於テ債權者ニ損害アルトモ是レ自業自得ニテ生シタルモノニシテ他ニ對シテ苦情ヲ唱フルコトヲ得ス是ヲ以テ惡意者ハ法ノ保護ヲ受クルヲ得サル原則ニ從ヒ但書ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

以上ノ規定ハ船舶ノ賃借人カ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ其船舶ヲ航海ノ用ニ供シタルトキニ限り適用セラルルモノニシテ其他ノ場合ニハ之カ適用ヲ受ケサ

ルナリ蓋シ憂ニモ説キタルカ如ク海商法ニ於ケル船舶ハ營利ノ目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スルモノ(第五三八條)タルコトヲ要スルカ故ニ此場合ニ右ノ如ク規定スルハ至當ノコトニ屬ス

第二章 船員

船員ト曰フモ海員ト曰フモ普通用フル所ノ意義ハ其間區別ナキモノノ如シト雖モ法律上ニ於テハ二者相同シキモノニ非ス船員トハ廣キ意義ニシテ船長及ヒ海員ヲ包含シテ之ヲ稱シ海員トハ船長以外ノ一切ノ乗組員ヲ謂フ船員法第二條而シテ船員ヲ船長及ヒ海員ノ二者ニ區別スルハ恰モ商業使用人ヲ分テテ支配人ト番頭其他ノ使用人ト爲スト同シク權限ノ大小ノ差異アルニ基クモノトス

本章ヲ分テテ二節トス第一節船長第二節海員是ナリ

第一節 船長

本法ハ舊商法及ヒ多數ノ立法例ト同シク船長ハ如何ナルモノニシテ如何ナル職務ヲ行フヘキヤニ付テハ別ニ定義ヲ掲ケサレトモ船長ノ何タルコトニ付テハ商慣習上自ラ一定スル所アルト本節ノ規定及ヒ船員法ノ規定アルトニ因リテ其性質ハ自ラ分明スヘキヲ以テナリ而シテ諸新法ハ此ノ如キ場合ニ多ク定義ヲ掲ケス亦其職務ノ範圍ヲ明示ササルノ主義ヲ採レリ蓋シ是レ法文ヲ以テ明カニ其何タルコトヲ示ストキハ世ノ進歩變遷ト共ニ船長ノ性質又ハ職務ニ變更ヲ生シタルトキハ其都度法文ノ改正ヲ要スルヨリ寧ロ其明文ヲ掲ケスシテ慣習ニ從フコトノ優レルニ如カサルモノト爲シタルニ依ルナリ

船長ハ或ハ船舶所有者カ之ヲ兼スルコトアリ或ハ他人ヲ之ニ選任スルコトアリ其場合ノ孰レタルヲ問ハス何人ニテモ隨意ニ船長ト爲ルコトヲ得ルモノニ非ス船舶職員法(明治二十九年四月法律第六八號)第二條ニ海技免狀ヲ有スル者ニ非サレハ船舶職員タルコトヲ得ストアリ其第五條ニ海技免狀ハ通信大臣ノ定ムル試験規定ニ依リ試験ヲ受ケ合格シ且海員名簿ニ登錄ヲ受ケタル者ニ授與ス(其二項ニ試験ヲ用キスシテ海技免狀ヲ授與スルコトヲ得ヘキ例外

規定アリトアリテ船長ト爲ルコトヲ得ル爲メニハ(獨リ船長ニ限ラス他ノ職員運轉士機關長機關士モ試験ヲ受クルコトヲ要ス)試験ヲ經又ハ例外規定アル場合ニ限リ試験ヲ受ケスシテ海技免狀ノ授與ヲ受ケタル者ナルコトヲ要スルナリ何故ニ法律ハ船長ト爲ル爲メニ右ノ如ク試験ヲ要シ又ハ法定ノ履歷ヲ要スルコトト爲シタルカ蓋シ船長ノ職務ハ莫大ノ價格ヲ有スル船舶荷物ノ運命及ヒ貴重ノ人命ヲ左右スルモノニシテ且ツ其職務ハ全ク私法關係ノ性質ヲ有スルニ非スシテ種種ノ點ニ於テ公法關係ノ性質ヲ有セリ即チ船長ハ船舶内ノ紀律ノ爲メ海員ヲ懲戒スルノ權ヲ有セリ(船員法第三六條乃至第四五條海船内ノ犯罪ニ付テハ船長ハ司法警察ノ職務ヲ行フ)刑事訴訟法第三八條海軍所屬ノ船舶内ニ於テ遺言書ヲ作ルヘキトキハ船長ハ公證人ノ職務ヲ執リ民法第一〇八〇條又航海中ニ死亡シタル者アルトキハ死亡届ニ關スル事項ヲ航海日誌ニ記載シ其謄本ヲ戸籍吏(日本ノ港ニ著シタルトキ)又ハ公使又ハ領事外國ノ港ニ著シタルトキ)ニ送付セサルヘカラサル(戸籍法第一三〇條等)是ナリ故ニ或資格ヲ有スル者ニ非サレハ船長ト爲ルコトヲ得サルモノト爲シタルナリ

船長ニ選任セラレタル者ト船舶所有者若クハ船舶賃借人トノ間ノ關係ハ契約ヨリ生スル債務關係ト代理關係トナレトモ其之ヲ生スル法律行為ハ委任ナルカ將タ雇傭ナルカ此問題ニ付テハ三様ノ解釋アリ其一ハ單ニ雇傭ノ關係ト爲スモノ其二ハ單ニ委任ノ關係ト爲スモノ其三ハ雇傭ト委任トノ兩關係アリト爲スモノ是ナリ若シ船長カ其海員ノ如ク單ニ勞務ニ服スルコトノミヲ目的トスルニ於テハ第一說ノ如ク雇傭關係タルヘク又船長カ船舶ニ關シテ勞務航海運轉ニ服スルヲ目的トセサルモノニシテ單ニ船舶所有者ヲ代表シテ業務運送契約船舶ノ需用品ノ買入等ヲ執行スル者ナルニ於テハ第二說ノ如ク委任關係ト云フコトヲ得ヘント雖モ船長ハ單ニ右號レカーヲ行フモノニ非スシテ一方ニ於テハ勞務航海運轉ニ服シ又同時ニ他ノ一方ニ於テハ船舶ノ利用ニ關シテ委任者カ委任者ヲ代表スルカ如ク船舶所有者ヲ代表シテ法律行為運送契約ノ取結船舶ノ需用品ノ買入金錢ノ借入等ヲ爲スモノナレハ予輩ハ第三說ヲ取リ船長ト船舶所有者トノ間ハ委任ト雇傭トノ二箇ノ關係ヲ併セ有スルモノトセリ

附言 船員法第七十六條ヲ以テ廢止シタル西洋形船海員雇入雇止規則明治十二年二月十九日第九號布告ニ附屬シタル海員雇入雇止事務取扱手續明治十七年三月二十一日農商務省第九號連第二條第一號ニ依ルトキハ從來右ノ規則ハ船長ヲ除キ爾餘ノ海員ノミニ適用スルニ非スシテ船長ニモ適用スヘキモノニシテ此點ニ徴スルモ從來船長ト船舶所有者トノ間ノ關係ニハ雇傭ヲモ包含スルコトヲ知ルニ足ル

船長ハ法律上種種ノ義務ヲ負ヘリ今之ヲ順次左ニ叙述セン

(一) 船長ノ職務執行ニ於ケル注意ノ義務 第五百五十八條 船長ハ其職務ヲ行フニ付キ注意ヲ怠ラナリシコトヲ證明スルニ非サレハ船舶所有者備船者荷送人其他ノ利害關係人ニ對シ損害賠償ノ責ヲ免ルコトヲ得ス船長ハ船舶所有者ノ指圖ニ從ヒタルトキト雖モ船舶所有者以外ノ者ニ對シテハ前項ニ定メタル責任ヲ免ルルコトヲ得ス舊商法第八六〇條佛商法第二二一條第二二二條獨商法第四七八條

船長ハ有給ノ代理人ニシテ且ツ委任セラレタル權限頗ル廣大ナルヲ以テ之ヲ

普通ノ代理人ニ比スレハ其責任タル更ニ一層重キヲ加ヘサルヲ得サルモノアリ是ヲ以テ舊商法ハ其第八百六十條ニ於テ船長其他ノ船舶指揮者ハ其職務ノ執行ニ當リ些少ナル過失ニ付テモ責任ヲ負ヒ云云ト規定シ佛商法第二百二十一條海船又ハ其他ノ船ノ指揮ヲ任セラレタル各船長船頭又ハ指揮者ハ其職務ノ執行ニ付キ縱令輕少ノ過失ト雖モ之カ責任ヲ負ヒト殆ト其趣旨ヲ同シウセリ然レトモ船長ニ些少ノ過失ニ付テモ常ニ其責任ヲ負ハシムルモノトスルトキハ相當ノ注意ヲ用ヒタル場合ト雖モ多クハ些少ノ過失アリトシテ其責任ヲ免ルルコト能ハサルカ爲メニ殆ト如何ナル場合ニモ責任ヲ負擔スルニ至ルヘシ故ニ此ノ如ク過酷ノ責任ヲ負擔セシメスシテ他ノ方面ヨリ十分ニ此趣旨ヲ實行シ得ラルヘキ方法ヲ取リ新法ハ船長カ其職務ヲ行フニ付キ他ニ對シテ損害ヲ生シタルトキ注意ヲ怠ラサルコトヲ證明スルニ非サレハ之カ責任ヲ免ルルコトヲ得サルモノト爲セリ

此規定ハ舉證ニ關スル一般ノ原則ノ例外タルナリ一般ノ原則ニ從ハハ他人ノ過失ニ因リテ損害ヲ受ケタル者カ其賠償ヲ請求スルニハ他人ニ過失アルコト

ヲ證明セサルヘカラサルナリ然ルニ船長カ他人ニ對シテ其過失ニ因リテ損害ヲ生シタルトキハ他人ハ之カ證明ヲ爲スヲ要セス此場合ニ於テハ常ニ船長ニ過失アルモノト推定セラレ請求ヲ受クル船長自身ヨリ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明セサルトキハ過失アルモノト看做サルモノニシテ其舉證ノ責任ハ全ク普通ノ場合ト異ナルナリ法律カ舉證ニ付テ船長ニ對シテ此例外規定ヲ設ケタルハ蓋シ船長ハ既ニ說ケルカ如ク其權限極メテ廣大ナルト船長カ注意ヲ怠リタル場合ニ於テハ他ノ普通ノ場合ト異ナリ船長カ所有者其他利害關係人ヨリ其證明ヲ爲スヲ得サルコト多キトニ因ルナリ

舊商法及ヒ佛商法ニハ船長其他ノ指揮者トアルニ本法ニハ單ニ船長トノミアリテ他ノ指揮者ヲ掲ケサルヲ以テ本法ニ於テハ他ノ指揮者ハ船長ノ如キ責任ヲ有セサルモノノ如シト雖モ法文ニ之ヲ明言セサルニ拘ラス他ノ海員モ咸場合ニ於テハ船長ト同一ノ責任ヲ負フコトアリ船長カ船内ニ在リテ其職務ヲ執ルトキハ他ノ海員ハ船長ノ如キ責任ヲ負フコトナシト雖モ船長カ死亡セタルトキ船長ヲ去リタルトキ又ハ之ヲ指揮スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テ

他人ヲ選任セサルトキハ船員法第二十五條ノ規定ニ依リテ選任ニ從事スル海員ハ其職掌ノ順位ニ從ヒテ船長ノ職務ヲ行ハサルヘカラサルヲ以テ海員カ船長ノ職務ヲ行フ間ニ於テハ船長ト同一ノ責任ヲ負フヘキナリ茲ニ所謂職掌ノ順位トハ明治二十九年四月法律第六十八號船舶職員法ニ規定シタル順位ヲ指スナリ

船長カ其過失ニ因リテ責任ヲ負フハ當ニ船舶所有者ニ對シテノミ然ルニアラス總テ之カ爲メニ損害ヲ受ケタル者即チ傭船者船舶貸借人荷送人荷受人旅客等ニ對シテモ亦然リ尙ホ又此他ノ者ニ對シテモ責任ヲ負フコトアリ例ヘハ船長ノ過失ニ因リテ船舶ノ衝突シタル場合ニ於テ之カ爲メニ損害ヲ受ケタル船舶所有者其他ノ利害關係人ハ過失ヲ爲シタル船長ノ乘込ナル船舶ノ所有者ニ對シテ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得レトモ之カ爲メニ過失ヲ爲シタル船長カ其責任ヲ免ルルヘキモノニ非ス故ニ此場合ニ於テハ船長カ損害ヲ受ケタル者ニ對シテ賠償ノ責任アルヲ論テ疑タサルナリ而シテ船長カ此重大ナル責任ヲ負フハ其職務ヲ行フニ當リ過失アル場合ニ限ルモノニシテ例ヘハ船長カ關

税規則其他ノ規則ヲ犯シ以テ船舶積荷ノ沒收其他ノ罰ヲ受クルニ至ラシメタルカ如キ場合怯懦怠慢ヨリ船舶ノ進行ヲ止メテ碇泊シ或ハ故オク迂路ヲ取リ或ハ私事ヲ辨スルカ爲メニ寄港シタル場合其指揮ノ宜キヲ得サルカ爲メ積荷ニ毀損ヲ生シタルカ如キ場合ニ於テ損害ノ生シタルトキハ其注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルコト能ハサルトキハ船長ハ之カ責任ニ當ラサルヘカラス然レトモ船長ノ職務ヲ行フ場合ニ非シテ他ニ損害ヲ生シタルトキハ是レ普通ノ原則ニ從フヘキモノニシテ法律カ特ニ茲ニ規定セタルモノノ適用ヲ受タルモノニハ非サルナリ

長船ハ時トシテハ船舶所有者ノ指圖ヲ受ケテ職務ヲ行フコトアリ例ヘハ船長ハ船舶所有者ノ指圖ニ依リテ密輸出入ヲ爲シ之カ爲メニ船舶積荷共ニ差押ヘラレ若クハ沒收セラレタルトキハ船長ハ船舶所有者ニ對シテハ責任ヲ負フコトナシト雖モ荷主ニ對シテハ右ノ規定ニ依リ固ヨリ其責任ヲ免ルルコト能ハサルナリ蓋シ船長ハ船員トシテ其職業ノ鑑識人タルヲ以テ當ニ遵守スヘキ職務上ノ例規ヲ遵守セサルヘカラサルモノニシテ縱令船舶所有者ノ指圖アリタリ

ト雖モ仍ホ自己ノ信スル所ニ從ヒ其職務ヲ執行スルコトヲ得ヘキカ故ニ船舶所有者以外ノ者ニ對シテハ其職務ヲ行フニ付キ十分ノ注意ヲ盡シタルコトヲ證明スルニ非サレハ其責任ヲ免ルルコトヲ得サルモノトセリ

(二)海員監督ノ義務——第五百五十九條 海員カ其職務ヲ行フニ當タリ他人ニ損害ヲ加ヘタル場合ニ於テ船長ハ監督ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非サレハ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

船長自身カ其職務ヲ行フニ付キ他ニ損害ヲ起シタルトキハ之ヲ賠償スヘキコトハ前條ニ規定スレトモ海員カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ損害ヲ加ヘタル場合ニ於ケル船長ノ責任ハ前條ニ規定シタル責任中ニ包含スト云フヲ得ス且ツ外國ニ於テモ此場合ニ於ケル船長ノ責任如何ハ疑問ヲ生スル所ニシテ此ノ如キ重要ナル事項ニ付キ後日ノ疑義ヲ生セザラシメンカ爲メニ特ニ本條ヲ設ケタルナリ而シテ此場合ニ於テ他人ニ損害ヲ加ヘタル海員カ損害ヲ受ケタル者ニ對シテ之カ賠償ノ責任アルハ論ヲ俟タサレトモ海員ハ一般ニ資力ノ少キ者ナレハ損害ヲ受ケタル者ハ船長ニ對シテ其賠償ヲ請求スルヲ以テ利益アリト

「今や法律カ此場合ニ於テ船長ニ責任アリト規定シタル所以ヲ尋繹スルニ船長ハ船舶ニ在リテハ其海員ヲ指揮監督スルモノナレハ」(船員法第一三條)「船長ハ海員ヲ指揮監督シ及ヒ船中ニ在ル者ニ對シ其職務ヲ行フニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得トアリ」海員カ職務ヲ行フニ當リ他人ニ對シ損害ヲ加ヘタルトキハ先ツ之ヲ船長ノ監督宜キヲ得サルニ出ツルモノト見ルヲ至當トスルニ由ルナリ然レトモ船長カ十分ノ注意監督ヲ爲シタルニ拘ラス海員カ他人ニ損害ヲ加フルコトナシトセス此場合ニ於テハ船長ニハ責任アラサレトモ船長ハ監督ヲ怠ラサリシコトヲ證明セサルヘカラサルナリ此規定ハ民法第七百十五條ニ規定スル或事業ノ爲メニ他人ヲ使用スル者ハ被用者カ其事業ノ執行ニ付キ第三者ニ損害ヲ加ヘタルトキ之カ賠償ノ責任ヲ負ヒ使用者カ其事業ノ監督ニ付キ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證スル場合使用者ニ代リテ事業ヲ監督スル者亦同シニ於テ其責任ナキト同一ノ規定ナリ

(三) 代員選任ニ付テノ責任 第五百六十條 船長カ已ムコトヲ得サル事由ニ因リテ自ラ船舶ヲ指揮スルコト能ハサルトキハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク

外人ヲ選任セテ自己ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得此場合ニ於テハ船長ハ其選任ニ付キ船舶所有者ニ對シテ其責任ニ任ス(獨商法第四八三條第二項)

蓋シ船長ノ選任ハ船舶所有者ニ於テ之ヲ爲スヲ本則トス然レトモ船舶カ遠洋ニ航海セル場合ノ如キ船舶所有者ニ於テ自ラ之カ選任ヲ爲ス能ハサルコトアリ亦現任船長モ疾病其他ノ事故ニ因リ已ムヲ得シテ自ラ船舶ノ指揮ヲ爲ス能ハサルコトアリ此等ノ場合ニ在リテハ船長ハ法令ノ規定ニ從ヒ自己ニ代リテ其職務ヲ行フ資格アル者船舶職員法第二條海技免狀ヲ有スル者ニ非サレバ船舶職員タルコトヲ得ス又法令カ他ノ者ヲ選任スルコトヲ許シタル場合ニ於テハ他ノ者ヲ選任シテ職務ヲ行ハシムルコトヲ得ト爲タリ然レトモ船長カ已ムヲ得ストテ自ラ職務ヲ行フコトヲ得サルニ當リ代人ノ監督ニ至ルマテ其責任ヲ負ハサルヘカラサルモノトスルトキハ甚タ酷ニ失スルノ嫌アルカ故ニ獨リ其選任ニ付テノミ責任アリト爲シタルナリ而シテ本條ノ規定カ代理ニ關スル民法第四百條及ヒ第五百條ト重複セサル所以ハ船長ノ職務ハ機ニモ説キタルカ如ク管ニ法律行爲ノ代理ノミナラス亦雇傭契約ヨリ生スル義務履行ノ

行爲多キヲ占メ雇傭ニ付テハ民法第六百二十五條第二項ノ規定勞務者カ使用
者ノ承諾ナクシテ第三者ヲシテ勞務ニ服セシメタルトキハ使用者ハ契約ノ解
除ヲ爲スコトヲ得アルカ故ニ之ニ對シテ特別規定ヲ必要トシタルカ故ナリ
又船長ヨリ選任セラレタル船長ノ責任ハ民法第七條第二項ノ規定復代理人
ハ本人及ヒ第三者ニ對シテ代理人ト同一ノ權利義務ヲ有スニ從ヒ本章ノ規定
ニ依リ船舶所有者ヨリ直接ニ選任セラレタル船長ト同一ノ權利義務ヲ有スル
ハ論ヲ埃タサルナリ

(四)航海ノ準備ヲ爲スノ義務——第五百六十一條 船長ハ發航前船舶ノ航海ニ支
障ナキヤ否ヤ其他航海ニ必要ナル準備ノ整頓セルヤ否ヤヲ検査スルコトヲ要
ス(舊商法第八六二條佛商法第三九七條獨商法第四八條第四八一條)

航海ハ積荷ノ運命及ヒ乗組員及ヒ旅客ノ生命ニ關スルモノナルカ故ニ危險ナ
ク航海セシメンカ爲メニ法律ハ船長ニ發航前船舶カ航海ヲ爲スニ差支ナキヤ
否ヤ其他航海ニ必要ナル準備ノ整頓セルヤ否ヤヲ検査セシムルコトヲ爲シタ
リ故ニ例ヘハ船舶カ修繕ヲ要スヘキモノナルトキハ之カ修繕ヲ爲サシメタル

上發航セサルヘカラス 船員カ不完全ナルトキハ之ヲ完全ニセサルヘカラス 乗
組員ニ不足アルトキハ之ヲ補充セサルヘカラス 又乗組員並ニ旅客ニ要スル糧
食ハ十分ニ積込マサルヘカラス 積荷積載ノ方法宜キヲ得ルヤ否ヤノ如キモ檢
査セサルヘカラス 若シ船長カ此等義務ヲ怠リテ發航シタルカ爲メニ損害ヲ生
シタルトキハ之ニ對スル責任ヲ負擔セサルヘカララルナリ
(五)船中ニ特定ノ書類ヲ備ヘ置ク義務——第五百六十二條 船長ハ左ニ掲ケタル
書類ヲ船中ニ備ヘ置クコトヲ要ス

一 船舶國籍證書

二 海員名簿

三 屬具目錄

四 航海日誌

五 旅客名簿

六 運送契約及ヒ積荷ニ關スル書類

七 税關ヨリ交付シタル書類

前項第三號乃至第五號ニ掲ケタル書類ハ外國ニ航行セサル船舶ニ限り命令ヲ以テ之ヲ備フルコトヲ要セサルモノト定ムルコトヲ得舊商法第八六四條佛商法第二二六條獨舊商法第四八〇條

以上列記シタルモノノ中船舶國籍證書ハ船舶カ何國ニ屬スルモノナルヤヲ證明スルモノニシテ船舶ノ爲メニハ曩ニ其國籍證書ニ付キ叙述シタルカ如ク必要缺クヘカラサルモノナリ船中ニ備ヘ置クヘキ海員名簿ハ其船舶ノ乗組員ヲ記載シタル名簿ナリ而シテ此名簿ハ船舶職員法第五條ニ在ル海員名簿トハ同シカラサルナリ同法ノ海員名簿トハ管海官廳ニ備ヘアルモノニシテ職員タル登録ヲ受クル所ノ名簿ナリ屬具目錄ヲ備ヘ置クヘキ必要ハ第五百三十九條ニ「船舶ノ屬具目錄ニ記載シタル物ハ其從物ト推定ス」ト規定シ法律カ如何ナル物カ從物ナルカラ定メスシテ之ヲ屬具目錄ニ記載シタル物ト爲シタル結果從物ハ主タル船舶ト運命ヲ共ニスヘキモノナレハ其運命ヲ共ニスヘキ物ノ如何ナルモノニシテ何程ナルヤヲ明カニスルカ爲メナリ航海日誌ハ船舶ノ爲メニハ必要ノモノナレハ諸國ノ法律皆規定スル所ナリ佛商法第二二四條獨舊商法第

四八六條第四八七條而シテ新商法ハ航海日誌ニ關スル規定ハ私法上ノ權利義務ニ全ク牽連セサルニ非スト雖モ是レ主トシテ船員ノ取締ニ關スルヲ以テ行政法ノ規定ニ讓ルコトト爲シ舊商法第八六五條ノ如ク其掲記スヘキ事項ヲ定メサレトモ船舶海員旅客及ヒ積荷航海ニ關スル緊要ノ事項ハ記載セサルヘカラス

第三號乃至第五號ニ掲ケタル書類ハ外國ニ航行セサル船舶ニ付テハ必スシモ其要ヲ成セサルカ故ニ之ヲ備フルコトヲ要セサル場合ヲ定ムル自由ヲ命令ニ與ヘ以テ實際ノ便宜ニ應セシムルモノト爲シタリ
本條ニ列記スルモノノ外戰時ノ航海旅券或ハ船舶ノ向ヒ航スル國ノ法律ニ從ヒ必要ナル檢疫證書ノ如キ特別ノ書類ヲ必要トスルトキハ是レ亦船中ニ備ヘ置カサルヘカラス而シテ本條ノ規定ヲ遵守スルハ管ニ行政取締上ノ秩序ノ爲メニ必要ナルニ止マラス海上及ヒ外國ニ於ケル船舶及ヒ積荷ノ權利上ノ安全ニ關シテモ亦然リトス何トナレハ法定ノ書類ヲ有セサル船舶ハ差押ニ遭ヒ其航行ヲ續クルコト能ハサル等幾多ノ困難ヲ被レハナリ

(六)乗船ノ義務 第五百六十三條 船長ハ已ムコトヲ得ナル場合ヲ除ク外自己ニ代ハリテ船舶ヲ指揮スヘキ者ニ其職務ヲ委任シタル後ニ非サレハ荷物ノ船積及ヒ旅客ノ乗込ノ時ヨリ荷物ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸ノ時マテ其指揮スル船舶ヲ去ルコトヲ得ス(舊商法第八六條前段佛商法第二二七條獨商法第四八四條)舊商法ニ於テハ船長ハ航海ノ始ヨリ終ニ至ルマテ自ラ船中ニ在ルコトヲ要ス爲セリ是レ船舶カ港内ニ在ル間ハ嚴シク之ヲ論スルコトヲ要セサレトモ船舶及ヒ積荷ニ關スル海難ハ多ク航海中ニ生スルモノナレハ天變常ナキ航海中ニ於テハ其能ニ堪フル指揮者ノ注意慎重ヲ必要トスルカ故ニ航海中ニ在リテハ代人ヲ立テテ擅ニ船長カ其船舶ヲ去ルコトヲ許ササルモノト爲セシナリ然レトモ此ノ如クナルトキハ船舶カ運轉ヲ始メテヨリ其之ヲ止ムルニ至ル間ニ限り船長ハ船舶ヲ去ルコトヲ得サルニ過キスシテ荷物ノ船積及ヒ陸揚旅客ノ乗込及ヒ上陸等ニ付テハ毫モ顧ミサルニ至ルヘシ又佛商法第二百二十七條ニ於テハ船長ハ船舶カ河港出入ノ時ノミ之ヲ離ルルコトヲ許サスト爲セリ其理由トスル所ハ蓋シ船舶ハ港ノ出入ノ際最モ船長ノ在船及ヒ指揮ヲ必要トシ

且ツ遠洋ニ在リテハ船舶ヲ離ルルコト難キヲ常トスルニ在リ然レトモ船舶ノ陸地ニ近カントスルニ當リテハ私事ヲ辨センカ爲メニ端舟ニ乗リテ上陸シ航行ノ困難ヲ顧ミス運轉士ヲ以テ指揮セシムルノ豫メシトセサレトモ此ノ如キハ職務上ノ大過失ナレハ禁セサルヘカラス又獨商法第四百八十四條ニ依レハ船長ハ荷物ノ船積ヨリ其陸揚ヲ終ルマテ船舶ヲ去ルコト能ハストアリテ旅客ノ乗込及ヒ其上陸ニ付テハ一言ノ規定アラサルナリ故ニ荷物ノ陸揚ヲ終レハ旅客未タ上陸セサル時ニ於テモ船長ハ船舶ヲ離ルルコトヲ得ルニ至ルヘシ本法ハ右就レノ立法例ヲモ其儘採用セスシテ船長ハ荷物ノ船積及ヒ旅客ノ乗込ノ時ヨリ荷物ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸ノ時マテ其指揮スル船舶ヲ去ルコトヲ得サルモノト爲セリ蓋シ荷物ノ船積及ヒ旅客ノ乗込ノ方法ハ大ニ航海ノ安否ニ關スルカ故ニ其際船長ハ船中ニ在リテ之ヲ監視セサルヘカラス又荷物ノ陸揚ハ之ヲ粗略ニ爲ストキハ荷主ニ對シテ損害ヲ生シ旅客ノ上陸ノ方法如何ハ是レ亦其安否ニ關スルコトアルヲ以テ船中ニ在リテ監視セサルヘカラス然レトモ船長ハ已ムヲ得サル事由アル場合ト雖モ此原則ニ從ハサルヘカラサルモ

ノト爲ストキハ甚タ酷ニ失スルヲ以テ本法ハ例外ヲ設ケ已ムコトヲ得サル場
合ニ於テハ船長ハ船舶ヲ指揮スヘキ相當ノ代員ヲ立テ船舶ヲ離ルルコトヲ
得ルモノト爲セリ而シテ此場合ニ於テ代員ノ過失ニ因リテ損害ノ生シタルト
キハ船長ハ其責任ヲ免カルルコトヲ得ス何トナレハ船長ハ自己ノ指揮スル船
舶ヲ去リタルカ爲メ監督ヲ怠ルニ至リタルモノナレハナリ
茲ニ注意スヘキコトアリ此場合ト第五百六十條ノ場合ト混淆スヘカラサルコ
ト是ナリ此場合ハ一時船長カ船舶ヲ去ルニ止マルカ故ニ其代員ハ船長ノ代理
人トシテ船舶ヲ指揮スレトモ第五百六十條ノ場合ハ船長ヨリ選任セラレタル
者ハ船長ノ位置ニ代リタル者ニシテ船舶所有者ノ直接ノ代理人タルナリ故ニ
船長ハ第五百六十條ノ場合ニ於テハ其代員ノ行爲ヨリ損害ヲ生シタルトキハ
唯其選任ヲ誤リタルヨリ生シタルモノニ付テ船舶所有者ニ對シテ責任ヲ負フ
ニ過キスト雖モ本條ノ場合ニ於テハ代員ハ船長ヨリ委任ヲ受ケ一時之ニ代リ
タルモノナレハ其代員ノ行爲ヨリ生シタルモノニ付テハ總テ之カ責任ヲ負ハ
サルヘカラス

(七)航海ノ準備結了シタルトキハ遲滞ナク發航スルノ義務及ヒ豫定ノ航路ヲ變
更セサルノ義務第五百六十四條 船長ハ航海ノ準備カ終ハリタルトキハ遲
滞ナク發航ヲ爲シ且必要アル場合ヲ除外豫定ノ航路ヲ變更セスシテ到達
港マテ航行スルコトヲ要ス舊商法第八六六條後段佛商法第二三八條獨商法第
四八三條

荷物ヲ積積シ其他航海ノ準備ノ終リタルニ拘ラス船長カ已ムヲ得サルニ非ス
シテ發航ヲ遲延スルトキハ縱令定期航海ヲ爲ス場合ニ非サルトモ船舶所有者
旅客及ヒ積荷ノ利害關係人ノ利害ニ關係ヲ及ホスコト尠ナラサルヲ以テ法
律ハ發航ノ準備カ整ヒタルトキハ遲滞ナク發航スヘキモノト爲セリ而シテ此
等ノ者ハ當ニ船舶ノ發航ノ遲延シタル場合ニノミ利害關係ヲ有スルニ非スシ
テ船長カ故ナク寄港シ若クハ豫定ノ航路ヲ變更シタルカ爲メニ航行ノ遲延シ
タル場合ニ於テモ同シク利害關係ヲ有スルヲ以テ船長ハ豫定ノ航路ヲ變更セ
スシテ到達港マテ航行スルコトヲ要スルモノト爲セリ然レトモ是レ普通ノ場
合ニ關スルモノニシテ航海ノ途中ニ於テ船舶ノ修繕ヲ要スルニ至リ又ハ天候

險惡ト爲リタルカ若クハ爲ルヘキ兆候アルトキ寄港シ又ハ豫定ノ航路ヲ變更
スルカ如キハ已ムヲ得サルニ出ツルモノナレハ之カ爲メニ航海カ遅延スル
モ利害關係人ハ毫モ苦情ヲ唱フルコトヲ得サルナリ
(八)積荷處分ノ義務 第五百六十五條 船長ハ航海中最モ利害關係人ノ利益ニ
適スヘキ方法ニ依リテ積荷ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス利害關係人ハ船長ノ行爲
ニ因リ其積荷ニ付テ生シタル債權ノ爲メ之ヲ債權者ニ委付シテ其實ヲ免ル
コトヲ得但利害關係人ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

此規定ハ一方ニ於テハ船長ノ義務ナレトモ他ノ一方ニ於テハ船長カ積荷ヲ處
分スルコトヲ得ヘキ權利ナリ蓋シ積荷ノ利害關係人ハ多クハ積荷ト共ニ船中
ニ在ラサルカ故ニ積荷ニ對シテ急ニ處分ヲ爲スヘキ必要ノ生シタル場合ニ於
テ船長ヲシテ之ヲ處分セシメサレハ積荷ノ利害關係人ハ自ラ之ヲ處分スルコ
ト能ハスシテ不利益ヲ見ルヘシ例ヘハ航海ノ遲延或ハ天候ノ變化ニ因リテ積
荷ノ腐敗スル虞アルトキ或ハ積荷カ陸揚港ニ於テ俄然輸入禁止ト爲リ此場合
ニ於テ船舶所有者ハ第六一四條ニ從ヒ運送契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルハ

勿論ナリ之ヲ船積港マテ送戻ストキハ却テ荷主ノ爲メ損失ヲ生スルカ如キトキ
ハ船長ハ最モ積荷ノ利害關係人ノ利益ニ適スル方法ニ依リテ積荷ヲ處分スル
コトヲ得又之ヲ處分セサルヘカラス右ノ如キ場合ニ於テハ例ヘハ之ヲ賣却シ
或ハ陸揚シ或ハ他ノ近キ港ニ於テ賣却若クハ陸揚シ或ハ之ヲ船積港ヘ積戻ス
等ノ處分ヲ爲ササルヘカラス若シ適當ノ處分ヲ爲ササルトキハ是レ其義務違
背ナルヲ以テ之カ爲メニ積荷ノ利害關係人ニ損害ヲ生シタルトキハ之ヲ賠償
セサルヘカラス

法律ハ以上ノ如ク船長ニ積荷ヲ處分スルコトノ權限ヲ付與シタルカ故ニ船長
カ其權限内ニ於テ爲シタル處分ヨリ債權ノ生シタルトキハ其利害關係人ハ之
ニ對シテ責任ヲ負ハサルヘカラス是レ恰モ船長ノ法定ノ權限内ニ於テ爲シタ
ル所爲ニ付キ債權ノ生シタルトキ船舶所有者カ之ニ對シテ責任ヲ負フト一般
ナリ(第五四條)而レテ此場合ハ民法ノ原則ニ從フトキハ船長カ積荷ノ利害關
係人ノ代理人トシテ正當ニ爲シタル行爲ニ基クモノナレハ積荷ノ利害關係人
ハ之カ全責任ヲ負フコトヲ要スルモノト謂ハサルヘカラス然レトモ此ノ如ク

スルトキハ積荷ノ利害關係人ハ自己ノ積荷ヲ以テ其責任ニ當リタル外不足セ
ルモノニ付テハ尙ホ自己ノ財産ヲ以テ責任ヲ盡ササルヘカヲナルニ至リ積荷
ノ利害關係人ニ對シテ賠ニ失シ海上商業ノ進歩ヲ妨クルニ至ル是ヲ以テ船舶
所有者カ船長ノ法定ノ權限内ニ於テ爲シタル行爲ヨリ生シタル債權ニ對シ船
舶並ニ運送貨等ヲ委付シテ其責任ヲ免ルルコトヲ得ルト同シク其積荷ヲ債權
者ニ委付シテ其責任ヲ免ルルコトヲ得ルコト爲シタリ
然レトモ船長カ其積荷ノ利害關係人ノ過失アリタルカ爲メニ積荷ノ處分ヲ爲
ササルヘカヲサルニ至リタルモノナルトキハ法律カ特ニ與ヘタル右委付權ハ
之ヲ積荷ノ利害關係人ニ付與セサルナリ例ヘハ荷主カ物品ヲ僞リテ船積シタ
ル後實際船積セル荷物カ到達港ニ於テ賣却セラレスシテ船積港マテ送り返ヘ
シタルトキ其運送貨及ヒ費用カ積荷ノ價額ヨリ超過スルトモ積荷ノ所有者ハ
總テ之ヲ支拂ハサルヘカラス何トナレハ法律ハ過失ヲ保護セサルヲ常トスレ
ハナリ

(九)航海ニ關スル重要事項ヲ報告スルノ義務及ヒ計算ノ義務——第五百七十三條

船長ハ運延ナク航海ニ關スル重要ナル事項ヲ船舶所有者ニ報告スルコトヲ要
ス船長ハ每航海ノ終ニ於テ運滞ナク其航海ニ關スル計算ヲ爲シテ船舶所有者
ノ承認ヲ求メ又船舶所有者ノ請求アルトキハ何時ニテモ計算ノ報告ヲ爲スコ
トヲ要ス(舊商法第八七三條(獨舊商法第五〇三條))

船長ハ船舶所有者ノ代理人トシテ船籍港外ニ在リテハ重大ナル權限ヲ有シ(第
五六條第五六八條)航海ニ關スル事務ヲ處理スルモノナルカ故ニ航海ニ關ス
ル重要ナル事項例ヘハ船舶ノ狀況航海中ニ生シタル事故取結ヒタル契約船舶
ノ修繕等ヲ船舶所有者ニ報告セサルヘカラス而シテ舊商法ニ於テ此報告ヲ爲
スヘキ時期ヲ航海ヲ始ムル際航海ヲ終リタル後及ヒ船舶所有者ヨリ請求アリ
タル時ニ分テ船長ニ此報告義務ヲ負ハシメタリト雖モ本法ニ於テハ第五百
六十六條ニ規定スルカ如ク船籍港ニ於テハ船長ハ航海ノ爲メニ必要ナル裁判
上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有セサルヲ常トスルカ故ニ航海ノ始ニ於テ
ハ概シテ報告スヘキ事項ナキヲ以テ航海ノ始ニハ此義務ヲ負ハシメサルナリ
又舊商法ニハ航海ヲ終リタル後トアルカ故ニ若シ航海中ニ中間ノ港ニ入りタ

ルトキハ船長ハ報告ノ義務ナキコト爲レトモ此ノ如キ場合ニ在リテハ報告ヲ爲スヘキ重要ナル事項決シテ動シトセサルヘシ是ヲ以テ舊商法ノ如ク報告ノ時期ヲ一定スルハ實際ノ必要ニ應セサルヲ以テ本法ニハ船長ヲシテ報告ヲ爲スヘキ必要アル場合ニハ運滞ナク航海ニ關スル重要ナル事項ヲ報告セシムルコト爲シタル所以ナリ而シテ船舶所有者ハ此報告ニ依リテ航海ニ關スル事務ノ狀況ヲ知り當ニ其心ヲ安スルノミナラス又適當ノ指揮命令ヲ與フヘキ場合動シトセサルハ船長ニ此報告ノ義務ヲ負ハシムルハ至當ノ規定ト謂フヘキナリ

又航海ニ關スル計算ノ報告ニ付テモ同一理由ニ基キ航海ノ終リタルトキハ運滞ナク其報告ヲ爲ササルヘカラス何トナレハ船舶ニ付テハ多クハ期間ヲ以テ其損益ヲ計算セシテ航海毎ニ計算スルヲ通例ナルヲ以テナリ又船舶所有者ノ請求アルトキハ何時ニテモ計算ノ報告ヲ爲ササルヘカラス而シテ航海ノ終ラサル前ニ於テハ單ニ金銭出納ノ狀況ヲ報告スルニ止マレトモ航海ノ終ニ於テ爲ス計算ニ付テハ船舶所有者ノ承認ヲ求ムルモノトス

以上ハ船長カ法律上負フ所ノ義務ナリ

○船長ノ權限 第五百六十六條 船籍港外ニ於テハ船長ハ航海ノ爲メニ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス船籍港ニ於テハ船長ハ特ニ委任ヲ受ケタル場合ヲ除ク外海員ノ雇入及ヒ雇止ヲ爲ス權限ノミヲ有ス(舊商法第八六三條佛商法第二二三條第二二三條獨舊商法第四九五條第四九六條)

船長ハ前ニ列舉シタル義務及ヒ其他ニ規定シタル至重ノ義務ヲ盡ス爲メニハ之ニ伴フヘキ相當ノ權限ヲ有セサルヘカラス而シテ船長ノ權限ハ各國ノ立法同一ナラス佛法系ノ商法ニ於テハ船舶所有者ノ居住ノ地ト否トニ依リテ之ヲ區別シ其居住ノ地ニ在リテハ船長ハ船舶所有者ノ承諾ナクハ總テ行爲ヲ爲スノ權限ナシ獨商法ニ於テハ船長カ船籍港ニ在ルト否トニ付キ區別ヲ爲セリ英法ニ於テハ行爲ノ種類ニ依リテ區別シ或通常ノ行爲ハ船長ハ船舶所有者ト同所ニ居ルト否トヲ問ハス其承諾ナク之ヲ爲スコトヲ得ルモノト爲シ或重要ナル行爲ハ必ス其承諾ヲ要スルモノト爲セリ我舊商法ニ於テハ船長ハ船籍

港ノ内外ヲ問ハス原則トシテ海員ノ雇入乗組員ノ編成船舶ノ修繕艤裝及ヒ運送契約ヲ取結フコト等ノ權限ヲ有スレトモ此等ノ行爲ヲ爲スニハ船舶所有者又ハ其代人ノ指揮ニ從フコトヲ要スト爲シタルカ故ニ船長ハ船舶所有者ノ指揮ナキトキハ其船舶及ヒ航海ニ關スル事項ハ之ヲ獨斷ニテ處分スルコトヲ得ヘシ然レトモ船舶所有者ノ指揮アルトキハ總テ之ニ從ハサルヘカラサルナリ而シテ右ノ佛法ノ如クスルトキハ船舶所有者ノ居住ノ地ハ常ニ變動シ易ク且ツ第三者ハ之ヲ知ルコト頗ル難キカ故ニ船舶所有者ノ居住ノ地タルト否トニ依リテ區別ヲ爲スハ不可ナリ又英法ノ如ク行爲ノ種類ニ依リテ區別スルコトト爲ストキハ或場合ニ於テ行爲カ孰レニ屬スルカラ區別シ難キコトアルノミナラス重要ナル行爲ハ必ス船舶所有者ノ承諾ヲ得サルヘカラストセハ不便ニ堪ヘサルコト多カルヘシ我舊商法ノ如ク總テノ行爲ニ付キ船長カ船舶所有者ノ指揮アリタルトキハ之ニ從フコトヲ要スルモノト爲ストキハ第三者ハ船舶所有者ノ指揮アリタルヲ知ル能ハサルコトアリ故ニ新法ハ此等ノ立法例ヲ採用セスシテ獨法ニ模倣シ船舶港ノ内外ニ依リテ區別ヲ爲シ船長ハ船舶港外ニ於

テハ航海ノ爲メ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有シ船舶港内ニ於テハ海員ノ雇入及ヒ雇止ヲ爲ス權限ヲ有スルニ止マリ其他ノ行爲ニ付テハ船舶所有者ヨリ特ニ委任ヲ受ケサルヘカラサルモノト爲セリ而シテ此ノ如ク船長ノ權限ヲ船舶港ノ内外ニ依リテ區別スルトキハ船舶港ハ一定シテ容易ニ變動セス第三者ハ能ク之ヲ知ルヘク船舶所有者カ會社タル場合ニ於テハ船舶港ニハ多クハ本店若クハ支店ヲ有スヘケレハ此區別ハ最モ實際ニ適セルカ故ニ新法ハ此主義ヲ採用シタルナリ

船舶港内ニ於テハ船舶所有者若クハ其代人在リテ航海ニ關スル事ヲ辨スヘク若シ船舶所有者在ラサルトモ事ヲ辨スルニ足ル模様メ計リアルコト多ク而シテ豫メ其計畫ナキトキハ船長カ行爲ヲ爲ス毎ニ特ニ船舶所有者ノ委任ヲ受ケルトモ左程甚シキ不都合ヲ見ルコトアラサルナリ是ヲ以テ船舶港内ニ於テハ船長ニ重大ナル權限ヲ與ヘ之ニ行爲ヲ爲サシムヘキ必要アラサレトモ海員ノ雇入及ヒ雇止ニ付テハ法律ハ特ニ之ヲ船長ノ權限ト爲セリ是レ他ナシ海員ヲ選擇シ又ハ之ヲ解僱スルハ船長ノ最モ熟達スル所ナレハ之ニ其權限ヲ委スル

ハ最モ便宜多ク且ツ海員ハ總テ船長ノ指揮監督ノ下ニ在ルヘキ者船員法第一
三條ニシテ其不法行為ニ付テハ船長カ責任ヲ負フヘキコトアル(第五九條)ニ
船船所有者者カ隨意ニ不適當又ハ不品行ナル海員ヲ雇入レ又ハ適當ナル者ノ備
ヲ解クモ船長ハ之ヲ如何トモスルコト能ハスシテ仍ホ忍ビテ指揮監督セサル
ヘカラサルモノトスルハ甚タ其當ヲ得サレハナリ
船籍港外ニ於テハ船船所有者ノ在ラサルヲ常トスルカ故ニ船船所有者ハ自ラ
航海ノ爲メニ必要ナル行為ヲ爲スコト能ハサレハ船長ヲシテ之カ權限ヲ有セ
シムルヲ便宜ナリトス汽車電信ノ如キ迅速ナル交通機關アル今日ニ在リテハ
或ハ船船所有者ヨリ此機關ニ依リテ一指揮ヲ爲スヲ以テ足レリトスルモノノ
如シト雖モ場所ニ依リテハ電信ノ設ケナキ所モアレハ船籍港外ニ於テハ船船
所有者ノ指揮ヲ待ツコトト爲スハ一般ニ不便ナリ若シ船長カ一船船所有者
ノ指揮ヲ待ツモノト爲ストキハ敏活ヲ主トスル航海ノ目的ハ到底達スルコト
能ハサルヘシ故ニ船籍港外ニ於テハ航海ノ爲メニ必要ナル一切ノ行為ヲ爲ス
權限ヲ船長ニ與ヘタルナリ例ヘハ船船ノ艤裝、乘組員ノ編成、船船ノ修繕糧食ノ

準備及ヒ運送契約ノ締結等ニ關スル一切ノ法律行為爲換言スレハ航海ノ目的ヲ
達スル爲メニ要スル事項ニ付テハ船船所有者ヲ代表スルモノトス然レトモ船
長ハ行為ノ重大ナルモノニ付テハ制限ヲ受ケ獨斷ニテ爲スコトヲ得サルモノ
ナリ(第五六八條)

船長カ權限ヲ有スル行為ニ付テハ管ニ裁判外ノミナラス裁判上ニ於テモ亦船
船所有者ヲ代表シ總テノ訴訟行為ヲ爲スコトヲ得ヘキナリ從來ニ在リテハ船
長ハ猶ホ支店ノ支配人カ主人ヲ代表スルカ如ク裁判外ニ在リテハ慣習上船船
所有者ヲ代表シテ取引ヲ爲シタレトモ訴訟行為ハ之ヲ爲スノ權限ナク其行為
ハ一船船所有者者カ自己ノ名義ヲ以テ爲ササルヘカラサリシナリ而シテ船船
所有者ヨリ船長ニ特ニ訴訟委任ヲ爲シタリトモ民事訴訟法ノ規定第六三條ニ
依リ區裁判所又ハ辯護士ノ在ラサル地ノ地方裁判所ニ限リ裁判所ノ許可ヲ得
タル場合ノ外ハ船船所有者ノ代理人トシテ訴訟行為ヲ爲スコトヲ得サリシナ
リ然レトモ本條ノ規定ノ設ケラレタルカ爲メニ船長ハ船籍港外ニ於テハ法律上
船船所有者ノ代理人トシテ必要ナル訴訟行為ヲ爲スコトヲ得ルニ至レリ(支配

人ノ權限ニ關スル第三十條船舶管理人ノ權限ニ關スル第五百五十三條參照見
レ迅速ヲ主トスル商業ニ關シテハ最モ實際ノ必要ニ適シタル規定ナリ
○船長ノ代理權ニ加ヘタル制限ノ效力第五百六十七條 船長ノ代理權ニ加
ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス獨舊商法第五〇〇
條)

法律カ前條ノ規定ヲ以テ船舶港外ニ於テ船長ニ與ヘタル權限ハ船舶所有者ハ
之ヲ船長ニ對シテ制限スルコトヲ得ヘシ例ヘハ金高一千圓以上ノ行為ヲ爲ス
ニ付テハ總テ船舶所有者ノ指揮ヲ待タサルヘカラス又ハ支店ノ設置アル港
ニ於テハ航海ニ必要ナル行為ハ總テ支店ニ於テ之ヲ爲シ船長ハ之ヲ爲スヲ得
サルカ如キ制限ヲ爲ストキハ其制限ハ船舶所有者ト船長トノ間ニ於テハ效力
ヲ有スルコトハ論ヲ俟タサルナリ而シテ此制限ハ船舶所有者ト船長トノ間ニ
止マルカ故ニ船長カ若シ此制限ヲ超越シタルトキハ船長ハ獨リ船舶所有者ニ
對シテ責アルノミ故ニ船長ノ行為ニシテ船舶所有者ニ對シテ損害ヲ生シタル
トキハ船長ハ船舶所有者ニ對シテ之ヲ賠償セサルヘカラスト雖モ船舶所有者

ハ船長ト取引シタル第三者ニ對シテ責任ヲ有スルモノトス然レトモ此場合ニ
於テ若シ第三者ニシテ船長カ制限外ノ行為ヲ爲スコトヲ知レルトキハ船舶所
所有者ト船長トノ間ノ制限ハ此第三者ニ對シテモ效力ヲ生スヘシ法律ハ一般ニ保
護者ヲ保護セサルヲ常トスルヲ以テ此場合ニ於テモ惡意ノ第三者ヲ特ニ保
護スヘキ理由アラサルナリ故ニ此場合ニ制限ノ效力ヲ生セサルハ善意ノ第三
者ニ限ルナリ今法律カ船舶所有者カ船長ニ對シテ爲シタル制限ニシテ善意ノ
第三者ニ對シテ效力ヲ生セサルモノト爲シタルハ商業ヲ爲ス主人カ其支配人
ノ法律上ノ代理權ヲ制限シタル場合第三〇條第三項及ヒ船舶共有者カ其管理
人ノ代理權ヲ制限シタル場合第五五三條第二項下同シク若シ善意ノ第三者ニ
對シテ制限ノ效力ヲ生スルモノト爲ストキハ第三者ハ法律上ノ權限ヲ有スル
船長ノ名稱ニ信用ヲ置キ難ク取引ノ際一船長ノ權限ニ制限アルヤ否ヤヲ取
調ヘタル上ニ非サレハ取引ヲ爲スコト能ハスシテ安心スルコト能ハサルカ故
ニ船長ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得サルモノ
ト爲シタリ

○航海中船長カ重要事項ヲ爲スコトヲ得ル權限——第五百六十八條 船長ハ船舶ノ修繕救援又ハ救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メニ非サレハ左ニ掲ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一 船舶ヲ抵當ト爲スコト

二 借財ヲ爲スコト

三 積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ買入スルコト但第五百六十五條第一項

ノ場合ハ此限ニ在ラス

船長カ積荷ヲ賣却又ハ買入シタル場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム但其價格中ヨリ支拂フコトヲ要セザリシ費用ヲ控除スルコトヲ要ス(舊商法第八七二條佛商法第二三四條獨舊商法第四九七條第五〇四條)

船長ノ權限ハ既ニ第五百六十六條ニ付キ叙述シタルカ如ク船籍港外ニ於テハ航海ノ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ其權限ハ航海ノ爲メニ必要ナルモノニ限ラルルモノニシテ航海ノ用ニ供スルニ足ル船舶ヲ賣却

スルカ如キハ全ク航海以外ノ事項ニ屬スルヲ以テ之ヲ其權限ニ屬セシメス然レトモ船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキハ之ヲ賣却スルコトヲ得ヘキ場合アリ(第五七〇條)而シテ船長ハ船籍港外ニ在リテハ航海ノ爲メ必要ナルニ於テハ一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ亦餘リ重大ナル行爲ヲ如何ナル場合ニ於テモ其獨斷ニテ爲スコトヲ得ルモノト爲ストキハ船舶所有者ノ利益ヲ害スルコトアルヘキヲ以テ一面ニ於テハ重大ナル權限ヲ與フルト同時ニ亦一面ニ於テハ之ヲ制限セサルヘカラス故ニ船長カ左ニ掲ケタルカ如キ重大ナル行爲ヲ爲スコトヲ得サルニ於テハ到底航海ノ目的ヲ達スルコトヲ得サルヲ以テ之ヲ權限ニ屬セシメタリ然レトモ其行爲ハ船舶ノ修繕救援又ハ救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メニ非サレハ爲スコトヲ得サルモノト爲セリ

(一)船舶ヲ抵當ト爲スコト 船舶ヲ抵當ト爲ストキハ若シ之ヲ抵當ト爲シテ擔保シタル債權ノ辨濟ヲ爲スコト能ハサルトキハ競賣セララルカ如キ重大ノ結果ヲ生スルモノナルカ故ニ右ノ如キ必要ナル場合ニ非サレハ船長ハ船舶ヲ抵

當ト爲スコトヲ得サルナリ
茲ニ一ノ注意スヘキコトアリ船長カ法律カ必要ト認メサル場合ニ於テ船舶ヲ
抵當ト爲シタルトキ第三者タル債權者ハ船舶所有者ニ對シテ抵當權ヲ主張ス
ルコトヲ得ヘキヤ若シ船長カ其權限内ニ於テ船舶ノ航海ニ關シテ船舶所有者
ノ爲メニスルコトヲ示シテ船舶ヲ抵當ト爲シ第三者ハ船長カ正當ニ其權限ニ
基キテ爲スモノト信シテ抵當權ヲ取得シタルトキハ船舶所有者ハ民法第九十
九條ノ規定ニ從ヒ第三者ニ對シテ責任ヲ負ハサルヘカラサレトモ其他ノ場合
ニ於テハ獨リ船長ハ第三者ニ對シテ責任ヲ負フニ止マリ船舶所有者ハ之カ責
任ヲ負フヘキモノニ非サルコト是ナリ
(二) 借財ヲ爲スコト 借財モ船舶所有者ニ重大ナル影響ヲ生スルヲ以テ船長カ
一面ニ於テハ權限ヲ有シ他ノ一面ニ於テハ制限ヲ受クル行爲ノ中ニ加ヘタリ
(三) 積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコト 船長ハ或場合ニ積荷ヲ處分
スルノ權限ヲ有シ亦之ヲ適當ニ處分スヘキ義務ヲ負フコトハ曩ニ第五百六十
五條ニ於テ敘述シタルカ船長カ此處分ヲ爲スハ積荷ノ利害關係人ノ代理人タ

ル資格ヲ有シテ然ルナリ今茲ニ積荷ノ處分ハ船舶所有者又ハ船舶賃借人ノ代
理人タル資格ヲ以テ之ヲ爲スニ在リ蓋シ財產ハ其所有者ニ非サレハ隨意ニ之
ヲ處分スルコトヲ得サルヲ以テ通例トスト雖モ航海中ニ在リテ船舶ノ修繕救
助又ハ救援ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル場合ニ於テ
ハ特ニ便法ヲ設クルニ非サレハ之カ爲メ航海ノ目的ヲ達クルコト能ハサルノ
ミナラス動モスレハ船舶ヲ拋棄セサルヲ得サルニ至ルヘシ故ニ法律ハ此場合
ニ於テハ船舶所有者ニ屬セサル所有物ト雖モ船舶所有者ノ爲メニ之ヲ賣却シ
又ハ質入スルコトヲ船長ニ許シタリ是レ民法第二百六條ニ所謂所有者ハ法
ノ制限内ニ於テ自由ニ其所有物ノ使用、收益及ヒ處分ヲ爲ス權利ヲ有スト
ル法令ノ制限シタル場合ニ該當スルモノナリ而シテ船長カ積荷ノ利害關係人
ノ爲メニ第五百六十五條ノ規定ニ依リテ積荷ヲ處分スルハ之ヲ處分スルノ必
要ヲ生シタル場合ニ於テ爲スモノニシテ法律ハ豫メ其場合ヲ定メサルヲ以テ
船長カ之ヲ處分スルハ本條第一項ノ如キ場合ニ限ラサルナリ故ニ之カ注意
爲メ本條ニ但書ヲ加ヘタルナリ

船長カ積荷ヲ賣却シ又ハ買入シタルトキハ其利害關係人ニ對シテハ之カ賠償ヲ爲ササルヘカラサルコトハ論ヲ埃タスト雖モ其賠償スヘキ價額ハ之ヲ處分シタル地及ヒ時ニ於ケルモノニ依ルヘキヤ將タ其他ノ地及ヒ時ノ價格ニ依ルヘキヤ本法ハ之ヲ其積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ニ依リテ之ヲ定ムルコトト爲セリ例ヘハ神戸ヨリ香港マテ石炭ヲ運送スルニ當リ其中間ノ港タル上海ニ於テ船舶ノ修繕費ニ充ツルカ爲メニ船長カ石炭ヲ賣却シタルトキハ積荷ノ利害關係人ニ賠償スヘキ額ハ上海ニ於ケル石炭ノ價格ノ高キト低キトヲ問フコトナク船長カ之ヲ處分セサリシニ於テハ香港ニ到達スヘカリシ時ニ於ケル其地ノ價格ニ從フヘキナリ而シテ香港ニ於ケル價格中ニハ上海香港間ノ運送賃ヲモ包含スレトモ此場合ニ於テハ船舶所有者ハ第六百十七條第一項第一號ノ規定ニ從ヒ船積港ヨリ陸揚港マテノ運送賃全額ヲ請求スルコトヲ得ルカ故ニ上海香港間ノ運送賃ハ控除セサルナリ然レトモ積荷ヲ香港ニ陸揚スルニ於テハ同港ニ於テ支拂フコトヲ要スヘキ輸入税其他ノ費用ハ香港ニ於ケル積荷ノ價額中ニ包含スルヲ以テ此等ノ費用ハ其價額中ヨリ控除セテ

ルヘカラス此ノ如クスルトキハ積荷ノ利害關係人カ受ケル賠償ハ相當ニシテ不利益ヲ被ルコトナキモノト看做サルルヲ以テ積荷ノ到達スヘカリシ地及ヒ時ニ於ケル價格ニ依リテ定ムヘキモノト爲シタルナリ又ハ船長カ本條ノ規定ニ從ヒテ負擔シタル義務ハ第六百八十條第一項第五號救援又ハ救助ノ費用及ヒ第六號航海繼續ノ必要ニ因リテ生シタル債權ニ該當シ其債權者ハ船舶及ヒ其運送賃等ノ上ニ先取特權ヲ有スルモノトス救助及ヒ救援ナル意義如何ノ救助及ヒ救援ナル語辭ハ舊商法及ヒ新商法中諸所ニ散見スル所ニシテ舊商法ニ於テハ

第八百四十九條第四號ニ救援救護其他救助ニ付テノ費用

第九百二十六條ニ旅客ヲ救助スル云云

第九百三十七條ニ救助セラレタル船舶又ハ積荷カ其後喪失シテ云云

第九百三十九條ニ棄却シタル貨物カ海損割賦ノ後所有者ニ返リタルトキハ

其所有者ハ救助ノ費用云云

第九百四十三條ニ海難ニ於テ乗組員ノ船舶ヲ退去シ若クハ拋棄シタルトキ

其船舶又ハ積荷ノ全部若クハ一部ヲ救助シタル者又ハ救助若クハ救助ノ際云云

トアリ而シテ商法正義ノ著者ハ之ヲ解釋シテ曰ク救助トハ主トシテ人命ヲ救助スルヲ謂ヒ救助トハ漂流シタル物品又ハ抛棄シタル船舶ヲ救助スルヲ謂フ而シテ救助トハ則チ此二箇ノ意義ヲ總稱スルナリト然レトモ舊商法草案起草者ロエスレ氏ノ第九百十三條第四號舊商法第八百四十九條第四號ニ當ル第九百九十七條舊商法第九百四十三條ニ當ルノ註釋ニ從フトキハ人物トニ依リテ區別ヲ爲シタルモノニ非サルコト明カナリ而シテ普通用フル所ニ於テモ救助トハ取ルノ義ナリ而シテ舊商法第八百八十一條ニ於テ給料ノ請求權ハ海員カ船舶又ハ積荷ノ碎殘物ノ救助ニ從事シタル云云トアリテ物ニ付テ用ヒタルコト明カナリカ物ニ關シ救助カ廣ク人物トニ關スルコトハ蓋シ疑ヲ容レタルヘシト雖モ然レトモ救助カ人物ヲ救フコトニノミ關スルモノニハ非ス而シテ監獄則明治二十二年勅令第九三號第九十七條第二號ニハ人命ヲ救助シタルトキ云云トアレトモ船員法明治三十二年三月七日法律第四十七號第二十一條ニハ船長

カ航海中救助ヲ求ムル船舶ヲ認メタルトキハ人命ヲ救助フコトヲ要ストアリテ監獄則ニ用ヒタル救助ノ文字ハ人命ニ關スレトモ船員法ニ用ヒタル所ニ依レハ是人命ノミノ救助ニ非スシテ船舶及ヒ人命ノ救助ヲ包含スル場合ナレハ其意義カ人命ノ救助ノミニ關スルモノトハ言ヒ難シ是ヲ以テ商法正義ノ解釋ハ取ルニ足ラサルナリ今ヤ新商法ヲ見ルニ

第五百六十八條及ヒ第五百九十九條ニ船舶ノ救助又ハ救助ノ費用云云

第六百六條ニ救助又ハ救助ノ爲メ云云

第六百四十九條ニ第六百四十二條ノ規定ニ依リテ利害關係人カ共同海損ヲ分擔シタル後船舶其屬具若クハ積荷ノ全部又ハ一部カ其所有者ニ復シタルトキハ其所有者ハ償金中ヨリ救助ノ費用云云

トアルノミニシテ新商法ニ猶ホ舊商法ノ如ク其意義ヲ示サスト雖モ此等ノ語辭ヲ用ヒタル場合ハ孰レモ新舊商法共ニ獨逸商法ニ倣ヒテ規定シタルモノニシテ救助トハ獨逸語ノ Hilfe (佛語 Assistance ニ當ル) 救助トハ獨逸語ノ Bergung (佛語 salvage ニ當ル) 佛商法第四百二十四條ニ在リニ該當シ救助トハ危難ニ陷ラン

トスルヲ救フノ義、助トハ既ニ危難ニ遭ヘルモノヲ救フノ義ナリ前ニ掲ケタル船員法第二十一條ニ救、援ナル語辭アルハ立法者カ右ノ意義ヲ以テ之ヲ用ヒタルコトヲ見ルニ足ル舊商法ニ用ヒタル救、援、助ナル語辭モ右ト同一ノ意義ニ外ナラサルナリ獨逸商法ハ其第七百四十二條以下ニ海難ニ於ケル救、援及ヒ救、助ノ事項ヲ詳細ニ規定シ其間區別アリ然レトモ我新舊商法ニ於テハ別ニ法律上之カ區別ヲ規定セザレトモ救、援ノ場合ハ既ニ述ヘタル如ク未タ全ク危難ニ陷ラサルカ故ニ其船舶積荷等ハ船長ノ占有ニ係リ第三者ノ占有ニ移ラスト雖モ救、助ノ場合ニ於テハ既ニ危難ニ陷リタル場合ナルカ故ニ或ハ船員カ船舶又ハ積荷ヲ拋棄シ既ニ其占有ヲ離レタルコトモアルヘシ故ニ此場合ニ於テ之ヲ救助シタルトキハ殆ト先占ニ等シキ場合タルコトアルヘクレトモ救、援ノ場合ニ於テハ然ルコトアラサルヘシ

○船長カ航海ノ爲メニ立替ヘ支辨シタル費用又ハ負擔シタル債務——第五百六十九條 船長カ特ニ委任ヲ受ケスシテ航海ノ爲メニ費用ヲ出タシ又ハ債務ヲ負擔シタルトキハ船舶所有者ハ船長ニ對シテ第五百四十四條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得獨商法第五〇一條

船長カ第五百六十八條ノ規定ニ從ヒテ之ニ掲ケタル費用ヲ支辨セスシテ自身ニ費用ヲ出シ又ハ債務ヲ他ヨリ負擔シテ航海ノ爲メニ支辨ヲ爲スコトアリ而シテ此場合ニ於テハ特ニ船舶所有者ノ委任ヲ受ケテ自ラ費用ヲ立替ヘ又ハ他ヨリ債務ヲ負擔スルコトアリ又ハ特ニ其委任ヲ受ケスシテ此ノ如キ行爲ヲ爲スコトアリ其船舶所有者ノ特別委任ヲ受ケタル場合ニ於テハ船舶所有者自身ニ船長ヲシテ費用ヲ代償セシメ又ハ自身ニ他ヨリ債務ヲ負ヒタルト一般ナレハ其債務ハ船舶所有者ノ引受ケ船長又ハ其他ノ債權者ニ對シテ無限ノ責任ヲ負フヘキコトハ論ヲ據タサルナリ然レトモ船長カ船舶所有者ノ委任ナクシテ航海ノ爲メニ費用ヲ出シ又ハ債務ヲ他ニ對シテ負擔シタルトキ若シ不費ノ利得又ハ事務管理ノ原則ヲ以テ論シ得ヘキトキハ船舶所有者ハ之ヲ船長ニ償還セサルヘカラサルモノニシテ其償還スヘキ債權ニ付テハ無限責任ヲ負フヘキモノノ如シト雖モ本法ハ民法ノ普通原則ニ從ハシメスシテ此場合ニ於テハ船長カ自ラ出シタル費用及ヒ船長カ船舶所有者ノ爲メニ負擔シタル債

務ハ船舶所有者之カ全額ニ對シテ責任アルモノト爲シタレトモ此場合ニ於テハ船舶所有者カ第五百四十四條ノ規定ニ依リテ有スルカ如キ委付權ヲ之ニ與ヘタリ蓋シ此場合ニ於テ船舶所有者ニ無限ノ責任ヲ負ハシムルハ甚タ酷ニ失スルヲ以テ右ノ如ク規定シタレトモ是レ船長ノ爲メニ常ニ不利益ナリト云フヲ得ス何トナレハ船長カ此規定ニ依ラスシテ民法ノ普通ノ原則(不當ノ利得事務管理)ニ從フトキハ右ニ叙述スルカ如ク償還ヲ受クヘキモノニ付テハ船舶所有者ニ對シテ無限ノ責任ヲ負ハシムヘシト雖モ船舶所有者カ利益ヲ受ケタル限度又ハ必要ノ費用ノ外ハ辨濟ヲ受クルコトヲ得サルニ反シ此場合ニ於テハ船舶所有者カ委付權ヲ行ハサルニ於テハ此權利ヲ行フトモ全額ノ償還ヲ受クルコトアリ船長ノ出シタル費用又ハ他ヨリ負擔シタル債務全額ノ償還ヲ受クルコトヲ得レハナリ

○船舶ヲ競賣シ得ルコト 第五百七十條 船籍港外ニ於テ船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキハ船長ハ管海官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ競賣スルコトヲ得舊商法第八三六條舊商法第二三七條獨商法第四九九條

普通ノ場合ニ在リテハ船長ハ船舶所有者ノ特別委任ナキニ於テハ船舶ヲ賣却スルコトヲ得ス何トナレハ船長ハ航海ヲ爲スニ必要ナル事項ニ付テハ廣汎ナル權限ヲ有スト雖モ航海ノ用ヲ爲ス船舶ヲ賣却スルコトキハ爾後航海ト關係ヲ有セス又船舶所有者ノ爲メニ船舶ヲ利用スルコト能ハサルニ至ルヘキヲ以テナリ然レトモ若シ船舶カ航海中海難其他ノ原因ニ由リ修繕スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テハ最早此船舶ヲ以テ航海ヲ繼續スルコト能ハサル場合ナルヲ以テ船長ノ本來ノ權限ハ茲ニ消滅スヘシト雖モ船籍港外ニ在リテハ船舶所有者又ハ其代人ナキヲ常トスルカ故ニ船舶ヲ適當ニ處分スル者アラサルヲ以テ此場合ニ於テハ船長カ船舶ヲ賣却スルコトヲ得ルモノト爲セリ而シテ船舶ヲ賣却ハ船舶所有者ノ爲メニ重大ナル關係ヲ有スルカ爲メ法律ハ四箇ノ條件ヲ具備スルコトト爲シタリ即チ(一)船籍港外ナルコト、船籍港ニ於テハ難ニ説キタルカ如ク(第五六六條)船長ハ海員ノ雇入及ヒ雇止ノ權限ヲ有スルニ止マリ其他ノ行爲ニ付テハ權限ヲ有セス此場合ニ於テハ船舶所有者又ハ其代人ニ於テ船舶ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲スヘキカ故ニ船舶ヲ賣却スルノ權限ヲ船長

ニ與フルノ必要アラサルナリ(二)船舶ヲ修繕スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ限ル、此場合ハ已ムヲ得サルヲ以テ船舶所有者ノ利益ノ爲メニ船長ニ之カ處分ヲ委シタルナリ然レトモ若シ船舶カ修繕スルコトヲ得ルニ於テハ船舶所有者ハ之ヲ修繕シテ利用スヘキヲ以テ船長ニ之カ處分ヲ委スヘキノ理アラサルナリ(三)船舶ハ必ス之ヲ競買ニ付スルコト任意賣買ヲ許ストキハ船長ト買主トカ通謀スルトキハ船舶所有者ノ爲メニ不利益ナル代金ニテ賣買ヲ爲スコトアルヘシ之ニ反シテ競買スルトキハ多數ノ買主集マルヘクレハ隨テ高價ニ賣却セラレヘキヲ以テ之ヲ競買ニ付スルコト爲シタリ(四)管海官廳ノ認可ヲ得ルコト、船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト定ムルコトヲ船長一己ノ意見ニ委スルコトト爲ストキハ船長カ或ハ故意ヲ以テ或ハ輕忽ニ思料シテ船舶ヲ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト爲シ之ヲ競買スルコトアルヘシテ船舶所有者ノ利害ニ關スルコト尠シナラサルナリ是ヲ以テ此場合ニハ管海官廳ノ認可ヲ得サルヘカラサルコトト爲セリ此ノ如クスルトキハ管海官廳ハ事實ノ調査ヲ爲シタル上之ヲ許否スヘキヲ以テ船長カ濫ニ船舶ヲ修繕スヘ

カラサルモノトシテ賣却スルコトノ弊ヲ防クニ足ルモノトス

本條ニ管海官廳トアリ又其他本編中諸所ニ之アルヲ見ル所ノ管海官廳トハ如何ナル官廳ヲ指スカ是レ明治三十二年六月十五日勅令第二百六十三號ノ海事局ヲ指モノニシテ海事局ハ逓信大臣ノ管理ニ屬シ船舶職員及ヒ水先人ノ試験船舶ノ測度検査其他法令ノ定ムル所ニ從ヒ管海官廳ノ事務ヲ掌ル所ナリ而シテ又船員法第七十九條ノ規定ニ依リ逓信大臣ハ管理官廳ノ事務ヲ行ハシムヘキ或市町村長、戸長及ヒ之ニ準スヘキ者ヲ指定シタリ明治三十二年六月十二日逓信省令第二六號

○船舶ノ修繕不能ト看做サル場合——第五百七十一條 左ノ場合ニ於テハ船舶ハ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト看做ス

一 船舶カ其現在地ニ於テ修繕ヲ受クルコト能ハス且其修繕ヲ爲スヘキ地ニ到ルコト能ハサルトキ

二 修繕費カ船舶ノ價額ノ四分ノ三ニ超ユルトキ

前項第二號ノ價額ハ船舶カ航海中毀損シタル場合ニ於テハ其航海ノ時ニ於ケ

ル價額トシ其他ノ場合ニ於テハ其毀損前ニ有セシ價額トス(獨舊商法第四四四條)

本條ハ船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタル場合ヲ例示シタルナリ船舶カ暗礁ニ坐シ其體ヲ失ヘルカ如ク破碎シタルトキハ復タ修繕スルコト能ハサルヤ疑ナシト雖モ然レトモ實際ニ於テハ如何ナル場合ニ果シテ修繕スルコト能ハサルニ至リタルヤハ疑ノ生スルコト多シ或ハ船舶カ實際修繕スルコト能ハサルニ非サレトモ之ヲ修繕スルトキハ得失相償ハサルコトアリ或ハ然ラサルモ實際船舶ヲ修繕シテ航海ノ用ニ供スルコトヲ得ルニ至ルヤ否ヤヲ見定ムルヲ得サルコトアリ而レテ單ニ之ヲ事實問題ノミニ一任スルハ後日ノ紛爭ヲ醸成スルノ基タルヲ免レス是ヲ以テ本法ハ獨商法ニ倣ヒ法律上船舶ヲ修繕スルコト能ハサルモノト看做ス場合ヲ規定セタリ而シテ事實上絕對ニ船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタル場合ハ之ヲ事實問題ニ一任スルトモ後日紛爭ノ生スヘキ恐アラサルヲ以テ別ニ之カ規定ヲ設ケサルナリ何トナレハ船長カ船舶ヲ修繕スルコト能ハサルニ至リタルヲ以テ之ヲ就賣スルニハ前條ノ規定ニ

從ヒ管海官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要スルカ故ニ若シ事實上修繕スルコト能ハサルニ至リタルヤ否ヤニ付キ疑アルトキハ管海官廳ハ之ヲ調査シタル上認可スヘケレハ之カ認可ヲ經タルモノハ絕對ニ修繕スルコト能ハサルモノト視ルコトヲ得ヘケレハナリ而シテ法律カ本條ニ於テ船舶ヲ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト規定シタル場合ハ船舶ハ元來修繕スルコト能ハサルニ非スシテ唯其現在地ニ於テ修繕スルコト能ハサルカ又ハ修繕ノ爲メニ夥多ノ費用ヲ要スルカ爲メニ之ヲ修繕スレハ得失相償ハサルノ故ヲ以テ法律カ之ヲ修繕スルコト能ハサルモノト看做シタルニ過キサルナリ其場合ハ即チ左ノ如シ(一)船舶カ其現在地ニ於テ修繕ヲ受クルコト能ハス且其修繕ヲ爲スヘキ地ニ到ルコト能ハサルトキ 船舶カ海難ニ遇ヒ航海中島地若クハ内地ノ沿海ニ於テ破損シタルトキハ其現在地ニ於テ修繕スルコト能ハサルトモ曳船シテ修繕スルコトヲ得ヘキ地ニ到ルヲ得ヘキトキハ賣却セス之ヲ修繕シテ可ナリ(然レトモ曳船並ニ修繕ノ費用ヲ合シテ船舶價額ノ四分ノ三ニ超ユルトキハ第二ノ場合ニ入ルヘシ故ニ船舶カ修繕スルコト能ハスト看做スニハ其現在地ニ於テ修

繕スルコト能ハサルノミナラス他ノ修繕スルコトヲ得ヘキ地ニ到ルコトモ能ハサルトキニ限ルナリ

(二)修繕費カ船舶ノ價額ノ四分ノ三ニ超ユルトキ 船舶カ修繕スルコトヲ得サルニ非スト雖モ其費用ニシテ夥多ナルトキハ得失相償ハス所謂修繕ヲ爲ス價値ナキ場合ニシテ其程度ハ當事者ノ意思其船舶ノ種類造船術ノ進歩等ニモ關係スト雖モ法律ハ豫メ標準ヲ設ケ修繕費カ船舶ノ價額ノ四分ノ三ニ超ユルトキハ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト看做シタリ

右船舶ノ價額トハ何時船舶カ有セシ價額ナルヤ之ヲ定ムル必要アリ例ヘハ船舶カ港灣ニ碇泊中毀損スルコトアリ或ハ航海中毀損スルコトアリ其孰レノ場合ニ於テモ理論上ニ於テハ船舶カ毀損前ニ有セシ價額タルコト勿論ナリト雖モ實際上ニ於テハ船舶カ航海中毀損シタル場合ニ於テハ其毀損前ノ價額ナルモノハ容易ニ之ヲ算定スルコト能ハサルカ故ニ爭フ後日ニ絶ツノ本條規定ノ精神ニ基キ此點ニ付テモ實際ノ便宜ヲ計リ航海中毀損シタル場合ニ於テハ發航ノ當時ニ於ケル船舶ノ價額ニ依ルコトト爲シタル所以ナリ而シテ其他ノ場合

ニ於テハ當然ノ理ニ從ヒ船舶ノ毀損シタル當時ノ價額ニ依ルモノト爲シタルナリ

○積荷ヲ航海ノ用ニ供スルヲ得ルコト 第五百七十二條 船長ハ航海ヲ繼續スル爲メ必要ナルトキハ積荷ヲ航海ノ用ニ供スルコトヲ得此場合ニ於テハ第五百六十八條第二項ノ規定ヲ準用ス舊商法第八七一條佛商法第二四九條獨舊商法第五〇七條

彙ニ説キタル第五百六十八條第一項第三號ニモ航海ノ繼續其他ノ爲メニ必要ナルトキハ積荷ヲ處分スルコトヲ得ヘキ旨ヲ規定シ本條ニモ航海ヲ繼續スルニ必要ナルトキハ積荷ヲ處分スルコトヲ船長ニ許セリト雖モ彼規定ト此規定トハ同一ナルモノニ非ス前ノ場合ニ於テハ積荷ヲ直接ニ航海ノ用ニ供スルカ爲メニ處分スルニ非スシテ之ヲ賣却シ若クハ賣入シテ航海ノ繼續ヲ爲スニ必要ナル費用ヲ支辨セシカ爲メニ其賣却得ルニ在リ之ニ反シテ本條ノ場合ハ直接ニ積荷ヲ航海ノ用ニ供スルニ在リ例ヘハ前ノ場合ニ於テハ綿羅紗等ノ如キ積荷ヲ賣却シテ石炭若クハ糧食ヲ買入ルルニ在リ後ノ場合ニ於テハ其船舶ニ

積載セル石炭、米、油等ヲ直チニ其航海ノ用ニ供スルニ在リ而シテ積荷ハ他人ノ所有ニ屬シ船舶所有者ノ代理人タル船長ハ所有權ノ原則ニ從ヘハ其所有者ノ承諾ナキニ於テハ之ヲ徵收スルコトヲ得サレトモ其原則ハ第五百六十八條ニ於テモ説キタルカ如ク危急ナル場合ニ於テハ維持スルコトヲ得ス若シ航海中石炭油若クハ糧食ノ缺乏シタル場合ニ在リテモ之ヲ航海ノ用ニ供スルコトヲ得サルモノト爲ストキハ其船舶ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至ル是ヲ以テ船長ニ此權限ヲ付與シタルナリ

茲ニ所謂航海ノ用ニ供スルトハ單ニ船舶ノ運航ニ必要ナル石炭、油等ヲ使用スルコトヲ指稱スルニ非スシテ旅客及ヒ乗組員ニ必要ナル糧食ノ缺乏シタル場合ニ米、菜等ヲ其食用ニ供スルコトヲモ包含スルコトハ言フヲ疑タサルナリ本條ノ場合ニ於テモ積荷ノ所有者ニ對シテハ損害ヲ賠償セサルヘカラサルモノニシテ處分シタル積荷ノ價額ハ前ノ場合第五六八條第二項ノ例ニ依ルヘキモノト爲セリ

○船長ノ解任 第五百七十四條 船舶所有者ハ何時ニテモ船長ヲ解任スルコ

トヲ得但正當ノ理由ナクシテ之ヲ解任シタルトキハ船長ハ船舶所有者ニ對シ解任ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得船長カ船舶共有者ナル場合ニ於テ其意ニ反シテ解任セラレタルトキハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得船長カ前項ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ遲滯ナク他ノ共有者又ハ船舶管理人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス(舊商法第八四三條、第八四四條、佛商法第二一八條、第二一九條、獨

舊商法第五一五條乃至第五二二條)

此規定ハ諸國ノ立法例ニ存スル所ニシテ船舶所有權及ヒ委任ニ基テ代理人ノ意義ヨリ自ラ生スルモノナリ(民法第六五一條然ルニ之ヲ明言スルモノハ他ナシ契約ヲ以テ期間ヲ定ムルモ亦解任權ノ拋棄ヲ約スルモ解任ヲ防遏スルコト能ハサル旨ヲ示サンカ爲メナリ是ヲ以テ航海前若クハ航海中ノ解任權拋棄ハ其效力ナシ而シテ其解任ニ付テハ正當ノ理由アルコトヲ要セス故ニ船舶所有者ハ船長ト意氣相合ハサルノ故ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得ヘク亦何等ノ理由ナクシテ解任スルコトヲ得ヘシ此ノ如キ船舶所有者ノ權利ハ船舶ノ指揮者

ニ委セラレタル權限ノ重大ニシテ船長ノ位置ヲシテ特別信用上ノ地位タル觀ヲ呈セシムルカ爲メニ必要ナルヲ以テナリ而シテ是レ海員ト異ナル所ナリ海員ハ正當ノ理由アル場合ニ非サレハ之ヲ雇止ムルコトヲ得サルヲ原則第五八一條ト爲セリ若シ正當ノ理由ナキニ於テハ船長ヲ解任スルコトヲ得サルモノト爲ストキハ船舶所有者ハ解任ノ理由ヲ證明セサルヘカラサルモノニシテ之カ爲メニ船長トノ間ニ紛争ヲ生シ隨テ航海ノ遲延ヲ來シ積荷ノ利害關係人其他ニ對シ損害ヲ生スヘキヲ以テナリ故ニ何等ノ理由ナクシテ船舶所有者カ船長ヲ解任スルコトヲ得ル權利ハ公益ニ基キタルモノナルヲ以テ當事者力之ニ反スル契約ヲ爲スモ其效力ナキ所以ナリ

船長カ解任セラレタル場合ニ於テ損害賠償ノ請求權ハ解任ニ付キ正當ノ理由アルト否トニ依リ區別アリ其正當ノ理由ニ基キタル場合ニ於テハ船舶所有者ハ船長ニ損害ヲ賠償スルコトヲ要セサルナリ例ヘハ船長ハ契約終了ノ日マテノ給料並ニ航海中解任セラレタルトキ歸國旅費等ヲ請求スルコトヲ得サルナリ是レ亦海員ト異ナル所ナリ海員カ雇止メラレタル場合ニ於テ其雇止カ正當

ノ理由ニ基キタルトキト雖モ過失サヘナケレハ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得ヘキ權利アリ右ニ反シテ船長カ正當ノ理由ナクシテ解任セラレタルトキハ其解任ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ルコトト爲セリ是レ當然ノ規定ニシテ別ニ説明ヲ要セサルナリ然ルニ舊商法第八百四十三條及ヒ佛商法第二百十八條ノ如キハ船舶所有者ハ書面ノ契約アルニ非サレハ船長ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任セサルモノト爲シ其解任ニシテ正當ノ理由ニ基クト否トヲ問ハサルナリ其理由トスル所ハ船長ニ對シテ損害ヲ賠償スルコトト爲ストキハ船舶所有者カ解任權ヲ實行スルコトヲ阻害スルノ虞アルニ由ルト而シテ書面契約アル場合ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ許シタルハ爭訟ヲ豫防スルノ趣旨ニ基キタルナリ然レトモ新商法ハ契約ニ付キ一般形式ヲ要セサルモノト爲シタルカ故ニ書面契約アル場合ニ限リテ損害賠償ノ請求ヲ許スカ如キ舊法ノ規定ヲ採用セシテ船舶所有者ノ都合ニ因リテ船長ヲ解任スルトキハ當然ノ理ニ基キ之ニ損害ヲ賠償スヘキモノト爲セリ

船長ハ船舶共有者中ノ一人タルコトアリ此場合ニ於テハ其選任解任ノ權(第五

五三條ハ船舶管理人ニ在ルカ故ニ船舶管理人カ船長ヲ解任スルトキハ其共有者ハ當然船長タル職ヲ失フニ至ルヘシ然レトモ船長カ船舶共有者ト爲レル所以ハ自ラ船長ヲ兼スルカ故ナリ然ルニ若シ其意ニ反シテ船長ノ任ヲ解カサルニ於テハ船舶ノ共有者タラサルノ意思アルコト多カルヘシ是ヲ以テ當事者ノ意思ヲ解釋シテ第二項ノ規定ヲ設ケタルモノニシテ此場合ニ於テハ他ノ共有者ニ對シテ自己ノ持分ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルヲ得セシメサルヘカラス而シテ此買取ノ請求ハ他ノ共有者全體ニ對シ又ハ船舶管理人ニ對シテ遲滞ナク之カ通知ヲ爲スコトヲ要ス

○船長カ船舶所有者ニ對シテ有スル債權ノ時効——第五百七十五條 船長ノ船舶所有者ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス舊商法第九七六條、佛商法第四三二條、第四三三條、獨商法第九〇六條以下)

舊商法及ヒ佛、獨商法ニ於テハ特ニ時効ニ付キ一章ヲ設ケ各種ノ時効ヲ一括シテ規定シタリト雖モ本法ニ於テハ此ノ如キ立法例ニ倣ハス特別ノ事項ニ付キ各其章下ニ於テ時効ノ規定ヲ設クルコトト爲セルカ故ニ船長カ船舶所有者ニ

對シテ有スル債權ニ於ケル時効ヲ茲ニ規定シタルナリ而シテ船長カ船舶所有者ニ對スル債權ハ主トシテ給料ヲ稱スルモノニシテ其性質タルキ長ク其請求ヲ爲サス又ハ其辨濟ヲ怠ルヘキモノニ非ス隨テ之カ辨濟ヲ爲スモ其受取證ヲ長ク保存スルモノニ非ス故ニ此短期時効ヲ設ケタル所以ナリ

第二節 海 員

海員トハ曩ニ說キタルカ如ク船長以外ノ一切ノ乗組員ニシテ船中ノ勤務ノ爲メニ雇入レタル船長ノ指揮監督ヲ受クル者ヲ謂フ之ヲ區別スルトキハ三等ニ分ツコトヲ得第一、運轉士、機関士、第二、水夫、第三、其他總テノ船中使役人、火夫、厨夫、給仕等、是ナリ而シテ海員ハ船舶所有者トノ法律關係ニ付テハ船長ノ性質ノ如ク混同アルモノニ非スシテ全ク雇傭關係ナレトモ之ヲ民法ノ規定ニ委スルコト能ハサルヲ以テ特ニ本法ニ之ニ關スル規定ヲ設ケタリ而シテ海員ハ其法律關係ニ付テハ皆同一ナルモノニシテ其間ノ階級ニ上下アリトモ之カ爲メニ法律關係ヲ異ニスルコト非サルナリ

○海員ノ雇入及ヒ其就職ノ義務 第五百七十六條 海員ハ其雇入ノ手續カ終
ハリタルトキハ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乗込ムコトヲ要ス海員ハ船
長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其乗込ミタル船舶ヲ去ルコトヲ得ス舊商法第八八
四條獨國海員條例第二八條第三〇條

海員ノ雇入契約ハ民法上ノ雇傭契約ノ如ク當事者ノ任意ニ之ヲ取結フコトヲ
得ス海員ノ雇入ヲ爲シ又ハ雇止契約ノ更新若クハ變更ヲ爲シタルトキハ管海
官廳ニ海員名簿ヲ提出シテ公認ヲ申請スルコトヲ要ス船員法第二六條而シテ
管海官廳カ公認ヲ爲スニハ海員名簿ニ記載シタル事項ヲ當事者雙方ニ讀聞カ
セタル後之ニ署名捺印セシムルコトヲ要シ同第二七條其公認アリタルトキハ
海員ハ運漕ナク其船員手帖ヲ管海官廳ニ提出シテ公認ノ認證ヲ申請スルコト
ヲ要スルモノニシテ船長ハ海員ノ雇入期間中其船員手帖ヲ保管セサルヘカラ
ス同第二九條第三一條而シテ此船員手帖ナルモノハ日本ニ於テ船員ト爲ラント
欲スル者ニハ必要缺クヘカラサルモノタリ同第三條夫レ此ノ如ク國家カ一箇人
ノ契約ニ干渉スルハ海員ヲ保護スル爲メニシテ特ニ海員ヲ保護スルハ素ト海

員ハ危險ノ勞務ニ服シ船長ノ峻嚴ナル監督ノ下ニ在ル等非常ナル危險ト拘束
トヲ受クル者ナルニ由ル而シテ海員カ既ニ法律上有効ナル雇傭契約ヲ取結ビ
タル以上ハ其契約ヲ實行スルノ義務アリ殊ニ此目的ヲ達センカ爲メ先ヅ拘束
シタル時期ニ於テ船舶ニ乗込ミ其職務ニ就カサルヘカラス其義務ハ或ハ航海
ニ就クトキ始マルアリ或ハ既ニ其前荷物ノ船積船舶ノ艙裝等ニ從事スヘキコ
トアリ

海員ハ身ヲ献シテ船舶ノ勤務ニ從フヘキ者ナレハ船長ノ許可ヲ受クルニ非サ
レハ暫時タリトモ船舶ヲ離ルルヘカラス是レ猶ホ船長ニ於ケル第五百六十三
條ノ規定アルニ同シキナリ而シテ海員カ船長ノ指定シタル時マラニ船舶ニ乗
込マス又ハ船長ノ許可ヲ得シテ船舶ヲ去リタルトキハ損害ヲ生シタル場合
ニ於テ之カ賠償ヲ請求シ雇止ヲ爲スコトヲ得第五八一條ヘキコトハ論ヲ俟タ
カレトモ其外船長ハ海員カ其許可ヲ得シテ船舶ヲ去リタルトキハ之ニ對シ
テ懲戒權ヲ有シ船員法第三六條又船長ハ海員カ船長ノ指定シタル時ニ於テ船
舶ニ乗込マサルトキ又ハ船長ノ許可ヲ得シテ之ヲ去リタルトキハ船長ハ之

ヲ強制スルコトヲ得同第四四條而シテ此場合ニ於テハ公力ヲ藉ルコトヲ得ヘキナリ(同第四五條)

以上ノ外海員カ雇入ノ手續ノ終リタル後正當ノ理由ナクシテ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乗込マサルトキハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處セラルモノトス(同第六一條)

以上ハ海員ノ義務ナリ尙ホ此外海員ノ役務ニ係ル事ハ慣習ニ從フヘキモノニシテ法律ハ別ニ之ヲ列舉セス而シテ其關スル所ハ航海上ノ事務ノ如キ眞ノ船中勤務荷物ノ船積陸揚掃除及ヒ修繕ニ係ル役務等是ナリ是レ即チ各海員其掌ル所ノ常務ニ止マルノミナラス非常ノ役務ト雖モ之ニ服スルノ義務ヲ有シ之カ爲メニ別段ニ報酬ヲ請求スルコトヲ得サルナリ

以上ハ海員ノ義務ナリ其權利トシテハ種種ナルモノアリ或ハ食料ヲ請求スル權利アリ或ハ看護及ヒ治療ヲ請求スル權利アリ或ハ航海延長ノ場合ニ於ケル權利アリ或ハ死亡ノ際ニ於ケル權利アリ或ハ不當ナル雇止ノ場合ニ於ケル權利アリ或ハ或場合ニ雇止ヲ請求スル權利アリ

○食料ノ請求權 第五百七十七條 海員ノ服役中ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔トス獨逸船員條例第四三條

海員ノ食料ニ關スルコトハ特別ニ契約ヲ以テ當事者之ヲ定ムルコトヲ得ヘシト雖モ若シ其定ナキトキハ船舶所有者之ヲ負擔スヘキモノト爲セリ蓋シ海員ノ給料ハ比較的少額ニシテ食料ハ其中ニ包含セサルヲ通例トシ又實際ノ慣習ニ於テモ多クハ皆然ルカ故ニ法律ハ海員ノ食料ヲ船舶所有者ノ負擔ト爲シタリ而シテ此規定ハ唯リ海員ト船舶所有者トノ間ノミニ適用セラルルニ非ス船舶カ貸賃借セラレタル場合ニ於テハ賃借人食料ヲ負擔スヘキモノトス又本條ニハ單ニ食料トノミアリテ飲料水ニ關スル明文ナケレドモ飲料水ハ固ヨリ必要ノ附從物ニシテ此食料ナル語中ニ包含スルモノトス

○治療及ヒ看護ヲ受クル權 第五百七十八條 海員カ服役中不行跡其他重大ナル過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷病ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ三個月ヲ超エサル期間内ノ治療及ヒ看護ノ費用ヲ負擔ス前項ノ場合ニ於テ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得但其職務ヲ行フニ因リ

ヲ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケタルトキハ其給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得舊
商法第八八二條佛商法第二六二條乃至第二六四條獨逸海員條例第四四條乃至
第五〇條

民法ノ雇傭契約ノ規定ニ從フトキハ勞務者カ雇傭ノ期間中疾病ニ罹リ若クハ
傷疾ヲ受ケタルトモ使用者ノ費用ニテ看護治療ヲ受ケルノ權利ヲ有セザレトモ
海員ニ付テハ就役ノ後疾病ニ罹リ若クハ傷疾ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ
之カ看護及ヒ治療ノ費用ヲ負擔スヘキモノト爲セリ是レ他ナシ海員ハ其勤務
ノ性質ヨリシテ危害ヲ被リ易ク殊ニ航海中ハ救助ナク放置スヘカラサルヲ以
テ其治療看護ノ事ニ關シテ海員ノ爲メニ例外ヲ設ケルハ普通ノ事トス是ヲ以
テ諸國ノ法律ニモ同一ノ規定ヲ設ク而シテ海員カ此保護ヲ受ケルハ際限ナキ
モノニ非ス若シ之ニ制限ヲ立テサルトキハ船舶所有者ノ負擔重キニ過ケルカ故ニ
法律ハ之ニ制限ヲ立テ船舶所有者ハ三箇月ヲ超エサル期間内ノ治療及ヒ看護
ノ費用ヲ負擔スヘキモノト爲シタリ然レトモ海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受
ケタルコトガ其不行跡其他重大ナル過失ニ原因スルトキハ船舶所有者ハ右費

用ノ負擔ヲ爲スモノニ非ス例ヘハ不品行ノ結果微毒ニ罹リ飲酒ノ末他人ト互
ニ毆打シテ傷疾ヲ被リタルカ如キ場合ニ於テハ是レ自ラ求メタルニ等シケレ
ハ海員ニ治療及ヒ看護ノ費用ヲ請求スルコトノ權利ヲ與ヘサルナリ茲ニ注意
スヘキハ海員カ本條ノ權利ヲ有スルハ其疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケタルコト
カ航海ノ始マル前ナルト後ナルトヲ問ハス又碇泊中ナルト否トヲ問ハス苟モ

海員トシテ服役ニ就キタル後ナレハ可ナルナリ

海員カ不行跡其他重大ナル過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケタル
トキハ當ニ三箇月以内ノ治療及ヒ看護ノ費用ノ請求權ヲ有スルニ止マラス其
給料ヲ請求スル權利ヲモ有セリ而シテ其請求權ハ疾病傷疾ニシテ海員カ其職
務ヲ行フニ因リテ發生セタル場合ト然ラサル場合トニ依リテ區別アリ其疾病
傷疾ニシテ海員カ其職務ヲ行フニ原因セスシテ發生シタルトキハ其服役シタ
ル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得ルニ止マレトモ其疾病傷疾ニシテ若
シ職務ヲ行フニ因リテ發生セタルトキハ海員カ之カ爲メニ休役セル期間ニ對
スル給料モ請求スルコトヲ得ルモノト爲セリ是レ至當ノ區別ナリ

海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷疾ヲ受ケテ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ船長ハ第五百八十一條第一項第四號ノ規定ニ依リ海員ヲ雇止ムルコトヲ得ヘシト雖モ本條ニ規定スル治療及ヒ看護ノ費用ノ義務ニ付テハ其雇入期間ノ當然經過シタルトキト雖モ仍ホ三箇月間ハ之ヲ履行セサルヘカラス

○航海延長ノ場合ニ於ケル權利 第五百七十九條 一航海ニ付キ給料ヲ定メタル場合ニ於テ航海ノ日數ヲ延長シ又ハ不可抗力ニ因ラスシテ其里程ヲ延長シタルトキハ海員ハ其割合ニ應ジテ給料ノ増加ヲ請求スルコトヲ得但航海ノ日數又ハ里程ヲ短縮シタルトキト雖モ給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得舊商法第八七九條、佛商法第二五五條、獨逸海員條例第五四條

海員ノ給料ノ定メ方ハ種種アリ或ハ航海ヨリ生スル利益ノ幾分ヲ分配スルモノアルヘク或ハ運賃ノ幾割ヲ給スルモノアルヘシト雖モ今日ニ在リテハ一般ニ一箇月ニ付キ幾何若クハ一日ニ付キ幾何又ハ一航海ニ付キ幾何ト定ムルヲ通例トス而シテ其一日ニ付キ幾何一箇月ニ付キ幾何ト定メタル場合ニ於テハ海員ハ單ニ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ受クルニ過キサルモノニシテ其

間豫定航路ノ變更延長等アリテ如何ニ多忙ナリトモ之ヲ爲メニ給料ニ變更ヲ生セサルナリ然レトモ一航海ニ付キ給料ヲ定メタル場合ニ於テ航海ヲ延長シ

若クハ短縮シタルトキハ給料額ニ影響ヲ生スヘキナリ

航海ノ延長トハ天氣ニ起因スルト商業上又ハ政治上ノ原因ニ出ツルトヲ問ハス契約上ノ航海ヲ變更スルヲ謂フモノニシテ其日數ヲ延長スルト日數ハ同シキモ其里程ヲ延長スルトアリ例ヘハ其航海中他ノ港ニ立寄ルカ爲メニ迂回シテ新ニ遠隔ナル港ニ到リ或ハ既ニ最初ノ到著地ニ著シ第二ノ到著地ニ向ケ航海スル等即チ是ナリ此場合ニ於テ海員ハ契約ノ文面ニ拘泥シ其船舶ヲ去ルノ權アルカ如クナレトモ然ラス唯其延長シタル割合ヲ以テ給料ノ増加ヲ請求スルコトヲ得ルノミ而シテ里程ヲ延長シタルトキハ自ラ日數ノ延長ト爲ルコト多シト雖モ日數ヲ延長セスシテ里程ノミヲ延長スルコトアリ此場合ニ於テハ其延長カ不可抗力ニ因リタルトキハ海員ハ給料ノ増加ヲ請求スルコトヲ得スト爲セリ何トナレハ此ノ如キ場合ニ於テハ海員ハ一層奮勵スルヲ以テ其當然ノ職務ト爲セハナリ故ニ海員ハ里程ノ延長カ不可抗力ニ因ラサルトキ例ヘハ船

船所有者ノ都合ニ因リテ他港ニ寄リタルカ如キ場合ニ非サレハ増額ヲ請求スルコトヲ得ス夫レ此ノ如ク里程ノ延長ノ場合ニ於テ不可抗力ニ因リタルトキハ給料ノ増加ヲ許ササレトモ日數ノ延長シタル場合ニ於テハ不可抗力ニ因リタルトキト雖モ給料ノ増加ヲ請求スルコトヲ許スカ何人モ不可抗力ニ因リテ生シタル損失ハ自ラ之ヲ負擔スヘキハ當然ナレトモ比較的僅少ナル給料ヲ以テ服役スル海員ニ之ヲ負擔セシムルハ酷ニ失スルヲ以テ航海日數ノ延長シタル場合ニ於テノミ不可抗力ニ因リタルトキト雖モ給料ノ増額ヲ請求スルコトヲ許シタリ然レトモ里程ノ延長カ日數ニ影響ヲ及ボササルトキハ海員ハ唯其勞務ニ繁忙ヲ増シタルノミニテ之カ爲メニ毫モ收入上ニ影響ヲ生セサルヲ以テ此場合ニ於テハ増額ヲ許ササル所以ナリ

右ノ反對ニ於テ航海ノ日數又ハ里程ヲ短縮シタルトキ例ヘハ捷路ヲ取リ若クハ速力ヲ増シテ豫定ノ航海ヲ早ク終リタルトキハ海員ノ給料ハ短縮シタル割合ニ依リ減少スヘキヤノ問題生スヘキヲ以テ本條第二項ハ之カ規定ヲ設ケ此場合ニ於テハ給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲セリ何トナレハ航海

ノ里程又ハ日數カ豫定ヨリ減少シタルハ偶然ノ結果ナルノミナラス航海全體ヲ完了シタルモノナレハナリ

○死亡ノ際ニ於ケル權利 第五百八十條 海員カ就役ノ後死亡シタルトキハ船舶所有者ハ死亡ノ日マテノ給料ヲ支拂フコトヲ要ス海員カ其職務ヲ行フニ因リテ死亡シタルトキハ其葬式ノ費用ハ船舶所有者ノ負擔トス(舊商法第八八

三條佛商法第二六五條獨逸海員條例第五一條)

海員雇入ノ契約ハ一航海ニ於ケル場合ト期間ヲ定メタル場合トヲ問ハス海員死亡シタルトキハ其雇入契約ハ終了スルヲ以テ其以後ノ給料ヲ與フルノ必要ナケレトモ船舶所有者ハ其死亡ノ日マテノ給料ヲ支拂ハサルヘカラス而シテ又其死亡カ職務ヲ行フニ原因シタルトキハ其海上タルト外國タルト又内國タルトヲ問ハス船舶所有者ハ其葬式費用ヲ負擔セサルヘカラサルナリ

○不當ナル雇止ノ場合ニ於ケル權利 第五百八十二條 海員カ前條第一項ニ掲ケタル事由ニ因ラスシテ雇止メラレタルトキハ其服役シタル期間ニ對スル給料ノ外一個月分ノ給料ヲ請求スルコトヲ得若シ雇入港外ニ於テ雇止メラレ

タルトキハ雇入港マテ歸航スルニ必要ナル期間ニ對スル給料及ヒ雇入港マテ
ノ送還ヲ請求スルコトヲ得舊商法第八七條第一項第八八條佛商法第二五
二條獨逸海員條例第五八條第五九條 第五百八十二條 諸員ノ權利第一項ニ
據ニ第五百七十四條ニ於テ說キタルカ如ク船長ハ何時ニテモ之ヲ解任スルコ
トヲ得ヘト雖モ法律ハ海員ニ付テハ之ニ反スルノ原則ヲ採用シタリ是レ海
員ハ船長ノ如ク信用上ノ地位ヲ有セサルト壓制ヲ被リ易ク且ツ其教育ノ不十分
ニシテ思慮ノ淺薄ナルカ爲メニ法律上ノ保護ヲ必要トスルトノ二理由ニ出ツ
ルニ外ナラサルナリ故ニ前條ニ於テ船長カ海員ヲ雇止ムルコトヲ得ヘキ場合
ヲ定メタルモノニシテ此等ノ場合ノ一ニ依リテ海員ヲ雇止ムルトキハ其雇止
ハ正當ナリト雖モ其他ノ場合ハ然ラサルナリ海員カ法律カ認メタル正當ノ事
由ニ因ラスシテ雇止メラレタルトキハ其服役シタル期間ニ對スル給料ノ外一
箇月分ノ給料ヲ請求スルコトヲ得ルノミナラス若シ雇入港外ニ於テ雇止メラ
レタルトキハ雇入港マテ歸航スルニ必要ナル期間ニ對スル給料及ヒ雇入港マ
テノ送還ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲セリ蓋シ其給料及ヒ送還ノ費用ハ理

由ナキ雇止ニ基キ損害ト謂フコトヲ得レハナリ而シテ若シ法律カ特ニ此規定
ヲ設ケサルニ於テハ海員ハ不當雇止ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ハ之ヲ民法
ノ普通ノ規定ニ基キテ請求セサルヘカラス然ルトキハ海員カ實際ノ損害額ヲ
證明スルニ於テハ法律カ茲ニ規定シタル額ヨリ多ク請求スルヲ得ルコトアル
ヘシト雖モ亦證據ノ不十分ナル場合ニ於テハ其請求ノ立ツ額ハ法律カ規定シ
タル額ニ達セサルコトアルヘシ然レトモ法律カ特ニ本條ニ於テ海員ノ請求ス
ルコトヲ得ヘキ損害額ヲ豫定シタルヲ以テ之カ爲メニ濫訴ヲ防キ實際上ノ便
利大ナリト云フヘキナリ又普通ノ場合ニ於テ海員カ其服役シタル期間ニ對ス
ル給料ノ外請求スルコトヲ得ル額ヲ一箇月分ノ給料ト定メタルハ海員ハ一箇
月分ノ餘裕アルトキハ再ヒ他ニ雇口ヲ求メテ其業ニ就クコトヲ得ヘクシテ雇
止ノ爲メニ糊口ノ途ヲ失ヒ貧困ニ陷キルノ患ナキモノト認メタルニ由ルナリ
本條ニ於テ海員ノ送還ヲ發航ノ港マテト爲サスシテ之ヲ其雇入港マテト爲シ
タル所以ハ海員ノ雇入及ヒ雇止ハ特別法船員法ノ規定ニ依リ管海官廳ノ公認
ヲ必要ト爲スカ(第二六條)故ニ何レノ地ニ於テモ雇入ヲ爲スコトハ之アラサル

ヘシ是ヲ以テ雇入港マテ送還スルモ實際上船舶所有者ニ取リテ不便少カルヘシ又雇入港マテ送還スレハ海員ヲ最モ其原狀ニ復シタルモノト云フコトヲ得ヘキヲ以テナリ

本條ノ規定ハ一面ニ於テハ海員ノ權利ナレトモ他ノ一面ニ於テハ船長ニ自由ヲ得セシムルノ規定タルナリ即チ船長ハ適當ナル海員ヲ雇入ルノ必要アルカ故ニ或海員ヲ認メテ不適任ト爲シタルトキハ縱令第五百八十一條ニ揭ケタル正當ノ事由ナシト雖モ契約期間中タルニ拘ラス賠償トシテ一箇月ノ給料ヲ與ヘ自由ニ之ヲ雇止ムルコトヲ得ルモノト爲シタレハナリ

○雇止ヲ請求スルノ權利 第五百八十三條 左ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ヲ請求スルコトヲ得

- 一 船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ
- 二 自己ノ過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ
- 三 船長ヨリ虐待ヲ受ケタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得(獨逸海員條例第六一條)

船長ハ正當ナル事由アルトキハ第五百八十一條ニ規定スルカ如ク海員ヲ雇止ムルコトヲ得ルカ故ニ海員ノ方ニモ正當ナル事由アルトキハ其雇止ヲ請求スルコトヲ得セシムルハ兩者ノ間能ク其權衡ヲ保ツモノト云フヘク且ツ之ヲ規定スルトキハ爭ヲ後日ニ絶ツヘキナリ即チ海員ハ其雇止ヲ請求スルコトヲ得ヘキ事由左ノ如シ

(一) 船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ 此場合ハ當事者ノ意思ノ推定ニ係ル蓋シ日本海員ハ船舶カ日本ノ國籍ヲ有スルカ故ニ其雇入ニ應シタル場合多カルヘク若シ其船舶ニシテ最初ヨリ日本ノ國籍ヲ有セザリシニ於テハ其雇入ニ應セザリシナラン故ニ船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失セタルトキニ其雇止ヲ請求スルコトヲ得ルモバト爲スハ至當ナリ然レトモ此事由ニ因リテ海員ノ雇入契約終了スヘキモノニ非ス亦此事由ヲ以テ船長カ海員ヲ雇止ムルコトヲ得ル權利ト爲スヘキ理アラサルヲ以テ之ヲ其權利ト爲サス此場合ニ於テハ獨リ海員カ

其雇止ヲ請求スルコトヲ得ルニ過キサルナリ故ニ此事由生シタリトモ海員ニシテ其船舶ニ留マリテ職務ヲ執ラント欲スルトキハ之ヲ繼續スルコトヲ得ヘキヤ論ヲ埃タサルナリ

(二) 自己ノ過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷病ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ 此場合ハ第五百八十一條第一項第四號ヲ以テ船長カ海員ヲ雇止ムルコトヲ得ル正當ナル事由ト爲シタル以上ハ之ト權衡ヲ得セシメンカ爲メニ茲ニ之ヲ揭ケタルナリ此場合ニ廣ク海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷病ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキトモスシテ其疾病傷病カ海員ノ過失ニ因ラスシテ發生シタル場合ニ限リタルハ他ナシ自己ノ過失ニ因リテ疾病ニ罹リ又ハ傷病ヲ受ケタルトキハ是レ自ラ招キタルニ等シキモノニシテ正當ナル事由ト云フコトヲ得サルヲ以テナリ

(三) 船長ヨリ虐待ヲ受ケタルトキ 婚姻又ハ養子縁組ノ如キ重大ナル身分上ノ關係ニ於テスラ當事者一方ノ虐待ハ他ノ一方ノ爲メニ婚姻又ハ養子縁組ヲ解除スルノ原因離婚民法第八一三條第一項第五號繼續同第八六六條第一號タル

モノナレハ單ニ財產權上ノ關係ニ止マル雇傭契約ニ於テ海員カ船長ヨリ虐待ヲ受ケタルトキ之ヲ原因トシテ雇止ヲ請求スルコトヲ得トスルハ至當ノ規定ナリ

第二項ノ規定ハ第一項ノ規定ヨリ生スル結果タルニ過キヌ即チ海員ノ雇止ノ請求カ正當ナル以上ハ其雇止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得トスルハ是レ亦至當ト云ハサルヘカラス

茲ニ注意スヘキ一ノ疑問アリ即チ本條ニ規定シタル事由アリテ海員カ雇止ヲ請求シタル場合ニ於テハ海員ハ其雇止ノ日マテノ給料ヲ請求スルコトヲ得トアリ又第五百七十八條ノ規定ニ於テ海員カ服役中不行跡其他重大ナル過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷病ヲ受ケタルトキハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得トアリテ同條ニ依レハ海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷病ヲ受ケタル場合ニ於テ之ヲ原因トシテ雇止ヲ請求セシテ單ニ治療及ヒ看護ノ費用ヲ請求スル場合ニ於テハ其休役中ノ給料ハ請求スルコトヲ得シテ單ニ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得ルニ止マレリ然ルニ海員

カ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケテ一二箇月間療養シタル後疾病又ハ傷痕ヲ原因トシテ雇止ヲ請求シタルトキハ海員ハ其給料ニ付テハ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受クル前マテノ分ヲ請求スルコトヲ得ルニ止マルカ將タ本條第二項ノ明文ニ從ヒテ右一二箇月間休役中ノ分即チ雇止ノ日マテノ分ヲモ請求スルコトヲ得ルカ換言スレハ第五百七十八條第二項前段ノ規定ト本條第二項ノ規定ト調和セルヤ否ヤノ問題はナリ本條ノ規定ニ依リ海員カ雇止ヲ請求スル場合ニ於テ其以前疾病又ハ傷痕ノ爲メ休役シタル場合ト疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受クルヤ直チニ雇止ヲ請求スル場合トヲ區別セスシテ單ニ其雇止ノ日マテノ給料ヲ請求スルコトヲ得トアルカ故ニ雇止ノ請求前休役シタル場合ニ於テモ其間ノ給料ヲ請求スルコトヲ得ルモノト解釋セサルヘカラス而シテ此ノ如ク解釋スルトキハ第五百七十八條ノ規定ト少シク權衡ヲ保タサル嫌アリト雖モ過失ナク勞務ニ服シタル者カ正當ニ其雇止ヲ請求スルトキハ普通ノ雇傭契約ノ場合ニ於テモ雇止ノ日マテノ給料ヲ給スルハ一般ノ慣習トモ云フヘケレハ此場合ニ於テ休役中ノ分ヲモ給與スルハ至當ノ規定ト云フヘキナリ

以上ハ海員カ有スル權利ナリ

○海員ヲ雇止ムルコトヲ得ル船長ノ權利 第五百八十一條 左ノ場合ニ於テ

ハ船長ハ海員ヲ雇止ムルコトヲ得

- 一 發航前海員カ其職務ニ不適任ナルコトヲ認メタルトキ
- 二 海員カ著シク其職務ヲ怠リ又ハ其職務ニ關シ之ニ重大ナル過失アリタルトキ

- 三 海員カ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

- 四 海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ

- 五 不可抗力ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得
第一項第四號及ヒ第五號ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得但第四號ノ場合ニ於テ海員ニ過失アルト

キハ前項ノ規定ヲ準用ス(舊商法第八七八條第二項佛商法第二五三條第二五四條獨逸海員條例第五七條)

正當ノ事由アルトキハ海員カ雇止ヲ請求スルコトヲ得ルカ如ク船長ニモ同シク海員ヲ雇止ムルコトヲ得ルモノト爲ササルヘカラス是ヲ以テ本條ニ於テ船長カ海員ヲ雇止ムルコトヲ得ヘキ場合ヲ規定セリ即チ左ノ如シ

(一)發航前海員カ其職務ニ不適任ナルコトヲ認メタルトキ 船中ニ於テ或職務ヲ執ラシムル爲メニ雇入レタル海員カ其職務ニ不熟練等ニシテ不適任ナルカ如キ場合ニ船長カ之ヲ雇止ムルコトヲ得ト爲スハ至當ナリ

(二)海員カ著シク其職務ヲ怠リ又ハ其職務ニ關シ之ニ重大ナル過失アリタルトキ 是レ別ニ説明ヲ要セスシテ明カナリ唯海員ニ限ラス何人ト雖モ多少過失アルコトハ免レサレトモ海員カ重大ナル過失ヲ爲シタルトキハ之カ爲メニ船舶所有者ノ損害ヲ受クルコト尠カラサルヘキヲ以テ重大ナル過失アリタル場合ニ限リテ雇止ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲セタリ

(三)海員カ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ 海員カ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキハ其刑期間中ハ船舶ニ在ルコト能ハサルモノニシテ海員ノ職務ヲ執ルコト能ハサルノミナラス禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ國家ノ罪惡者中ノ輕カラサルモノナルカ故ニ之ヲ雇止ムルコトヲ得ト爲スハ至當ナリ然レトモ此場合ハ海員カ雇入後ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキニ限ル雇入以前其處刑ヲ受ケタルコトアリトモ之ヲ船長カ雇入ノ當時了知スルト否トヲ分タス雇止ノ原因ト爲ラサルナリ法律カ海員ノ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル場合ヲ雇止ノ原因ト爲シタルハ監禁セラルル者ハ其間實際船中ノ職務ヲ執ルコト能ハサルヲ重大ナル理由ト爲シタルニ由ルヲ以テナリ

(四)海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ 海員カ一時疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケタリトモ暫時ニシテ快癒シ其職務ヲ執ルコトヲ得ヘキ者ハ之ヲ雇止ムルコトヲ得スト雖モ然レトモ疾病又ハ傷痕ノ爲メ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルカ如キ者ハ雇止ムルコトヲ得セシメサルヘカラス

(五)不可抗力ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ

キ 船舶所有者ノ都合ニ非スシテ不可抗力ニ因リ航海ヲ爲スコト能ハサルニ至リタルトキ例ヘハ到着港トノ間ニ宣戰ノ公布アリ又ハ禁令其他國ノ處分等ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ已ムヲ得タル事由ナルヲ以テ海員ヲ雇止ムルコトヲ得ル原因ト爲シタリ但シ此場合ハ船舶カ沈没シ又ハ修繕スルコト能ハサルニ至リタル場合ヲ包含セス此等ノ場合ハ實體上船舶ハ航海不能ト爲リタルモノニシテ第五百八十七條ノ規定ニ從ヒ海員雇入契約ハ之ニ因リテ當然消滅スルモノナリ

以上列舉シタル五箇ノ場合ハ船長カ海員ヲ雇止ムルコトヲ得ル正當ノ事由タリ而シテ法律カ正當ト認メタルモノハ以上ノ場合ニ限ルモノニシテ此外ニ於テ如何ニ正當ナル事由アリト雖モ這ハ法律上正當ナル場合トハ認メサルナリ法律上船長ノ海員ヲ雇止ムルコトヲ得ル場合ヲ以上ノ如ク制限シタルハ他ナシ第五百八十三條ノ規定ニ於テ海員カ其雇止ヲ請求スルコトヲ得ル場合ヲ制限シタルカ如ク法律カ豫メ其場合ヲ定ムルトキハ當事者濫ニ爭訟ヲ爲ササルカ爲メナリ而シテ此ノ如キ規定ハ他ノ立法例ニモ多ク見ル所ナリ

海員カ本條ニ規定スル場合ニ於テ雇止メラレタルトキ給料其他ノ請求權ハ各場合同一ナラサルナリ其第一號乃至第三號及ヒ第四號ノ疾病又ハ傷痕カ海員ノ過失ニ原因シテ生ゼタルモノナルトキハ第四號ノ場合ハ海員ニ過失アルヨリシテ雇止ヲ正當ナリト認メラレタルモノナレトモ第四號ノ疾病又ハ傷痕カ海員ノ過失ニ原因セサルトキ及ヒ第五號ノ場合ハ毫モ海員ニ尤ムヘキ事情ナク全ク已ムヲ得サルニ出テタルモノナレハ其間海員ノ請求權ニ差異アラサルヘカラス即チ總テノ場合ニ於テ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ハ之ヲ請求スルコトヲ得ヘシト雖モ第一號乃至第三號及ヒ海員ノ過失ニ原因セル第四號ノ場合ニ於テハ右服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得ルニ止マレリ之ニ反シテ其他ノ場合ニ於テハ尙ホ右ノ給料ノ外雇止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得ルコトト爲セリ

○航海中船舶所有者ノ變更シタルトキ雇傭契約ヲ繼續スヘキコト—第五百八十四條 航海中船舶ノ所有者カ變更シタルトキハ海員ハ新所有者ニ對シ雇傭契約ニ因リテ生シタル權利義務ヲ有ス(獨逸船員條例第六一條末項)

雇傭契約即チ本節ニ於ケル海員雇入契約ハ使用者タル船舶所有者ト勞務者タル海員トノ間ノ對人關係ニシテ船舶ト海員トノ間ノ關係ナラサルカ故ニ船舶所有者カ其船舶ヲ他ニ讓渡シタルトキハ其船舶ニ乗込メル海員ハ船舶ニ附隨スヘキモノニ非ス又使用者即チ船舶所有者ハ勞務者即チ海員ノ承諾アルニ非サレハ其權利ヲ第三者即チ新所有者ニ讓渡スヲ得サルコトハ雇傭契約ニ關スル原則民法第六二五條ナルヲ以テ舊所有者カ新所有者ニ對シ海員雇入ニ關スル契約ヲ繼承セシメントスルモ海員ノ承諾ナキ限リハ其契約ハ海員ニ對シテ效力ヲ有セサルヲ通則トスレトモ航海中船舶所有者ノ變更シタル場合ニ於テ此原則ヲ適用スルコトト爲ストキハ其船舶ニ乗込メル海員ハ新所有者トハ何等ノ關係ヲ有セサルカ故ニ新所有者ノ爲メニ航海ノ職務ニ服従スル義務ナク隨テ航海ハ中途ニシテ廢絶セサルヘカラサルノ結果ヲ生スルニ至ルヘクシテ此ノ如キハ航海業獎勵ノ爲メ取ラサル所ナレハ法律ハ特ニ茲ニ例外ヲ設ケテ航海中ニ在リテハ縱令船舶所有者カ變更シタルトキト雖モ海員ハ新所有者ニ對シ雇傭契約ニ因リテ生シタル權利義務ヲ有スルモノト爲シタルヲ然レトモ此

例外ハ船舶カ航海中讓渡サレタル場合ニ於テノミ適用セラルルモノニシテ其航海ヲ終リ船舶港ニ在リテ讓渡サレタルトキハ普通ノ原則ニ從フヘキモノトス此場合ニ於テハ新所有者ハ從來ノ海員ニ對シテ更ニ雇入ノ契約ヲ爲スカ若シ其雇入ヲ承諾セサル者アルトキハ他ヨリ海員ヲ雇入ルルトキハ之カ爲メニ航海ノ阻害ト爲ルモノニ非サレハナリ

○海員雇入期間ノ制限——第五百八十五條 海員ノ雇入期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ海員ヲ雇入レタルトキハ其期間ハ之ヲ一年ニ短縮ス海員ノ雇入ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

本條ノ規定ハ雇傭ノ期間ニ關スル民法ノ規定ノ例外ナリ民法第六百二十六條ノ規定ニ於テハ雇傭契約ノ當事者カ其契約ニ於テ如何ニ長キ期間ヲ約シタルト雖モ五年ヲ經過シタルトキハ當事者ノ一方ハ何時ニテモ契約ノ解除ヲ請求スルコトヲ得ルヲ以テ原則ト定メタレトモ海員ノ雇入期間ハ之ニ從ハス一年ヲ超過スルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ約シタルトキハ其期間ハ之ヲ一

年ニ短縮スルモノト爲シタリ而シテ此規定ノ精神ハ民法ノ雇傭期間ニ制限ヲ設ケタルト異ナルコトナク唯其期間ノ長短ノ差異アルニ過キサルナリ蓋シ雇傭期間ニシテ餘リ長キニ失スルトキハ當事者ノ自由ヲ束縛シ管ニ人ノ品位ヲ傷フノミナラス此ノ如キ束縛ヲ受ケタル者ノ勞務ハ其自由ナル場合ニ爲シ得ル勞務ヨリモ劣等ナルヘク亦雇主ニ於テモ束縛ヲ受ケテ人ヲ使用スル場合ニ於テハ之ヲシテ充分ナル勞務ヲ爲サシムルコトヲ得ス隨テ經濟上不利益タルヘシ殊ニ船長ト海員トノ關係ハ普通ノ雇傭契約當事者間ノ關係ヨリモ行政法上ノ特別規定船員法ニ依リ一層命令服從ノ關係ニ立ツコト多シ是ヲ以テ其契約ノ最長期間ヲ一年ト爲シタルナリ故ニ當事者カ一年以上ノ期間ヲ以テ雇入契約ヲ爲シタルトキハ之ヲ一年ニ短縮セラルルモノトス然レトモ其期間ノ經過シタルトキ若クハ其以前ト雖モ雇入契約ヲ更新スルコトハ妨アラサルナリ但シ此場合ニ於テモ其期間ハ更新ノ時ヨリ一年ヲ超ユルコトヲ得サルヤ言フヲ埃タサルナリ而シテ前後ノ契約期間ヲ通算スルトキハ二年ニ達スルコトアルトモ雇入契約ヲ更新シタル場合ニ在リテハ當事者ハ束縛ヲ脱シ且ツ經濟ニ關

スル事モ考察シタル上更ニ契約ヲ爲スニ在レハ毫モ其更新ニ付テハ法律上之ヲ禁止スルノ理由ヲ生セザレハナリ

○雇入期間ノ定ナキトキ海員カ其雇止ヲ請求スルコトヲ得ル時期 第五百八十六條 雇入期間ノ定ナキトキハ海員ハ特約アル場合ヲ除ク外船舶カ安全ニ碇泊シ且積荷ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸カ終ハリタル後ニ非サレハ其雇止ヲ請求スルコトヲ得ス(獨逸海員條例第五五條)

雇入期間ノ定アルトキハ其期間ノ經過スルヤ當然契約ハ終了スヘシ但シ海員カ引續キ其職務ニ服スル場合ニ於テ船長カ知リテ之ニ異議ヲ述ヘザルトキハ民法第六百二十九條ノ適用ヲ受クヘシト雖モ雇入期間ノ定ナキトキハ如何期間ノ定ナキトキハ一年ノ終ニ於テ其契約ハ終了スルヤ論ヲ埃タス然レトモ一年ノ終ニ至ルマテハ契約ハ繼續スルモノナレハ海員ハ其間ハ何時ニテモ雇止ヲ請求スルコトヲ得ヘシト雖モ此ノ如キ場合ニハ如何ナル時期ニ雇止ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルカハ特約アリテ之ヲ定ムルコト多シ然レトモ若シ其特約ナキトキハ何時ニテモ雇止ヲ請求スルコトヲ得ヘキモノト爲ストキハ航海ハ中

途ニシテ廢絶スルノ不幸ニ陷キルヘケレハ此場合ニ於テハ航海カ全部又ハ一部終了シ船舶カ安全ニ碇泊シ且ツ荷物ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸全ク終リタル後ニ非テレハ雇止ヲ請求スルコトヲ得サルモノト爲セリ

○海員雇入契約ノ終了——第五百八十七條 海員ノ雇入契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス

一 船舶カ沈没シタルコト

二 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルコト

三 船舶カ捕獲セラレタルコト

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ契約終了ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得舊商法第八八〇條舊商法第二五八條第二五九條獨逸海員條例第五六條

本條ハ一面ニ於テハ海員ノ雇入契約ノ終了ヲ規定シ他ノ一面ニ於テハ航海カ實體上不能ナル場合ニ於ケル海員ノ權利ヲ規定シタリ

海員雇入契約ハ其契約ノ趣旨ニ因リテ消滅スルノ外向ハ航海カ絕對ニ不能ト

爲リタル場合ニ於テモ消滅スルモノト爲ササルヘカラス而シテ法律ハ其場合

三箇ヲ定メタリ即チ(一)船舶カ沈没シタルトキ(二)船舶カ修繕スルコト能ハサル

ニ至リタルトキ(三)船舶カ捕獲セラレタルトキ是ナリ此等ノ場合ニ於テハ船舶

ヲ航海ノ用ニ供スルコト能ハサルハ言フヲ埃タサレトモ然レトモ尙ホ雇止ノ

意思表示ヲ爲ササルニ於テハ契約ハ依然トシテ繼續スヘキカ故ニ此等ノ場合

ニ於テハ其意思表示ヲ爲サスシテ當然雇入契約ハ終了スルモノト爲シタリ

以上ノ場合ニ於テ雇入契約カ終了スルトキハ海員ハ契約終了ノ日マテノ給料

及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得ヘシ而シテ此等ノ場合ニハ海員ニ

尤ムヘキ所ナキコト第五百八十一條第一項第四號及ヒ第五號第五百八十三條

ニ依リテ海員カ雇止メラレ又ハ雇止ヲ請求スル場合ト同シキカ故ニ之ト同一

ノ保護ヲ與ヘタルナリ

○海員送還ノ方法——第五百八十八條 海員カ雇入港マテノ送還ヲ請求スルノ權利ヲ有スル場合ニ於テハ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得舊商法第八七八條第二項獨逸海員條例第六六條

海員カ雇入港マテ送還ヲ請求スルコトヲ得ル場合第五八一條第一項第四號第五號第五八二條後段第五八三條第五八七條ニ於テハ船長ハ海員ヲ其船舶ニテ送還スルト其他ノ船舶ニ依ルト又源車ノ便アル場所ナルトキハ之ニ依ルトヲ問ハス相當ノ方法ヲ以テ雇入港マテ送還スルモノトス海員カ其送還ヲ受クル場合ニ於テハ之ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲シタリ此費用ノ中ニハ雇入港ニ至ルマテノ間ニ消費スヘキ食料ノ費用ヲモ包含スルコト勿論ナリ(獨逸海員條例第六五條)而シテ其方法ノ選擇ハ船長ニ在ラスシテ海員ニ在ルカ故ニ海員カ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求シタル場合ニ於テハ船長ハ之ヲ拒ムコトヲ得サルナリ但シ實際ニ於テ水火夫ノ如キ海員ニ現金ヲ交付スルトキハ直チニ費消シテ歸國スルコトヲ得サルノ處ナシトモサレトモ然レトモ是レ行政法ヲ以テ監督スヘキモノニシテ私法ノ關係スヘキ所ニ非サルカ故ニ本法ニハ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲シタリ又海員ハ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得ルカ故ニ其費用ヲ受領スルモ直チニ歸國セシテ他船ノ雇入ニ應スルコトヲ得ヘキナリ

○海員ノ船舶所有者ニ對スル債權ノ時効 第五百八十九條 第五百七十五條ノ規定ハ海員ノ債權ニ之ヲ準用ス(舊商法第九七六條獨逸商法第九〇六條第九〇八條)

海員カ船舶所有者ニ對シテ有スル債權ハ恰モ船長カ船舶所有者ニ對シテ有スル債權ニ同シケレハ法律ハ海員ノ債權ニ對スル時効ニ付テハ船長カ船舶所有者ニ對シテ有スル債權ニ對スル時効ノ規定ヲ準用スルコトヲ爲シタリ

第三章 運送

運送ヲ分ツトキハ二種ト爲ル即チ陸上運送及ヒ水上運送是ナリ其水上運送ヲ細別スルトキハ二ト爲ル即チ國內水上運送第三三一條商法施行法第一二二條明治三十二年五月二十六日逕信省令第二十號及ヒ海上運送是ナリ而シテ此陸上運送及ヒ國內水上運送ハ第三編第八章第三三一條乃至第三五二條ニ規定スル所ニシテ是レ運送ニ關スル一般ノ規定タリ其海上運送モ亦右一般ノ原則ノ支配ヲ受クヘシト雖モ亦特別ノ規定ヲ要スルコト尠ナラサルヲ以テ特ニ海上

運送ニ關スル規定ヲ茲ニ設ケタル所以ナリ
海上運送モ亦二種ニ分タル物品運送及ヒ旅客運送是ナリ故ニ法律ハ本章ヲ二節ニ分チタリ即チ第一節物品運送第二節旅客運送是ナリ茲ニ此區別ヲ爲スハ恰モ陸上運送及ヒ國內水上運送ニ付キ同一ノ區別ヲ爲シタルト同シク物品運送ト旅客運送トハ各特殊ノ規定ヲ要スルヲ以テナリ

第一節 物品運送

本節ヲ分ナテ二款トス第一款總則第二款船荷證券是ナリ

第一款 總則

○儲船契約 第五百九十條 船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキハ各當事者ハ相手方ノ請求ニ因リ運送契約書ヲ交付スルコトヲ要ス(舊商法第八七條佛商法第二七三條獨商法第二五八條)

物品運送ノ契約ニ二種アリ其一ハ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的

ト爲スモノ他ノ一ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲スモノ是ナリ其第一種ノ運送契約ハ本條ニ規定スルモノニシテ之ヲ儲船契約佛語ニ於テ之ヲ *charte partie* ト云フト稱スルナリ此契約ハ舊商法ニ於テハ船舶賃貸借契約ト稱セシト雖モ其實船舶ヲ賃貸スル契約ニ非スシテ船舶ノ全部又ハ一部ヲ借入レ之ニ應スル運送貨ヲ支拂ヒテ荷物又ハ旅客ヲ積載シ船舶所有者ヲシテ其運送ヲ爲サシムル契約ナリ故ニ船舶ノ賃貸借トハ大ニ異ナレリ船舶モ亦家屋物品ノ如ク賃貸ノ目的タルヘシト雖モ其場合ニ於テハ賃借主ハ船舶ノ引渡ヲ受ケ自ラ其船舶ヲ機裝シ乗組員ヲ備ヘ石炭糧食等ヲ積入レ之ヲ使用スルモノニシテ其使用ニ付テハ第三者ニ對スルトキハ曩ニ第五百五十六條第五百五十七條ニ付テ叙述シタルカ如ク船舶所有者ト同一ノ權利義務ヲ有シ其所有者ニ對シテハ船舶ヲ自由ニ使用スル報酬トシテ借賃ヲ支拂フニ過キササルモノニシテ運送契約ニ非サルナリ之ニ反シテ儲船契約ハ羅馬法ニ於テ所謂事業賃借ト稱シ運送ノ施行終了ヲ以テ目的ト爲シ其施行者(船舶所有者)ノ責任ヲ以テ其事ヲ終ルヘクシテ依頼者(儲船者)ノ責任ヲ以テ其物品又ハ勢力ヲ使用スルニ非タル

ナリ故ニ此備船契約ノ場合ニ在リテハ船舶所有者ニ於テ船舶ヲ機裝シ船員ヲ雇入レ石炭糧食等船舶ニ要スル物ハ總テ之ヲ備ヘ積荷ハ船舶所有者之ヲ運送スルモノナリ又備船契約ト箇箇ノ運送品ノ運送契約トノ間ニハ種種ノ區別アリ備船契約ニ付テハ各當事者ハ相手方ノ請求アルトキハ運送契約書ヲ交付スルコトヲ要スレトモ箇箇ノ運送品ノ運送契約ニ付テハ斯ル規定ナシ而シテ此場合ニ特ニ契約書ヲ作製セシメサルハ獨リ本法ニ限ラス諸國ノ立法例モ多ク同一ナリ是レ此場合ニ於テハ運送狀第三二條ニ關スル規定ヲ以テ充分ト爲セハナリ而シテ此區別ハ箇箇ノ運送品ニ在リテハ其到達港ニ於テ運送品ヲ適當ニ引渡スヲ約スルニ過キテレトモ備船契約ニ於テハ併セテ船舶ノ全部又ハ一部ヲ契約ノ趣旨ニ從ヒテ專ラ使用セシムルコトヲ約スルヨリ生スルモノナリ是ヲ以テ箇箇ノ運送品ノ運送契約ニ於テハ荷物ヲ容ルヘキ場所アル限りハ船舶所有者ハ何人ニ對シテモ自由ニ運送契約ヲ結ビ荷物ヲ積積スルコトヲ得ヘシト雖モ備船契約ニ於テハ縱令船舶内ニ船積スヘキ空所アリト雖モ他人ノ荷物ヲ併セ運送スルコトヲ得ス而シテ備船契約ハ船舶ノ全部又ハ一部ト

云フカ如ク場所ヲ總括シテ船舶ヲ使用シ運送セシムルニ在ルカ故ニ縱令積荷カ船舶ノ全部又ハ一部ニ滿ツルト雖モ其運送契約ノ趣旨ニシテ船舶ノ全部又ハ一部ノ使用ニ非サルトキハ備船契約ニ非サルナリ例ヘハ船舶所有者ト石炭三千噸又ハ米三千俵ヲ一噸又ハ一俵ニ付キ何程ト運賃ヲ定メテ運送契約ヲ爲シタルトキハ其船舶ニシテ三千噸又ハ米三千俵積ノモノナルトキハ積荷ハ其船舶ノ全部ニ滿ツルト雖モ是レ箇箇ノ運送品ノ運送契約タルニ過キサルナリ之ニ反シテ積荷ハ同シタ石炭三千噸又ハ米三千俵ニシテ船舶モ三千噸積ノモノナリト雖モ運送契約ノ趣旨ニシテ船舶ノ全部即チ一般ヲ備切リ横濱ヨリ上海マテ往復航海ヲ何程ト定メタルカ如キトキハ備船契約ナリ

此運送契約ニ付テハ舊商法第八七條ハ佛商法其他伊蘭西國等ノ商法ノ如ク積荷ノ爲メニ交付スル船荷證券第六二條舊商法第八九條ノ外別ニ契約書ヲ作製スルコトヲ要スルモノト爲シタルトモ(但シ證書ノ作製ハ契約成立ノ要件ニ非ス)本法ハ以上ノ立法例ヲ採用セス獨逸商法ニ模倣シ獨リ之ニ限ラス商事契約ニハ形式ヲ要セサルヲ以テ本則ト爲シタルカ故ニ備船契約ヲ爲スニ當

リ其契約書ヲ作製スルト否トハ當事者ノ請求ニ一任シタリ又船荷證券第六二〇條以下ニ付テモ亦同シク備船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ之ヲ交付スルコト爲シタリ故ニ備船者ハ船荷證券ノ交付ヲ受ケテ運送契約書ノ交付ヲ受ケサルコトヲ得ヘク或ハ運送契約書ノ交付ヲ請求シテ船荷證券ノ交付ヲ受ケサルコトヲ得ヘク或ハ二者共ニ交付ヲ受クルコトヲ得ヘク若クハ受ケサルコトヲ得ヘキナリ船船所有者モ亦同シキナリ

茲ニ注意スヘキハ船荷證券ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テ運送契約書ノ交付ヲ受ケ又ハ其反對ニ於テ運送契約書ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テ船荷證券ノ交付ヲ受クル必要如何ノ疑問是ナリ蓋シ運送契約書ハ船船所有者ト備船者トノ間ニ在リテ備船ニ關シテ作ルモノナレハ之ニ關スル後日ノ紛争ヲ豫防スル爲メニ外ナラサレトモ船荷證券ハ之ト異ナリテ其目的ハ荷物ノ融通ヲ圖ルニ在リ故ニ船荷證券ハ第六百二十九條ノ規定ニ從ヒ爲替手形ノ如ク裏書シテ(第四五五條流通證券ト爲シ之ヲ流通スルコトヲ得ヘキナリ
備船契約書中ニ如何ナル事項ヲ記載スヘキヤヲ規定シタル佛佛商法第二七三

條伊等ノ如キ立法例アリト雖モ本法ハ之ニ倣ハス慣習又ハ當事者ノ契約ニ一任セシムルヲ以テ實際ノ便宜ニ適スルモノト爲シ記載スヘキ事項ヲ定メサリシナリ

○船船所有者ノ義務

(一)第五百九十一條 船船所有者ハ備船者又ハ荷送人ニ對シ發航ノ當時船船カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪フルヤ否
獨商法第五六〇條

備船者又ハ荷送人ニ對シテ發航ノ當時船船カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪フルヤ否ヤヲ擔保スル義務ハ船船所有者ノ第一ノ義務ナリ而シテ持ニ船船所有者カ此擔保ノ義務ヲ負ヘル旨ヲ約セサルトモ船船所有者ニ此義務アルコトハ言フヲ埃タスシテ明白ナリ然レトモ實際ニ於テ備船契約書ニハ船船カ航海ヲ爲スニ適スル旨ヲ記載スルヲ常ト爲セリ若シ運送品ヲ積載スル船船旅客運送ニ付テモ第六百三十九條ニ同一ノ規定アリニシテ航海ヲ爲スニ堪ヘサルカ如キ不適當ノモノナランカ例ヘハ老朽若クハ破損等ノ爲メ航海ノ用ニ堪ヘサルモノナ

ランニハ之ニ船積シタル運送品ハ甚タ危險ニ陷キルノ不幸ヲ免レサルナリ而シテ皮相ノ見ヲ以テスルトキハ船舶所有者ハ老朽若クハ破損シテ航海ヲ爲スニ堪ヘサルカ如キ船舶ヲ以テ危險ヲ冒シ航海ヲ爲ストキハ船舶ヲ失フノ損害ヲ招ク虞アルヲ以テ此ノ如キ船舶ヲ以テ運送契約ヲ取結フコトナカルヘシト雖モ凡ソ船舶ハ多クハ保險ニ付スルヲ以テ若シ其老朽ニ至リタルトキハ之カ保險金額ヲ得ンカ爲メ船舶所有者ニ於テ故ラニ其破壊ヲ導クモノ未タ必スシモ之ナシトセサルモノニシテ此ノ如キ場合ニ於テ船舶ノ沈没ハ却テ船舶所有者ノ利益タルヘキヲ以テ危險ヲ顧ミス契約ヲ爲ス者尠シトセサルナリ此ノ如キハ船舶所有者ノ利益ニ引替ヘ備船者又ハ荷送人ノ不利益ト爲リ而シテ運送契約ハ運送ノ施行終了ヲ以テ其目的ト爲シ其施行ハ船舶所有者ノ責任ヲ以テ爲スモノナルコトハ既ニ叙述シタル所ニシテ船舶所有者ハ其責任ヲ顧ミサル次第ナルヲ以テ船舶所有者ハ發航ノ當時航海ニ堪フル船舶ヲ供セサルヘカラサルコトト爲シタリ

船舶カ航海ヲ爲スニ堪フルヤ否ヤハ一ニ事實上ノ問題ニ屬スルモノナレハ等アル場合ニ於テハ鑑定人ノ鑑定ニ任スヘク總令公認ノ検査證書アル場合ト雖モ其検査後既ニ幾多ノ時日ヲ經過シタル時ニ在リテハ必スモ該證書カ船舶ノ航海力ヲ證スルノ具タラサルノモノトス官廳ヨリ下付セル検査證書ノ如キハ此場合ニ於テハ一應ノ推定ヲ受クルニ過キサルモノナレハ之ニ拘ラス船舶カ航海ヲ爲スニ堪ヘサルコトハ利害關係人ニ於テ立證スルコトヲ得ヘシ又船舶所有者カ其擔保スル範圍ハ獨リ船體ノミナラス乗組員其他總テノ機裝等ニ至ルマテ皆包含スヘキヤ論ヲ埃タサルナリ

船舶所有者ハ本條ノ擔保義務ヲ負ヘル結果トシテ若シ船舶所有者カ航海ヲ爲スニ堪ヘサル船舶ヲ以テ運送ノ用ニ供セ之カ爲メニ船舶カ沈没又ハ破損シテ備船者又ハ荷送人ニ損害ヲ生シタルトキハ之カ賠償ヲ爲ササルヘカラサルヤ論ヲ埃タサルナリ而シテ其船舶ノ沈没又ハ破損カ縱令暴風ノ如キ不可抗力ニ原因スルトキト雖モ堅牢ニシテ航海ヲ爲スニ堪フル船舶ヲ以テシテモ到底其海難ニ堪ヘサルコトヲ證スルニ非サレハ其責任ヲ免ルルコト能ハサルナリ

(二)第五百九十二條 船舶所有者ハ特約ヲ爲シタルトキト雖モ自己ノ過失船員

其他ノ使用人ノ惡意若クハ重大ナル過失又ハ船舶カ航海ニ堪ヘサルニ因リヲ生シタル損害ヲ賠償スル責ヲ免ルルコトヲ得ス(舊商法第九〇一條末項、獨商法第六五九條)

船舶所有者ハ自己ノ過失ニテ備船者又ハ荷送人ニ損害ヲ生シタルトキハ之ヲ賠償セサルヘカラス又其船員其他ノ使用人ハ其雇人ナルヲ以テ此等ノ者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リ損害ヲ起シタルトキハ是レ亦自己ニ其責任ヲ負ハサルヘカラサルコトハ民法ノ普通原則民法第七〇九條第七一五條ナリ然レトモ民法ノ規定ハ特約ヲ以テ變更スルコトヲ許ササル明文アルモノヲ除キテハ一般ニ當事者ノ特約ヲ以テ變更ヲ爲スコトヲ得ルモノナレハ運送契約ニ付テモ當事者ハ運送契約書備船又ハ船舶證券中ニ船舶所有者ハ荷物ニ付キ損害賠償ノ責ヲ負ハスト云フカ如キ汎博ナル意味ヲ以テ特約ヲ爲ス者ナキニ非ス(運送契約ノ盛ニ行ハルル所ニ在リテハ豫メ印刷シテ備船契約書及ヒ船舶證券ヲ製シ置キ契約取結ノ際唯其必要ナル事項ヲ記入スルニ過キス故ニ細大ノ事項殊ニ船舶所有者若クハ船長ニ利益ナル條件ハ細密ニ之ヲ記載スルヲ以テ通例ト

ス而シテ依頼人タル荷主ニ在リテハ逐一其條文ヲ査閱スルニ違アラサルヲ以テ卒然調印スル者尠シトセス)然レトモ此ノ如クスルトキハ備船者荷送人ハ安心シテ荷物ヲ船舶所有者ニ委託スルコトヲ得ス爲メニ運送營業ハ商業ヲ容易ナラシムル所謂補助的商行爲ナルニ其任務ヲ完ウスルヲ得シテ其結果商業ノ衰頹ヲ來スヲ免レス殊ニ海上運送業ノ如キハ資力ニ富メル大會社ニ於テ之ヲ營ムヲ例トシ事業上ニ於テ專業タル觀ナキニ非ス故ニ千八百八十八年ノ「ブヲツセル」ニ於ケル萬國商業會議ニ於テモ此點ニ關シテ問題ヲ生シ遂ニ本條ニ列舉スル所ノ事項ニ付テハ船舶所有者ハ特約アルトキト雖モ其責任ヲ免ルルコトヲ得ストノ議決ヲ爲シ各國ノ商法ニ於テ此主義ヲ採用スヘキコトヲ勸告シタリ本條ハ即チ略ホ該議決ノ主意ヲ採用シタルモノナリ

前條ニ於テ船舶所有者ハ船舶カ航海ニ堪フルコトヲ擔保スル義務ヲ負ヒ若シ此義務ニ背キタルトキハ其結果トシテ之ヨリ生シタル損害ヲ賠償セサルヘカラサルコトヲ說キタルカ此場合モ過失ニ因リテ損害ヲ生シタル場合ト同シタ縱令特約ヲ爲シタルトモ之カ爲メ船舶所有者ハ其責任ヲ免ルルコトヲ得サル

ナリ

○法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラサル積荷ニ關スル船長ノ權限 第五百九十三條
法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ船積シタル運送品ハ船長ニ於テ何時ニテモ之ヲ陸揚シ若シ船舶又ハ積荷ニ危害ヲ及ホス虞アルトキハ之ヲ放棄スルコトヲ得但船長カ之ヲ運送スルコトキハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル同種ノ運送品ノ最高ノ運送賃ヲ請求スルコトヲ得前項ノ規定ハ船舶所有者其他ノ利害關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス(舊商法第九〇七條佛商法第二九二條獨商法第五六五條)

船舶ニ運送品ヲ積込ムハ契約ニ基キ且ツ法令ニ違反セサルコトヲ要スルハ言フヲ埃タサルナリ例ヘハ荷送人カ契約ヲ爲サスシテ竊ニ荷物ヲ船積シ又ハ契約外ノ荷物ヲ船積シ又ハ海員カ自己ノ手荷物ノ外ニ竊ニ商品ヲ積込ミ又ハ傭船者若クハ荷送人カ戰時禁制品輸入ヲ禁止セラレタル物等ヲ積込ミタルトモ船長ハ之ヲ運送スルノ義務ヲ有セス此場合ニ於テハ船長ハ其積荷ヲ場所ノ何レタルヲ問ハス何時ニテモ陸揚シ若シ又船舶又ハ他ノ積荷ニ危害ヲ及ホス虞

アルトキハ之ヲ海中ニ投棄スルコトヲ得ヘシ而シテ傭船者若クハ荷送人ハ其荷物ヲ到着港以外ニ陸揚セラレ又ハ海中ニ投棄セラレタリトモ是レ契約ニ依リタルニ非ス全ク其不法行為ニ因リテ自ラ招キタルモノナレハ之カ爲メニ生シタル損害ハ何人ニ對シテモ賠償ヲ請求スルコトヲ得サルモノニシテ其損失タリ加之此ノ如キ不正ナル行為ヲ爲シタル者ハ其行為ニ因リテ船舶若クハ他ノ積荷ニ對シテ損害ヲ生シタルトキ例ヘハ爆發物ヲ發火ノ虞ナキ物品ニ裝フテ船積シタルヨリ船舶ノ動搖ニ依リ其積荷爆發シ船舶ノ一部及ヒ他ノ積荷ヲ燒燬シタルトキハ其不正行為ヲ爲シタル傭船者荷送人等ハ船舶所有者及ヒ他ノ積荷ノ所有者ニ對シ之カ損害ヲ賠償セサルヘカラス而シテ船長ハ航海ノ初メ又ハ途中ニ於テ斯ル積荷アルコトヲ發見シタリト雖モ之ヲ直チニ陸揚シ又ハ海中ニ投棄スヘキ義務アルモノニ非スシテ之カ運送ヲ終了スルコトヲモ得ヘキナリ船長カ此積荷ヲ運送シタルトキハ運送賃ヲ請求スルコトヲ得ルモノニシテ其額ハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル同種ノ運送品ノ最高額ニ依ルコトヲ得ルモノト爲セリ

本條第二項ヲ設ケタルハ他ナシ不法行為ヲ爲シタル者ハ船舶所有者又ハ他人ノ積荷ノ利害關係人ニ對シテ損害賠償ノ責任ヲ負フト雖モ船長ニ前項ノ權限ヲ與ヘタルノ結果トシテ他ニ損害ヲ生スルコトアルモ最早別ニ之ヲ賠償スヘキ責任ナキニ至リタルカノ疑ノ生スヘキヲ恐レ注意ノ爲メニ設ケタルニ外ナラサルナリ

○船積ヲ爲スニ必要ナル準備整頓ノ通知船積期間ノ起算及ヒ其期間後ノ船積
 第五百九十四條 船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ運送品ヲ船積スルニ必要ナル準備カ整頓シタルトキハ船舶所有者ハ運滞ナク備船者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス備船者カ運送品ヲ船積スヘキ期間ノ定アル場合ニ於テハ其期間ハ前項ノ通知アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス其期間經過ノ後運送品ヲ船積シタルトキハ船舶所有者ハ特約ナキト雖モ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得前項ノ期間中ニハ不可抗力ニ因リテ船積ヲ爲スコト能ハサル日ヲ算入セス(舊商法第八八條第八九條獨商法第五六八條第五七四條)

本條ヨリ第六百條ニ至ル七箇條ハ船舶ノ全部ヲ以テ備船契約ノ目的ト爲シタル場合ニ關スル規定ナリ

船舶所有者ハ其船舶ニ運送品ヲ船積スルニ必要ナル準備ヲ爲ササルヘカラス例ヘハ船中ヲ片付ケ船舶ヲ掃除スル等是ナリ而シテ舊商法第八八條及ヒ獨逸商法第五六一條ニ於テハ船舶ヲ如何ナル場所ニ碇繋セシムヘキヲ規定シ又獨逸商法ニハ船長ハ船舶ヲ備船者ノ指定シタル場所ニ廻スヘキコトヲ規定スレトモ他所ニ在ル船舶ヲ船積スヘキ港ニ廻スヘキコトハ言フヲ埃タヌ又港内ニ於テ如何ナル場所ニ船舶ヲ碇繋スヘキハ契約アルトキハ之ニ從ヒ若シ契約ナキトキハ慣習ニ從フヘキコトハ言フヲ埃タサルヲ以テ本法ニハ別ニ此等ノ事項ヲ掲ケス單ニ準備カ整頓シタルトキハ運滞ナク備船者ニ其旨ヲ通知スヘキコトヲ要スト云フニ止メタリ

備船者ハ船舶所有者ノ右ノ通知ヲ俟テテ船積スルモノニシテ其船積期間ハ契約ヲ以テ定ムルモノアリ或ハ然ラスシテ慣習ニ依リテ定マルモノアリ其孰レタルヲ問ハス其期間ヲ船積期間ト稱スルナリ之ヲ舊商法ニ於テハ碇泊期間ト稱

セリ而シテ備船者ハ其船積期間内ニ船積ヲ終了セスシテ契約又ハ慣習ニ依リテ其期間ヲ延長シ最初約シタル期間ノ經過後ニ船積ヲ爲スコトアリ舊商法ニ於テハ之ヲ超過碇泊期間ト稱セリ蓋シ碇泊期間又ハ超過碇泊期間ノ名稱及ヒ區別ハ諸國ノ立法例獨商法第五百六十九條ニハ超過碇泊期間ヲ十四日トス又ハ學者ノ著書中ニ見ユト雖モ是レ多クハ契約又ハ慣習ニ依リテ定マルヘキモノナレハ特ニ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘキ必要アラサルナリ故ニ本法ニハ之ヲ設ケナリシナリ

契約又ハ慣習ニ依リテ船積期間ノ定マルヘキ場合ニ於テハ其起算點ノ定ナカラサルヘカラサルヲ以テ其起算點ハ備船者カ船舶所有者ヨリ船積ヲ爲ス準備整頓ノ通知ヲ受ケタル日ノ翌日ト爲シタリ

船積期間即チ碇泊期間ハ備船者ノ爲メニ設ケタルモノナレハ此船積期間ニ對スル報酬ハ運送契約ノ報酬中ニ包含スルヲ常トスルカ故ニ別ニ之カ報酬ヲ支拂フコトヲ要セサルナリ然レトモ備船者カ船積期間内ニ船積ヲ終ラシテ其期間經過後ニ運送品ヲ船積シタルトキハ備船者ハ相當ノ報酬ヲ支拂ハサルヘ

カラス是レ契約外ノ期間ナレハ船舶所有者ハ其間船員ノ給料食料ヲ支拂ヒ又船舶ニ係ル諸費用ヲ負擔シ意外ノ損失ヲ被ルニ至ルヲ以テ相當ノ報酬ヲ船舶所有者カ備船者ニ對シテ請求スルコトヲ得ルハ商行爲ノ性質上當然ナリ而シテ此ノ如キハ特約アルト否トヲ問フコトヲ要セサルナリ

舊商法第八八九條ハ一般ノ休日ヲ以テ碇泊期間又ハ超過碇泊期間内ニ算入セスト規定シ其理由トスル所ハ一般ノ休日ニハ一般ノ者カ休業シ船積ニ付キ勞役ヲ爲ス者ナカルヘシト云フニ在レトモ是レ多クハ慣習ニ依リテ定マルヘク又外國ノ立法例例ヘハ英法ノ如キハ一般ノ休日ヲ以テ期間ニ算入シ又我邦ノ慣習ニ於テハ會社銀行ノ如キハ一般ノ休日ニ休業スルヲ例トスレトモ其他ニ於テハ休業セサルモノ多ク而シテ從來開港場ニ於テハ外國船舶雖モ臨時開關ヲ請ヒ一般ノ休日ニ船積スル例少カラサリシナリ故ニ本法ニ於テハ一般ノ休日ヲ船積期間中ニ算入スルト否トハ契約ヲ以テ定メ又ハ慣習ニ依リテ定マルヘキモノト爲シ此點ニ付キ別ニ法律上ノ規定ヲ設ケサルナリ唯本法ニ於テハ天然ノ障礙例ヘハ風雨等アル場合又ハ法律ノ規定例ヘハ檢疫規則ニ依リテ船

積ヲ爲スコト能ハサルカ如キ。不可抗力ニ因レル場合ハ船積期間内ニ算入セサルコトト爲シタリ。是レ當然ノ規定タリ。故ニ例ヘハ船積期間ヲ三日ト約シタル場合ニ於テ其中一日若クハ二日間暴風雨ニテ船積ヲ爲スコト能ハサルトキハ其期間ハ之ヲ船積期間中ニ算入セサルカ故ニ之カ爲メニ延引シタル船積期間ヲ契約以外ノモノト爲シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得サルナリ。然レトモ當事者ハ不可抗力ニ因リテ船積ヲ爲スコト能ハサル期間ヲモ船積期間ニ算入スヘキコトノ特約ヲ爲スコトハ妨ナキナリ。此場合ニ於テ船積期間中ニ船積ヲ爲スコト能ハサルトキハ期間經過後ノ船積トシテ相當ノ報酬ヲ支拂フノミ

○第三者ヨリ運送品ヲ受取ルヘキ場合ニ於ケル船長ノ義務及ヒ備船者ノ權利
第五百九十五條 船長カ第三者ヨリ運送品ヲ受取ルヘキ場合ニ於テ其者ヲ確知スルコト能ハサルトキ又ハ其者カ運送品ヲ船積セサルトキハ船長ハ直チニ備船者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス。此場合ニ於テハ船積期間内ニ限リ備船者ニ於テ運送品ヲ船積スルコトヲ得。獨商法第五七八條

備船者ハ自ラ船積ヲ爲サスシテ運送品ノ賣主又ハ代理人若クハ支店ヲシテ船

積ヲ爲サシムルコトハ實際ニ於テ往往之アル所ニシテ此場合ニ於テ船長カ其第三者ヲ確知スルヲ得サルコトアリ又之ヲ確知スルトモ運送品カ出揃ハサルカハ備船者カ契約ニ依リ代金ヲ支拂ハサルカ又ハ其他ノ原因ニ因リテ第三者カ之ヲ船長ニ引渡ササルコトアリ。此ノ如キ場合ニ於テハ船長ハ直チニ其旨ヲ契約者タル備船者ニ通知セサルヘカラス。此ノ如クスルトキハ備船者ハ此通知ニ依リテ船積期間内ニ自ラ船積ヲ爲スカ若クハ第三者ヲシテ船積ヲ爲サシムルコトヲ得ヘシ。然レトモ此場合ニ於テハ之カ爲メ特約ナキニ於テハ其期間ヲ延長スヘキモノニ非ス。若シ船積期間内ニ備船者カ船積ヲ爲ササルトキハ第五百九十八條末項ノ規定ニ從ヒ運送契約ハ解除シタルモノト看做サルヘキナリ

○備船者ノ發航請求權及ヒ之ヨリ生スル其義務 第五百九十六條 備船者ハ運送品ノ全部ヲ船積セサルトキト雖モ船長ニ對シテ發航ノ請求ヲ爲スコトヲ得。備船者カ前項ノ請求ヲ爲シタルトキハ運送貨ノ全額ノ外運送品ノ全部ヲ船積セサルニ因リテ生シタル費用ヲ支拂ヒ向ハ船船所有者ノ請求アルトキハ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス。舊商法第八九六條、第九〇五條、佛商法第二八八條、獨

商法第五七一條第五九條第五八〇條

船長ハ備船者カ契約ヲ解除スルニ非サレハ運送品ノ全部ヲ船積セサルトキト雖モ發航スヘキ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノニシテ其權利ニ關スルモノハ次條ニ規定シ其義務即チ備船者ノ權利ニ屬スルモノハ本條ニ規定セリ備船者カ運送契約ヲ解除スルトキハ其發航前ナルト其後ナルトニ依リ第五百九十八條又ハ第六百條ニ從ヒテ運送貨ノ半額又ハ全額及ヒ其他ノ費用ヲ支拂フ若シ又備船者カ船積期間内ニ全ク運送品ヲ船積セサルトキハ第五百九十八條末項ニ依リ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做ス然レトモ船積期間ノ終ルマテニ契約上ノ運送品ノ一部分ヲ船積シタルノミニテ其餘ノ部分ヲ船積セサルニ拘ラス備船者ハ發航ヲ請求スルコトヲ得蓋シ船積全部ノ備船者ハ自己ノ便宜ヲ圖リ契約ヲ以テ定メタル運送品ノ全部ヲ船積スルコトノ權利ヲ拋棄スルヲ得ルハ論ヲ埃タス此場合ニ於テハ船長ハ發航ヲ爲スコトニ付キ異議ヲ唱フルコトヲ得サルナリ然レトモ備船者カ其權利ヲ拋棄シタルカ爲メ船積所有者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス隨テ備船者ハ運送貨ノ全額ヲ支拂ハサルヘカサルコトハ勿

論其外運送品ノ全部ヲ船積セサルニ因リテ生シタル費用例ヘハ底荷ヲ入レタル費用ヲ支拂ヒ且ツ後日航海中若シ共同海損ヲ生シタル場合ニ於テ其分擔額ヲ定ムルニ當リ備船者カ契約ヒル運送品ノ全部ヲ船積セサルトキハ備船者ノ負擔額ハ割合ニ減少シ船積所有者ノ負擔額ハ之ニ反シテ割合ニ増加シ船積所有者ハ之カ爲メ損害ヲ被ルノ虞ナシトセサルモノニシテ此ノ如キ損害ノ生シタル場合ニハ備船者之ヲ賠償セサルヘカラス而シテ運送品ハ常ニ運送貨ノ擔保民法第三一一條第三號同第三一八條商法第六〇六條末項タルニ備船者カ契約ノ運送品ノ全部ヲ船積セサルカ爲メニ運送貨ノ擔保ヲ減シタルトキハ船積所有者カ備船者ニ對シテ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ請求スルヲ得ルモノト爲スハ當然ナリ

○船長ノ發航權 第五百九十七條 船積期間經過ノ後ハ備船者カ運送品ノ全部ヲ船積セサルトキト雖モ船長ハ直チニ發航ヲ爲スコトヲ得前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス(舊商法第八九五條獨商法第五七一條第五七九條第五八〇條)

前條ニ於テ說キタルカ如ク前條ハ發航ニ付テノ船長ノ義務ヲ規定シ本條ニ於
 テハ其權利ヲ規定セリ備船者カ運送品ノ全部ヲ船積セシテ發航ヲ請求スル
 ノ權利ヲ有スルカ如ク船長モ船積期間經過後ニ在リテハ備船者カ運送品ノ全
 部ヲ船積セサルトキハ其全部ノ船積ヲ待ツノ義務ナク直チニ發航スルコトノ
 權利ヲ有セリ而シテ義ニ第五百九十四條ニ於テ說キタルカ如ク船積期間經過シ
 タルトキ舊商法ノ所謂超過碇泊期間ハ契約ヲ以テ若クハ慣習ニ依リテ定マル
 ヘクレハ其契約若クハ慣習アル場合ニ於テ特ニ其猶豫期間ナキコトヲ約シタルト
 ニ發航スルコトヲ得サルヤ論ヲ埃タサルナリ故ニ本條ノ規定ノ適用ヲ受クル
 ハ超過碇泊期間ノ慣習アル場合ニ於テ特ニ其猶豫期間ナキコトヲ約シタルト
 キハ契約上ノ船積期間ノ經過シタル場合又契約又ハ慣習上ノ超過碇泊期間ア
 ルトキハ其期間ノ經過シタル場合はナリ

本條ノ規定ハ船長ニ與ヘタル權利ナレトモ備船者ハ第五百九十八條及ヒ第六
 百條ノ規定ニ從ヒ船舶ノ發航ノ前後ヲ問ハス解約ノ權利ヲ有スルヲ以テ本條
 ノ規定アルカ爲メニ右兩條ノ適用ヲ妨ケラルルコトアラサルナリ

本條ノ規定ニ依リテ發航シタル場合ニ於テモ備船者ハ前條ニ規定スルカ如ク
 運送貨ノ全額ノ外運送品ノ全部ヲ船積セサルニ因リテ生シタル費用ヲ支拂ヒ
 尙ホ船舶所有者ノ請求アルトキハ相當ノ擔保ヲ供セサルヘカラス

○發航前ニ於ケル備船者ノ契約解除權 第五百九十八條 發航前ニ於テハ備
 船者ハ運送貨ノ半額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得往復航海ヲ爲スヘ
 キ場合ニ於テ備船者カ其歸航ノ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送貨
 ノ三分ノ二ヲ支拂フコトヲ要ス他港ヨリ船積港ニ航行スヘキ場合ニ於テ備船
 者カ其船積港ヲ發スル前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキ亦同シ運送品ノ全部又
 ハ一部ヲ船積シタル後前二項ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ其
 船積及ヒ陸揚ノ費用ハ備船者之ヲ負擔ス備船者カ船積期間内ニ運送品ノ船積
 ヲ爲ササリシトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做ス舊商法第八九四條佛
 商法第二八八條第三項第四項獨商法第五八一條第五八三條

契約ハ當事者ノ合意ニ依リテ成立スルモノナレハ之ヲ解除スルニモ亦其合意
 ニ依ルヘキコトハ一般ノ原則ナリ然ルニ法律ハ備船契約ニ關シテハ其例外ト

レテ備船者ニ解除權ヲ與ヘタリ而シテ舊商法ニ於テハ運送品ノ船積ノ前後ニ依リテ其解除權ニ區別ヲ立テ運送品ヲ一部分タリトモ船積シタル以上ハ備船者ハ契約ニ從ヒ其船舶ヲ使用シタルモノニシテ其使用カ航海ノ終局ニ至ルマテ繼續スルト否トハ備船者ノ隨意ニ任シ契約ノ解除ヲ許サス唯運送品ノ船積前ナルトキノミ之カ解除ヲ許スコトトシタレトモ本法ニ於テハ此ノ如キ區別ヲ採用セス管ニ運送品ノ船積ノ前後ヲ問ハサルノミナラス船舶ノ發航ノ前後ヲモ問フコトナク契約ノ解除ヲ許セリ而シテ唯其場合ノ如何ニ因リテ備船者ヨリ船舶所有者ニ支拂フヘキ金額ニ差異アルニ過キサルナリ其發航前ニ係ル解除ハ本條及ヒ次條ニ之ヲ規定シ其發航後ニ係ル契約ハ第六百條ニ規定セリ本法ニ於テ特ニ備船者ノ爲メニ此規定ヲ設ケサルトキハ備船者ハ管ニ解除權ヲ有セサルノミナラス船積ヲ爲サスシテ違約ト爲ル場合ニハ民法ノ損害賠償ノ一般ノ規定ニ從ヒ備船者ノ賠償スヘキ額ヲ定メサルヘカラス然レトモ其算定ハ多クハ不確實タルコトヲ免レス且ツ備船者カ備船契約ヲ爲ス所以ノモノハ多クハ商機ニ乘センカ爲メニシテ海上貿商ノ商況ハ他ノ商業ニ比スレハ一

層變轉シ易ク既ニ其商機ヲ失シタル場合ニ於テモ仍ホ其契約ヲ履行セサルヘカラサルニ於テハ備船者ニ取リテハ非常ニ不利益タルヲ免レス故ニ商業ノ自由ヲ保護スルカ爲メニ備船者ニ此解除權ヲ與ヘタルト同時ニ船舶所有者ニ對スル損害賠償額ヲ定メタルナリ而シテ此ノ如キ理由ニ基クトキハ舊商法ノ如ク運送品ノ船積ノ前後ニ依リテ契約解除ノ許否ヲ定ムヘキモノニ非サルカ故ニ本法カ舊法ノ區別ヲ採用セサル所以ナリ

本條ニ規定スル契約ノ解除權ハ備船者ヲ保護スルカ爲メニ設ケタルモノナレハ船舶所有者ハ同一ノ權利ヲ有セサルナリ故ニ船舶所有者カ契約上ノ義務ノ全部若クハ一部ヲ履行セサルトキハ普通ノ原則ニ從ヒテ到スヘキカ故ニ違約ヲ以テ論シ備船者ニ加ヘタル損害ヲ辨償セサルヘカラス
發航前ニ於テ備船者カ契約ノ解除ヲ爲ス場合ニ於テモ備船者カ船舶所有者ニ對シテ損害ヲ賠償スヘキ場合ハ備船契約カ片路航海ナルト往復航海ナルトニ依リテ異ナレリ其片路航海ナル場合ニ於テハ備船者ハ運送貨ノ半額ヲ支拂ハサルヘカラス

然レトモ往復航海ヲ爲スヘキ場合ニ於テ備船者カ其歸航ノ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送貨ノ三分ノ二ヲ支拂ハサルヘカラス例ヘハ往航ニハ神戸港ヨリ香港マヲ石炭ヲ運送シ復航ニハ香港ヨリ神戸マヲ棉ヲ運送スル爲メニ往復航海ノ運送貨ヲ二千圓ト定メテ備船契約ヲ爲シタル場合ニ於テ石炭ノ運送ヲ終リタル後香港ニ於テ未タ棉ヲ船積シテ發航セサル以前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキニ復航ノ運送貨ノ半額(五百圓)ニ相當スルモノヲ支拂ヒテ解約スルコトハ許サレヌ此場合ニ於テハ往復運送貨全額(二千圓)ノ三分ノ二即チ千三百三十三圓三十三錢四厘ヲ支拂ハサルヘカラサルナリ片路航海ト往復航海トニ依リテ賠償ノ異ナルハ蓋シ運送契約カ片路航海ナルトキハ他ノ片路ハ運送スヘキモノナクシテ空船ナルヤモ計リ知ルヘカラサレハ往復航海ノ場合ニ比シ運送貨ノ高キハ通例ナリ然ルニ最初往復航海ヲ約シタル場合ニ於テ其復航ノ發航前契約ヲ解除スルニ當リ割合ニ低廉ナル運送貨即チ片路航海ノ半額ヲ以テ足レリトスルハ船船所有者ノ爲メニ損失タルヘケレハナリ殊ニ支店又ハ代理店ナキ港ニ於テ解約サレタル船船所有者ハ復航ノ運送品ヲ求ムルコ

ト極メテ困難ナレハ此ノ如キ場合ニ空船ニテ歸港スルモノ尠少ナラサレハナリ

又船船カ船積港ニ在ラスシテ他港ヨリ船積港ニ廻ハシテ船積スヘキ場合ニ於テ備船者カ其碇泊港ヲ發スル前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキモ右ノ場合ト同シク備船者ハ運送貨ノ三分ノ二ヲ支拂ハサルヘカラス此場合ハ廻船ノ爲メニ時ト費用トヲ要スルヲ以テ船船所有者ニ對シテ船船カ船積港ニ在ル場合ヨリ多ク賠償スルコトトスルハ至當ナリ

以上ハ運送品ノ一部分ヲモ船積セシテ契約ヲ解除シタル場合ノ賠償額ナレトモ備船者カ運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタル後ニ於テ契約ヲ解除スルトキハ右運送貨額ノ賠償ノミヲ以テ足レリトセス尙ホ其外運送品ノ船積及ヒ陸揚ノ費用ハ備船者ニ於テ負擔スヘキハ當然ナリ而シテ其外備船者ハ次條ニ規定スルモノヲモ賠償スヘキ責任アリ
契約ノ解除ヲ爲スニハ固ヨリ備船者ヨリ明示ノ意思表示ヲ爲スヲ通例トスレトモ亦事實ヨリ契約解除ヲ推定スヘキ場合アリ即チ船船所有者ハ契約ニ從ヒ

船舶ヲ船積港ニ廻ハシ船積期間其所ニ碇泊シテ船積ヲ待ツト雖モ備船者カ毫モ運送品ノ船積ヲ爲ササルトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做シ明示ノ解除ノ場合ノ如ク備船者ハ賠償ヲ爲ササルヘカラス

○契約附隨ノ費用及ヒ其他ノ負擔ニ對スル備船者ノ責任 第五百九十九條 備船者カ前條ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキト雖モ附隨ノ費用及ヒ立替金ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス但前條第二項ノ場合ニ於テハ備船者ハ前項ニ掲ケタルモノノ外運送品ノ價格ニ應ジ共同海損救援又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フコトヲ要ス

本條ハ備船者カ解約ノ場合ニ於テ運送貨運送品ノ船積及ヒ陸揚費用ノ外向ホ附隨ノ費用其他ノ負擔ノ責任アルコトヲ規定セリ蓋シ前條ノ規定ニ依リテ契約解除ノ際備船者カ運送貨ノ艀部ヲ船舶所有者ニ支拂フコトヲ要スルハ是レ唯船舶所有者カ豫期セル利益ヲ得ルコト能ハナリシカ爲メニ生シタル損害ヲ賠償スルカ爲メナリ故ニ備船者ハ之ヲ支拂ヒタリトスルモ尙ホ前條第三項ノ費用船積及ヒ陸揚ニ關スルノ外附隨ノ費用例ヘハ關稅ノ費用其他立替金等ハ

之ヲ支拂フ責任アルハ當然ナリ

又往復航海ヲ爲スヘキ場合ニ於テ備船者カ其復航ノ發航前ニ契約ヲ解除スルトキ又ハ他港ヨリ船積港ニ航行スヘキ場合ニ於テ備船者カ其船積港ヲ發スル前ニ契約ヲ解除スルトキハ既ニ若干ノ航海ヲ爲シタル後ニ解除スルモノナルカ故ニ其解除ヲ爲ス前ニ當リ共同海損第六四一條救援又ハ救助ノ必要ヲ生シタルコトアリタル場合ニ於テハ其損害及ヒ費用ハ運送品ノ價格ニ應ジテ備船者之ヲ負擔セサルヘカラス何トナレハ此等ノ事項ハ解約前ニ生シタルモノナレハ解約ノ有無ニ關係ヲ有セサレハナリ然ルニ法律カ特ニ明文ヲ以テ之ヲ規定シタルハ蓋シ備船者ハ運送貨運送品ノ船積及ヒ陸揚ノ費用ヲ支拂ヘハ其他ノ負擔ヲ免ルルニ非サヤトノ疑生スヘキカ故ナリ

○發航後ニ於ケル備船者ノ解約權 第六百條 發航後ニ於テハ備船者ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フ外第六百六條第一項ニ定メタル債務ヲ辨濟シ且陸揚ノ爲メニ生スヘキ損害ヲ賠償シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス舊商法第六〇六條末段佛商法第二九三條獨商法第五八三條

法律カ備船者ニ船舶ノ發航ノ前後ヲ問ハス運送契約ノ解除權ヲ與ヘタル理由ハ第五百九十八條ニ付キ詳述シタルハ備船者カ發航後ニ於テ契約解除權ヲ有スルコトハ今茲ニ復説セズ唯備船者カ發航後ニ於テ契約ノ解除ヲ爲スニハ發航前ニ於ケル場合ニ比シ船船所有者ニ對シテ支拂フヘキ負擔額多キノ差異アルノミ即チ運送貨ノ全額運送契約ニ付キ生シタル附隨ノ費用立替金及ヒ共同海損ヲ生シ救済又ハ救助ヲ要シタルコトアリタルトキ之カ爲メ運送品ノ價格ニ應シテ負擔スヘキ金額ヲ辨濟シ且ツ運送品ノ陸揚ノ爲メニ生スヘキ損害ヲ賠償セサルヘカラス又ハ此等ノ債務辨濟ノ確實ナルコトヲ期スルカ爲メニ相當ノ擔保ヲ供セサルヘカラス而シテ備船者カ以上ノ運送貨費用其他ノ金額ヲ支拂フトキハ船舶所有者ハ解約ノ爲メ毫モ損害ヲ受ケサルモノニシテ契約ノ解除ニ因リテ他ニ其船舶ヲ利用スルコトヲ得又備船者ノ爲メニハ此等ノ賠償ヲ爲シテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルハ便利タルヘキナリ

以上ハ船舶全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ關セリ

○船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於ケル備船者ノ解約權

第六百一條 船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ備船者カ他ノ備船者及ヒ荷送人ト共同セシテ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス但船舶所有者カ他ノ運送品ヨリ得タル運送貨ハ之ヲ控除ス發航前ト雖モ備船者カ既ニ運送品ノ全部又ハ一部ヲ積積シタルトキハ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス前七條ノ規定ハ船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス(舊商法第八九四條佛商法第二八八條獨商法第五八八條)

茲ニモ叙述シタルカ如ク舊商法ハ全部備船ノ場合ト一部備船ノ場合トニ付キ區別ヲ設ケス孰レモ運送貨ノ半額ヲ支拂フニ於テハ備船者ニ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ許シタルトモ本法ハ全部備船ノ場合ト一部備船ノ場合トニ付キ區別ヲ設ケタリ即チ全部備船ノ場合ニ於テハ發航ノ前後ヲ問ハス又船積ノ前後ニ拘ラス備船者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルモノニシテ唯其場合ノ如何ニ依リテ船舶所有者ニ對シ賠償スヘキ損害額ニ差異アルニ過キサレトモ船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テハ船舶ノ發航後ニ在リテハ一

切契約ノ解除ヲ許サス而シテ發航前ニ在リテモ運送品ノ船積ノ前後ニ依リテ異ナリ其船積前ニ在リテハ契約ノ解除ヲ許シ運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタル後ニ在リテハ契約ノ解除ハ備船者ノ自由ニ任セス一ノ條件ヲ設ケタリ即チ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

發航後ニ在リテ備船者ニ契約ノ解除ヲ許ササルハ他ナシ若シ之ヲ許スコトトスルトキハ航海ヲ遅延シ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ利益ヲ害スルコト大ナルヲ以テナリ然レトモ其發航前ニ在リテハ運送品ノ船積ヲ爲ササル以前ナル場合ニ於テハ備船者ニ契約ノ解除ヲ許ストモ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ利害ニ關係ヲ及ホスコトナシ又船舶所有者トノ關係ニ付テハ之カ爲メニ其受クヘキ損害サヘ賠償スレハ全部船舶ノ場合ト同シク契約ノ解除ヲ許ササルノ理由アラサルナリ是ヲ以テ此場合ニ於テハ解約ヲ許スコトトセリ而シテ此場合ニ於テハ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス此解除權ハ全ク備船者ノ自由ニ屬セリ然レトモ備船者カ其解除ヲ爲スニ付キ他ノ備船者及ヒ荷送人ト共

同スルト否トニ依リテ船舶所有者ニ對シテ賠償スヘキ金額ニ差異アリ即チ備船者カ他ノ備船者及ヒ荷送人ト共同シテ契約ノ解除ヲ請求スル場合ニ於テハ全部船舶者カ解除ヲ請求セシ場合ト同一ニシテ本條第三項ノ規定ニ依リ第五百五十八條カ準用セラルルカ故ニ備船者ハ運送貨ノ半額ヲ支拂フテ解除ヲ爲スコトヲ得ヘキナリ而シテ此場合ニ於テハ船舶所有者ハ之カ爲メ其航海ヲ廢止シ船舶ヲ他ニ利用スルヲ得ルコトハ全部船舶ノ場合ト異ナルコトナキナリ之ニ反シテ備船者カ他ノ備船者及ヒ荷送人ト共同セスシテ契約ノ解除ヲ請求スルトキハ船舶所有者ハ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ運送品ヲ積載セルカ故ニ其航海ヲ廢止スルコトヲ得シテ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ運送品カ縱令些少ナリト雖モ其儘航海セサルヲ得サルカ故ニ此場合ニ於テハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要スト爲セタリ

茲ニ注意スヘキハ備船者カ契約ヲ解除シタル場合ニ於ケル運送貨ノ全額トハ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ契約シタル運送貨ハ此中ニ包含スルニ非ス全ク備船者カ約シタル運送貨ノ全額ヲ指スナリ隨テ他ノ運送品ヨリ得タル運送貨モ亦

他ノ備船者及ヒ荷送人カ支拂フヘキモノヲ云フニ非スシテ備船者カ解約シタルヨリ船船所有者カ更ニ他ト運送契約ヲ爲シタルニ因リテ得タル運送賃ヲ指スナリ若シ此場合ニ於テ船船所有者カ解約ヲ爲シタル備船者ヨリ其運送賃ノ全額ノ支拂ヲ受ケタル上尙ホ他ノ運送品ヨリ得タル運送賃ヲ控除セサルニ於テハ船船所有者ハ二重ノ利得ヲ爲スニ至ルヲ以テ之ヲ控除スヘキコトト爲シタルナリ

發航前ト雖モ備船者カ既ニ運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタル場合ニ於テハ備船者ハ自由ニ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス此場合ニ於テハ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ得サルヘカラス若シ他ノ備船者及ヒ荷送人カ同意ヲ爲ササルトキハ縱令船船所有者カ承諾ヲ爲スト雖モ解除ヲ爲スコトヲ得サルナリ此場合ニ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ得ルコトヲ要スト爲シタルハ他ナシ是レ若シ此船船ニ契約ノ解除ヲ備船者ノ自由ニ委ヌルトキハ運送品ノ積換ヲ要シ之カ爲メニ航海ノ遅延ヲ生シ他ノ備船者及ヒ荷送人ハ商機ヲ失スルコトアリテ其迷惑少ナラサルヘキヲ以テナリ

船船ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テモ其全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ關スル第五百九十四條乃至第六百條ノ規定ヲ準用スルコトト爲シタル而シテ第五百九十六條第一項若クハ第五百九十八條第一項ヲ準用スル場合ニ於テ發航ヲ請求シ若クハ解除ヲ請求スル備船者以外ノ備船者及ヒ荷送人カ總テ其請求ニ付テ共同スルヲ要スルコトハ言フヲ埃タサルナリ

○箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於ケル船積船長ノ發航權 第六百二條 箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキハ荷送人ハ船長ノ指圖ニ從ヒ遲滞ナク運送品ヲ船積スルコトヲ要ス荷送人カ運送品ノ船積ヲ怠リタルトキハ船長ハ直チニ發航ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ荷送人ハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス但船船所有者カ他ノ運送品ヨリ得タル運送賃ハ之ヲ控除ス(獨商法第五八九條)

本條及ヒ次條ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲セル場合ニ關スル規定ナリ前ニ説キタルカ如ク船船ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シ

タル場合ニ於テハ其船積期間ハ契約ニ依リ若シ之ナキトキハ慣習ニ從フヘク而シテ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキモ其船積期間ハ契約又ハ其他ノ事情ニ依リテ定マルヘケレトモ舊商法ノ所謂碇泊期間又ハ超過碇泊期間ニ關スル慣習ノ如キハ全部又ハ一部ノ備船契約ニ付テノミ云フヘキコトニシテ箇箇ノ運送品ノ運送契約ニ付テハ存セサルヘキヲ以テ其船積期間ニ關シテハ何等ノ規定ヲ設ケスシテ唯此場合ニ於テハ荷送人ハ船長ノ指圖ニ從ヒ遲滞ナク運送品ヲ船積スヘキコトヲ命シタリ仍テ船長カ船積ニ適當ノ期間ヲ定メテ運送品ヲ船積スヘキコトヲ指圖シタルニ拘ラス荷送人カ其船積ヲ怠リタル場合ニ於テ船長ハ向ホ荷送人ニ猶豫ヲ與ヘテ船積ヲ待ツヘキコトトスルトキハ箇箇ノ運送契約ノ場合ハ全部備船ノ場合ト異ナリテ航海運延シ他ノ荷送人ノ損害ト爲ルヘキヲ以テ此場合ニ於テ船長ハ直ニ發航ヲ爲スコトヲ得ルモノト爲セリ而シテ荷送人カ船積ヲ怠リタリトモ船積所有者ハ他ノ積荷アルカ爲メ其航海ヲ廢シテ船舶ヲ他ノ航海ニ利用スルコト能ハサルヲ以テ船舶所有者ハ契約シタル或運送品ヲ船積セサル儘發航セザルヲ得サレトモ之

カ爲メ其運送貨ノ利益ヲ失フコトヲ得ス是ヲ以テ船積ヲ怠リタル荷送人ハ自己ノ契約シタル運送貨ノ全額ヲ支拂ハサルヘカラス然レトモ荷送人カ船積ヲ怠リタルヨリ船舶所有者カ他ヨリ積荷ヲ求メ之ヲ船積シテ運送貨ヲ得タルトキハ一部ノ備船者カ他ノ者ト共同セスシテ解約シタル場合ト同シク其運送貨ハ船積ヲ怠リタル荷送人ノ支拂フヘキ運送貨ノ中ヨリ控除セサルヘカラス若シ之ヲ控除セサルコトトスルトキハ船舶所有者ハ荷送人カ船積ヲ怠リタルカ爲メニ二重ノ利益ヲ得ルニ至ルヲ以テナリ

○箇箇ノ運送品ノ契約解除——第六百三條 第六百一條ノ規定ハ荷送人カ契約ノ解除ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス(舊商法第五九〇條)

本條ニ於テハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テモ之カ解除ヲ爲スヲ得ルコトヲ規定セリ而シテ此場合ノ解除ハ船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ酷似スルヲ以テ此場合ニハ一部備船ノ場合ニ於ケル契約ノ解除ニ關スル第六百一條ヲ準用スルコトトシタリ故ニ荷送人カ他ノ荷送人及ヒ備船者ト共同セスシテ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキ

ハ運送貨ノ全額ヲ支拂ハサルヘカラス但シ船舶所有者カ此解除アリタルヨリ
他ノ運送品ヲ船積シテ得タル運送貨ハ之ヲ右ノ運送貨ヨリ控除スヘキモノト
ス又縱令發航前ト雖モ荷送人カ既ニ運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタルトキ
ハ他ノ荷送人及ヒ儲船者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ自己ノ自由ヲ以テ契約ノ解
除ヲ爲スコトヲ得ス又荷送人カ解除ヲ請求スルニ當リ總テ他ノ荷送人及ヒ儲
船者ト共同シテ之ヲ爲ストキハ恰モ全部ノ儲船者カ解除ヲ請求シ又ハ一部ノ
儲船者カ他ノ儲船者又ハ荷送人ト共同シテ解除ヲ請求スルト其效果殆ト同一
ナリ是レ第六百一條第三項モ亦荷送人カ契約ノ解除ヲ爲ス場合ニ準用シテ可
ナル所以ナリ

○運送ニ必要ナル書類ノ交付——第六百四條 儲船者又ハ荷送人ハ船積期間内
ニ運送ニ必要ナル書類ヲ船長ニ交付スルコトヲ要ス(舊商法第九〇〇條第二項
佛商法第二八二條獨商法第五九二條)

運送ニ必要ナル書類トハ關稅受取書及ヒ關稅明細書等ヲ指稱スルモノニシテ
此等ノ書類ハ航海ヲ爲スニ最モ必要ナルモノナレハ船長ハ航海ヲ爲スニ當リ

ヲハ必ス之ヲ船中ニ備ヘ置カサルヘカラス(第五六二條仍テ儲船者又ハ荷送人
ハ船積期間内ニ之ヲ船長ニ交付スルコトヲ要スルモノトセリ縱令船積期間内
ニ船積ヲ終了シタルト雖モ儲船者又ハ荷送人カ運送ニ必要ナル書類ヲ交付セ
タルトキハ船長ハ發航スルコト能ハサルカ故ニ若シ之カ爲メニ發航運送シタ
ルトキハ其交付ヲ怠タリタル儲船者又ハ荷送人ニ於テ其責任ヲ負ハサルヘカ
ラス

○運送品ノ陸揚——第六〇五條 船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト
爲シタル場合ニ於テ運送品ヲ陸揚スルニ必要ナル準備カ整頓シタルトキハ船
長ハ遲滞ナク荷受人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス運送品ヲ陸揚スヘキ
期間ノ定アル場合ニ於テハ其期間ハ前項ノ通知アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起
算ス其期間經過ノ後運送品ヲ陸揚シタルトキハ船舶所有者ハ特約ナキトキト
雖モ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得前項ノ期間中ニハ不可抗力ニ因リテ陸揚
ヲ爲スコト能ハサル日ヲ算入セス(箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シ
タルトキハ荷受人ハ船長ノ指圖ニ從ヒ遲滞ナク運送品ヲ陸揚スルコトヲ要ス

〔舊〕商法第八八條第八八九條〔舊〕商法第五九五條乃至第五九〇條全部備船第六〇四條一部備船第六〇五條箇箇ノ運送品〕

舊商法ニ於テハ運送品ノ船積及ヒ陸揚ニ關スルコトハ之ヲ包括シテ規定シタ
レトモ本法ハ船積ト陸揚トハ之ヲ分割シ其船積ニ關スルモノハ第五百九十四
條全部備船第六百一一條一部備船第六百二二條箇箇ノ運送品ニ規定シ運送品ノ陸
揚ニ付テハ各種ノ契約ニ關シテ之ヲ本條ニ規定シタリ而シテ船積ト陸揚トハ
其事柄自體カ異ナルノミニシテ之ニ關スル規定ハ彼此殆ト異ナルコトナシ即
チ(一)運送品ヲ陸揚スルニ必要ナル準備カ整頓シタルトキハ船長ハ船積ノ場合
ニ其準備カ整頓シタルトキハ運滞ナク之ヲ備船者ニ通知スルコトヲ要スルト
同シク之ヲ荷受人ニ通知セサルヘカラス(二)運送品ヲ陸揚スヘキ期間ノ定アル
場合ニ於テハ船積期間ノ定アル場合ニ於テ其期間ハ船積準備ノ整頓シタル通
知アリタル日ノ翌日ヨリ起算スルト同シク陸揚準備ノ整頓シタル通知アリタ
ル日ノ翌日ヨリ起算スルモノトス(三)運送品ノ陸揚カ陸揚期間内ニ終了セサル
トキハ船積カ船積期間内ニ終了セサル場合ト同シク其期間後ノ陸揚ニ對シテ

ハ特約ナキトキト雖モ相當ノ報酬ヲ支拂ハサルヘカラス(四)不可抗力ニ因リテ
陸揚スルコト能ハサル日ハ猶ホ之ヲ船積期間ニ算入セサルト同シク陸揚期間
ニ算入セサルモノトス(五)以上ハ船積ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト
爲シタル場合ニ關スル規定ナレトモ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲
シタル場合モ亦其陸揚ニ關スル規定ハ其船積ニ關スルモノト同一ナリ即チ船
長ノ指圖ニ從ヒ運滞ナク荷受人カ運送品ヲ船積スルコトヲ要スルト同シク荷
受人ハ之ヲ陸揚セサルヘカラス

以上叙述スルカ如ク船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場
合ト箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合トヲ問ハス其船積ニ
關スル規定ト其陸揚ニ關スルモノトハ殆ト同一ナレトモ其性質上唯一ニ異
ナルモノアリ即チ船積ニ關スル場合ニ於テハ(一)備船者カ船積期間内ニ運送品
ノ船積ヲ爲サザリシトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做サルレトモ第五
九八條陸揚ニ付テハ斯ル事アラサルナリ(二)備船者又ハ荷受人カ船積期間内ニ
運送品ノ船積ヲ爲スコトヲ怠リタルトキハ第五百九十七條第六百二二條ノ規定

ニ從ヒ其全部ヲ船積セサルニ拘ラス船長ハ發航ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ陸揚ノ場合ハ之ニ反シテ荷受人カ陸揚期間内ニ運送品ヲ受取ルコトヲ怠リタルトキハ船長ハ其船積ノ儘發航スルコトヲ得シテ其運送品ハ下ニ叙述スルカ如ク(第六〇七條)必ス之ヲ陸揚セサルヘカラス

○運送品ノ受渡 第六百六條 荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送契約又ハ船荷證券ノ趣旨ニ從ヒ運送貨附隨ノ費用立替金及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損救援又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス(舊商法第九〇二條、獨商法第六一五條、第六一六條)

運送契約ノ當事者ハ一方ニ於テハ船舶所有者ニシテ他ノ一方ハ傭船者又ハ荷送人ナリ故ニ船舶所有者ニ對シテ契約上ノ責任ヲ負フ者ハ傭船者又ハ荷送人ナルコト明カナリ又船舶所有者モ傭船者又ハ荷送人ニ對シテ其責任ヲ負フヲ通例トスレトモ運送契約又ハ船荷證券ノ趣旨ニ從ヒ船舶所有者ハ傭船者又ハ荷送人以外ノ者即チ運送契約ニ關與セサル荷受人ニ對シテ契約ヨリ生ズル責

任ヲ負ハサルヘカラザルコトアリ亦自ラ契約ノ取結ニ關與セサル荷受人モ之ヨリ生ズル責任ヲ負ハサルヘカラザルコトアリ即チ本條ニ規定スル場合はナリ荷受人カ陸揚港ニ於テ運送品ヲ受取ルニ當リテハ運送契約又ハ船荷證券ノ趣旨ニ從ヒ運送貨附隨ノ費用立替金及ヒ運送品ノ價格ニ應シテ共同海損救援又ハ救助ノ爲メ傭船者又ハ荷送人カ負擔スヘキ金額ヲ支拂ハサルヘカラス若シ荷受人ニシテ此等ノ運送貨費用等ヲ支拂ハサルトキハ船長ハ運送品ヲ荷受人ニ引渡スヘキ義務アラサルナリ換言スレハ船舶所有者ハ運送品ニ付テハ留置權民法第二九五條ヲ有ス尙ホ此外船舶所有者ハ其運送貨及ヒ附隨ノ費用ニ付キ民法第三百十一條及ヒ第三百十八條ノ規定ニ從ヒ自己ノ手ニ存スル運送品ノ上ニ先取特權ヲ有スルモノトス而シテ荷受人ハ運送契約ニハ關與セザルカ故ニ之ニ羈束セラルルコトナカルヘシト雖モ其運送品ヲ受取ルコトヲ得ルハ運送契約又ハ船荷證券ノ趣旨ニ從フモノニシテ其船荷證券ハ船長ニ對シテ殆ト法式的ノ義務ヲ生シ之ニ記載シタル荷受人ノミ運送品ヲ受取ルコトヲ得ルカ故ニ運送契約ノ各當事者間ノ公平ヲ保タシメント欲セハ荷受人ニ以上ノ

義務ヲ負擔セシメサルヘカラス若シ此場合ニ於テ船長ハ荷受人ニ運送品ヲ引渡シタルニモ拘ラス荷受人ヨリ右全額ノ支拂ヲ受クルコト能ハサルモノトスルトキハ船舶所有者ハ自己ノ義務ノミヲ盡シテ運送貨其他ノ債權ニ對スル擔保ヲ失フニ至ル是ヲ以テ荷受人カ運送品ヲ受取ルニ當リテハ右ノ義務ヲ盡スヘキモノトシタルナリ然レトモ荷受人カ右ノ義務ヲ負フハ全ク運送品ヲ受取リタルニ由ルモノナレハ縱令船舶證券ヲ所持スト雖モ運送品ヲ受取ラザルトキハ船舶所有者ト備船者又ハ荷送人トノ間ニ取結ヒタル契約上ノ責任ヲ負フコトアラサルナリ

○運送品供託ニ關スル船長ノ權利義務 第六百七條 荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ怠リタルトキハ船長ハ之ヲ供託スルコトヲ得此場合ニ於テハ運送品ハ荷受人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス荷受人ヲ確知スルコト能ハザルトキ又ハ荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ拒ミタルトキハ船長ハ運送品ヲ供託スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ運送品ハ運送品ヲ受取ルコトヲ得ルモノト爲シテ待ツコトヲ得ヘシト雖モ船舶ハ少許ノ日ト雖モ營業上無益ニ碇泊スルコトヲ得サルノ場合多クレハ荷受人ヲ待タスシテ供託スルコトヲ得ルモノト爲シタル所以ナリ又荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ拒ミタルトキ又ハ荷受人ノ知レサルトキハ船長ハ其義務トシテ之ヲ供託セサルヘカラス而テ此場合ニ於テハ運送品ハ其通知ヲ備船者又ハ荷送人ニ對シテ爲ササルヘカラス此等ノ場合ニ供託ヲ爲スコトヲ要スルモノトスルハ他ナシ海上ハ陸上ト異ナリテ危險多キコト通例ニシテ運送品ノ流亡破滅等アラントテ恐ルレハナリ然レトモ此場合ニ於テ運送品ヲ供託スルトキハ其費用嵩ムカ又ハ其運送品ハ腐敗スルカ如キモノナルトキハ船長ハ第五百六十五條ノ規定ニ從ヒ備船者又ハ荷送人

發スルコトヲ要ス(獨商法第六〇五條)

運送品カ到着港ニ到著シタル場合ニ於テ荷受人カ其受取方ヲ怠ルコトアリ或ハ荷送人ヲ確知スルコトヲ得サルコトアリ或ハ荷受人カ運送品ヲ受取ルヲ拒ムコトアリ荷受人カ運送品ノ受取方ヲ怠リタル場合ニ於テハ船長ハ之ヲ供託スルコトヲ得而シテ此場合ニ於テハ船長ハ運送品ハ運送品ノ引渡ヲ請求スルマ發セサルヘカラス船長ハ此ノ如キ場合ニ荷受人カ運送品ノ引渡ヲ請求スルマ待ツコトヲ得ヘシト雖モ船舶ハ少許ノ日ト雖モ營業上無益ニ碇泊スルコトヲ得サルノ場合多クレハ荷受人ヲ待タスシテ供託スルコトヲ得ルモノト爲シタル所以ナリ又荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ拒ミタルトキ又ハ荷受人ノ知レサルトキハ船長ハ其義務トシテ之ヲ供託セサルヘカラス而テ此場合ニ於テハ運送品ハ其通知ヲ備船者又ハ荷送人ニ對シテ爲ササルヘカラス此等ノ場合ニ供託ヲ爲スコトヲ要スルモノトスルハ他ナシ海上ハ陸上ト異ナリテ危險多キコト通例ニシテ運送品ノ流亡破滅等アラントテ恐ルレハナリ然レトモ此場合ニ於テ運送品ヲ供託スルトキハ其費用嵩ムカ又ハ其運送品ハ腐敗スルカ如キモノナルトキハ船長ハ第五百六十五條ノ規定ニ從ヒ備船者又ハ荷送人

ノ利益ヲ圖リテ其運送品ヲ就賣スルコトヲ得ヘキナリ、
○重量又ハ容積ヲ以テ運送貨ヲ定メタル場合ニ於ケル其貨額——第六百八條
運送品ノ重量又ハ容積ヲ以テ運送貨ヲ定メタルトキハ其額ハ運送品引渡ノ當
時ニ於ケル重量又ハ容積ニ依リテ之ヲ定ム(舊商法第九一六條、佛商法第三〇九
條、獨商法第六二一條)

運送貨ヲ運送品ノ重量又ハ容積ヲ以テ定ムルトキハ其貨額ハ運送品船積ノ當
時ニ於ケル重量又ハ容積ニ依リテ之ヲ定ムヘキヤ將タ其引渡ノ當時ニ於ケル
モノニ依リテ之ヲ定ムヘキヤ運送品ハ其船積ノ時ト其陸揚ノ時ト重量又ハ容
積ノ同シカラサルコトアリ例ヘハ海賊ノ掠奪ニ遇フテ減少スルコトアリ或ハ
航海中毀損喪失等ニ因リテ減少スルコトアリ舊商法ノ規定ニ從ヘハ運送品カ
運送ノ途中喪失シタリトモ積荷ノ利害關係人ハ其喪失シタル部分ノ減額ヲ請
求スルコトヲ得スト爲シタリ然レトモ運送契約ノ性質タルヤ一種ノ請負契約
ニ外ナラサルモノニシテ請負契約ニ於テハ當事者ノ一方ハ仕事ノ結果ニ對シ
テ之ニ相當ナル報酬ヲ與フルコトヲ約スルモノナリ而シテ船舶所有者ハ其船

舶ヲ以テ到着港ニ陸揚シタル丈ケノ運送品ヲ運送シタルニ過キサレハ此場合
ニ於テ運送品引渡ノ當時ニ於ケル重量又ハ容積ニ依リテ運送貨額ヲ定ムルト
爲スハ至當ノ規定ナリ故ニ例ヘハ最初石炭千五百噸ヲ船積シタルニ航海ノ途
中其内五百噸ヲ海賊ニ掠奪セラレ到着港ニ於テ千噸ヲ引渡シタルトキハ荷受
人ハ最初船積シタル千五百噸ニ對スル運送貨ヲ支拂フコトヲ要セスシテ千噸
ニ對スルモノヲ支拂ヘハ足ルモノトス

○期間ノ起點及ヒ終點——第六百九條 期間ヲ以テ運送貨ヲ定メタルトキハ其
額ハ運送品ノ船積著手ノ日ヨリ其陸揚終了ノ日マデノ期間ニ依リテ之ヲ定ム
但船舶カ不可抗力ニ因リ發航港若クハ航海ノ途中ニ於テ碇泊ヲ爲スヘキトキ
又ハ航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキハ其期間ハ之ヲ算入セス第五百
九十四條第二項又ハ第六百五條第二項ノ場合ニ於テ船積期間又ハ陸揚期間經
過ノ後運送品ノ船積又ハ陸揚ヲ爲シタル日數亦同シ(舊商法第八九〇條、佛商法
第二七五條、獨商法第五八一條)

本條ニ於テハ期間ヲ以テ運送貨ヲ定メタル場合ニ於テ其期間ノ起點ト終點ト

ヲ定メタリ期間ヲ以テ運送貨ヲ定メタルトキ例ヘハ一个月何程又ハ百日間何程トシテ運送貨ヲ定メタルトキハ其期間ノ起點ハ船積ニ著手シタル日ナルカ將タ發航ノ日ナルカ其終點ハ船舶カ到著港ニ到著シタル日ナルカ將タ陸揚ヲ終了シタル日ナルカ又不可抗力ニ因リテ航海ヲ爲スコト能ハサル日及ヒ航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキ其日數ハ期間中ニ算入スヘキヤノ問題ハ諸國ノ立法一定セズ舊商法第八百九十條ハ其起點ニ付テハ發航ノ日ヨリ起算スト爲シ外國多數佛伊西英ノ立法例モ亦同シ而シテ其終點ニ付テハ舊商法ニハ明文ナク佛蘭西等ノ商法モ亦然リト雖モ獨伊葡等ノ如ク明文ノ存スル國ハ總テ陸揚終了ノ日ニ一定シ佛商法ノ如キモ解釋上ハ之ト同シク定マレリ蓋シ舊商法其他ノ立法例ニ於テ期間ノ起點ヲ船積著手ノ日ヨリトセシテ發航ノ日ヨリト爲シタルハ船長ヲシテ船積ノ爲メニ必要ナル日數ノ外ニ碇泊スルノ利益ヲ得セシメサルニ在リ換言スレバ若シ期間ヲ船積ノ日ヨリ起算スヘキモノトスルトキハ船長ハ急速ニ船積ヲ終ルコトナク徒ニ港内ニ碇泊シテ契約上ノ運送貨ヲ増加スルノ弊害ナキ能ハサルヲ以テ之ヲ豫防スル爲メナリト然レ

トモ船舶所有者ハ船積著手ノ日ヨリ陸揚終了ノ日マテ船舶ヲ他用ニ充ツルコトヲ得サルヲ以テ本法ニ於テハ期間ノ起算點ハ船積著手ノ日ト爲シ其終點ヲ陸揚終了ノ日ト爲シタル所以ナリ而シテ他ノ立法例ノ如ク期間ノ終點ヲ陸揚終了ノ日ト爲ストキハ其起點ヲ船積著手ノ日ト爲ササルニ於テハ彼此權衡ヲ失スルニ至ルヘシ

又船舶カ不可抗力ニ因リ船積港ヲ發スルコト能ハス若クハ航海ノ途中ニ於テ碇泊ヲ爲スヘキトキ又ハ航海ノ途中ニ於テ船舶ノ修繕ヲ爲スヘキトキハ其場合カ未タ第六百十三條若クハ第六百十四條ニ規定スル事由ニ至ラサルトキハ契約ハ當然終了セズ又ハ解除スルコトヲ得スシテ依然繼續スルモノナレハ此等ノ期間ニ對スル運送貨ハ仍ホ支拂ハサルヘカラサルナリ然レトモ斯クスルトキハ不可抗力ニ因レル損失ヲ獨リ備船者又ハ荷送人ニ負擔セシムル結果ヲ生シ備船者又ハ荷送人ニ對シテ賠ニ失スルカ故ニ此等ノ期間ハ契約ノ期間中ニ算入セサルモノト爲シタルナリ

期間ノ起算點及ヒ終點ヲ以上ノ如ク定ムルトキハ備船者又ハ荷送人カ船積期

間經過後第五九四條第二項又ハ陸揚期間經過後第六〇五條第二項ニ船積又ハ陸揚シタル場合ニ於テハ右期間經過後ノ日數ニ對スル報酬ト運送貨トヲ二重ニ支拂ハサルヘカラサル不都合アルヲ以テ船積期間經過後又ハ陸揚期間經過後ノ運送品ノ船積又ハ陸揚ヲ爲シタル日數ヲ除クコトト爲シタルナリ

○運送貨其他ノ支拂ヲ受クルニ付キ船舶所有者カ運送品ノ上ニ有スル權利第六百十條 船舶所有者ハ第六百六條第一項ニ定メタル金額ノ支拂ヲ受クル爲メ裁判所ノ許可ヲ得テ運送品ヲ競賣スルコトヲ得船長カ荷受人ニ運送品ヲ引渡シタル後ト雖モ船舶所有者ハ其運送品ノ上ニ權利ヲ行使スルコトヲ得但引渡ノ日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキ又ハ第三者カ其占有ヲ取得シタルトキハ此限ニ在ラス(舊商法第九一四條第九一五條佛商法第三〇五條第三〇七條第三〇八條獨商法第六二四條第六二六條)

運送貨其他船舶所有者カ運送契約ニ關シテ有スル債權ハ到達港ニ於テ運送品ト引換ニテ支拂ヲ受クルコト通例トスレトモ運送契約ノ相手方ハ備船者又ハ荷受人ニシテ多クハ到達港ニ居ラサルナリ而シテ運送貨ハ其荷受人カ支拂フヲ

以テ通例トスレトモ荷受人カ運送品ヲ受取リタルニ拘ラス運送貨ヲ支拂ハサルコトアリ又荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ拒ミタル場合ニ於テ備船者又ハ荷受人ニ對シテ運送貨ヲ請求スルコトトスルトキハ船舶所有者カ其支拂ヲ受クル爲メニハ多少ノ時日ヲ經過セサルヘカラサルノ不都合アリ故ニ此等ノ場合ニ於テ船舶所有者ヲシテ運送貨其他ノ債權ノ擔保タル運送品ニ對シテ直チニ其權利ヲ行使スルコトヲ得セシメサルトキハ船舶所有者ノ不便ヲ感スルコト尠ナラサルヲ以テ法律ハ此場合ニ第六百六條ノ規定ニ從ヒ船舶所有者カ支拂ヲ受クルコトヲ得ヘキ運送貨附隨ノ費用立替金及ヒ運送品ノ價格ニ應シテ備船者又ハ荷受人カ共同海損救援又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ノ支拂ヲ受クル爲メ裁判所ノ許可ヲ得テ運送品ヲ競賣スルコトヲ得ルモノトシタリ(競賣法第三條)

船長ハ荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ拒ミタルトキ又ハ荷受人ヲ確知スルコト能ハサルトキハ曩ニ第六百七條ニ於テ叙述シタルカ如ク運送貨ノ擔保トシテ運送品ヲ其船舶内ニ留置スルコトハ危險ナルヲ以テ許サレサル所ナリ左リ

トテ之ヲ倉庫内ニ留置スルカ如キハ費用ヲ要スルノミナラス不便ニ堪ヘサルヲ以テ荷受人カ運送貨ノ支拂ヲ爲ササルモ運送品ハ之ヲ荷受人ニ引渡スコトヲ得ルモノトシタリ故ニ此場合ニ於テハ普通ノ場合ノ如ク船舶所有者カ運送品ヲ引渡スヤ直チニ其上ニ權利ヲ行使スルコトヲ得サルモノトスルキハ之カ爲メ船舶所有者ノミ不利益ヲ受クルヲ以テ此場合ニ於テハ船長カ荷受人ニ運送品ヲ引渡シタル後ト雖モ船舶所有者ハ其運送品ノ上ニ權利ヲ行使スルコトヲ得ルモノトセリ然レトモ運送品ヲ荷受人ニ引渡シタル後時ノ長キニ涉ルヲ間ハス際限ナク其上ニ權利ノ行使ヲ許スコトスルキハ其運送品ヲ荷受人ノ所有ト信シテ之ト取引スル者ニ不慮ノ損害ヲ生セシムルニ至ルヘシ是ヲ以テ船舶所有者カ其運送品ノ上ニ權利ヲ行使スルコトヲ得ヘキ期間ハ其引渡後二週間ニ限リタリ而シテ荷受人ニ引渡シタル運送品ノ上ニ船舶所有者カ權利ヲ行使スルコトヲ得ルハ荷受人カ運送品ヲ占有スル間ニ限ル若シ第三者カ荷受人ヨリ之カ占有ヲ取得シタルトキハ民法第九十二條ノ規定ニ從ヒ運送品ノ上ニ權利ヲ行使スルコトヲ得ルヲ以テ此場合ニ於テモ仍ホ船舶所有者カ

其運送品ノ上ニ權利ヲ行使スルコトヲ許ストキハ之カ爲メ第三者ノ利益ヲ害スルニ至ル面シテ第三者ハ此場合ニ過失ナキニ反シ船舶所有者ハ運送貨ノ支拂ヲ受ケスシテ運送品ヲ引渡シタル過失アルヲ以テ法律ハ過失ナキ第三者ヲ保護スル所以ナリ

船舶所有者カ本條ノ規定ニ依リ運送品ノ上ニ有スル權利ハ如何ナル性質ノモノナリヤ今之カ檢覈ヲ爲スニハ第一項ノ場合ト第二項ノ場合トニ付キ區別セサルヘカラス第一項ノ權利ハ曩ニモ(第六百六條ニ於テ)叙述シタルカ如ク二様ノ物權ナリ(一)船舶所有者ハ第六百六條ノ規定スルカ如ク荷受人カ運送貨其他ノ債權ノ辨濟ヲ爲スニ非サレハ運送品ヲ引渡ス義務ナキモノニシテ留置權民法第二九五條ヲ有ス(二)船舶所有者ハ運送業者トシテ民法第三百十一條第三號及ヒ第三百十八條ノ規定ニ從ヒ運送品ノ上ニ先取特權ヲ有ス但シ船舶所有者カ此等ノ物權ヲ有スルハ運送品ヲ占有スル間ニ限ルモノニシテ之ヲ荷受人ニ引渡シタルトキハ最早其權利ヲ有セサルコトハ留置權ノ性質及ヒ運輸ノ先取特權ニ關スル規定(民法第三一八條)ニ依リテ明カナリ本條第二項ノ權利即チ運

送品ノ引渡ノ後二週間内船舶所有者カ運送品ノ上ニ行使スルコトヲ得ル權利ニ付テハ舊商法第九百十五條ニハ優先權ナル文辭ヲ用キアリ佛蘭西商法第三百七條ニハ先取特權ナル文辭ヲ用キ獨逸商法第六百二十四條及ヒ第六百二十六條ニハ質主權トアルニ獨リ我新商法ニハ先取特權若クハ優先權ナル文辭ヲ用キスシテ右ノ如キ語句ヲ用キタルハ法律カ本條第二項ニ於テ船舶所有者ニ與ヘタル權利ハ先取特權ニ非サルヲ以テナリ既ニ叙述シタルカ如ク運輸ノ先取特權ハ運送品カ運送人ノ手ニ存スル間ニ非サレハ存在セズ又留置權モ運送品ヲ運送人カ留置スル間ニ非サレハ存在セサルモノニシテ既ニ運送品ヲ荷受人ニ引渡シタル後ニ在リテハ以上ノ權利ヲ有スルモノニ非ス故ニ本條第二項ノ權利ハ先取特權ノ如キ性質ノモノニ非ス然レトモ船舶所有者カ自ラ運送品ヲ占有スル場合ノ如ク之ヲ競賣スルコトヲ得ル一種ノ權利ナリトス而シテ荷受人カ運送品ノ引渡後十四日内ニ破産シタルトキ又ハ他ノ債權者カ此運送品ヲ差押ヘタルトキハ船舶所有者ハ之ニ拘ラス其權利ヲ行使スルコトヲ得ヘキヤノ疑問ヲ生スヘシト雖モ此場合ニ於テハ法律ハ運送品ノ占有ヲ失ヒタル船舶

所有者ニ之ヲ占有セシ場合ニ占有物ノ上ニ行使スルコトヲ得ル權利ト同シキモノ(競賣スルコト)ヲ與ヘテ船舶所有者ヲ保護シタルモノナレハ運送品引渡後二週間内ニ於テハ第三者カ其運送品ノ占有ヲ取得シタル場合ノミヲ例外トシ船舶所有者ニ此權利ナキモノトシタルニ過キサレハ其他ノ場合ニ於テハ引渡シタル運送品カ荷受人ノ手ニ存スルトキハ他ノ債權者ノ加ハルト否トヲ問ハス船舶所有者ハ自ラ之ヲ占有スル場合ノ如ク獨リ運送品ノ上ニ權利ヲ行使スルコトヲ得ルモノト云ハサルヘカラス

○船舶所有者カ運送品ノ上ニ其權利ヲ行使セサル場合ニ於テ傭船者又ハ荷送人ニ對スル失權 第六百十一條 船舶所有者カ前條ニ定メタル權利ヲ行ハサルトキハ傭船者又ハ荷送人ニ對スル請求權ヲ失フ但傭船者又ハ荷送人ハ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ヲ爲スコトヲ要ス(獨商法第六二七條)

船舶所有者カ運送品ノ上ニ權利ヲ行使セシニ於テハ運送貨ヲ荷送人ヨリ受取ルコトヲ得ヘカリシニ其權利ヲ行使セシテ傭船者又ハ荷送人ニ對シテ運送貨其他ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ヘキヤ運送貨ハ荷送人ヨリ支拂フヲ通例ト

スルカ故ニ船舶所有者カ荷受人ニ對シテ運送貨ヲ支拂ハシムルコトニ付キ相當ノ手續ヲ盡シタルモ十分ニ其支拂ヲ受クルコトヲ得サル場合ニ於テハ過失ナキヲ以テ備船者又ハ荷送人ニ對シテ其不足額ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ若シ其手續ヲ怠リテ荷受人ヨリ運送貨ノ支拂ヲ受クルコトヲ得サルトキハ過失アルカ故ニ此場合ニ於テ備船者又ハ荷送人ニ對シテ運送貨ノ支拂ヲ請求スルハ不當ト云ハサルヘカラス蓋シ運送貨ハ結局運送品ヲ賣却シタル代價ヲ以テ支辨スヘキモノナルニ船舶所有者カ荷受人ニ運送品ヲ引渡シタルニ拘ラス其運送貨ヲ受取ラス又其權利ヲ運送品ノ上ニ行使セザリシヨリ備船者又ハ荷送人ハ船舶所有者者カ運送貨受取ノ期ヲ失シタルカ爲メ荷受人ヨリ之ヲ取立ツルコト能ハサルニ至リタルモノニシテ事ノ茲ニ至リタルハ全ク船舶所有者ノ過失ニ原因スルニ外ナラサルヲ以テ此場合ニ於テ船舶所有者ハ備船者又ハ荷送人ニ對シテ運送貨其他第六百六條第一項ニ規定シタル債權ノ請求權ヲ失フモノトシタリ然レトモ之カ爲メ備船者又ハ荷送人カ運送貨其他ニ付キ不當ニ利得スルコトアラハ是レ防カサルヘカラス若シ備船者又ハ荷送人カ荷受

人ヨリ運送貨ヲ受取リタル場合ニ於テ荷受人カ運送貨ヲ船舶所有者ニ支拂ハサルトキ備船者又ハ荷送人カ其荷受人ヨリ受取リタル金額ヲ自己ニ收メタル儘之ヲ船舶所有者者ニ支拂ハスシテ可ナルモノトスルトキハ是レ全ク不當ニ利得スルモノナルヲ以テ法律ハ此ノ如キ場合ニ於テ備船者又ハ荷送人カ利益シタル限度ニ於テ之ヲ船舶所有者者ニ償還セサルヘカラサルコトトセリ此場合ハ恰モ手形ノ所持人カ支拂人ヨリ支拂ヲ拒マレタルトキ拒絶證書ノ作成ヲ怠リタルカ爲メ裏書譲渡人及ヒ振出人ニ對シテ償還請求權ヲ失ヒタルニ拘ラス振出人又ハ引受人ニ對シ此等ノ者カ之カ爲メニ受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ル場合ニ同シキナリ(第四四四條)

○備船者自ラ船舶所有者ノ地位ニ立チ第三者ト爲ス運送契約——第六百十二條船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ備船者カ更ニ第三者ト運送契約ヲ爲シタルトキハ其契約ノ履行力船長ノ職務ニ屬スル範圍内ニ於テハ船舶所有者ノミ其第三者ニ對シテ履行ノ責ニ任ス但第五百四十四條ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ妨ケス

船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキハ備船者ノ地位ハ恰モ土地建物ノ賃借人ニ同シクシテ賃借人カ自身ニ土地建物ヲ使用セスシテ他ニ之ヲ轉貸スルコトヲ得ル(賃貸人ノ承諾アルトキ)ト同シク備船者モ船舶所有者ト取結ヒタル運送契約ニ因リテ得タル船舶使用ノ權利ヲ自ラ使用セスシテ其船舶ヲ目的トシ第三者ニ對シテ運送契約ヲ爲スコトヲ許ササルヘカラス然レトモ第一ノ備船者ハ船舶所有者ト取結ヒタル運送契約ニ於テハ單ニ船舶ヲ以テ運送品ヲ運送セシムルコトヲ得ル權利ヲ有スルニ止マリ自身ニ船舶ノ引渡ヲ受ケテ之ヲ賃借シタルニ非サレハ第二ノ備船者ニ對シテハ船舶所有者トノ契約ニ因リテ得タル權利ノ範圍ニ於テ契約ヲ爲ササルヘカラスルモノニシテ船舶所有者ト同一ノ地位ニ立ツコト能ハサルハ言フ俟タサルナリ故ニ第一ノ備船者ハ船長ヲ任免スルカ如キ權利ナク船長ハ依然船舶所有者ノ代理人トシテ其職務ヲ行フヘシ又第一ノ備船者ハ船長其他ノ船員ノ過失ニ對スル責任ヲ負ハサルナリ而シテ此場合ニ於テ第二ノ備船者ニ對シテ運送契約ヲ履行スル者ハ其契約カ船長ノ職務ノ範圍内ナルニ於テハ船舶所有者ナリ船舶所有者ハ此

第二ノ備船者ヲ第一ノ備船者ノ代理人ト看做シ其職務ニ屬スルモノハ此者ニ對シテ履行セサルヘカラス又船舶所有者ハ船長カ其法定ノ權限内ニ於テ爲シタル行爲又ハ船長其他ノ船員カ其職務ヲ行フニ當リ他人ニ加ヘタル損害ニ付テハ第五百四十四條ノ規定ニ從ヒ船舶及ヒ運送貨等ヲ此第二ノ備船者ニ委付シテ其實ヲ免ルルコトヲ得ヘシ

○運送契約ノ終了 第六百十三條 船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テハ其契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス

一 第五百八十七條第一項ニ掲ケタル事由

二 運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルコト

第五百八十七條第一項ニ掲ケタル事由カ航海中ニ生シタルトキハ備船者ハ運送ノ割合ニ應ジ運送品ノ價格ヲ超エサル限度ニ於テ運送貨ヲ支拂フコトヲ要ス(獨商法第六三〇條)

本條ヨリ第六百十五條ニ至ル三條ハ船舶全部ノ備船契約ニ適用セラルルモノニシテ本條ハ其運送契約ノ當然終了スル場合ヲ規定セリ即チ船舶全部ノ備船

契約ハ本條第一項ニ列記スル事由ノ生スルトキハ終了スルモノトス
第一 第五百八十七條第一項ニ掲ケタル事由 同條ニハ三箇ノ事由ヲ列舉ス
ルカ故ニ此第一ノ場合ニハ三箇ノ事由ヲ包含ス即チ(イ)船舶カ沈没シタルコト
(ロ)船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルコト(ハ)船舶カ捕獲セラレタルコト
是ナリ

(イ)船舶ハ海上運送契約ノ目的ナルニ其船舶ニシテ沈没シタルコトキ 此場合ニ
於テハ運送品ヲ運送スルコト能ハス隨テ其契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサル
ヲ以テ之ニ因リテ運送契約ノ當然終了スルモノトスルハ至當ナリ而シテ船舶
ノ沈没ハ或ハ發航ノ前ニ在ルコトアリ或ハ航海中ニ在ルコトアレトモ其場合
ノ如何ヲ問ハス運送契約ハ之ニ因リテ終了スルモノトス第五百八十七條ニ規
定スルカ如ク其船舶ニ雇入レタル海員ノ如キモ船舶ノ沈没ニ因リテ契約終了
スルモノナレハ此場合ニ於テハ船員ナク船舶ナク到底航海ノ目的ヲ達スルコ
ト能ハサルナリ

(ロ)船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルコトキ 此場合ニ於テモ縱令船舶ノ
船體機關等ノ存スト雖モ修繕スルコト能ハサルトキハ到底航海ノ用ニ供スル
コト能ハサルカ故ニ此場合ニ運送契約ノ終了スルモノトスルハ當然ナリトス
而シテ此場合ニ於テモ第五百七十一條ニ列舉シタル事由ニ該當スルトキハ船
舶ハ修繕スルコト能ハサルモノト看做サルモノトス

(ハ)船舶カ捕獲セラレタルコトキ 此場合ニ於テハ船舶所有者ハ船舶ノ所有權ヲ
有セサルニ至リタルカ故ニ其沈没シタル場合ト同シク運送契約ハ終了スルモ
ノトモサルヘカラス

第二 運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルコト 運送品カ不可抗力ニ因リ
テ滅失シタルトキハ最早運送スヘキ物品存セサルヲ以テ運送契約ハ行ハント
スルモ能ハサルナリ例ヘハ運送セントスル牛馬カ悉ク疾病ニ因リテ斃死シタ
ル場合ノ如キ是ナリ其滅失カ發航前ニ生シ備船者ニ於テ更ニ同種ノ物品ヲ積
込ムコトヲ得可キトキハ運送品ノ滅失ト看做スコトヲ得サルヲ以テ此ノ如キ
場合ニ於テハ本條ノ規定ヲ適用スヘキ限ニ在ラサルナリ而シテ此第二ノ場合
モ船舶ノ發航ノ前後ヲ問フコトナク適用セラルルモノトス

不可抗力ニ因リテ運送品カ滅失シタル場合ニハ備船者ニ毫モ過失ナケレトモ亦船舶所有者ニモ過失ナキモノニシテ運送契約ハ請負契約ナレハ船舶ノ發航後ニ於テ運送品ノ滅失シタルトキハ既ニ其仕事ノ幾分ヲ爲シタルモノニシテ其契約ヲ履行シタルモノナレハ船舶所有者ニ損失ヲ被ラシムヘキ理ナシトノ非難ヲ爲ス者アラシカナレトモ然レトモ既ニ叙述シタルカ如ク運送貨ハ運送品ノ代價ヲ以テ支拂フヘキヲ通例トスルニ備船者カ不可抗力ニ因リテ運送品ヲ滅失シタル場合ニモ之ヲ支拂ハサルヘカラサルモノトスルトキハ備船者ハ運送品ノ價格外ニ尙ホ運送貨ヲ支拂ハサルヘカラサルモノニシテ甚タ酷ニ失ス又一方ニ於テハ請負契約ニ關スル報酬ハ仕事ノ目的物ノ引渡ト同時ニ之ヲ與フルモノニシテ不可抗力ニ因リテ運送品カ滅失シタルトキハ船舶所有者ハ之ヲ荷受人ニ引渡ササルヲ以テ其報酬タル運送貨ヲ支拂フコトヲ要セサルナリ民法第六三三條是ヲ以テ此場合ニ備船者カ運送貨ヲ支拂フコトヲ要セサルモノトシタルハ至當ナリ是レ第六百十九條ノ規定ニ從ヒ第三百三十六條ヲ準用スルヨリ生スル所ニシテ獨逸商法第六百十八條ニモ規定セリ然レトモ運送

品カ其性質瑕疵又ハ備船者ノ過失等ニ因リテ滅失シタルトキハ備船者ハ其滅失シタル部分ノ運送貨ヲモ支拂ハサルヘカラス(舊商法第九一二條何トナレハ此場合ハ船舶所有者ニ過失ナク又已ムヲ得サルモノトシテ損害ニ甘ンセサルヲ得サルヘキ天災等ノ事由アルニモアラズ全ク備船者ノ負擔スヘキ損害ナルヲ以テ船舶所有者ハ其運送ノ爲メ供シタル勞務費用ノ報酬トシテ運送貨ヲ請求スルコトヲ得ルハ當然ナリ(第三三六條第二項)

右第一ノ場合カ船舶ノ發航前ニ生シタルトキハ毫モ運送ヲ爲ササルトキナルカ故ニ別ニ運送貨ニ關シテ問題ヲ生ズルコトナシ之ニ反シテ右ノ場合カ若シ航海中ニ生シタルトキハ契約ノ當然終了スルコトハ以上説キタルカ如シト雖モ其終了スルマテ既ニ運送ヲ爲シ幾分か仕事ノ結果ヲ生スルコトアルヘケレハ此ノ如キ場合ニ於テ其仕事ノ結果ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ支拂ハシムルハ相當ナリ是レ請負契約ノ當然ノ結果ト云フヘキナリ今之カ例ヲ舉グレハ横濱ヨリ香港マテ或物品ノ運送ヲ爲スニ當リ長崎近海ニ於テ暴風ニ遇ヒ船舶ノ沈没シタルトキ幾分ノ運送品ヲ救フコトヲ得テ長崎ニ陸揚セタルトキハ備船者ハ

其運送品ニ付キ長崎マテノ運送貨ヲ支拂ハサルヘカラス然レトモ如何ナル場合ニ於テモ單ニ以上ノ原則ニ從フコトスルトキハ船舶カ沈没スルカ如キ場合ニ在リテハ運送品ハ或ハ水ニ浸サレ或ハ毀損シテ其價格ヲ損セサルコト極メテ稀ナルヘケレハ如何ニ運送品カ其價格ヲ減少シタルニ拘ラス運送ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ支拂ハサルヘカラサルニ於テハ船舶者ハ運送品ノ價格以上ノ運送貨ヲ支拂ハサルヲ得サルコトアリテ船舶者ニ對シテ甚タ酷ニ失スルヲ以テ此場合ニ於テハ運送品ノ價格ヲ超エサル限度ニ於テ運送貨ヲ支拂フヘキモノトシタリ此立法ノ趣旨ハ船舶所有者カ第五百四十四條ノ規定ニ從ヒ船舶債權者ニ對シテ損害ヲ賠償スヘキ場合ニ船舶及ヒ運送貨ヲ委付シテ其實ヲ免ルコトヲ得ルト同一ナリ

船舶者カ運送ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ支拂フヘキハ運送品カ全部若クハ一部現存スル場合ニ限ル若シ運送品カ船舶ト共ニ沈没シ又ハ捕獲セラレテ存在セサルトキハ船舶者ノ爲メニハ請負契約カ結果ヲ生セザリシモノナルカ故ニ船舶者ハ運送貨ヲ支拂フコトヲ要セサルナリ例ヘハ横濱ヨリ香港マテ石炭三千

噸ノ運送ヲ爲スニ當リ長崎近海ニ於テ船舶沈没シタル場合ニ於テ其二千噸ヲ救助シ得タルトキハ船舶者ハ横濱ヨリ長崎マテ二千噸ニ對スル運送貨ヲ支拂フヲ以テ足ルモノニシテ船舶ト共ニ沈没シタル他ノ一千噸ニ對シテハ毫モ運送貨ヲ支拂フコトヲ要セサルナリ

○禁令其他不可抗力ノ船舶契約ニ及ホス效果——第六百十四條 航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得前項ニ掲ケタル事由カ發航後ニ生シタル場合ニ於テ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ船舶者ハ運送ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ支拂フコトヲ要ス(舊商法第八九一條第一項第八九二條佛商法第二七六條第二七九條第三〇〇條獨商法第六三一條) 船舶契約締結後ニ於テ宣戰ノ公布アリテ政府ノ命令ニ依リ到達地ト貿易交通ヲ禁セラルルコトアリ或種類ノ商品ノ運送ヲ禁セラルルコトアリテ契約ヲ履行スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルモノトセリ又不可抗力ニ因リ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ

至リタルトキ例ハ海水氷結シ又ハ軍用ノ爲メニ船舶ノ徵發セラレ又ハ本國若クハ外國政府ノ命令ニ依リテ船舶ノ差押ヘラレタルカ如キ場合ニ於テモ亦同シキモノトス而シテ此契約ノ解除ニ付テハ當事者ノ孰レニモ毫モ過失ノ責ムヘキモノナキヲ以テ縱令一方ニ於テ之カ爲メ損害ヲ被ルコトアルトモ他ノ一方ニ對シテ其賠償ヲ求ムルコトヲ得ス故ニ運送品ノ船積及ヒ陸揚ニ關スル費用ノ如キハ備船者之ヲ負擔シ船舶ノ機裝費ノ如キハ船舶所有者之ヲ負擔セサルヘカラス是レ過失ナキノ損失ハ皆所有者ノ負擔トストノ一般ノ原則ニ從ヘルモノナリ然レトモ此等ノ事由ハ或ハ發航前ニ生スルコトアリ或ハ發航中ニ生スルコトアリテ其航海中ニ生シタル場合ニ於テ契約ヲ解除シタルトキハ既ニ船舶所有者ハ備船者ノ爲メニ幾分ノ航海ヲ爲シタルカ故ニ其航海ハ縱令契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサリシト雖モ是レ船舶所有者ノ責ニ歸セサルヲ以テ備船者ハ船舶所有者ニ對シ其仕事ノ結果ニ應シテ相當ノ運送費ヲ支拂ハサルヘカラス是レ請負契約ヨリ生スル自然ノ結果ナリトス

航海運送ノ禁止カ單ニ到達港ノミニ關スルトキハ船長ハ發航ノ後ニ於テハ運

送品ヲ發航港ニ積戻スカ到達港ノ最近ノ港ニ陸揚スルカ將タ之ヲ適當ノ港ニ於テ賣却スルカ等積荷ノ利害關係人ノ利益ノ爲メニ最モ適當ナル方法ニ依リテ之ヲ處分セサルヘカラス(第五六五條)

○運送品ノ一部ハ滅失シ又ハ禁令其他不可抗力ニ因リテ契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサル場合 第六百十五條 第六百十三條第一項第二號及ヒ前條第一項ニ揭ケタル事由カ運送品ノ一部ニ付テ生シタルトキハ備船者ハ船舶所有者ノ負擔ヲ重カラシメサル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得備船者カ前項ニ定メタル權利ヲ行ハント欲スルトキハ運滞ナク運送品ノ陸揚又ハ船積ヲ爲スコトヲ要ス若シ其陸揚又ハ船積ヲ怠リタルトキハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス(獨商法第六三八條)

是マテ叙述シタル第六百十三條第一項第二號及ヒ第六百十四條第一項ハ運送品ノ全部カ滅失シ又ハ禁令其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲セタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ關スレトモ以上ノ如キ事由カ運送品ノ全部ニ對シテ生セシテ其一部ニ對シテ生シタルトキハ如何例ヘハ牛ト馬トヲ運

送スル場合ニ牛ノミカ疫病ニ罹リ悉皆斃死シタルカ如キトキ又ハ積荷ノ中單ニ戰爭ノ起リタル時戰時禁制品暴死病流行ノ際艦模古綿ノミ運送ヲ禁セラレタルトキハ船舶中滅失シタル運送品ヲ船積セシ部分ハ空所ト爲ルヘク又運送ヲ禁セラレタル運送品ハ未タ船積前ナレハ船積ヲ爲ササルヘク若シ又既ニ船積後ナレハ陸揚スヘクシテ之カ船積ニ充テタル部分ハ空所ト爲ルヘケレハ備船者ヲシテ滅失品禁制品等ニ代フルニ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ許ストモ利アリテ害アラサルナリ若シ此場合カ一部備船ノ場合又ハ箇箇ノ運送品ノ場合ナルニ於テハ他ノ運送品ヲ船積スルカ爲メニ他ノ備船者又ハ荷送人ニ對シテ航海ノ運送ヲ生スルコトアルヘシト雖モ此場合ニ於テハ全部備船ニシテ他ニ備船者又ハ荷送品存在セサルカ故ニ之カ爲メ此等ノ者ノ利益ヲ害スルコトアラサルナリ然レトモ備船者ハ他ノ運送品ヲ船積スルカ爲メニ最初締結シタル運送契約ニ因リテ生シタル船舶所有者ノ負擔ヲ加重スルコトハ許スヘカラサルナリ故ニ備船者ハ最初ノ契約ヨリ生スル船舶所有者ノ負擔ヲ重カラシメサル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得ルニ止メタリ此ノ如クシテ

備船者ニ他ノ運送品ノ船積ヲ許ストキハ獨リ其利益ナルノミナラス亦船舶所有者ノ利益トモ爲ルヘシ何トナレハ運送品ノ一部カ滅失シ又ハ運送ヲ禁セラレタルトキハ船舶所有者ハ滅失シタル運送品又ハ運送ヲ禁セラレタルカ爲メニ陸揚シタル運送品發航前ノ場合ニ付テハ其運送貨ノ支拂ヲ受クルコトヲ得サルヲ以テ其殘存部分ノミヲ運送シタルトキハ之ニ對スル相當ノ運送貨ノ支拂ヲ受クルニ過キサレトモ備船者カ他ノ運送品ヲ船積セタルトキハ之ニ對スル運送貨ノ支拂ヲモ受クルコトヲ得ヘケレハナリ

備船者保護ノ爲メ右ノ如ク他ノ運送品船積ノ權利ヲ之ニ與ヘタル以上ハ備船者カ其權利ヲ行使スルニ付テハ運滞ナク舊運送品ヲ陸揚シテ新運送品ノ船積ヲ爲スコトヲ得ルハ至當ナリトス然ラスンハ航海ハ運滞シ船舶所有者ハ之カ爲メ損失ヲ被ルニ至レハナリ故ニ此場合ニ於テ若シ其陸揚又ハ船積ヲ怠リタルトキハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要スル所以ハ契約當然ノ結果ナリ

○一部備船契約又ハ箇箇ノ運送品ノ運送契約ニ全部備船契約ニ於ケル契約ノ終了及ヒ其解除ニ關スル規定ノ準用——第六百十六條 第六百十三條及ヒ第六

百十四條ノ規定ハ船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス第六百十三條第一項第二號及ヒ第六百十四條第一項ニ掲ケタル事由カ運送品ノ一部ニ付テ生シタルトキト雖モ備船者又ハ荷送人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス(綱商法第六四三條)

據ニモ叙述シタルカ如ク備船契約カ當然終了スルコトヲ規定シタル第六百十三條及ヒ當事者雙方カ契約ノ解除權ヲ有スルコトヲ規定シタル第六百十四條ハ孰レモ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ノミニ適用セラルルカ故ニ若シ此規定ノミナルトキハ船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニハ適用セラレサルナリ然ルニ船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テモ亦(一)船舶カ沈没シタルトキ(二)船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ(三)船舶カ捕獲セラレタルトキ(四)運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ノ如ク契約カ當然終了スルモノトスルハ固ヨリ

當然ナリ又航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキニ於テモ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ノ如ク各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルハ是レ亦當然ナリ是ヲ以テ船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於ケル契約ノ終了及ヒ其解除ニ關スル規定ヲ準用スルコトト爲シタル所以ナリ

船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テモ運送品ノ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シ又ハ其航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ全部備船ノ場合ノ如ク備船者又ハ荷送人ヲシテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得セシメサルヘカラス然レトモ此場合ニ於テハ全部備船ノ場合ト異ナリ他ノ備船者又ハ荷送人アルカ故ニ他ノ運送品ヲ以テ滅失シタル運送品ニ代フルコトヲ許ササルナリ若シ此場合ニ於テ全部備船ノ場合ノ如

ク他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得セシムルコトスルトキハ航海ヲ運延シ他ノ備船者又ハ荷送人ノ利益ヲ害スルコトアルヘキヲ以テ同一ノ保護ヲ與ヘサル所以ナリ而シテ備船者又ハ荷送人カ此場合ニ於テ契約ノ解除ヲ爲スニハ運送貨ノ全部ヲ支拂ハサルヘカラス

○船船所有者カ運送ノ目的ヲ達セスシテ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ヘキ場合第六百十七條 船船所有者ハ左ノ場合ニ於テハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

一 船長カ第五百六十八條第一項ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ賣却又ハ質入シタルトキ

二 船長カ第五百七十二條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ

三 船長カ第六百四十一條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ處分シタルトキ舊商法第九一三條佛商法第二九八條第三〇一條獨商法第六一九條

船船所有者カ完全ニ運送ヲ終了シタルトキ契約ノ運送貨全額ヲ請求スルハ是レ契約當然ノ結果ナルカ故ニ別ニ明文ヲ以テ規定ヲ設クル必要ナシ之ニ反シ

テ船船所有者カ備船者又ハ荷送人ノ爲メニ運送ノ目的ヲ達セサルトキ換言スレハ船船所有者カ運送ヲ約シタル運送品ヲ到達港マテ運送セサルニ拘ラス其運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ルハ是レ契約ノ當然ノ結果ニ非スシテ法ノ明文ヲ待チテ然ルモノナルカ故ニ法律ハ本條ニ其場合ヲ規定シタリ而シテ其場合三アリ即チ左ノ如シ

(一) 船長カ第五百六十八條第一項ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ賣却又ハ質入シタルトキ 曩ニ第五百六十八條ニ付キ叙述シタルカ如ク船長ハ船船ノ修繕救援又ハ救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メニハ積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコトヲ得ルモノニシテ此場合ニ於テ船船所有者ハ安價ニ賣却若クハ質入シタルニ拘ラス備船者又ハ荷送人ニ對シテハ損害賠償トシテ其到着スヘカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ヲ支拂フヘク而シテ其價格中ニハ運送貨ヲモ包含セルヲ以テ此場合ニ於ケル備船者又ハ荷送人カ運送貨ノ全額ヲ支拂ハサルコトスルトキハ之カ爲メ運送貨ニ付テハ不當ノ利得ヲ爲スニ至ルヘシ若シ最初ノ損害賠償額中ヨリ積荷ノ到達港マテノ運送貨

ヲ控除セシニ於テハ此場合ニ於テ船舶所有者ハ運送貨ノ支拂ヲ受ケサルモ損失ヲ受タルコトナシト雖モ最初ノ損害額ニハ賣却又ハ質入シタル積荷ニ付キ到達港マテノ運送貨ヲ支拂ヒタルモノトシテ計算シアルヲ以テ此場合ニ於テ船舶所有者カ運送貨全額ノ支拂ヲ受ケサルトキハ其次ノ損失ヲ受ケヘケレハナリ

(二) 船長カ第五百七十二條ノ規定ニ從ヒ積荷ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ 船長ハ航海ヲ繼續スル爲メ必要ナルトキハ第五百七十二條ノ規定ニ從ヒ積荷ヲ航海ノ用ニ供スルコトヲ得ルモノニシテ此場合ニ於テハ積荷ヲ賣却又ハ質入シタル場合ト同シク船舶所有者ハ備船者又ハ荷送人ニ對シテ積荷ノ到著スヘカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ヲ賠償スヘキカ故ニ此場合ニ於テ運送貨ノ全額ノ支拂ヲ受タルハ至當ニシテ其理由ハ前ノ場合ニ同シキナリ

(三) 船長カ第六百四十一條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ處分シタルトキ 此第三ノ場合ハ共同海損ノ場合ナリ共同海損トハ船長カ船舶及ヒ積荷ヲシテ共同ノ危險ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生シタル損害及

ヒ費用(第六四一條)ニシテ共同海損ハ之ニ因リテ保存スルコトヲ得タル船舶又ハ積荷ノ價格ト運送貨ノ半額ト共同海損タル損害ノ額トノ割合ニ應シテ各利害關係人之ヲ分擔スヘキモノ(第六四二條)タリ而シテ共同海損ノ場合ニ於テ船長ハ備船者又ハ荷送人ノ意思ニ拘ラス運送品ヲ處分シ換言スレハ船長ノ行爲ニ因リテ運送ノ目的ヲ達スルコトヲ得サラシメタルモノナレハ此場合ニ於テ備船者又ハ荷送人ハ運送貨支拂ノ義務ナキモノノ如シト雖モ然レトモ備船者又ハ荷送人ハ積荷ヲ喪失シタルモ之カ爲メ第六百四十七條ニ依リ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格ノ但シ關稅陸揚費等ヲ除ク全額ヲ其損害額トシテ評定セララルカ故ニ備船者又ハ荷送人カ得ヘキ海損ノ賠償額中ニハ運送貨ヲモ包含スルヲ以テ若シ此場合ニ於テ船舶所有者カ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得サルモノトスルトキハ備船者又ハ荷送人ハ積荷ヲ喪失シテ却テ不當ノ利得ヲ爲シ之ニ反シテ船舶所有者ハ過失ナキニ拘ラス獨リ運送貨ノ損失ヲ爲スニ至ルヲ以テナリ

○ 備船者荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權ノ時效 第六百十八條 船舶所有者

ノ備船者、荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因
リテ消滅ス(舊商法第九七六條、獨商法第九〇九條)
商法上ノ債權ニ對スル時効ハ商業ハ迅速ヲ主トスルモノナルカ故ニ一般ニ民
法上ノ時効ニ比スレハ頗ル短ケレトモ海商中各節下ニ規定セル債權ハ商法中
他ノ債權ヨリ一層短期ナル時効ニ因リテ消滅スルモノトス是レ蓋シ海上貿易
ニ關スル債權ハ他ノ債權ヨリ一層迅速ニ其關係ヲ結了スヘキ必要アルヲ以テ
ナリ

○船舶所有者ノ責任ニ對スル時効 船舶所有者ノ責任ニ對シテハ第六百十九
條ノ規定ニ依リ第三百二十八條ニ規定スル運送取扱人ノ責任ニ對スル時効ヲ
準用ス第三百二十八條ノ規定ニ從ヘハ運送取扱人ノ責任ハ荷受人カ運送品ヲ
受取リタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノニシテ
船舶所有者ノ責任モ亦之ト同シク荷受人カ運送品ヲ受取リタル日ヨリ一年ヲ
經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノトス而シテ右一年ノ期間ハ運送
品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ其引渡アルヘカリシ日ヨリ起算スルコトモ亦運

送取扱人ノ責任ニ關スル規定ニ準スルモノトス

○運送品ノ滅失シタル場合ニ於ケル運送貨ノ請求權 運送品カ不可抗力ニ因
リテ滅失シ又ハ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタル場合
ニ於ケル運送貨ノ請求權ニ付テハ第六百十九條ニ依リ物品運送ニ關スル第三
百三十六條ノ規定ヲ準用スルコトヲ爲シタリ舊商法第九百十二條、第九百十三
條、佛蘭西商法第三百二條、獨逸商法第六百十八條、第三百三十六條ノ規定ニ從
フトキハ運送品ノ全部又ハ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人
ハ其運送貨ヲ請求スルコトヲ得ス若シ運送人カ既ニ其運送貨ノ全部又ハ一部
ヲ受取リタルトキハ之ヲ返還スルコトヲ要ス然レトモ運送品ノ全部又ハ一部
カ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ運
送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ルヲ以テ船舶所有者モ亦之ト同シク運送品カ
不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ其運送貨ヲ請求スルコトヲ得サルナリ而
シテ既ニ前以テ其運送貨ヲ受取レル場合ニ於テハ之ヲ受取ルノ原因ナキニ至
リタルヲ以テ之ヲ返還セサルヘカラス然レトモ運送品カ其性質若クハ瑕疵又

ハ荷送人ノ過失ニ因リテ消滅シタルトキハ普通ノ運送人ト同シク船舶所有者ハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ此規定ハ既ニ第六百十三條ニ於テ詳説シタルハ今復タ茲ニ叙述セサルナリ

○運送品ノ滅失毀損又ハ延著ニ對スル船舶所有者ノ責任 第六百十九條ノ規定ニ依リ運送品ノ滅失毀損又ハ延著ニ對スル普通運送人ノ責任ニ關スル第三百三十七條ノ規定ヲ船舶所有者ニ準用スルコトトシタリ右第三百三十七條ニ依レハ運送人ハ自己若クハ運送取扱人又ハ其使用人其他運送ノ爲メ使用シタル者カ運送品ノ受取引渡保管及ヒ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得サルヲ以テ船舶所有者モ亦右ノ如キ證明ヲ爲ササルニ於テハ同一ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス(舊商法第四九三條第二項第五○四條獨商法第六〇七條)

船舶所有者ハ運送品ノ保管者タリ之ヲ運送シテ荷受人ニ引渡スヘキ請負人タルヘキ者ニシテ船舶所有者ヲシテ成ルヘク嚴重ニ運送ヲ執行スヘキ義務ヲ負擔セシムル所以ノモノハ其營業トシテ營ム所ノ運送業務上ノ利益及ヒ

其事情ニ於テ然ルヘキ理由アルカ爲メナリ而シテ船舶所有者ハ其委託ヲ受ケタル運送品ノ保險人ト同視シ期日ニ運延セス且ツ運送品ヲ正當ニ引渡スヘキ責任ヲ之ニ負擔セシメ運送品ヲ受取リテヨリ之ヲ引渡スマテノ間ニ於テ之カ毀損滅失等アルトキハ船舶所有者ハ自己又ハ其使用スル者カ運送品ノ取扱保管及ヒ受渡等ニ付キ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スル責任アリ此場合ニ於テハ船舶所有者又ハ荷送人ハ運送品ヲ引渡シタルコトト荷受ノ際其不足セルコト、毀損セルコトノミヲ證明スレハ足ルモノニシテ船舶所有者又ハ荷送人ヨリ船舶所有者又ハ其使用人ノ過失アルコトヲ立證スル責任アラサルナリ又運送品延著ノ場合モ亦同シキナリ是レ或ハ事機ニ依リ專有權ヲ有スルヲ通例トスル所ノ運送ノ常職ニ歸スルコトヲ得ヘク或ハ運送執行中運送人船舶所有者ヲ監督スルノ途ナキカ爲メ若シ此ノ如キ責任ヲ負擔セシムルニ非サレハ百種ノ奸曲背信ノ念ヲ生スルノ憂アルニ歸スルヲ得ヘキナリ是ヲ以テ船舶所有者ハ委託ヲ受ケタル運送品ヲ毀損滅失スルコトナク期間内ニ陸揚ノ場所ニテ運送品ノ引渡ヲ爲ササルヘカラス之ヲ要スルニ運送ハ船舶所有者ノ一己ノ危險ヲ以テ之ヲ

爲スト云フモ可ナラン

○船舶所有者ノ高價品ニ對スル損害賠償ノ責任 貨幣有價證券其他ノ高價品ニ付キ運送人カ任スル損害賠償ノ責ニ關スル規定ヲ船舶所有者ニ準用ス第六一九條第三三八條舊商法第五〇〇條獨商法第六〇八條

運送貨ハ容積又ハ重量ニ從ヒテ定ムルヲ通例トスレトモ容積又ハ重量同一ナリトモ又其價格ノ高キト否トニ因リテ異ナルコトアルモノニシテ金銀貨幣有價證券等ノ如キモノハ其運送貨一般ニ高價ナリ而シテ運送品ノ種類及ヒ價格ハ一方ニ於テハ運送貨ヲ定ムル爲メ必要アリ又他ノ一方ニ於テハ運送品ノ損失毀損ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ爲ス場合ニ於テ其種類及ヒ價格ヲ標準ト爲スモノナレハ荷送人ハ運送ヲ委託スル際其種類及ヒ價格ヲ明告セサルヘカラス若シ荷送人カ其明告ヲ爲ササルトキハ船舶所有者ハ之カ損害賠償ノ責ニ任セサルモノトス是レ諸國立法例ノ認ムル所ナリ

○船舶所有者ノ連帶責任 數人相次テ運送ヲ爲ス場合ニ於テ各運送人カ運送品ノ損失毀損又ハ延著ヨリ生スル損害賠償ニ付キ連帶責任ヲ負フヘキ第三

三十九條ノ規定ハ之ヲ船舶所有者ニ準用ス(第六一九條舊商法第五〇五條獨商法第四一條)

陸上運送ニ於テ數人ノ運送人カ相次テ運送ヲ爲スカ如ク海上ノ運送モ單ニ一ノ船舶ニ依ラスシテ所有者ノ異ナリタル數箇ノ船舶相次テ之ヲ爲スコトアリ此場合ニ於テハ陸上ニ於ケル各運送人カ運送品ノ損失毀損又ハ延著ニ付キ連帶シテ責任ヲ負フト同シテ各船舶所有者モ亦連帶責任ヲ負フモノトス而シテ數箇ノ船舶ニ依リテ運送品ヲ運送スルニ當リ荷送人カ次ノ船舶所有者ト更ニ運送契約ヲ爲シ當初運送契約ヲ爲シタル船舶所有者ハ單ニ次ノ船舶ニ運送ノ爲メ運送品ヲ引渡スノミノ義務ヲ負擔スルトキハ第一ノ船舶所有者ト第二ノ船舶所有者トノ間ニ連帶義務ヲ生スルコトナク此場合ニ於テハ第二ノ船舶所有者ノ義務ハ荷送人ト直接ニ取結ヒタル契約ヨリ生スルニ過キサルナリ今茲ニ說ク所ノ場合ハ右ノ如キ場合ニ非スシテ荷送人ハ唯一ノ船舶所有者ト運送契約ヲ爲シ其船舶所有者カ他ノ船舶所有者ヲシテ自己ニ次カシメ第二以下ノ船舶所有者ト荷送人トノ間ニ特別ナル契約ナキ場合はナリ

此義務ハ第一ノ船舶所有者ノ請負ヒタル運送ヲ以テ合一ノ義務ト視備船者荷送人又ハ荷受人ハ運送中孰レノ船舶ニ於テ運送品カ滅失毀損シタルカ又ハ孰レノ船舶所有者ノ行爲ニ因リ運送品カ延著タルカヲ詳悉スルコト能ハサルノ場合多キニ基ク所ナリ是ヲ以テ備船者荷受人又ハ荷送人ハ運送中運送品カ孰レノ部分ニ於テ滅失毀損シタルカ又孰レノ船舶所有者ノ行爲ニ因リ延著ノ原因ヲ生シタルカヲ證明スルコトヲ要セサルナリ

船舶所有者ノ此責任ハ運送ヲ爲シタル數人ノ船舶所有者相互ノ間ニ於テ會社ノ關係ヲ有シ損益ヲ共分スルノ有無ニ依リテ異ナルコトナク唯其請負ヲ爲シタル運送ノ合同一體タル性質ヨリ生スルナリ而シテ之カ爲メ要スル所ノ取引及ヒ計算ヲ相互ノ間ニ於テ處辨シ及ヒ其相互拂戻ノコトヲ定ムルカ如キハ船舶所有者間相互ノ關係ニ屬スルニ過キサルモノニシテ之カ爲メ備船者荷送人又ハ荷受人ニ對スル責任ノ變更スルコトアラサルナリ而シテ船舶所有者ノ責任ヲ連帶トスルハ其負擔ヲシテ重大ナラシメ酷ニ失スル恐ナキニ非スト雖モ之カ爲メ備船者荷送人及ヒ荷受人ノ權利ハ大ニ安全タルヘシ若シ法律カ此場

合ニ連帶責任ヲ認メサルトキハ備船者荷送人及ヒ荷受人ノ船舶所有者ニ對スル權利ハ唯虛名タルニ止マリ其實ナキニ至ルヘシ

○運送品滅失ノ場合ニ於ケル損害賠償額 運送品カ全部滅失シタル場合ニ於ケル損害ノ賠償額ハ其引渡アルヘカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ定メ若シ運送品ノ一部カ滅失又ハ毀損シタル場合ニ於テハ毀損賠償額ハ其引渡アリタル日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム而シテ運送品延著ノ場合ハ其引渡アルヘカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ損害賠償額ヲ定ムルモノトス(第六一九條、第三四〇條、舊商法第四九五條乃至第四九九條、獨商法第六一二條、第六一四條)

運送品カ滅失又ハ毀損シタルトキハ曩ニ叙述シタル如ク其運送貨ヲ支拂フコトヲ要セサルヲ以テ損害賠償額ヲ定ムルニ當リ其到達スヘカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依ルトキハ其價格中ニハ運送貨モ其他ノ費用ト共ニ(關稅陸揚費等)包含セルヲ以テ損害賠償額中ヨリ運送品滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セサル運送貨其他ノ費用ヲ控除セサルトキハ備船者荷送人又ハ荷受人ハ

其金額ニ付キ不當ノ利得ヲ爲スニ要ルヘシ故ニ此場合ニ於テハ之ヲ控除スルコトト爲シタリ

以上ハ船舶所有者カ損害ヲ賠償スヘキ普通ノ場合ナレトモ運送品カ船舶所有者ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其損害賠償ノ程度ハ右ト同シカラサルナリ初ノ場合ニ於テハ實際船舶所有者ニ過失ナキコトモ有ル可ケレトモ船舶所有者ハ之ヲ證明スルコト能ハサルトキハ其責任ヲ負擔セサルヘカラサルモノニシテ此ノ如キ場合モ包含スルモノナレハ初ノ場合ハ船舶所有者ノ爲メ大ニ恕スヘキ所アルヲ以テ其賠償スヘキ損害額ヲ右ノ如ク制限シタレトモ後ノ場合即チ船舶所有者ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ニ於テハ船舶所有者ヲ寬恕スヘキ理由毫モ存セサルヲ以テ損害賠償ニ關スル普通ノ原則ニ從ヒ一切ノ損害ヲ賠償スヘキモノトシタリ第六一九條第三四一條

○船舶所有者ノ責任ノ消滅 船舶所有者ノ責任ハ荷受人カ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取り且ツ運送貨其他ノ費用ヲ支拂ヒタルトキハ消滅ス但シ運送品

ニ直チニ發見スルコト能ハサル毀損又ハ一部滅失アリタル場合ニ於テ荷受人カ引渡ノ日ヨリ二週間内ニ船舶所有者ニ對シテ其通知ヲ發シタルトキハ此限ニ在ラス而シテ此規定ハ船舶所有者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セサルモノトス(第六一九條第三四八條佛商法第一〇五條獨商法第六一〇條)

此規定ハ荷受人ニ於テ運送品ヲ受取り且ツ運送貨其他ノ費用ヲ支拂ヒタルトキハ船舶所有者既ニ其義務ヲ完結シタルモノナリトスル法律上ノ推定ニ出ツルナリ然レトモ此推定ハ反證ヲ以テ打破スルコトヲ得ルモノナレハ荷受人ハ自己ノ利益ヲ保護スルカ爲メニ此推定ニ對シテ豫メ明カニ其權利ヲ留保セサルヘカラス若シ然ラサルトキハ此推定ハ確定スルモノニシテ後ニ至リテハ或例外ノ場合ヲ除クノ外ハ異議ヲ申立ツルトモ其效ナキナリ而シテ此規定ハ主トシテ船舶所有者ヲ保護スルカ爲メニ設ケラレタルモノナリ詳言スレハ船舶所有者ノ多數ノ荷受人ニ對スル地位ト船舶ハ及フヘキ迅速ニ發著スルノ必要トニ在リ故ニ荷受人ハ運送品ノ毀損又ハ滅失ニ付テハ其之ヲ受取ル際直チニ異議ヲ申立テサルヘカラス是ヲ以テ荷受人ハ運送品受取ノ際直チニ其形狀

ヲ検査スルノ權利アリ而シテ荷受人カ運送品ヲ受取り運送貨ヲ支拂フト雖モ之ヲ受取ル際留保ヲ爲ストキハ後ニ至リテモ之ニ對スル其權利ヲ主張スルコトヲ得ルモノトセリ

荷受人又ハ荷送人カ船舶所有者ニ對シテ有スル右損害賠償ノ請求權ハ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取りタルトキニ消滅スルヲ原則トスレトモ此原則ニハ一ノ例外アリ即チ運送品引渡ノ際其毀損又ハ一部滅失ヲ直チニ發見スルコトヲ得サルコトアリ又其際事實上留保ヲ爲スヲ得サルコトアリ然ルニ事實上ノ不能ヲ以テ荷受人ノ利益ヲ減殺スルハ苛酷ニシテ船舶所有者ヲ保護スルノ厚キニ失スルモノト云フヘシ故ニ此ノ如キ場合ニ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取り且ツ運送貨其他ノ費用ヲ支拂ヒタルノ故ヲ以テ運送契約ノ完全ナル履行アリタルコトヲ認メタルモノト看做スコトヲ得サルヘシ是ヲ以テ此場合ヲ例外ト爲セタリ然レトモ此場合ニ於テモ船舶所有者ノ責任ハ或場合惡意ノ場合ヲ除クノ外ハ際限ナク存セシムヘキモノニ非サルヲ以テ荷受人ニ對シテハ運送品ニ直チニ發見スルコト能ハサル毀損又ハ一部分滅失ナキヤ否ヤヲ検査ス

ルノ期間ヲ與フルヲ以テ足レルカ故ニ引渡アリタル日ヨリ二週間内ニ其通知ヲ爲ササルヘカラサルコトト爲シタリ

以上ハ船舶所有者ノ善意ノ場合ニ適用セラルル規定ナリ若シ船舶所有者ニシテ惡意ナルトキハ之ヲ善意ナル場合ト同視スルコト能ハサルコトハ言フヲ埃タス是ヲ以テ惡意ノ場合ニハ此規定ヲ適用セス普通ノ規定ニ依ルコトト爲シタリ

第二款 船荷證券

海上運送ノ船荷證券ニ於ケルハ猶ホ陸上運送ノ貨物引換證第三三三條ニ於ケルカ如ク其要トスル所ハ運送品ニ對スル受取書タルニ在リ然レトモ此受取書ハ流通證券ノ勸ヲ爲スモノニシテ普通ノ受取書ト同視スヘキモノニ非ス即チ此船荷證券ハ之ニ記載スル所ノ運送品ヲ引渡シタル證據ト爲リ且ツ此證券ヲ賣買スルトキハ恰モ運送品其物ヲ賣買シタルト同一ノ效果ヲ生スルモノナレハ證券中記載スヘキ條件ハ實ニ運送品ヲ明示スルニ足ルヘキモノタラサルヲ

得ス

○船荷證券ノ作成——第六百二十條 船長ハ傭船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ運送品ノ船積後運滞ナク一通又ハ數通ノ船荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス(舊商法第八九條、佛商法第二八二條、獨商法第六四四條)

舊商法ニ於テハ船荷證券ハ當事者ノ作成スヘキモノト爲シタルトモ本法ハ商事契約ニハ形式ヲ要セサルヲ以テ原則ト爲シタルカ故ニ船荷證券モ之ヲ作成スルト否トハ一ニ當事者ノ請求ニ任シタリ是ヲ以テ其請求ナクシハ必スシモ常ニ發行スルコトヲ要セサルナリ

船荷證券ハ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合タルト又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合タルト間ハス傭船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ發行スルモノトセリ而シテ其數ニ付テハ一通ニ限ルコトナク傭船者又ハ荷送人ノ請求アルニ於テハ船長ハ之カ數通ヲモ交付セサルヘカラス其數通ヲ發行スルハ猶ホ爲替證書其他ノ流通證券ノ如ク融通ノ具タルヲ以テ當事者ノ便宜ヲ圖リタルニ出ラタルナリ或ハ其一通カ紛失シタ

ル場合ニ他ノ證券ヲ以テ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘク又數通アルトキハ同時ニ之カ買受人ヲ諸所ニ求ムルコトヲ得ヘシ

第五百九十條ノ規定ニ依レハ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ各當事者ハ其相手方ニ對シテ運送契約書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲セルカ故ニ傭船者ハ其規定ニ從ヒテ運送契約書ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テモ尙ホ船荷證券ノ交付ヲ受クルコトヲ得可シテ船荷證券ノ發行ハ運送契約書ノ發行アリタルト否トヲ問ハサルナリ

船長ハ陸揚港ニ於テ船荷證券ノ所持人ニ對シ運送品ヲ引渡ササル可カラサルモノナルカ故ニ船荷證券ハ運送品ノ船積後ニ發行スルコトヲ要スルモノニシテ其發行ノ時間ハ舊商法ノ如キハ船積後二十四時内ニ之ヲ爲スコトヲ要スルモノトシタルトモ或ハ二十四時間ヨリ短キ時間内ニ於テ發行スルコトヲ望ム者アル可ク又或ハ數多ノ運送品ノ船積アリシ場合ノ如キハ二十四時間内ニ發行スルコト能ハサル場合モアルヘシ故ニ其發行ヲ二十四時間ニ限ルトスルハ不便多カルヘキモノトシ本法ニ於テハ船積後運滞ナク發行スヘキモノト爲シ

タル所以ナリ

○ 備船者又ハ荷送人ノ署名アル船荷證券ノ謄本ヲ請求スル船長ノ權利——第六百二十三條 備船者又ハ荷送人ハ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求ニ因リ船荷證券ノ謄本ニ署名シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス(舊商法第八九條第二項獨商法第六四四條第三項)

船長カ運送契約及ヒ積荷ニ關スル書類ヲ船中ニ備ヘ置クヲ要スルコトハ第五百六十二條ニ規定スル所ナリ而シテ船荷證券ノ如キモ其一ニシテ船長ハ運送品ノ引渡其他ニ關シテ備船者又ハ荷送人ニ交付シタル船荷證券ト同一ナルモノヲ備ヘ置カサルヘカラス是ヲ以テ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求アルトキハ備船者又ハ荷送人ハ船荷證券ノ謄本ニ署名シテ之ヲ交付スヘキコトトセリ而シテ此證券ハ素ト船長又ハ之ニ代ハル者ノ作成スルモノナルカ故ニ自己ノ作成シタルモノヲ自己ニ備ヘ置クハ證據上甚タ薄弱ナルヲ以テ其謄本ニ契約ノ相手方ノ署名アルモノノ交付ヲ受クルコトト爲シタルナリ

○ 船荷證券ノ代理作成——第六百二十一條 船船所有者ハ船長以外ノ者ニ船長

ニ代ハリテ船荷證券ヲ交付スルコトヲ委任スルコトヲ得

舊商法第八百九十九條ハ船荷證券ヲ作成スヘキ者ヲ船長ニ限リタレトモ本法ハ便宜ヲ圖リテ船船所有者ハ船長以外ノ者ニ船長ニ代ハリテ船荷證券ヲ交付スルコトヲ委任シ得ルモノトセリ而シテ此規定ニ依リテ船長以外ノ者カ船荷證券ヲ作成シタルトキハ其者ハ船長ノ代理人タルナリ若シ舊商法ノ如ク船長ノ外ハ船荷證券ヲ作成スル權限ナキモノトスルトキハ大會社ノ如キ數多ノ運送契約ヲ一時ニ締結スルモノニ在リテハ不便ニ堪ヘサルヘキヲ以テ以上ノ如キ便宜ノ規定ヲ設ケタルナリ

○ 船荷證券ニ記載スヘキ事項——第六百二十二條 船荷證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長又ハ之ニ代ハル者署名スルコトヲ要ス

- 一 船舶ノ名稱及ヒ國籍
- 二 船長カ船荷證券ヲ作ラサルトキハ船長ノ氏名
- 三 運送品ノ種類重量若クハ容積及ヒ其荷造ノ種類箇數並ニ記號
- 四 備船者又ハ荷送人ノ氏名又ハ商號

- 五 荷受人ノ氏名若クハ商號又ハ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコト
- 六 船積港
- 七 陸揚港但發航後備船者又ハ荷送人カ陸揚港ヲ指定スヘキトキハ其之ヲ指定スヘキ港

八 運送貨

九 數通ノ船荷證券ヲ作リタルトキハ其員數

十 船荷證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日舊商法第八九條佛商法第二二

二條獨商法第六四五條

海上運送ニ用フル船荷證券ハ陸上運送ニ於ケル貨物引換證(第三三三條)同シキモノニシテ佛蘭西商法第二二二條並ニ之ニ模倣シタル他國ノ法律ニ於テハ船積シタル運送品ニ對スル船長ノ積荷受取證(Receipt)ト稱ス獨逸商法第六四四條及ヒ英國ノ法律ニ於テハ假受取證ト稱ス船荷證券トテ區別ス而シテ船荷證券ハ純然タル船長ノ受取證ニ非スシテ備船者又ハ荷送人ノ陳述ヲ包含シ備船者又ハ荷送人ハ船長ノ請求アルトキハ其原本ニ署名シテ之ヲ交付スヘキモノ

ニシテ其要ハ一ニシテ足ラス今之ヲ舉クレハ(一)船荷證券ハ爭アル場合ニ於テハ運送品ノ船積セラレタルコトノ證據ト爲ルヘシ(二)船荷證券ハ之ヲ發スルニ先テ備船契約アリタルコトノ證據ト爲リ又證據方法トシテ運送契約書ヲ補足ス但シ運送契約書ハ全部又ハ一部ノ備船ノ場合ニ非サレハ作成セラルルコトナシ(第五九〇條)(三)船荷證券ヲ所持スル者ハ之ニ記載スル運送品ヲ船長ヨリ受取ルコトノ權利ヲ有シ其運送品ヲ處分シ又ハ其運送品ト同シク證券自身ヲモ融通ノ具トシテ讓渡スコトヲ得ヘキナリ

船荷證券ニ記載スヘキ事項ハ各國ノ法律ニ於テモ之ヲ規定スルカ故ニ本法ニ於テモ之ニ倣ヒタリ何トナレハ船荷證券ハ流通ノ具トシテ之ニ記載スル運送品ヲ代表スヘクレハナリ是レ其記載ヲ當事者ノ隨意ニ放任スルコト能ハサル所以ナリ

今船荷證券ニ記載スヘキ事項中二三ノモノニ付キ説明ヲ與ヘン第二號ニ船長ハ船荷證券ヲ作ラサルトキハ船長ノ氏名ヲ記載スルコトヲ要スルハ他ナシ前條ニ於テ船長以外ノ者ニ船荷證券發行ノ權ヲ與ヘタルカ故ニ船長以外ノ者カ

之ヲ作成シタルトキハ船長ノ氏名ハ記載セラレサルコト爲ルヲ以テ特ニ船長ノ氏名ヲ記載スルコト爲シタルナリ
第五號ニ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコトアルハ是レ暗ニ船荷證券ハ無記名式ニテ發行スルコトヲ得ヘキ旨ヲ示シタルモノニシテ船荷證券ヲ無記名式ニ發行シタルトキハ之ヲ所持スル者ハ何人ニテモ船長ヨリ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘキナリ而シテ又船荷證券ニハ第六百二十九條ノ規定ニ從ヒ爲替手形ノ裏書ニ關スル第四百五十五條ヲ準用スルカ故ニ法定ノ指圖證券ト爲レルヲ以テ特ニ發行者カ裏書讓渡ヲ禁スル旨ヲ記シタル場合ノ外ハ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得ヘキナリ

第七號ニ陸揚港但發航後備船者又ハ荷送人カ陸揚港ヲ指定スヘキトキハ其之ヲ指定スヘキ港トアルハ備船者又ハ荷送人ハ最初ヨリ運送品ノ陸揚港ヲ指定セスシテ之ヲ船積シ船積ノ發航後ニ於テ其陸揚港ヲ指定スルカ如キ契約ヲ爲スハ當事者ノ自由ニ屬セメタリ例ヘハ橫濱ヨリ上海ヲ經テ香港ニ航行スル船舶ニ運送品ヲ船積シ上海又ハ香港ノ中孰レカ最も相場ノ好良ナル港ニ於テ

之ヲ賣割カントスルカ如キ場合ニ於テハ發航前豫メ其陸揚港ヲ指定スルコト能ハサルカ故ニ發航後ニ至リ備船者又ハ荷送人ヲ以テ之ヲ指定セシムル方商業上便利多キヲ以テ發航後ノ指定ヲ許シ此但書ヲ加ヘタルナリ

運送契約ハ此船荷證券ヲ俟テ始メテ成立スルモノニ非ス是レ恰モ運送契約書ヲ作ラスシテ備船契約ヲ爲スコトヲ得ルカ如ク船荷證券ヲ作ラサルトモ運送契約ヲ爲スコトヲ得ルモノニシテ此點ヨリ云ヘハ船荷證券ハ契約ヲ證スルノ具タルニ過キサレハ之ヲ作ラサルトキト雖モ他ノ證據ヲ以テ其實實ヲ證明スルニ於テハ毫モ契約ノ效力ヲ減殺スルモノニ非サルナリ

船荷證券モ運送契約書ノ如ク印刷シタル用紙ヲ用ヒ法律上ノ要件ノ外契約當事者ノ權利義務ニ關スル細條ヲ之ニ掲クルコト多シ

○船荷證券ニ對スル船長ノ權利義務

(一)第六百二十四條 陸揚港ニ於テハ船長ハ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキト雖モ其引渡ヲ拒ムコトヲ得ス(獨商法第六四七條)

法律ハ船荷證券ヲ數通發行スルコトヲ許シタルヲ以テ數人ノ者各別ニ之ヲ所持シテ船長ニ對シ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトアリ而シテ法律ハ之ヲ陸揚港ニ於ケル場合ト陸揚港以外ニ於ケル場合トニ依リ區別セリ即チ本條ハ陸揚港ニ於ケル場合ヲ規定シ次條ハ陸揚港以外ニ於ケル場合ヲ規定セリ
陸揚港ニ於テハ船長ハ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキハ其各通ノ返還ヲ受ケサルトモ其引渡ヲ拒ムコトヲ得サルモノトセリ法律カ數通ノ船荷證券ノ發行ヲ許シタル目ハ既ニ說キタルカ如クニシテ同一ノ運送品ニ對シテ其各通カ同一ノ效力ヲ有スルモノニ非ス其數通ノ船荷證券ハ唯一ノ運送品ヲ代表スルノミ故ニ數通ノ船荷證券ヲ數人ノ者カ所持スルト雖モ船長ハ其各所持人ニ對シテ運送品ヲ引渡スヘキ義務アルモノニ非サルコトハ猶ホ爲替手形ヲ數通發行シタル場合ト同一ナリ(第五二〇條)而シテ陸揚港ハ運送品ヲ引渡スヘキ普通ノ場所ナルカ故ニ縱令數通ノ中一通ノ船荷證券ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキハ他ノ者ヨリ他ノ各通ノ船荷證券ヲ以テ同一ノ引渡ヲ請求ヲ受クヘキ虞アルニ拘ラス之カ引渡ヲ爲サザ

ルヘカラス是レ船荷證券ヲ數通發行シタル場合ニ於テハ其各通ハ單獨ノ船荷證券ノ用ヲ爲スヘキモノナルヲ以テナリ故ニ船荷證券ヲ數通發行シタルトキハ陸揚港ニ於テハ他ニ先チテ最早ト運送品ノ引渡ヲ請求シタル者カ最モ利益ヲ享クヘキナリ而シテ其證券面ノ一通ニ付キ引渡ヲ爲セハ他ノ各通ハ其效力ヲ失フヘキ旨ノ記載アルト否トヲ問ハサルナリ然レトモ若シ其船荷證券面ニ各通ヲ合シテ所持セサルトキハ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得サル旨ヲ記載シタル場合ニ於テハ其證券面ノ記載ニ從ハサルヘカラサルモノニシテ單ニ其中一通ヲ所持スルトモ運送品ノ引渡ヲ爲スコトヲ要セサルハ論ヲ俟タザルナリ

(二)第六百二十五條 陸揚港外ニ於テハ船長ハ船荷證券ノ各通ノ返還ヲ受クルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得ス(獨商法第六六一條)

陸揚港以外ハ普通運送品ヲ引渡スヘキ所ニ非ス故ニ若シ其陸揚港ニ非サル場所ニ於テ單ニ船荷證券一通ヲ所持シタル者ニ運送品ヲ引渡スコトトスルトキハ陸揚港ニ於テ其他ノ船荷證券ヲ持參シテ運送品ノ引渡ヲ請求スル者ナシト

セス而シテ其場所ヨリ運送品ヲ引渡スヘキ所ナルヲ以テ或ハ他ノ正當ノ荷受人ノ權利ヲ害スルヤモ知ルヘカラス是ヲ以テ法律ハ此場合ニ於テハ發行シタル總テノ船荷證券ヲ返還スルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得サルモノトセリ此ノ如クスルトキハ運送品ノ引渡ヲ受クヘキ正當ノ權利ナキ者カ其引渡ヲ受ク又ハ其正當ノ權利アル者カ之カ引渡ヲ受ケサルカ如キ弊ヲ防クニ至ルヘシ

(三) 第六百二十六條 二人以上ノ船荷證券所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキハ船長ハ運滞ナク運送品ヲ供託シ且請求ヲ爲シタル各所持人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス船長カ第六百二十四條ノ規定ニ依リテ運送品ノ一部ヲ引渡シタル後他ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタル場合ニ於テ其殘部ニ付キ亦同シ(舊商法第九〇二條後段獨商法第六四八條)

以上叙述シタル所ハ船荷證券ヲ所持スル者一人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタル場合ナレトモ二人以上ノ船荷證券ノ所持人カ同時ニ若クハ相前後シテ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトアリ而シテ其一部タリトモ既ニ引渡シタル場合ニ於テ

其引渡カ右ニ叙述シタル第六百二十四條ノ規定離揚港ニ於テニ從ヘルトキハ船長ハ其部分ニ對シテハ既ニ其責任ヲ脱セリ然レトモ全部ノ引渡前ナルカ又ハ一部分ハ引渡シタルモ尙ホ殘存スルモノアルトキハ船長ハ之ヲ何人ニ引渡スヘキヤ船長ハ船荷證券ノ所持者中何人カ正當ノ荷受人ナルヤヲ知ルコトヲ得ス故ニ此場合ニ於テハ船長ハ運滞ナク運送品ヲ供託シ且ツ引渡ノ請求ヲ爲シタル船荷證券ノ各所持人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要スルモノトシタル若シ此場合ニ運送品ノ供託ヲ爲スコトヲ得ルモノトセサルトキハ船舶所有者ハ運送品引渡ノ期ヲ遲延シ其間空シク之ヲ保管セサルヘカラサルモノニシテ之カ爲メニ損害ヲ被ルコト尠ナラサルヘシ故ニ之ヲ避ケシムルカ爲メニ右ノ規定ヲ設ケタリ而シテ船荷證券ノ所持人ハ其孰レカ正當ナルヤハ其間ニ於テ決スヘク若シ之ヲ相互ノ間ニ於テ定ムルコト能ハサルトキハ裁判所ノ裁判ヲ受ケテ決スルヨリ外アラサルモノニシテ此ノ如キハ船舶所有者ノ關知スル所ニ非サルナリ

○船荷證券所持人間ノ關係

(一)第六百二十七條 二人以上ノ船荷證券所持人アル場合ニ於テ其一人カ他ノ所持人ニ先チテ船長ヨリ運送品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ他ノ所持人ノ船荷證券ハ其效力ヲ失フ(獨商法第六五〇條)

前ニ叙述シタル所ハ船長ト船荷證券所持人間ニ關スル規定ナレトモ本條及ヒ次條ハ二人以上ノ船荷證券ノ所持人アル場合ニ於テ其間ノ關係ヲ規定セルナリ

數通ノ船荷證券ヲ發行シ二人以上ノ者カ別別ニ之ヲ所持スル場合ニ於テ其證券ハ皆效力ヲ有スルモノニ非ス其中一通ヨリ外效力ヲ有セサルヲ以テ其中孰レカ有效ノモノナルヤヲ定メサルヘカラス法律ハ此場合ニ於テ船荷證券所持人ノ一人カ他ノ所持人ニ先チテ船長ヨリ運送品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ他ノ所持人ノ船荷證券ハ其效力ヲ失フコトトセリ例ヘハ乙ハ甲ナル原所持人ヨリ三月中イ號ナル船荷證券ヲ買受ケ丙ハ同シク甲ヨリ同一ノ運送品ニ對シ四月中ロ號ナル船荷證券ヲ買受ケタリ而シテ丙カ其證券ヲ持參シテ船長ヨリ既ニ運送品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ乙カ甲ヨリ買受ケタル日ハ以前ナリト雖モ乙

ノ所持スル船荷證券ハ最早效力ヲ有スルモノニ非ス蓋シ船荷證券ヲ流通ノ用ニ供スル以上ハ一通ノ所持人カ第六百二十四條ノ規定ニ從ヒテ請求ヲ爲シ運送品ノ引渡ヲ受ケレハ其引渡タルヤ有效ニシテ物上ノ權利ハ其者ニ移ルヘシ故ニ之カ爲メニ他ノ所持人ノ船荷證券カ其效力ヲ失フト爲スハ實際上便利ニシテ且ツ已ムヲ得サル所ナリ此場合ニ於テ乙ハ唯自己ニ船荷證券ヲ賣渡シタル甲ニ對シテ損害賠償ノ請求ヲ爲スヨリ外アラサルナリ

(二)第六百二十八條 二人以上ノ船荷證券所持人アル場合ニ於テ船長カ未タ運送品ノ引渡ヲ爲ササルトキハ原所持人カ最モ先ニ發送シ又ハ引渡シタル證券ヲ所持スル者他ノ所持人ニ先チテ其權利ヲ行フ(獨商法第六五一條)

前條ハ一通ノ船荷證券ニ依リテ其所持人カ既ニ運送品ノ引渡ヲ受ケタル場合ニ關スレトモ本條ハ運送品ノ未タ何人ニモ引渡サレサル場合ヲ規定シタルナリ運送品カ未タ引渡サレサル場合ハ前條ノ場合ト異ナリ原所持人カ最モ先ニ發送シ又ハ引渡シタル證券ヲ所持スル者ノ權利ハ後ニ發送ヲ受ケ又ハ引渡ヲ受ケタル所持人ノ權利ニ優ルコトトセリ例ヘハ前ニ舉ケタル乙ハ丙ヨリ一箇

月前ニ在リテ原所持人タル甲ヨリ船荷證券ヲ買受ケタルヲ以テ船長カ第六百二十六條ノ規定ニ從ヒ供託シタル運送品ニ對シテ權利ヲ有スルナリ是レ原所持人甲カ既ニ他人乙ニ一通ノ船荷證券ヲ讓渡シ自己ニ權利ヲ有セサルニ當リ復タ之ヲ他人丙ニ讓渡ストキハ其讓渡ハ法律上無効ナリトノ理由ニ出テタル規定ナリ此場合ニ於テハ丙ハ自己ニ船荷證券ヲ賣渡シタル甲ニ對シテ損害賠償ヲ請求スルヨリ外アラサルナリ而シテ乙丙兩者ノ間ノ權利ノ優劣ヲ決スルハ以上ノ如クナラサルヘカラサレトモ前條ノ場合ニ於テハ船長ハ正當ノ所持人ヲ調査スルニ由ナク又之カ責任ナキカ故ニ先ニ持參シタル者ヲ以テ正當ノ所持人ト看做スハ已ムヲ得サルナリ

此規定ハ獨リ船荷證券ノ讓渡ノ場合ニ限ラス其他原所持人カ質權ヲ設定シタルカ如キ場合ニモ廣ク適用セラルルモノトス

○一般ノ運送營業ノ物品運送爲替手形ノ裏書及ヒ其支拂ニ關スル規定ノ準用

第六百二十九條 第三百三十四條第三百三十五條第四百五十五條及ヒ第四百八十三條ノ規定ハ船荷證券ニ之ヲ準用ス

(一) 第三百三十四條ハ一般ノ物品運送ニ付キ貨物引換證ヲ作リタルトキハ運送ニ關スル事項ハ運送人ト所持人トノ間ニ於テハ貨物引換證ノ定ムル所ニ依ル規定ナリ蓋シ船荷證券發行ノ主タル目的ハ流通ニ在ルカ故ニ其記載ヲ一見シ之ヲ信用シテ賣買其他ノ取引ヲ爲スモノニシテ運送ニ關スル事項例ヘハ運送貨陸揚ニ關スル事等ニ付キ船舶所有者ト荷受人トノ間ノ關係ハ一般ノ物品運送ニ關スル貨物引換證ノ如ク一ニ船荷證券ノ定ムル所ニ依ラサルヘカラス然ラスンハ船荷證券ハ竟ニ能ク其目的ヲ達スルコト能ハサルナリ而シテ此ノ如キ規定ハ船荷證券カ當事者間ニ於テ運送契約ニ關スル證據タルニ過キサリニ於テハ別ニ之ヲ設クルノ必要ナシト雖モ船荷證券ハ獨リ之ヲ作リタル當事者間ニ於テノミ用ヲ爲スニ非ス流通シテ最初之ヲ作成セシメタル船舶者又ハ荷送人ノ手ヲ離レテ最初ノ契約ニ干與セサル者ノ手ニ移轉シ其證書ニ關シテ爭ノ生スルハ其所持人ト船舶所有者ノ間ニ在ルコト多キカ故ニ此規定ヲ設ケ運送ニ關スル事項ニ付テハ最初契約ニ干與セサル者ヲモ此船荷證券面ニ定メタル所ニ從ハシムルコトト爲シタルナリ然レトモ船荷證券ニ記載スル事項ハ船

船舶所有者ト荷受人トノ間ニ在リテモ必スシモ悉ク有效ナリト云フヘカラス即チ第五百九十二條ノ規定ノ如ク公益ノ理由ニ依リ契約ノ自由ノ制限ヲ受ケタルモノアリ此ノ如キ制限ニハ從ハサル旨ヲ縱令證券面ニ特約シアリト雖モ其特約ハ證券ノ所持人ニ對シテモ同シク效力ヲ有セサルヤ論ヲ俟タサルナリ(舊商法第九〇一條獨商法第六五三條)

(二) 第三百三十五條ハ一般ノ物品運送ニ付キ裏書ニ依リテ貨物引換證ヲ讓渡シタルトキハ運送品ノ讓渡ト同一ノ效力ヲ有スル旨ヲ規定シタルモノニシテ裏書ニモ叙述シタルカ如ク海上運送ニ於ケル船荷證券ハ陸上運送ニ於ケル貨物引換證ニ類スルカ故ニ右ノ規定ヲ茲ニ準用スルコトトシタリ即チ裏書ニ依リテ船荷證券ヲ讓渡シタルトキハ裏書ニ依リテ貨物引換證ヲ讓渡シタル場合ノ如ク運送品ノ讓渡ト同一ノ效力ヲ有スルモノトス此船荷證券ノ裏書讓渡カ物權的ノ效力ヲ生スルコトハ外國ノ法律ニ於テモ一般ニ認メラルル所ニシテ船荷證券ヲ發行スル主タル目的カ流通ニ在リト云フモ即チ之カ爲メナリ若シ其讓渡ニシテ單ニ債權讓渡ノ效力ヲ生スルニ過キサルモノトスルトキハ未タ以

テ荷受人ノ權利ヲ十分ニ保護スルニ足ラス加之其流通ヲ妨ケ荷受人ノ目的トスル所ニモ反スヘキカ故ニ法律ハ其裏書ニ物權的ノ效力ヲ生スヘキモノト爲シ裏書ニ依リテ此證券ヲ讓受ケタルトキハ運送品其物ヲ讓受ケタルモノト看做シタルナリ

(三) 第四百五十五條ハ爲替手形ノ裏書ニ關スルモノニシテ爲替手形ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得但シ振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラサル旨ヲ規定シタルモノナリ船荷證券モ爲替手形ノ如ク流通證券ナルカ故ニ無記名式ノモノナルトキハ交付ノミニ依リテ讓渡シ記名式ノモノナルトキト雖モ其發行者ニ於テ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ禁セサル以上ハ指圖式ノモノト同シク裏書ニ依リテ讓渡スコトヲ得ルモノトセリ此ノ如クスルトキハ船荷證券ハ一般ノ流通ヲ助ケ其所持人ノ便利ヲ増スニ至ルヘシ然レトモ商品以外ノ運送品ヲ船荷證券ノ目的ト爲シタル場合ノ如キ固ヨリ當事者カ裏書讓渡ノ禁止ヲ爲スコトハ其自由タルナリ(舊商法第八九九條第三項獨商法第六四六條)

(四) 第四百八十三條ハ爲替手形ノ支拂ニ關スルモノニシテ支拂ハ爲替手形ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス又支拂ヲ爲ス者ハ所持人ヲシテ爲替手形ニ其支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且ツ之ニ署名セシムルコトヲ得ヘキ旨ヲ規定セリ爲替手形ノ如ク船荷證券ヲ法定ノ指圖證券ト爲シ其讓渡ハ物權的ノ效力ヲ生スルモノト爲シ其債權ハ證券ト共ニ發生シ亦其證券ト共ニ消滅スルモノナルカ故ニ爲替手形ノ支拂ニ關スル規定ヲ茲ニ準用スルコトト爲シタル所以ナリ若シ茲ニ此ノ如キ規定ヲ設クスシテ運送品ノ引渡ヲ普通債權ノ辨濟ノ如ク船荷證券ト引換フルコトヲ要セス之カ引渡ヲ受クルモ其船荷證券ヲ船長ニ返還セスシテ之ニ運送品ノ受取書ヲ交付スルヲ以テ足ルコトスルトキハ船荷證券ノ所持人ハ運送品ノ引渡ヲ受ケタルニ拘ラス其證券ノ自己ノ手ニ依然存在スルヲ奇貨トシ裏書ヲ以テ之ヲ他ニ讓渡ストキハ船舶所有者ハ其所持人ヨリ之ヲ以テ再度運送品ノ引渡ノ請求ヲ受クヘキ虞アリ而シテ船舶所有者ハ第六百二十四條ノ規定ニ依リ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人ニ運送品ヲ引渡シタルトキハ其證券ニ付テハ既に其責任ヲ免レ再ヒ運送品ヲ引渡ス

コトヲ要セサレトモ運送品引渡後ニ裏書ニ依リテ讓受ケタル其所持人ハ効力ナキ證券ヲ讓受ケタルモノニシテ損害ヲ受クルコト尠ナラサルヘシ故ニ運送品ヲ引渡シタルトキハ船荷證券ヲ取戻スコトト爲シタル而シテ又船長カ船荷證券ヲ取戻シタルトモ果シテ運送品ヲ引渡シタルヤ否ヤハ疑ハシキコトナキニ非ス故ニ後日ノ證據ノ爲メニ其證券面ニ荷受人ヲシテ運送品ヲ受取リタル旨ヲ記載セシメ且ツ之ニ署名セシムルコトト爲シタル所以ナリ(獨商法第六五三條)

第二節 旅客運送

旅客運送トハ物品運送ニ對スルモノニシテ船舶ニ依リテ人ヲ運送スルヲ謂フ船舶ハ物品ノミヲ運送スルモノアリ或ハ人ノミヲ運送スルモノアリ或ハ物品ト人トヲ併セ運送スルモノアリ物品運送ニ付テハ曩ニ之ヲ詳説シタル而シテ物品及ヒ人ヲ運送スル場合ト人ノミヲ運送スル場合トヲ問ハス其人ニ關スル運送ハ本節ノ規定ノ適用ヲ受クヘキナリ

○乗船切符 第六百三十條 記名ノ乗船切符ハ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ス
 (舊商法第九一八條、獨商法第六六五條)

旅客運送契約ニ付テハ物品運送ニ於ケル船荷證券ノ如ク法律ヲ以テ一定ノ書式ヲ定ムルノ必要ナク唯之ヲ當事者ノ作成スル所ニ任シタルモノニシテ乗船切符ハ或ハ之ヲ記名トスルアリ或ハ之ヲ無記名トスルアリ而シテ其無記名ノ切符ニ付テハ法律ハ別ニ其讓渡ヲ許スコトヲ明言セサレトモ法律カ本條ニ於テ記名ノ切符ノミノ讓渡ヲ禁止スル旨ヲ規定シタル所ヲ以テ見レハ其裏面ニ於テ無記名ノ切符ハ自由ニ讓渡スコトヲ得ルモノト云ハサルヘカラス之ニ反シテ記名ノ切符ハ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得サルモノトス是レ他ナシ宛名ヲ記シタル契約證書ハ其發行人ニ於テ其名宛人ニ對シテ契約ヲ履行スヘキ旨ヲ表示シタルモノナレハ其書面外ノ者ニ於テ其發行人ニ對シテ之カ履行ヲ求ムルトモ發行人ハ固ヨリ之ニ應スヘキ義務ナケレハナリ是ヲ以テ右ノ如ク規定セタリ

○旅客ノ食料 第六百三十一條 旅客ノ航海中ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔ト

ス(舊商法第九二六條)

航海中ノ旅客ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔ナルカ將タ旅客ノ自辨ナルカハ法律ニ於テ之ヲ規定セサルトキハ爭ノ生スルコトアルヘキヲ以テ之カ規定ヲ設ケ食料ハ船舶所有者ノ負擔ト爲シタリ是レ從來一般ノ慣習ニモ存スル所ナリ然レトモ或外國船カ先年神戸横濱間ニ於テ旅客ノ運送ヲ爲シタル際旅客ノ食料ヲ船舶所有者ノ負擔トセサリシ例アリタリ

此規定ハ船舶所有者ニ於テ旅客ノ食料ヲ負擔セサル慣習アル場合又ハ特約ヲ以テ旅客ノ自辨若クハ儲船者ノ負擔ト爲シタル場合ニ於テハ其慣習又ハ特約ニ從フヘキヤ論ヲ挾タサルナリ

○手荷物ノ運送賃 第六百三十二條 旅客カ契約ニ依リ船中ニ携帯スルコトヲ得ル手荷物ニ付テハ船舶所有者ハ特約アルニ非サレハ別ニ運送賃ヲ請求スルコトヲ得ス(舊商法第九二七條、獨商法第六七三條)

旅客カ契約ニ依リテ船中ニ携帯スルコトヲ得ル手荷物トハ例ヘハ運送會社ノ規則ニ於テ上等船客ハ一人ニ付キ何斤下等船客ハ一人ニ付キ何斤ノ手荷物ヲ

無賃ニテ携帶スルコトヲ許スカ如キ是ナリ而シテ其運送賃ハ既ニ旅客ノ運送賃中ニ包含スルモノナレハ別ニ特約ナキニ於テハ船舶所有者ハ之カ運送賃ヲ請求スルコトヲ得サルモノトセリ是レ一般ニ認メラレタル慣習ナリ然レトモ其手荷物ニハ或制限アルヲ以テ若シ旅客カ携帶シタル手荷物ニシテ其制限ニ超過シタルトキハ其部分ハ則チ無賃ニテ携帶スルコトヲ許ササルモノナレハ相當ノ運送賃ノ支拂ヲ爲ササルヘカラサルヤ論ヲ埃タサルナリ

○旅客カ發航ノ時期ニ乗込マサル場合ニ於ケル船長ノ權利及ヒ運送賃金額ヲ支拂フヘキ旅客ノ義務——第六百三十三條 旅客カ乗船時期マテニ船舶ニ乗込マサルトキハ船長ハ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコトヲ得此場合ニ於テハ旅客ハ運送賃ノ金額ヲ支拂フコトヲ要ス

旅客カ發航ノ時期マテニ乗船セス又ハ船舶カ航海ノ途中寄港シタルトキ上陸シ發航ノ際乗リ後レタル場合ハ恰モ箇箇ノ運送品ノ荷送人カ其船積ヲ怠リタルトキ船長ハ之ニ拘ラス發航ヲ爲スコトヲ得テ荷送人ハ其運送賃ノ金額ヲ支拂フヘキ義務アルト同シク第六〇二條此場合ニ於テ船長ハ旅客ノ乗船ヲ待タ

スシテ發航ヲ爲スコトヲ得而シテ旅客ハ運送賃ノ金額ヲ支拂ハサルヘカラス蓋シ旅客カ契約ヲ締結スル所以ハ一定ノ時間内ニ一定ノ港ニ到着セシコトヲ欲スレハナリ然ルニ一旅客カ發航ノ際又ハ寄港ノ際ニ於テ乗船期間内ニ乗込マサルカ爲メニ航海ヲ運延セサルヘカラサルニ於テハ他ノ旅客ハ迷惑ヲ被ルコト尠ナラサルヘシ是ヲ以テ船長ハ乗船期間後ハ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコトヲ得ルモノト爲セリ而シテ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ノ如キハ備船者カ船積期間内ニ運送品ノ船積ヲ爲サリシトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做サレ備船者ハ運送賃ノ半額ヲ支拂フヲ以テ足レトモ(第五九八條旅客ノ乗込ハ物品ノ船積ノ如ク別ニ手數ヲ要スルモノニ非スシテ船舶カ既ニ運轉ヲ始メタルトキト雖モ仍ホ或ハ乗込ムコトヲ得ヘキ程ナレハ其發航マテニ乗込マサリシト必スシモ解約セシモノト看做スコトヲ得ス故ニ船長ハ其空室アルニ拘ラス更ニ他人ト契約スルコトヲ得サルヲ以テ其乗船セサリシ場合ト雖モ船舶所有者ノ計算ハ殆ト乗船シタル場合ニ異ナルコトナシ是ヲ以テ運送賃ノ金額ヲ支拂フヘキコトト爲シタリ

○旅客ノ契約ノ解除權——第六百三十四條 發航前ニ於テハ旅客ハ運送貨ノ半額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得發航後ニ於テハ旅客ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フニ非テハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス(舊商法第九二二條第一號第九二三條第一號獨商法第六六八條)

旅客ニハ物品運送契約ノ場合ト同シク契約ノ解除ヲ爲スコトヲ許ササルヘカラス而シテ舊商法第九二二條第九二三條ハ其解除ノ請求ニ付キ種種其事由ヲ區別スト雖モ解除請求ノ事由ニ付キ之ヲ區別スルコトハ頗ル難事ニ屬スルカ故ニ本法ニ於テハ全ク其事由ヲ區別セス唯發航ノ前後ニ依リテ支拂フヘキ運送貨ノ額ニ付キ區別ヲ爲シタリ即チ旅客カ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲ストキハ運送貨ノ半額ヲ支拂ハサルヘカラス蓋シ船舶所有者ハ旅客ノ爲メ種種ノ準備ヲ爲スヘシト雖モ發航前ニ於テハ尙ホ他ニ旅客ヲ求メテ其船舶ニ乗込マシムルノ餘裕アルヘキカ故ニ法律ハ運送貨ノ半額ヲ支拂フトキハ以テ船舶所有者ノ損害ヲ補償スルニ足ルモノトシ旅客カ此金額ヲ支拂フトキハ解約ヲ爲スコトヲ得ルモノトセリ而シテ此場合ハ船舶全部ノ備船者カ發航前ニ契約ノ解除

ヲ爲ス場合(第五九八條第一項)酷似セリ外國ノ立法例ニハ旅客カ此解除ヲ爲ス爲メニ豫告期間ヲ設ケタルモノアリト雖モ本法ニハ別ニ此ノ如キ規定ヲ設ケサリシカ故ニ發航前ナレハ其日ト雖モ解約ヲ爲スコトヲ得ルモノトス然レトモ旅客カ發航後ニ契約ノ解除ヲ爲ストキハ船舶所有者ハ之カ爲メ空室ヲ生シタリトモ更ニ他人ト契約ヲ爲シ之ヲ利用スルコトヲ得サルヲ以テ此場合ニ於テハ旅客ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フヘキコトト爲シタリ此場合ハ船舶全部ノ備船者カ發航後ニ於テ契約ノ解除ヲ爲ス場合ニ運送貨ノ全額ヲ支拂フヘキト異ナルコトナキナリ(第六〇〇條)

○旅客ノ一身上ノ不可抗力ニ原因シテ解約スル場合ニ於ケル運送貨——第六百三十五條 旅客カ發航前ニ死亡疾病其他一身上關スル不可抗力ニ因リテ航海ヲ爲スコト能ハサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ運送貨ノ四分ノ一ヲ請求スルコトヲ得前項ニ掲ケタル事由カ發航後ニ生シタルトキハ船舶所有者ハ其選擇ニ從ヒ運送貨ノ四分ノ一ヲ請求シ又ハ運送ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ請求スルコトヲ得舊商法第九二二條第二號第九二三條第三號獨商法第六六八條)

前條ハ旅客カ其都合ニ依リテ契約ヲ解除スル場合ニシテ其原因ハ旅客ノ一身
上ノ不可抗力ニ關係ナキ場合ヲ規定シタレトモ本條ハ契約ノ解除カ旅客ノ一
身上ノ不可抗力ニ關係スル場合ナリ旅客ノ死亡疾病其他一身ニ關係スル不可抗力
ハ縱令旅客ノ一身ニ關係スル原因ナリトハ云ヘ不可抗力ハ則チ不可抗力ニシテ
已ムヲ得ス航海ヲ爲スコト能ハサルニ至リタサルモノナレハ之ニ契約ノ解除
ヲ許スハ勿論ナレトモ旅客ノ支拂フヘキ運送賃ノ額ヲ已ムヲ得サルニ非スシ
テ自己ノ都合ニ因リ解約ヲ爲ス前ノ場合ト同シウスヘキモノニ非ス是ヲ以テ
此場合ハ彼ノ場合ヨリ減額シ四分ノ一ヲ支拂ヘハ足ルモノトセリ
此場合ニ於テモ右ノ事由カ發航前ニ生シタル場合ト其後ニ生シタル場合トニ
依リテ區別ヲ爲セリ發航前ニ於テハ右ノ如ク旅客ハ單ニ運送賃ノ四分ノ一ヲ
支拂フニ過キスト雖モ若シ右ノ原因ニシテ發航後ニ生シタルトキハ船舶所有
者ハ其選擇ニ從ヒ運送賃ノ四分ノ一ヲ請求シ又ハ運送ノ割合ニ應ジテ運送賃
ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲セリ蓋シ發航後ニ於テハ以上ノ原因カ或ハ短
距離航海シタルトキニ生スルコトアリ或ハ將ニ到著港ニ到著セントスル頃ニ

生スルコトアリ若シ其原因ニシテ過半航海シタル後ニ生シタル場合ニテモ發
航前ニ生シタル場合ト同シク運送賃ノ四分ノ一ヨリ多ク請求スルコトヲ得サ
ルモノトスルトキハ前ノ場合ト權衡ヲ失シ船舶所有者ノ損失ト爲ルヲ以テ此
場合ニ於テハ船舶所有者ニ右ノ如ク選擇權ヲ與ヘ航海ノ割合ニ應ジテモ運送
賃ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲シタル所以ナリ

○航海ノ途中船舶ヲ修繕スヘキトキ起居及ヒ食料ノ給與——第六百三十六條
航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキハ船舶所有者ハ其修繕中旅客ニ相當
ノ起居及ヒ食料ヲ供スルコトヲ要ス但旅客ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ他
ノ船舶ヲ以テ上陸港マテ旅客ヲ運送スルコトヲ提供シタルトキハ此限ニ在ラ
ス舊商法第九二四條第九二五條獨商法第六七二條

航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキ場合ニ旅客ヲ上陸セシムヘキ必要ノ生シ
タルトキハ船舶所有者ハ其修繕中旅客ニ相當ノ起居及ヒ食料ヲ供スヘキ義務
アリ是レ船舶所有者ノ當然ノ義務ナリ然レトモ船長ハ航海中船舶ヲ修繕スヘ
キトキハ備船者又ハ荷送人ノ權利ヲ害セサル限リハ運送品ヲ他船ニ積換ヘ運

送ノ目的ヲ達スルコトヲ得ル(第五六五條)同シク旅客運送ノ場合ニ於テモ船舶ヲ修繕スルトキハ旅客ノ權利ヲ害セサル限リハ例ヘハ船體速力等其船ニ劣ラサルカ如キ他船ニ旅客ヲ乗換ヘシメテ航海ノ目的ヲ達セシメントスルトキハ旅客ハ之ヲ拒ムコトヲ得サルナリ而シテ此ノ如クシテ船長カ他ノ代用船ヲ以テ旅客ヲ運送セントスルトキハ旅客ハ最初ノ船舶ニ在ルト同様ナレハ仍ホ陸上ニ留マリテ住居及ヒ食料ノ供給ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

○旅客運送契約ノ終了 第六百三十七條 旅客運送契約ハ第五百八十七條第一項ニ揭ケタル事由ニ因リテ終了ス若シ其事由カ航海中ニ生シタルトキハ旅客ハ運送ノ割合ニ應ジテ運送賃ヲ支拂フコトヲ要ス(舊商法第九二二條第四號、第九二二三條第三號、獨商法第六六九條、第六七一條)

旅客運送契約ハ第一、船舶カ沈没シタルトキ第二、船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ第三、船舶カ捕獲セラレタルトキハ終了ス而シテ此等ノ事由カ發航前ニ生シタルトキハ旅客ハ運送賃ヲ支拂フコトヲ要セス然レトモ若シ其事由カ航海中ニ生シタルトキハ旅客ハ運送ノ割合ニ應ジテ運送賃ヲ支拂ハザ

ルヘカラス此場合ハ物品運送ノ場合ト同シキモノニシテ其理由ニ至リテモ異ナル所ナキナリ

○死亡シタル旅客ノ手荷物 第六百三十八條 旅客カ死亡シタルトキハ船長ハ最モ其相續人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ其船中ニ在ル手荷物ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス(舊商法第九二八條、獨商法第六七六條)

船長ハ積荷トシテ旅客ヨリ受取リタル荷物ニ付テハ一般ノ受寄者ノ責任ヲ負フヲ以テ其場合ニ於テハ固ヨリ之ヲ保管スル義務アルノミナラス縱令旅客カ船室内ニ持込ミタル手荷物ト雖モ其旅客ノ死亡シタル場合ニ在リテハ船長ニ於テ適當ニ之ヲ處分スルノ義務アリ但シ之カ爲メニ必要ノ費用ヲ生ゼタルトキハ其相續人ニ於テ之ヲ支拂ハサルヘカザサルコトハ論ヲ俟タサルナリ

○陸上ノ旅客運送ニ關スル規定ヲ海上ノ旅客運送ニ準用スル場合 第六百三十九條 第三百五十條、第三百五十一條第一項、第三百五十二條……ノ規定ハ海上ノ旅客運送ニ之ヲ準用ス(舊商法第九二九條、獨商法第六七四條)

(一) 第三百五十條ハ陸上ノ旅客運送ニ付キ旅客ノ運送人ハ自己又ハ其使用人

カ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ旅客カ運送ノ爲メニ受ケタル損害ヲ賠償スル責ヲ免ルコトヲ得ス又其損害賠償ノ額ヲ定ムルニ付テハ裁判所ハ被害者及ヒ其家族ノ情況ヲ斟酌スルコトヲ要スル旨ヲ規定シタルモノニシテ此點ニ付テハ陸上ノ旅客運送ト海上ノ旅客運送ト其規定ヲ異ニスヘキ理ナキヲ以テ陸上ノ旅客運送ニ關スル右ノ規定ヲ茲ニ準用スルコトト爲シタルナリ(舊商法第五一七條此規定ハ運送取扱營業ニ關スル第三百二十二條一般ノ物品運送ニ關スル第三百三十七條ト其趣旨ヲ同シウスルモノニシテ此場合ハ人ノ生命健康ニ關係ヲ有スルカ故ニ船舶所有者ハ管ニ一般爲スヘキ注意ニ止マラス其力ノ及フ丈ケノ注意ヲ盡スヘキモノナルコトハ法律ノ明文ヲ埃タスシテ明カナリ

此場合ニ於ケル舉證ノ責任ハ曩ニ物品運送ニ關シ第六百十九條ニ付キ叙述シタルカ如ク旅客ニ在ラスシテ船舶所有者ニ在リ何トナレハ罹災者ハ其陳述ヲ爲シ難キ場合アリ或ハ其業ニ通セス或ハ現狀ヲ知ラサルカ爲メニ災害ノ眞實ノ事由ヲ判斷スルノ力ナキヲ多シトスレハナリ故ニ此ノ如キ災害ノ爲メニ被

告ト爲リタル船舶所有者ニシテ其災害ノ事由カ旅客ノ過失偶然ノ事變又ハ不可抗力ニ出テタルコトヲ證明スルヲ得サルトキハ旅客ニ對シテ其損害ヲ賠償セタルヘカラス而シテ罹災ノ事由ハ其種類甚タ多シト雖モ概シテ運送執行ノ其當ヲ得サルニ基クモノニシテ其運送執行ノ當否ヲ了知シ又ハ豫メ之ヲ檢査スルコトハ旅客ニ望ムヘキコトニ非ス是レ汽船ノ如キ複雑シタル機關ノ取扱ニ付テハ殊ニ然リトス之ヲ要スルニ船舶ヲ以テ運送營業ヲ爲スニ付テハ百般ノ注意及ヒ必要ノ知識伎倆アルヲ要シ苟モ此業ヲ營ム者ハ其實ニ任セサルヘカラス唯其實ヲ免ルルハ偶然ニ發シ又ハ避クヘカラサル災難ニ限ル何トナレハ旅客ハ獨斷ノ能力ヲ備ヘ身體ノ自由ヲ有スルモノナレハ物品ノ如ク船舶所有者ノ隨意處分ニ放任スヘキモノニ非サレハナリ故ニ旅客ハ此範圍内ニ於ケル

災難ニ付テハ自ラ其責ニ任セサルヘカラス

(二) 第三百五十一條第一項ハ陸上ノ旅客運送ニ付キ旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケタル手荷物ニ付テハ特ニ運送ヲ請求セサルトキト雖モ物品ノ運送人ト同一ノ責任ヲ負フ旨ヲ規定シタルモノニシテ海上ノ旅客運送モ亦此規定

ニ從ハシムルヲ當然ナリトスルカ故ニ茲ニ之ヲ準用スルコトト爲シタリ即チ旅客カ其手荷物ヲ船長ニ保管セシメ上陸港ニ於テ之ヲ引渡サシムルトキハ其運送貨ヲ支拂フヘキ場合タルト否トヲ問ハス手荷物ハ運送品ト同一ニ論スヘキモノニシテ此場合ニ於テ船舶所有者ハ運送品ニ於ケルト同一ノ責任スルモノトス(舊商法第五二〇條)

(三) 第三百五十二條ハ陸上ノ旅客運送ニ付キ旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケタル手荷物ノ滅失又ハ毀損ニ付テハ自己又ハ其使用人ニ過失アル場合ヲ除ク外損害賠償ノ責任セサル旨ヲ規定シタルモノニシテ海上ノ旅客運送ニモ此規定ニ依ラシムルヲ相當トシ茲ニ之ヲ準用スルコトト爲シタリ(舊商法第五二一條)

旅客ノ手荷物ノ滅失毀損ニ於ケル舉證ノ責任ニ付テハ法律ハ旅客カ船長ニ手荷物ヲ引渡シタル場合ト然ラサル場合トニ依リテ異ニセリ旅客カ船長ニ引渡シタル手荷物カ滅失毀損シタルトキハ右(二)號第三五一條ニ付キ叙述シタルカ如ク旅客ハ船長又ハ其使用人ノ過失ニ原因シタルコトヲ證明スルヲ要セス旅

客ハ唯其手荷物カ滅失又ハ毀損シタルコトヲ證明スルヲ以テ足り船舶所有者ハ船長又ハ其使用人ニ過失ナキコトヲ證明セサルヘカラサルナリ之ニ反シテ旅客カ船長ニ引渡ササル手荷物ノ滅失毀損シタルトキハ旅客ニ於テ船長又ハ其使用人ノ過失ニ依リタルコトヲ證明セサルヘカラス旅客カ船中ニ在リテ所持セル手荷物ハ自身ニ監守セルモノナレハ其手荷物ニシテ滅失毀損スルハ旅客自身ノ監守宜キヲ得サルニ基クテ通例トスルヲ以テ此場合ニ於テハ普通ノ原則ニ從フヘキモノトシ損害賠償ノ請求ヲ爲ス旅客ヨリ手荷物ノ滅失毀損ノ船舶所有者ノ過失ニ因ルコトヲ證明セサルヘカラサルモノト爲シタル所以ナリ

○海上ノ物品運送ニ關スル規定ヲ其旅客運送ニ準用スル場合 第六百三十九條 第五百九十一條 第五百九十二條 第六百十四條 及ヒ 第六百十八條ノ規定ハ海上ノ旅客運送ニ之ヲ準用ス(第五百九十三條 及ヒ 第六百十七條ノ規定ハ旅客ノ手荷物ニ之ヲ準用ス(舊商法第九二九條))

(一) 第五百九十一條ハ海上ノ物品運送ニ付キ船舶所有者ハ備船者又ハ荷送人ニ對シ發航ノ當時船舶カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪フルコトヲ擔保スル旨ヲ規定

シタルモノナリ而シテ旅客ノ運送ハ人ノ生命及ヒ健康ニ關係有スルカ故ニ船舶所有者ハ物品ノ運送ニ於ケルヨリハ一層重大ナル責任ヲ負フヘキモノナレハ旅客運送ノ場合ニ船舶所有者カ物品運送ニ關スル右ノ擔保義務ヲ負フモノトスルハ固ヨリ當然ナリ

(二) 第五百九十二條ハ物品運送ニ付キ船舶所有者ハ特約ヲ爲シタルトキト雖モ自己ノ過失船員其他ノ使用人ノ惡意若クハ重大ナル過失又ハ船舶カ航海ニ堪ヘサルニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ヲ免ルルコトヲ得サル旨ヲ規定シタルモノニシテ之ヲ旅客運送ニ準用スルコトスルハ固ヨリ當然ナリ而シテ此規定ノ理由ハ曩ニ同條ニ付キ叙述シタレハ今茲ニ復説セサルナリ

(三) 第六百十四條ハ物品運送ニ付キ航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得而シテ其事由カ發航後ニ生シタル場合ニ於テ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ備船者ハ運送ノ割合ニ應ヅテ運送貨ヲ支拂フコトヲ要スル旨ヲ規定シタルモノニシテ是レ亦旅客運送ニ準

用スルハ當然ナリ其理由ハ曩ニ説キタル所ニ同シ商法第六七〇條

(四) 第六百十八條ハ物品運送ニ付キ船舶所有者ノ備船者荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅スル旨ヲ規定シタルモノニシテ之ト同シ船舶所有者ノ旅客ニ對スル債權モ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅スルモノトス

(五) 第五百九十三條ハ物品運送ニ付キ法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ船舶積シタル運送品ハ船長ニ於テ何時ニテモ之ヲ陸揚シ若シ船舶又ハ積荷ニ危害ヲ及ホス虞アルトキハ之ヲ放棄スルコトヲ得但シ船長カ之ヲ運送スルコトヲ得其船舶ノ地及ヒ時ニ於ケル同種ノ運送品ノ最高ノ運送貨ヲ請求スルコトヲ得而シテ此規定ハ船舶所有者其他ノ利害關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケサル旨ヲ規定シタルモノニシテ旅客カ法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ手荷物ヲ船積シタルトキハ此規定ニ從フコトスルハ是レ亦當然ナリ

(六) 第六百十七條ハ物品運送ニ付キ船舶所有者カ一船長カ第五百六十八條第一項ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ賣却又ハ買入シタルトキ二船長カ第五百七十二條

ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ三船長カ第六百四十一條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ處分シタルトキハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ル旨ヲ規定シタルモノニシテ此規定ヲ旅客ノ手荷物ニモ準用スルコトヲ爲シタルカ故ニ船長カ旅客ノ手荷物ヲ右ノ場合ノ如ク賣却質入シ航海ノ用ニ供シ又ハ處分シタルトキハ船舶所有者ハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得而シテ旅客ノ手荷物ニ付テハ船舶所有者ハ或ハ運送貨ヲ契約スルコトアルヘク或ハ全ク運送貨ヲ契約セサルコトアルヘク其契約アルトキハ其全額ハ契約額ニ依ルヘシト雖モ契約ナキトキト雖モ船舶所有者ハ運送貨ヲ契約シタルトキニ在リテ請求スルコトヲ得ヘカリシ丈ケノ運送貨額ヲ旅客ニ對シテ請求スルコトヲ得ヘキナリ何トナレハ曩ニモ叙述シタルカ如ク右ノ場合ニ於テ旅客カ賠償ヲ受クヘキ手荷物ノ價格中ニハ運送貨ヲモ包含シテ算定セラルヘケレハナリ

○旅客運送ノ爲メニスル船舶契約ニ物品運送ノ爲メニスル船舶契約ニ關スル規定ノ準用 第六百四十條 旅客運送ヲ爲ス爲メ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ

運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テハ船舶所有者ト備船者トノ關係ニ付テハ前節第一款ノ規定ヲ準用ス

移民又ハ出稼人ノ如キ多人數ヲ運送スル爲メニ船舶ノ全部又ハ一部ヲ備フ場合ニ於テハ備船者ト旅客トノ關係及ヒ船舶所有者ト旅客トノ關係ノ二者ヲ生スヘシ而シテ備船者ト旅客トノ關係ハ單ニ旅客運送契約ニ過キサレカ故ニ本節ノ規定ノ適用アルヲ以テ足ルト雖モ船舶所有者ト備船者トノ關係ハ物品運送ヲ目的トシテ備船スル場合ト殆ト異ナル所ナキカ故ニ物品運送ニ關スル總則ノ規定第五九〇條乃至第六一九條ヲ茲ニ準用スルコトヲ爲シタル所以ナリ

第四章 海 損

海商ニ付テ是マテ説キタル所ハ航海上ノ通常事件及ヒ事務ニ係ルモノナルカ是ヨリ叙述スル所ハ航海上ノ非常事件即チ變災及ヒ海上損害ニ關ス而シテ之ニ關スル規定ハ如何ナル原則ニ依リテ海上損害ヲ負擔スヘキヤヲ判スルモノニシテ即チ之ヲ擔當スルノ人ハ概チ船舶所有者積荷所有者若クハ契約上其實

任ヲ負擔シタル人保險者及ヒ船舶債權者ノ如キ是ナリ故ニ法律ハ此順序ニ從
ヒ海損保險及ヒ船舶債權者ヲ規定セリ

舊商法ニ於テ海損トハ全船舶全積荷ニ涉ラナル海上損害即チ其一部ニ係ル損
失ヲ指ス若シ船舶ノ全部ヲ失ヒテ積荷ノ全部ヲ救助シタル場合又ハ積荷ノ全
部ヲ投棄シテ船舶ノ全部ヲ救助シタル場合ノ如キハ之ヲ海損ト稱セサレトモ
新法ニ於テハ船長ノ行爲ニシテ船舶及ヒ積荷ヲ共同ノ危險ヨリ免レシムル爲
メナラハ其結果ニシテ縱令船舶ノミ保存セラレ或ハ積荷ノミ保存セラレ又ハ
二者共ニ保存セラレタリトモ之ヲ共同海損ト稱スルナリ

學者ノ所謂單獨海損ハ舊商法第九百四十條ニ規定スル所ナルカ第一船長ノ故
意ノ行爲ニ非スシテ船舶及ヒ積荷ニ生シタル喪失損害及ヒ費用例ヘハ暴風雨
ノ爲メ桅樁ヲ折斷シ及ヒ積荷ヲ汚損シタルカ如シ第二船長ノ故意ノ行爲ニ非
スシテ船舶若クハ積荷ノ一方ノミニ生シタル喪失損害及ヒ費用例ヘハ以上ノ
場合ニ於テ船舶ノ桅樁ノミ折斷シ若クハ積荷ノミヲ汚損シタルカ如シ第三船
長ノ故意ノ行爲ニテ船舶若クハ積荷ノ一方ノミニ生シタル喪失損害及ヒ費用

ハ之ヲ單獨海損ト爲セリ此第三ノ場合ハ共同危險ヲ避クル意思ニ出テサルコ
トヲ要ス而シテ此單獨海損ノ場合ニ於テハ船舶所有者ト積荷ノ所有者トニ於
テ共同負擔ヲ爲サスシテ其損失ハ之ヲ受ケタル者各自之ヲ負擔スヘキナリ
新法ニ於テハ此單獨海損ニ付テハ或ハ船舶又ハ荷物カ滅失毀損スレハ船舶所
所有者又ハ積荷ノ所有者カ損失ヲ被ルヘク或ハ船舶又ハ積荷ニ瑕疵アリテ之カ
爲メニ船舶積荷若クハ他ノ荷物ヲ害スルコトアレハ船舶所有者又ハ荷物ノ所
所有者其損害ヲ償ハサルヘカラスシテ民法ノ不法行爲ノ原則又ハ契約ノ原則ニ
依リ明白ナルカ故ニ之ヲ規定セサルナリ

又學者ノ所謂小海損ト稱スルモノ例ヘハ水先案内料、挽船料、避氷入費諸税又ハ
帆樁若クハ機關ノ過度ナル使用ニ因リテ生シタル船舶ノ毀損ノ如キ航海ノ通
常及ヒ臨時ノ費用若クハ損害ハ運送契約ノ當然ノ結果トシテ船舶所有者ノ負
擔セサルヘカラスルモノナレハ舊商法第九百四十一條ニ規定シアルニ拘ラス
特ニ之ニ關スル規定ヲ設ケサリシナリ

往昔ニ在リテハ海損ニ數多ノ區別ヲ立テタリシカ較近ノ法律ニ於テハ二種或

ハ三種ヲ存スルノミ舊商法ニ於テハ佛法及ヒ獨法ニ模倣シ二種ヲ設定シ英法ノ所謂小海損ハ之ヲ海損ト稱セス航海費トシテ之ヲ規定シタリ而シテ舊商法カ設定シタル二種トハ共同海損及ヒ單獨海損是ナリ共同海損ハ之ヲ大海損又ハ一般海損トモ稱ス其單獨海損ハ特別海損又ハ箇箇海損トモ稱スルナリ此等海損ノ中新法ハ單ニ共同海損ノミヲ規定シタレハ是ヨリ叙述スル所ハ單獨海損及ヒ小海損ニハ涉ラサルナリ

共同海損ハ之ヲ實物海損ト費用海損トノ二種ニ區別スルコトヲ得實物海損トハ船舶ヲ毀損シ又ハ積荷ヲ投棄シタルニ因リテ生スル損失ヲ謂ヒ費用海損トハ船舶又ハ積荷ヲ安全ナラシムルカ爲メ支出シタル費用ニシテ例ヘハ海賊ノ爲メニ船舶及ヒ積荷ヲ掠奪セラレタル場合ニ於テ之ヲ贖戻スルカ爲メニ支出シタル金額又ハ淺瀬ニ乗上ケタル場合ニ於テ其船舶ヲ輕クセンカ爲メ積荷ヲ他船ニ移シ且ツ其浮上リタル後更ニ之ヲ積入レタルニ付キ要スル費用ノ類ヲ謂フナリ

○共同海損ノ定義——第六百四十一條 船長カ船舶及ヒ積荷ヲシテ共同ノ危險

ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生シタル損害及ヒ費用ハ之ヲ共同海損トス前項ノ規定ハ危險カ過失ニ因リテ生シタル場合ニ於テ利害關係人ノ過失者ニ對スル求償ヲ妨ケス(舊商法第九三二條第九三三條)

佛商法第三九七條獨商法第七〇二條第七〇四條
共同海損ヲ組成スルニハ三箇ノ條件ヲ必要トス即チ第一、船長カ船舶及ヒ積荷ニ付キ爲シタル處分カ故意ニ出タルコト、此處分タルヤ或ハ船舶全部ヲ喪失スルコトアリ或ハ多少修繕ヲ要スルニ至ルヘキ船舶ノ毀損ナルコトアリ又ハ積荷全部ノ投棄ナルコトアリ或ハ其價格一部ヲ失フヘキ毀損ナルコトアリ又ハ船舶ノ需用ノ爲メニ負債ヲ起シ或ハ之カ爲メニ必要トスル金額ヲ得ント欲シ積荷ノ一部ヲ賣却スル等ノ如キコトアリ凡テ此ノ如キモノ皆故意ニ出テサルヘカラス外部ヨリ來リ已ムコトヲ得サルノ結果タルヘカラス例ヘハ將ニ沈没セントスル船舶ヲ坐礁セシメ樁ノ既ニ援クヘカラスルモノヲ切り或ハ錨ノ援クヘカラスルモノヲ拋棄シ或ハ船火ノ既ニ罹リタル積荷ヲ海岸ニ投シタルカ如キ場合ニ於テハ共同海損アルコトナシ何トナレハ是レ故意ニ出タルト

否トヲ問ハス其損失タル人意ノ外ニ在ル原因ヨリ生シタルモノナレハナリ第二共同ノ危険ヲ免レシムルコトナルコト若シ船長ノ處分シタル行爲ニシテ船舶及ヒ積荷ノ共同ノ危険ヲ免レシムル爲メニ非スヤ單ニ其一方ノミノ危険ヲ免レシムル爲メナレハ例ヘハ積荷ノ陸揚後ニ在リテ船舶ノ危険ヲ免レシムル如キ場合ハ此規定ノ適用ヲ受ケサルナリ然レトモ最初處分ヲ爲シタルトキハ共同ノ危険ヲ免レシムル爲メナルモ其結果トシテハ單ニ其一方ノミヲ保存シタルトキト雖モ之カ適用ヲ受クヘキナリ第三其行爲ノ結果トシテ船舶又ハ積荷ノ全部又ハ一部ヲ保存スルコトヲ得タルコト若シ船舶及ヒ積荷ノ全部滅失シタルカ如キコトアラハ共同海損ニハ非サルナリ

外國ノ立法例若クハ學者中「共同ノ危険ヲ免レシムル爲メ」ト云フ要素ニ代フルニ「共同ノ利益ノ爲メ」ナル要素ヲ以テスルモノアリ若シ此ノ如クシテ船舶又ハ積荷ニ對シテ船長ノ故意ノ處分ヲ許ストキハ二箇ノ弊害ヲ生スルノ虞アリ其一ハ船長カ左程ニ危険ナラサルニ際シ疾ク港ニ入ルノ利益ノ爲メ積荷ヲ投棄スルコトノ容易ナルヘキコトニシテ他ノ一ハ共同ノ危険ナレハ其範圍狹キカ

故ニ後日ニ至ルモ容易ニ之ヲ知ルコトヲ得ヘシト雖モ共同ノ利益ハ之ヲ斷定スルコト難ク後日ノ紛爭ノ生スル多カルヘキコト是ナリ故ニ新法ハ舊商法ト同シク以上ノ如ク共同ノ危険ノ爲メト云フ要素ヲ採用シタルナリ又英國法ノ如キハ故意ノ行爲ト船舶又ハ積荷ノ保存トニ付キ必スシモ原因結果ノ關係アルコトヲ要セサルヲ以テ事實ノ認定ハ大ニ簡便ナリト雖モ素ト共同海損負擔ノ法理タルヤ不當利得ノ原則ヨリ胚胎シ故意ノ行爲ト船舶又ハ積荷ノ保存トノ間ニ原因結果ノ關係アリテ始メテ此原則ヲ適用スルコトヲ得ヘキモノナルカ故ニ英法ノ主義ハ理論ニ適ハサルヲ以テ本法ハ之ヲ採用セス

共同海損ノ分擔ハ之ヲ生シタル原因ノ如何ニ依リテ區別アルモノニ非ス例ヘハ船長ノ過失ニテ船舶坐礁膠沙シタルカ如キ機同士ノ過失ニテ機關破裂シタルカ如キ場合ニ其船舶ヲ再ヒ浮上カラシムル爲メニ要スル費用其沈没ヲ免ルル爲メニ要スル費用又ハ船員若クハ積荷所有者ノ過失ニテ積荷ヨリ發火シタル場合ニ於テ船舶及ヒ他ノ積荷ノ危険ヲ免レシムル爲メニ積荷ノ幾部分ヲ投棄シタル損害ハ孰レモ共同海損トシテ各利害關係人之ヲ負擔セサルヘカラス

而シテ積荷ヲ投棄セラレタル其所有者ハ他ノ者カ其海損ヲ分擔シタルカ爲メ相當ノ賠償ヲ得ヘキモノナレハ右ノ過失ヲ惹起シタル者ニ在リテハ最早賠償ヲ爲スノ義務ナキカノ疑義ヲ抱ク者ナシトセス然レトモ此ノ如キ場合ニ於テ過失ヲ宥恕スヘキ理ナク共同海損ハ船長ノ處分ニ因リテ保存セラレタル船舶及ヒ所有者間ニ於ケル損害負擔ノ關係ヲ定メタルニ過キタルモノニシテ此場合ニ在リテ不法行爲ヲ爲シタルトキ(右ノ場合ニ於テ過失ヲ爲シタル者ハ民法第七百九條以下ノ適用ヲ受ケ他ノ損害ヲ受ケタル者ニ對シ之ヲ賠償スヘキ責任アリ故ニ投棄セラレタル積荷ノ損害ヲ分擔シタル他ノ積荷ノ所有者ハ過失者ニ對シテ其負擔シタルモノノ求償ヲ爲スコトヲ得ヘシ

○共同海損ノ分擔——第六百四十二條 共同海損ハ之ニ因リテ保存スルコトヲ得タル船舶又ハ積荷ノ價格ト運送貨ノ半額ト共同海損タル損害ノ額トノ割合ニ應ジテ各利害關係人之ヲ分擔ス(舊商法第九三二條佛商法第四〇一條獨商法第七一一八條)

船舶積荷及ヒ運送貨ノ利害關係人カ共同海損ヲ分擔スル割合ヲ定ムルニハ三

主義アリ(一)船舶又ハ積荷ノ價格ト運送貨トノ割合ニ應ジテ之ヲ定ム但シ運送貨ニ付テハ航海ノ費用ヲ控除スルコトヲ要ス(二)船舶ノ價格ノ半額又ハ積荷ノ價格ト運送貨ノ半額トノ割合ニ應ジテ之ヲ定ム(三)船舶又ハ積荷ノ價格ト運送貨ノ半額トノ割合ニ應ジテ之ヲ定ム

此第一ノ主義ハ理論ニハ最も適スレトモ航海ノ實費ヲ算定スルコト頗ル難キカ故ニ本法ニハ採用セス第二ノ主義ハ佛商法第四〇一條並ニ我舊商法第九三二條ノ採用セシ所ナレトモ此主義ニ於テ船舶所有者ノ負擔ノ割合ヲ到達港ニ於ケル船舶ノ價格ト爲セルハ毫モ其理由アラサルナリ第三ノ主義ハ航海ノ費用ヲ運送貨ノ半額ト看做シ運送貨ノ半額ト船舶並ニ積荷ノ價格トノ割合ニ應ジテ負擔額ヲ定ムルト爲セルカ故ニ實際ニ便ニシテ且ツ理論ニ適セリ是ヲ以テ本法ハ此主義ヲ採用シタリ

共同海損ノ原則ハ危險ヲ免ルルカ爲メノ共同損害ヲ共同シテ負擔スルニ在ルカ故ニ一方ニハ損害一方ニハ分擔義務ニ充ツヘキ物品ノ全價額ヲ算定シ同一ノ割合ニテ其損害ヲ右物品ニ課スヘキナリ而シテ共同海損タル損害ヲ受ケタ

ル者モ亦該海損ヲ分擔セサルヘカラス蓋シ共同海損タル損害ヲ受ケタル者カ自ラ亦海損ヲ負擔セサルヘカラス所以ハ蓋シ他ノ利害關係人ノミニ之ヲ負擔セシムレハ自己ノ船舶又ハ積荷ヲ海損ニ供シタル者ハ共同ノ危險ニ際シ損失ヲ被ルノ虞ナクシテ却テ利益ヲ取得スルノ實アレハナリ今ヤ一例ヲ舉ケンニ損害金四千圓ニシテ分擔物品ノ總價額十六萬圓ナリトセンカ此十六萬圓ヲ以テ彼四千圓ヲ辨償セサルヘカラス損害額ハ四十分ノ一ニ當ル而シテ其分擔物品ノ中船舶ヲ金十三萬圓トシ運送貨ノ半額ヲ二千圓積荷ノ總價額ヲ二萬八千圓トスレハ各其中四十分ノ一ノ損害額ヲ分擔セサルヘカラス而シテ右四千圓ノ損害ハ投棄シタル積荷ノ代價ナリトスルトキハ此四千圓ハ右積荷ノ總額二萬八千圓ノ中ナルヲ以テ四千圓ノ積荷ヲ喪失シタル積荷主モ他ト同シキ割合ヲ以テ海損ヲ分擔セルナリ

○共同海損ヲ分擔スル船舶及ヒ積荷ノ價格ノ定メ方——第六百四十三條 共同海損ノ分擔額ニ付テハ船舶ノ價格ハ到達ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トシ積荷ノ價格ハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格トス但積荷ニ付テハ其價格中ヨリ減失ノ

場合ニ於テ支拂フコトヲ要セサル運送貨其他ノ費用ヲ控除スルコトヲ要ス(舊商法第九三二條佛商法第四〇二條獨商法第七一九條)

海損ヲ分擔スル船舶及ヒ積荷ノ價格ハ何所ノ價格ニ從ヒテ之ヲ定ムヘキヤ是レ極メテ緊要ナル問題ニ屬スルヲ以テ法律ハ豫メ之ヲ定ムル必要アリ而シテ積荷ハ必スシモ船舶ノ到達港ニ於テ陸揚スルモノニ非ス例ヘハ橫濱ヨリ香港マテ航海スル場合ニ於テ神戸長崎上海等ニ寄港スルトモ到達港ハ香港ナレハ若シ積荷ノ幾分ヲ長崎若クハ上海マテ運送スルコトヲ約シタルトキハ其積荷ノ爲メ長崎又ハ上海ハ到達港ニ非スシテ陸揚港ナリ是ヲ以テ船舶ノ價格ト積荷ノ價格トハ之ヲ定ムル場合ヲ異ニセリ例ヘハ船舶カ長崎ト上海トノ間ニ於テ海難ニ遇ヒ積荷ヲ投棄シタルトキハ船舶ノ價格ハ其到達港タル香港ノ價格ニ依ルヘク積荷ハ上海ニ陸揚スヘキモノハ上海ノ價格ニ依リ香港ニ陸揚スヘキモノハ香港ノ價格ニ依ルヘキモノトセリ而シテ嚴格ニ論スルトキハ船舶及ヒ積荷ノ價格ハ海難ニ遇ヒタル地及ヒ時ニ於ケルモノニ依ルヘキモノナリト雖モ多クハ海難ニ遇ヒタル場所ノ價格ハ之ヲ知ルコト能ハサルヲ以テ船舶ハ

對連港ニ到達シ積荷ハ陸揚港ニ陸揚スヘキモノトシ其地及ヒ時ニ於ケル價格ニ依ルヘキモノト爲シタルナリ然レトモ積荷ニ付テハ實際之ヲ陸揚スルトキハ陸揚ノ費用ヲ要スヘク關稅ハ支拂ハサルヘカラス運送賃モ亦支拂ハサルヘカラス然ルニ海難ニ遇ヒテ之ヲ喪失シタルトキハ陸揚港ニ於テ此等ノ費用ヲ支拂フコトヲ要セサルモノナレハ陸揚港ニ於テ其價格中ヨリ之ヲ控除スヘキハ當然ナリ若シ之ヲ控除セサルコトスルトキハ積荷ヲ投棄セラレタル者ハ之カ爲メ却テ利得ヲ爲スニ至ルヘキナリ何トナレハ陸揚港ニ於ケル積荷ノ價格ハ其原價相當ノ利益、船積ノ費用、保險料、運送賃、陸揚ノ費用及ヒ關稅等ノ合シテ成レルモノニシテ積荷カ喪失シタル場合ニハ其中ニハ積荷ノ所有者カ支拂フコトヲ要セサルモノヲ包含スレハナリ

○共同海損ノ負擔ニ關スル責任——第六百四十四條 前二條ノ規定ニ依リ共同海損ヲ分擔スヘキ者ハ船舶ノ到達又ハ積荷ノ引渡ノ時ニ於テ現存スル價格ノ限度ニ於テノミ其責任任ス

船舶所有者及ヒ積荷ノ所有者ハ以上ノ如ク船舶ノ價格及ヒ積荷ノ價格ニ應シ

テ共同海損ヲ負擔スヘキ責任アリト雖モ其責任ハ無限ナルヲ將タ然ラサルヤ此場合ニ於テ船舶所有者及ヒ積荷ノ所有者カ無限ノ責任ヲ有スルモノトスルトキハ此等ノ者ハ船舶又ハ積荷ヲ以テ射利ヲ圖リタルニ其船舶又ハ積荷ノ現ニ有スル價格ノ外ニ尙ホ全財産ヲ以テ其責任ニ當ラサルヘカラス左スレハ之カ爲メ航海業ノ進歩ヲ妨ケ商業ノ發達ヲ害スルニ至ルヲ以テ法律ハ曩ニ第五百四十四條ニ於テ船長其他ノ船員ノ行爲ニ對スル船舶所有者ノ責任ニ關シテ叙述シタルカ如ク此場合ニ於テモ亦船舶所有者及ヒ積荷ノ所有者カ負擔スル共同海損ハ學者ノ所謂海產主義ヲ採リ其海產ヲ限度トスルコトトシタリ

○共同海損義務分擔ノ例外——第六百四十五條 船舶ニ備附ケタル武器、船員ノ給料、船員及ヒ旅客ノ食料並ニ衣類ハ共同海損ノ分擔ニ付キ其價格ヲ算入セス但此等ノ物ニ加ヘタル損害ハ他ノ利害關係人ノ分擔スル舊商法第九三五條佛商法第四一九條獨商法第七一五條

船舶ニ備附ケタル武器、船員ノ給料、船員旅客ノ食料及ヒ衣類等ハ航海上若クハ旅行中必要缺クヘカラサルモノナルヲ以テ特ニ分擔辨濟ノ義務ヲ免除シ以テ

其全キヲ期スルモノナリ故ニ此等ノ物件ニシテ喪失若クハ損害ヲ被リタル場合ニ在リテハ他ノ共同海損ヲ分擔スル者ニ對シテ之カ賠償ヲ求ムルコトヲ得ヘキモノトス舊商法ニハ乗込員ノ所持品旅客ノ旅荷物トアリシヲ本法カ改メテ單ニ衣類ト爲シタル所以ハ乗込員ノ所持品及ヒ旅客ノ旅荷物中ニハ高價ノ物品アリ又ハ航海ニ必要ナルモノアルコトアルヘクシテ此ノ如キ物ハ海損ノ負擔ヲ免ルヘキ理アラサルヲ以テナリ

以上ハ船舶内ニ在ル物品ニシテ共同海損ノ分擔義務ヲ免ルル例外ナリ

○損害ヲ受ケタル物ニシテ之カ賠償ヲ求ムルコトヲ得サル例外 第六百四十六條 船荷證券其他積荷ノ價格ヲ評定スルニ足ルヘキ書類ナクシテ船積シタル荷物又ハ屬具目錄ニ記載セサル屬具ニ加ヘタル損害ハ利害關係人ニ於テ之ヲ分擔スルコトヲ要セス甲板ニ積込ミタル荷物ニ加ヘタル損害亦同シ但沿岸ノ小航海ニ在リテハ此限ニ在ラス前二項ニ掲ケタル積荷ノ利害關係人ト雖モ共同海損ヲ分擔スル責ヲ免ルルコトヲ得ス舊商法第九三六條第二項第三項佛商法第四二〇條第四二一條獨商法第七一〇條

前ニ説キタル例外ハ船舶内ニ在ル物ニシテ損害ノ分擔義務ヲ免ルルニ在レトモ茲ニ規定セル例外ハ損害ヲ被リタルモノ之カ賠償ヲ受クルコトヲ得サル例外タリ其例外ハ二箇アリ

(一) 荷物ヲ船積スルニハ船荷證券(第六二二條)運送契約書(第五九〇條)等積荷ノ價格ヲ評定スルニ足ルヘキ書類アルヲ常トス若シ之ナクシテ積込ミタル荷物ハ多クハ契約ニ因ラスシテ積込ミタルモノナレハ第五百九十三條ニ付キ説キタルカ如ク船長ハ其制裁トシテ何時ニテモ之ヲ陸揚シ若シ船舶又ハ積荷ニ危害ヲ及ホス虞アルトキハ之ヲ放棄スルコトヲ得ルモノニシテ固ヨリ相當ノ保護ヲ受クルコトヲ得サルヘシ故ニ共同海損ノ場合ニ在リテ之ヲ放棄セラレタリトモ其所有者ハ之カ賠償ヲ求ムルコトヲ得サルナリ

船長ハ第五百六十二條ノ規定ニ依リ船舶内ニ船舶ノ屬具目錄ヲ備ヘ置キ之ニ屬具ヲ記載スヘキ義務アルニ屬具ヲ其目錄ニ記載セサルハ法律ノ違背タルヲ以テ此ノ如キ物品カ損害ヲ受ケタルトモ他ニ對シ之カ賠償ヲ受タルコトヲ得ス

(二) 沿岸ノ小航海ニ於テハ甲板ニ積荷ヲ爲スコトヲ許スト雖モ其他ノ航海ニ付テハ之ヲ許ササルナリ然ルニ荷主ニ於テ之ニ拘ラス荷物ヲ甲板ニ船積シタルトキハ復タ相當ノ保護ヲ受クルコトヲ得サルモノニシテ共同海損ノ場合ニハ縱令損害ヲ被リタリト他ニ對シテ之カ賠償ヲ求ムルコトヲ得サルナリ然レトモ是レ荷物ノ所有者自身ニ之ヲ甲板ニ積ミタル場合ニシテ荷物ノ所有者ヨリ荷物ヲ船長ニ引渡シ船長ニ於テ擅ニ之ヲ甲板ニ船積シタルトキハ其所有者ハ船舶所有者ニ對シ之カ賠償ヲ求ムルコトヲ得ヘキヤ論ヲ俟タサルナリ

以上二箇ノ場合ニ於テハ荷物ノ所有者ハ其受ケタル損害ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得サルニ拘ラス其受ケタル利益ニ對シテハ之カ報酬ヲ爲ササルヘカラス換言スレハ自己ノ受ケタル損害ハ他ヲシテ分擔セシムヘキ權利ナシト雖モ若シ他ノ荷物又ハ船舶ニ損害ヲ加ヘテ自己ノ荷物カ危險ヲ免レタルトキハ其共同海損ヲ分擔スル義務ヲ免ルルコトヲ得ス此場合ニ其義務ヲ免ルルコトトスルトキハ其者ノミ不當ノ利益ヲ爲スヘケレハナリ

○共同海損タル損害額ノ定メ方 第六百四十七條 共同海損タル損害ノ額ハ到達ノ地及ヒ時ニ於ケル船舶ノ價格又ハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル積荷ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム但積荷ニ付テハ其滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セザリシ一切ノ費用ヲ控除スルコトヲ要ス(舊商法第九三六條第一項)

糶ニ共同海損ヲ分擔スル船舶及ヒ積荷ノ價格ノ定メ方ヲ說キタルカ之ト同シク共同海損タル損害額ニ付テモ船舶ノ損害額ハ到達ノ地及ヒ時ノ價格ニ依ルヘク又積荷ノ損害額ハ陸揚ノ地及ヒ時ノ價格ニ依ルヘキナリ而シテ此場合ニ於テモ亦積荷ニ付テハ其滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セサル費用例ヘハ陸揚費用、關稅、運送賃等ハ控除セサルヘカラス若シ此場合ニ之ヲ控除セサルトキハ實際ノ損害額以上ノ賠償ヲ受クルニ至ルヘケレハナリ何トナレハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格ノ中ニハ此等ノ費用ヲ包含スレハナリ

然レトモ船荷證券其他積荷ノ價格ヲ評定スルニ足ルヘキ書類ニ積荷ノ實際ヨリ低キ價額ヲ記載シタルトキ例ヘハ神戸ヨリ香港ニ石炭ヲ運送スル場合ニ於テ香港ニ於ケル石炭ノ定價ハ金二萬圓ナルヘキモ船荷證券ニ依ルトキハ一

萬二千圓ナルトキハ其實價ノ高キニ拘ラス其積荷ニ加ヘタル損害ノ額ハ其記載額ニ依リテ之ヲ一萬二千圓トス(第六四八條佛商法第四一八條獨商法第七一三條第七一四條)此場合ニ荷物ノ所有者カ記載額ノ外更ニ其超過額ヲ請求スルコトヲ得サルハ是レ最初虛偽ノ價額ヲ記載シタルニ依リテ被ル所ノ責罰ナリトス之ニ反シテ積荷ノ實價ヨリ高キ價額ヲ記載シタルトキ例ヘハ實價一萬二千圓ナリシニ船荷證券ニ二萬圓ト記シタルトキハ其積荷ノ利害關係人ハ其記載シタル價額即チ實價ヲ超エタル二萬圓ノ割合ニ應シテ共同海損ヲ分擔セタルヘカラス是レ亦虛偽ノ記載ノ制裁ナルナリ其積荷ノ利害關係人ハ若シ其積荷ニシテ損害ヲ受ケタルニ於テハ其記載ノ價額ニ應シテ之カ賠償ヲ求ムル意思ナリト謂ハサルヘカラス故ニ其積荷ノ利害關係人カ海損ヲ分擔スル場合ニ其詐欺ノ制裁ヲ與フルハ當然ノコトニ屬スルナリ

右積荷ヲ實價以下ニ記載シタル場合又ハ之ヲ實價以上ニ記載シタル場合ニ關スル規定ハ積荷ノ價額ニ影響ヲ及ホスヘキ事項ニ付キ虛偽ノ記載ヲ爲シタル場合ニ準用セラルヘキナリ

共同海損ニ普通ノ物品運送ニ關スル規定ヲ準用スル場合 法律ハ共同海損ノ場合ニ普通ノ物品運送ニ關スル第三百三十八條ヲ準用ス即チ一般ノ物品運送ノ場合ニ於テ貨幣有價證券其他ノ高價品ニ付テハ荷送人カ運送ヲ委託スルニ當リ其種類及ヒ價格ヲ明告シタルニ非サレハ運送人カ損害賠償ノ責ニ任セサルト同シク共同海損ノ場合ニ於テモ右ノ如キ高價品ノ所有者ハ之ヲ明告シタルニ非サレハ縱令損害ヲ受ケタリトモ之カ賠償ヲ求ムルコトヲ得サルナリ

○賠償金ノ返還 第六百四十九條 第六百四十二條ノ規定ニ依リテ利害關係人カ共同海損ヲ分擔シタル後船舶其屬具若クハ積荷ノ全部又ハ一部カ其所有者ニ復シタルトキハ其所有者ハ償金中ヨリ救助ノ費用及ヒ一部滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル損害ノ額ヲ控除シタルモノヲ返還スルコトヲ要ス(舊商法第九三九條佛商法第四二九條)

共同海損ノ償金ハ損失ノ事實アルニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス此事實ノ有無ヲ判スルニハ一先ツ其損失ノ原因タル危險ノ時ニ於テスレトモ一旦沈没シタル船舶投棄シタル荷物ト雖モ其後ニ至リ引揚タルカ海岸ニ漂著スルカ又

ハ他船ニ救助セラレタルニ因リ再ヒ所有者ノ手ニ戻ルコトナキヲ保セス若シ所有者カ賠償金ヲ受取リタル後更ニ船舶又ハ荷物ヲ取得シテ既ニ受取リタル賠償金ヲ返還セサルトキハ之カ爲メ所有者ハ不當ノ利得ヲ得ルニ至ル是ヲ以テ法律ハ此場合ニ於テハ先ニ受取リタル賠償金ハ所有者ヲシテ之ヲ返還セシムルモノトセリ然レトモ既ニ受取リタル償金ノ全額ヲ返還スルヲ要セス其中ヨリ救助ノ爲メニ要シタル費用又ハ一部滅失又ハ毀損シタルニ因リテ生シタル損害額ハ之ヲ控除スルコトヲ得可キナリ

○船舶ノ衝突ヨリ生スル損害——第六百五十條 船舶カ雙方ノ船員ノ過失ニ因リテ衝突シタル場合ニ於テ雙方ノ過失ノ輕重ヲ判定スルコト能ハサルトキハ其衝突ニ因リテ生シタル損害ハ各船舶ノ所有者平分シテ之ヲ負擔ス舊商法第九四二條佛商法第四〇七條獨商法第七三六條第七三七條

衝突トハ二箇船舶ノ相互ニ突キ當ルヲ謂フモノニシテ船舶カ他ノ物件例ヘハ浮標燈臺棧橋等ニ突キ當ルヲ意味スルモノニ非サルナリ又衝突ハ二箇船舶ノ衝突スルニ止マラス二箇以上ノモノノ衝突シタル場合ニモ同シク衝突ニ關ス

ル規定ノ適用ヲ見ルヘキナリ

衝突ハ或ハ暴風ノ如キ不可抗力ニ因リテ生スルコトアリ或ハ一方ノ船員ノ過失ニ因リテ生スルコトアリ或ハ雙方ノ船員ノ過失ニ因リテ生スルコトアリ而シテ雙方ノ過失ニシテ其輕重ノ判然スルコトアリ又ハ其判然セサルコトアリ船舶カ不可抗力ニ因リテ衝突シタルトキハ不可抗力ニ關スル普通ノ原則ニ從フヘキモノニシテ船舶ノ各所有者ハ之カ爲メニ生シタル損害ハ自ラ之ヲ負擔シ他ノ一方ニ對シテ請求ヲ爲スコトヲ得サルヤ論ヲ埃タサルナリ又衝突カ孰レカ一方ノ船員ノ過失ニ出テタルトキハ是レ亦普通ノ原則(民法第七〇九條)ニ從ヒ過失者ハ他ノ一方ノ者ニ生セシメタル損害ヲ賠償セサルヘカラス(此場合ニ於テ船長ノ過失ニ因リ他船ノ所有者ニ損害ヲ起シタリト雖モ船舶所有者ニ於テモ第五百四十四條ノ規定ニ依リ其船舶及ヒ運送貨ヲ以テ之カ責任ヲ負ハサルヘカラサルモノトス但シ船舶所有者ト船長トノ間ニ在リテハ船舶所有者カ其損害ヲ賠償シタルトキハ船長ニ對シテ之カ求償ヲ爲スコトヲ得ルヤ論ヲ埃タサルナリ)

過失カ雙方ニ在リテ其輕重ノ判然スルトキ例ヘハ甲船ニハ七分ノ過失アリ乙船ニハ三分ノ過失アルトキ若シ損害額一萬圓ナルトキハ各其過失ノ割合ニ應シテ甲船ノ所有者ハ七千圓乙船ノ所有者ハ三千圓ヲ負擔セサルヘカラス此場合モ亦民法ノ不法行為ノ原則ニ從フヘキナリ然レトモ過失カ雙方ノ船員ニ在リテ其輕重ノ判然セサル場合ニ在リテハ普通ノ原則ヲ適用スルコトヲ得サルヲ以テ海商ノ爲メ茲ニ特別ナル規定ヲ設ケタリ即チ此場合ニ於テハ其衝突ニ因リテ生シタル損害ハ各船舶ノ所有者平分シテ之ヲ負擔スルコト是ナリ而シテ此平分ナル意義ハ衝突ニ因リテ各船舶カ受ケタル損害ノ程度同シカラサル場合例ヘハ一方ハ一萬圓ノ損害ヲ受ケ他ノ一方ハ三萬圓ノ損害ヲ受ケタル場合ニ於テ各船舶ノ所有者其受ケタル損害ヲ自辨スヘシト云フニ非ス此損害ヲ合算スルトキハ四萬圓ト爲リ之ヲ兩船ニ平等ニ分ツトキハ各船舶ノ價格ハ毫モ間フコトヲ要セサルナリ例ヘハ甲船三十萬圓ニシテ乙船十萬圓ナリトモ損害ヲ平分スルニ付キ此等船舶ノ價格ニ割當テスシテ單ニ二分スルニ過キサルナリ

以上ノ場合ハ普通ノ原則證據法上ノニ從フトキハ各船舶所有者ハ孰レモ他ノ一方ノ過失ヲ證明スルコト能ハサルヲ以テ各其受ケタル損害ハ自ラ之ヲ負擔セサルヘカラサレトモ此ノ如クスルトキハ證據ノ判然セサルカ爲メ一方ニ於テハ多額ノ損害ヲ被リタルニ拘ラス他ノ一方ニ於テハ僅ニ些少ナル損失ヲ負擔スルニ過キサルノ不都合アルヲ以テ此場合ニ於テハ法律ハ雙方ノ過失ヲ同等ナリト看做シ其損害ヲ平分シテ負擔スヘキコトト爲シタリ是レ衝突ニ因ル損害ヲ一箇ノモノト看ルトキハ過失者カ之ヲ分擔スルニ當リ其過失ノ輕重分明セサルニ於テハ之ヲ同等ト看做スハ純理上然ルヘキコトニ屬ス

積荷カ船舶ノ衝突ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキ若シ其衝突カ不可抗力ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其利害關係人ハ之カ損失ヲ自ラ負擔スヘクシテ他ニ對シテ之ヲ求ムルコトヲ得サルヘク又一方ノ船員ノ過失ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其過失者ニ對シテ民法ノ規定第七〇九條ニ從ヒ之カ賠償ヲ求ムルヲ得ヘキコトハ猶ホ船舶ニ付キ既ニ說キタルカ如シ然レトモ若シ衝突ニシテ雙方ノ過失ノ輕重ヲ知ルコト能ハサル場合ニ於ケル規定ハ專ラ船舶

所有者ニ適用スヘキモノニシテ積荷ノ利害關係人ニ適用スルヲ得ス此場合ニ於テ積荷ノ利害關係人ハ第五百五十八條ニ依リ船長ニ對シ之カ賠償ヲ請求スルヨリ外ニ途アラサルナリ

衝突ニ關シテハ明治二十五年六月二十三日ノ海上衝突豫防法ナルモノアリ

○共同海損又ハ衝突ニ因リテ生シタル債權ニ對スル時效 第六百五十一條

共同海損又ハ衝突ニ因リテ生シタル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス前項ノ期間ハ共同海損ニ付テハ其計算終了ノ時ヨリ之ヲ起算ス舊

商法第九七六條獨逸商法第九〇六條

共同海損又ハ船舶ノ衝突ニ因リテ生シタル債權モ他ノ債權ノ如ク時效ニ因リテ消滅スルモノニシテ其期間ハ船舶所有者ノ備船者荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權第六一八條ノ如ク一年ナリトス其起算點ハ衝突ニ因リテ生シタル債權ハ其債權ノ生シタル時ナレトモ共同海損ニ因リテ生シタル債權ニ付テハ其計算終了ノ時ヲ以テ起算點トス何トナレハ共同海損ノ生シタル當時ニ在リテハ其債權者ノ爲メ何程ノ債權アルヤ分明セス後計算ヲ爲シテ始メテ其數額確定

スルモノニシテ其數額ノ確定セサル間ハ債權ノ請求ヲ爲スコトヲ得サレハナリ而シテ其計算ハ之ヲ終了スルニハ多少ノ時間ヲ要スヘク殊ニ長キ航海ノ終ニ於テ計算ヲ爲ス場合ノ如キ航海中ニ一年ノ期間ヲ經過スルコトナレトモ故ニ計算終了ノ時ヨリ時效ノ起算ヲ爲スコトヲ爲セタリ

○準共同海損 第六百五十二條 本章ノ規定ハ船舶力不可抗力ニ因リ發航港

又ハ航海ノ途中ニ於テ碇泊ヲ爲ス爲メニ要スル費用ニ之ヲ準用ス舊商法第九

一〇條佛商法第三〇〇條獨逸商法第六三七條

船舶力衝突其他ノ不可抗力ニ因リテ發航前又ハ航海ノ途中碇泊セサルヲ得サル場合ニ於テ碇泊シタルトキハ此場合ニ於テモ費用ハ唯リ船舶所有者ノミ之ヲ負擔スヘキモノトスルハ其當ヲ得ス而シテ此場合ハ共同海損ニ酷似スルヲ以テ法律ハ其費用ヲ共同海損ノ規定ニ準シ運送貨ノ半額及ヒ船舶ト積荷トニ於テ之ヲ分擔スヘキモノトシタリ

第五章 保險

保險ニ關スル一般ノ原則ハ第三編第十章第一節損害保險火災保險運送保險第三百八十四條乃至第四百二十六條ニ規定シ今茲ニ規定スル保險ハ所謂海上保險ナルモノナルカ保險ニ關スル一般ノ原則第三編第十章第一節第一款總則ハ固ヨリ海上保險ニモ適用スヘシト雖モ海上保險ハ他ノ保險ト自ラ其規定ヲ異ニセサルヲ得サルモノアルヲ以テ特ニ本章ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

○保險ノ性質——第六百五十三條 海上保險契約ハ航海ニ關スル事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ノ填補ヲ以テ其目的トス海上保險契約ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外第三編第十章第一節第一款ノ規定ヲ適用ス舊商法第九五三條佛商法第三三四條獨商法第七八二條

海上保險ニ付テハ航海ニ關スル事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害トアルヲ以テ保險ニ付スルコトヲ得ヘキ利益ハ極メテ廣ク船舶ハ屬具ニ至ルマテ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ヘキハ勿論積荷ノ運送貨旅客運送貨積荷其實却ヨリ生スル利益海損債權及ヒ船舶債權者ノ債權等モ被保險利益タリ此場合カ一般ノ保險ト異ナルハ海上保險ハ唯海上危險ニ當ル物件ニ限レルノミ蓋シ昔時ニ

在リテハ保險ハ危險ニ因リテ損害ニ遭遇セサル以前ノ位置ニ回復セシムルヲ以テ其主義ト爲シタルカ故ニ運送貨及ヒ賣却ニ因リテ得ヘキ利益ノ如キハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得サリシカ輒近ニ至リテハ被保險利益ノ範圍ヲ擴張シ海上保險ハ航海ヲ終リシナラハ之アリシナラント察セラルル位置ニ回復セシムルヲ以テ目的ト爲スニ至リタルヨリ本法モ其主義ヲ採用シ被保險利益ヲ擴張シテ運送貨及ヒ希望利益ノ如キモノモ皆保險ニ付スルコトヲ得ルモノト爲セリ

舊商法第九百五十三條第三項ニハ船舶乗組員ノ給料及ヒ報酬ノ保險ハ無効トス「トアリタレトモ本法ハ之ヲ削除シタレハ舊法カ注意セシ點ニ付キ弊害ヲ見ルニ非サルナキカノ疑ヲ生スヘシ詳言スレハ舊法カ被保險利益ニ右ノ如キ制限ヲ設ケタルハ蓋シ船員ノ給料及ヒ報酬ハ船舶所有者ニ於テハ之ヲ保險ニ付スルトモ毫モ弊害ヲ見ルコトナシト雖モ船長又ハ其他ノ船員カ遭難ノ際ニ於テ學生ノ力ヲ盡ササルヘカラサルニ若シ自ラ給料ヲ保險ニ付シテ保險金ヲ受領スルニ於テハ海難ノ際十分ノ力ヲ盡ササルヘキコトヲ慮リタルニ在リ然レ

トモ船員ノ給料ニ付テハ海產主義ヲ採ラサルカ故ニ船舶所有者ハ海產船舶並ニ運送貨ノミナラス其他ノ財産ニ付テモ責任ヲ負フヘキモノニシテ船舶力不可抗力ニ因リテ沈没シ若クハ捕獲セラレタルトモ將タ之ヲ保險者ニ委付スルコトアルトモ雇傭契約ノ終了スルマテハ船員ノ給料ハ支拂ハサルヘカラサルカ故ニ第五八七條運難ノ際ニ於ケル盡力ニ付キ熱心ノ度ヲ減スルカ如キコトハ蓋シ之ナカルヘキヲ以テ船員自ラ其給料ヲ保險ニ付セント欲セハ之ヲ付スルコトヲ禁セサル所以ナリ

海上保險ニ於ケル被保險利益ハ既ニ叙述セルカ如ク極メテ廣シト雖モ是レ保險ノ原則第三八五條ニ規定セルカ如ク必ス財産上ノ利益タラサルヘカラス即チ保險契約ハ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ニ限ル故ニ航海ノ無難ヲ期スル軍事上若クハ學術上ノ利益ノ如キハ之ヲ保險契約ノ目的ト爲スコトヲ得サルナリ

○保險者カ負擔スル損害發生ノ原因——第六百五十四條 保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保險ノ目的ニ付キ航海ニ關ス

ル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ填補スル責ニ任ス(佛商法第三五〇條乃至第三五二條獨商法第八二四條)

他國ノ立法例中ニハ天災ニ因リテ生シタル危險ニ非サレハ保險者ニ於テ之ヲ負擔スヘキモノニ非ストスルモノアリト雖モ本法ニ於テハ保險者カ負擔スル損害發生ノ原因ハ右ノ如ク之ヲ制限セス廣義ヲ以テ之ヲ規定シ唯本章ニ於テ被保險者カ損害ヲ負擔スルコトヲ定メタル場合若クハ特ニ保險者カ危險ヲ負擔セサル旨ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テノミ保險者ハ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル損害ヲ負擔セス其他ノ場合ニ於テ生シタル損害ハ一切之ヲ負擔スルコトト爲シタリ而シテ本章ニ於テ保險者カ損害ヲ負擔スルコトヲ要セサル場合トハ第六百六十七條ニ規定スル場合ノ如キ是ナリ又契約ノ當事者ハ法律ノ規定ニ於テハ保險者カ損害ヲ負擔セサルヘカラサル場合ト雖モ契約ハ自由ナルヲ以テ此ノ如キ場合ニ於テ保險者カ其損害ヲ負擔セサル旨ヲ特ニ契約スルコトヲ得ルモノト爲セリ例ヘハ捕拿掠奪等ニ原因スル損害ハ保險者之ヲ負擔セサル旨ヲ契約スルヲ得ヘシ以上二箇ノ場合ヲ除クノ外航海ニ關スル事故

ニ因リテ生シタル損害ハ保險者ニ於テ一切之ヲ負擔セサルヘカラサレハ茲ニ規定セル「航海ニ關スル事故」ハ極メテ廣義ナリ故ニ暴風坐礁膠沙等ノ如キ唯リ海上ニ限リ生スル災難及ヒ衝突火災盜難掠奪海賊ノ戰爭封港差押其他國ノ處置ニ出テタル危險等ノ如キ船舶ヲ航海ニ使用スル間ニ於テ生スル事故ニ因リテ損害ヲ生シタルトキハ保險者之ヲ負擔セサルヘカラス又船員ノ不法行為ヨリ生スル損害ノ如キモ亦保險者ノ負擔スヘキモノナリ是レ竊盜放火等ノ如キ他ノ有害ナル行為ト同視スヘキモノニシテ此等ノ事故ニ因リテ生シタル損害ヲ保險者ノ負擔ト爲シタル所以ハ元來海上保險ハ運送保險ニシテ其目的ハ運送人ノ手ヲ脱シタル物品ノ無事ニ到達地ニ到達セサルカ爲メノ賠償ニ在リ被保險者ニ於テハ損失ノ何人ノ罪ニ出テタルモ將タ唯偶然ニ起リタルモノト同一ニシテ運送上ニ起リタル損害ハ皆賠償セシメント欲スルモノナルカ故ニ本法ニ於テハ海上危險ノ義ヲ敷衍シ航海中ニ生スヘキ百般ノ事故ヲ包含スルモノト爲シタリ被保險者ノ罪ニ出テタル損害並ニ物品ノ性質若クハ瑕疵ニ因リ生シタル損害ニ付キ保險者カ其責任ヲ負フヘキモノニ非サルコトハ第六百六十

七條ニ付キ叙述スヘシ

○共同海損ノ分擔額ニ對スル保險者ノ責任——第六百五十五條 保險者ハ被保險者カ支拂フヘキ共同海損ノ分擔額ヲ填補スル責ニ任ス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム(獨商法第七九六條)

海難ニ遭遇シ船長カ故意ヲ以テ船舶及ヒ積荷ヲシテ共同ノ危險ヲ免レシムル爲メ船舶及ヒ荷物ニ付キ處分ヲ爲シタルトキ例ヘハ積荷ノ一部ヲ海中ニ投棄シ若クハ船舶ヲ膠沙セシメタル如キ場合ニ於テ其荷物及ヒ船舶ニシテ保險ニ付セラレアリシニ於テハ保險者ハ其損害ヲ填補セサルヘカラサルヲ論テ瑛タルナリ然レトモ或積荷ヲ投棄シタルニ因リテ保存スルコトヲ得タル他ノ積荷船舶例ヘハ石炭ト米トヲ積ミ石炭ヲ投棄シタル船舶トヲ歟ヒ得タルトキ船舶所有者及ヒ米ノ利害關係人カ投棄セラレタル石炭ノ損害額ヲ共同シテ分擔スヘキ場合ニ於テ其分擔額ハ保險者之ヲ填補スヘキ責任アルコトノ如キハ前條ノ規定中ニ包含セラレルヲ疑ナキ能ハス故ヲ以テ本法ハ此損害モ保險者

ノ責任ニ在ルコトヲ明言シタルナリ

保險ニ付シタルハ保險價額ノ全額ニ非シテ一部ナルコトアリ例ハ米ノ價額六千圓ナルニ之ヲ保險ニ付シタルハ四千圓ナルトキハ保險者ノ負擔スヘキ金額ハ何程ナルヤ此問題ハ立法上種種ノ說アル所ナレハ今本條但書ヲ能ク了解セシムル爲メ其諸說ヲ左ニ掲ケン

第一說 保險價額ニ滿サル一部保險額ヲ以テ孰レノ場合ニ於テモ被保險者ニ拂渡スヘキ賠償ノ最上限ト爲スコトヲ得ヘシ縱令此場合ニ於テ全額即チ六千圓ヲ失ヒタルトキト雖モ被保險者ノ得ル所ハ四千圓ヲ超過スルコトナシ然レトモ其損害四千圓ナルトキモ亦四千圓ヲ得ヘシ又其損害三千圓ニ止マルトキハ其賠償ハ三千圓ナリトス

第二說 保險價額ニ滿サル一部保險ハ損害アルニ當リ保險者責任ヲ有ゼサルノ額ヲ示スモノト看ルヲ得ヘシ保險ニ付セサル二千圓ハ被保險者自ラ之ヲ擔當シ以テ其損害額二千圓ヲ超過セサルトキハ保險者之ヲ賠償スルヲ須ヒス若シ其額ヲ超過シ三千圓ナルトキハ一千圓ヲ償フニ止マル是ナリ

第三說 保險價額ニ滿サル一部保險ハ損失ヲ償フヘキノ比例ヲ示スモノトスルヲ得ヘシ此場合ニ於テハ保險ニ付セサル殘額二千圓ニ付キ被保險者自ラ保險者ト爲リ全額ヲ以テ共同保險ニ付シタルモノトシ其殘額ニ付テハ被保險者部割ヲ以テ自ラ其義務ヲ負擔シ其割合ヲ以テ賠償額ヲ分擔ス其例左ノ如シ

(イ) 損害額六千圓ナルトキハ保險者四千圓ヲ支拂ヒ被保險者二千圓ヲ支拂フ
損害額四千圓ナルトキハ保險者二千六百六十六圓三分ノ二ヲ支拂ヒ被保險者一千三百三十三圓三分ノ一ヲ支拂フ

(ハ) 損害額二千圓ナルトキハ保險者一千三百三十三圓三分ノ一ヲ支拂ヒ被保險者六百六十六圓三分ノ二ヲ支拂フ

之ヲ要スルニ被保險者ハ自ラ擔當シタル額ヲ自己ニ支拂ヒ保險者ハ其保險額ノ比例ヲ以テ被保險者ニ支拂フナリ

是故ニ保險價額六千圓ニシテ保險金ヲ四千圓トシ其損害四千圓ナルトキハ右ノ三區別ニ從ヒ保險者之ヲ償フノ方法三種ヲ分タン

第一ノ場合ニ於テハ四千圓ヲ支拂フ

第二ノ場合ニ於テハ二千圓ヲ支拂フ

第三ノ場合ニ於テハ二千六百六十六圓三分ノ二ヲ支拂フ

是ヲ以テ第一ノ場合ニ於テハ保險者最モ不利益ナレトモ第二ノ場合ニ於テハ之ニ反シテ最モ利益ナリ第三ノ場合ハ右兩極端ノ中位ニ在ルモノニシテ本法ノ採用シタルモノナリ

○保險價額 保險價額ハ保險金額カ保險契約ノ目的ニ超過シタルトキハ其超過部分ニ付テハ其契約ハ無効ト爲ルヘク(第三八六條)保險價額ノ一部ヲ以テ保險ニ付シタルトキハ保險者ノ負擔額ハ既ニ説キタルカ如ク保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ムヘク又保險價額カ保險期間中著シク減少シタルトキハ保險契約者ハ保險者ニ對シテ保險金額及ヒ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得ヘク(第三九二條)シテ保險價額ハ保險契約ニ關シテ之ヲ定ムルコト極メテ必要ナルコトハ論ヲ埃タサルカ其價額ハ何時何所ノモノヲ以テ之ヲ定ムヘキヤ法律ハ之ヲ定ムヘキ必要アルヲ以テ船舶ト船舶ト付キ區別ヲ爲シ之ヲ規定セリ

(一) 船舶ノ保險價額 第六百五十六條 船舶ノ保險ニ付テハ保險者ノ責任カ始マル時ニ於ケル其價額ヲ以テ保險價額トス(獨商法第七九九條)

船舶ノ保險價額ヲ定ムルニ付テハ發航ノ時ノ價額危險ノ生シタル時ノ價額及ヒ到着スヘカリシ港ノ價額ヲ想像スルコトヲ得ヘシ其船舶カ危險ニ遭遇セスシテ到着港ニ到着セハ幾何ノ價額ヲ有スルヤ其價額ナルモノハ全ク想像ニ過キスシテ之ヲ知ルコト難シ又船舶カ危險ニ遭遇シタル場合ニ於ケル價額ハ其遭難カ偶然不定ニシテ毫モ被保險者ノ受ケタル損害ト關係ヲ有スルモノニ非サレハ之ヲ以テ保險價額ト爲スコトヲ得ス是ヲ以テ法律ハ船舶ニ付テハ保險者ノ責任ノ始マル時ニ於ケル其價額ヲ以テ最モ確實ナルモノト爲シ保險價額ト爲シタル保險者ノ責任ノ始マル時トハ船舶ニ付テハ以下第六百五十九條ニ規定スルカ如ク一航海ニ付キ船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ積荷又ハ底荷ノ積積ニ著手シタル時ヲ指シ又荷物又ハ底荷ヲ積積シタル後船舶ヲ保險ニ付シタルトキトハ契約成立ノ時ヲ指シタルモノニシテ例ヘハ橫濱ヨリ香港マテ航海スルトキ長崎港ニ於テ暴風ニ遭ヒ沈没シタル場合ニ於テハ其實際ノ價額ハ

使用ニ因リテ發航ノ時ノ價額ヨリ減少セリト雖モ其當時ノ價額及ビ到著港タル香港ニ於テ有スヘカリシ價額ハ毫モ間フコトヲ要セス單ニ橫濱ニ於テ保險者ノ責任ノ始マル時ニ於ケルモノヲ以テ保險價額ト爲スモノトス而シテ保險ノ總則第三百九十三條ノ規定ニ依ルトキハ保險者カ填補スヘキ損害ノ額ハ其損害ノ生シタル地ニ於ケル其時ノ價額ニ依リテ之ヲ定ムルヲ原則トスレトモ海上保險ニ於テ船舶ノ價額ヲ定ムルコトニ付テハ此原則ニ從ハス船舶ノ價額ヲ唯リ其損害カ生シタル地ニ於ケルモノニ限ラス廣ク船舶カ其他ニ於テ有スルモノニ依リテ定ムルモノト爲セリ何トナレハ船舶ハ積荷ト異ナリ賣却スルヲ目的ト爲スニ非スシテ之ヲ使用シテ運送貨ヲ取得スルコトヲ目的ト爲スモノナレハ常ニ保險者ノ責任ノ始マル地即チ其損害カ生シタル地ニ於ケル價額ニ依ルモノトスルトキハ不公平ナルコトヲ保セサレハナリ

(二) 積荷ノ保險價額——第六百五十七條、積荷ノ保險ニ付テハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ船積並ニ保險ニ關スル費用ヲ以テ保險價額トス獨商法第八〇三條

積荷ノ保險價額ヲ定ムルニ付テモ右船舶ニ付キ掲ケタルカ如ク三箇ノモノヲ想像スルコトヲ得ヘシ而シテ本法ハ積荷ニ付テハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル價額ヲ以テ保險價額ト定メタルカ是レ亦右ニ舉ケタル保險ノ總則ニ規定セル原則ニ異ナレリ到着地ノ價額ニ付テハ其價額ハ變動ヲ生シ易クシテ確定シ難キノミナラス之ヲ以テ被保險者ノ受クル眞實ノ損害ニ當ルモノトスルヲ得ス何トナレハ他所ヨリ輸入スル物品ノ價額ハ利益其他仲買手数料ノ如キ諸費用ヲモ包含スルモノニシテ此等ノ利益ハ實ニ賣却シタル後ニ非サレハ得ヘカラズ其損害ノ時未タ存セサルモノナレハナリ今夫レ此ノ如キ總額ニ付キ保險ノ效アルニ於テハ是レ即チ將來ノ價額ニシテ被保險者ハ爲メニ危害ノ生スルヲ以テ却テ利益ヲ見ルニ至ル何トナレハ之カ爲メニ賣買上ノ損失ヲ免ルルコトヲ得レハナリ又損害ノ生シタル地及ヒ時ハ偶然不定ニシテ爲メニ被保險者ノ受クル損害ト毫モ關係ヲ有セサレハ之ヲ以テ損害額ヲ算定スルノ憑據ト爲スニ足ラス故ニ其地及ヒ時ニ於ケル價額ヲ以テ保險價額ト爲スヲ得ス是以テ本法ハ右ノ如ク船積ノ地及ヒ時ニ於ケル價額及ヒ船積並ニ保險ニ關スル費用

ヲ以テ保險價額ト爲シタル此主義ハ諸國ニ於テ多ク採用スル所ノ例則ニシテ被保險者ノ受ケタル損害額ヲ算定スルニ最モ確實タルモノナレハナリ
○利益又ハ報酬ノ保險價額 第六百五十八條 積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益又ハ報酬ノ保險ニ付テハ契約ヲ以テ保險價額ヲ定メザリシトキハ保險金額ヲ以テ保險價額トシタルモノト推定ス(獨商法第八〇五條)

蓋ニ說キタルカ如ク第六五三條海上保險ノ目的タルモノハ唯リ船舶及ヒ積荷ニ限ラス廣ク其他ノ利益ニ至ルマテ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得而シテ利益又ハ報酬ノ如キモノヲ保險ニ付シタルトキ例ヘハ荷爲替債權者カ其債權ヲ保險ニ付シ又ハ船員カ其得ヘキ報酬ヲ保險ニ付シタルトキハ其保險價額ハ當事者ニ於テ契約ヲ以テ定メサルヘカラス若シ當事者之ヲ定メザリシトキハ法律ノ規定シタル所ニ依ル而シテ其保險價額ヲ定ムルニハ船舶又ハ積荷ノ如ク之カ一定ノ標準ヲ設クルコト難シ然レトモ實際上ニ於テハ利益ノ保險ニ付テハ保險價額ハ保險金額ト同一ナルヲ通例トス例ヘハ荷爲替債權者カ三千圓ノ債權ヲ有スル場合ニ於テ其金額ニ付キ保險契約ヲ爲スコト多シ是ヲ以テ本法ハ法

律上ノ他ノ推定ノ如ク多キ場合ヲ以テ推定ノ基礎ト爲シ以上ノ推定ヲ設ケタル然レトモ必スモ常ニ此ノ如クナルニ非ス例ヘハ三千圓ノ債權ニ對シテ二千圓ノ保險契約ヲ爲スコトアリ或ハ三千圓ノ債權ニ五千圓ノ保險契約ヲ爲スコトアリ是ヲ以テ此推定モ反證アルニ於テハ之ヲ打破スルコトヲ得ルモノニシテ三千圓ノ債權ニ對シ五千圓ノ保險契約ヲ爲シタル場合ノ如キハ損害保險ノ總則ニ規定シタル原則第三八六條ノ適用ヲ受ケ其超過シタル部分ニ於ケル保險契約ハ無効タルヘキナリ

○船舶ノ保險期間 第六百五十九條 一航海ニ付キ船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ責任ハ底荷ノ船積ニ著手シタル時ヲ以テ始マル積荷又ハ底荷ノ船積ヲ爲シタル後船舶ヲ保險ニ付シタルトキハ保險者ノ責任ハ契約成立ノ時ヲ以テ始マル前二項ノ場合ニ於テ保險者ノ責任ハ到達港ニ於テ荷物又ハ底荷ノ陸揚カ終了シタルトキヲ以テ終ハル但其陸揚カ不可抗力ニ因ラスシテ遲延シタルトキハ其終了スヘカリシ時ヲ以テ終ハル(佛商法第三四一條、第三二八條、獨商法第八二七條)

普通ノ場合ニ於テ運送品ヲ保險ニ付シタルトキハ別段ノ契約アルニ非サレハ運送人カ運送品ヲ受取リタル時ヨリ之ヲ荷受人ニ引渡ス時マテ以テ保險期間ト爲スヘキコトハ第四百二十三條ニ規定スル所ナリト雖モ其運送具タル船舶ヲ保險ニ付シタルトキハ如何ナル期間ヲ保險期間ト爲スヘキヤ期間ヲ定メテ保險ヲ契約シタルトキ例ヘハ六箇月間ノ保險契約ヲ爲シタルトキハ其契約ノ起點及ヒ終點ハ能ク判然スルヲ以テ別ニ説クヘキコトナシト雖モ船舶ヲ一航海ニ付キ保險ニ付シタル場合ニ於テハ其起點ト終點トヲ規定スルノ必要アリ一航海トハ其航海ニ付キ積荷又ハ底荷ノ積積ヲ始メタル時ヲ以テ航海ノ著手ト謂フコトヲ得ヘケレハ此時ヲ以テ航海ノ起點ト爲スハ其當ヲ得タリ然レトモ積荷ヲ始メタル後ニ保險契約ヲ爲スコトアリ此場合ニ於テハ其契約成立シタル時ヲ以テ保險者ノ責任始マルモノトセサルヘカラス而シテ一航海ハ到達港ニ於テ積荷又ハ底荷ヲ陸揚シタル時ヲ以テ其終ト爲スカ故ニ其時ニ保險者ノ責任ノ終ルモノト爲スハ當然ナリトス然レトモ其陸揚スヘキ時カ或ハ不可抗力ニ因リテ運送スルコトアリ或ハ然ラスシテ船長若クハ荷受人ノ都合ニ因

リ運送スルコトアリ其不可抗力ニ因ラスシテ陸揚ノ運送シタルトキハ是レ船長若クハ荷受人ノ都合ニ因レルモノナレハ之カ爲メ保險者ノ責任ハ其陸揚ノ終ルマテ繼續スヘキモノニ非ス此場合ニ於テハ陸揚ノ終了スヘカリシ時ヲ以テ其責任ヲ終ルモノトス

○積荷利益及ヒ報酬ノ保險期間 第六百六十條 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ責任ハ其積荷カ陸地ヲ離レタル時ヲ以テ始マリ陸揚港ニ於テ其陸揚カ終了シタル時ヲ以テ終ハル前條第三項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス(獨商法第八二八條第二項)

積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テモ保險者カ責任ヲ負フヘキ期間ヲ定メサルヘカラス此場合ハ終點ハ右ニ説キタル船舶ヲ保險ニ付シタル場合ト異ナルコトナクレトモ唯其起點ハ少シク之ト異ナレリ積荷及ヒ利益等ノ海上危險ハ陸地ヲ離レタル時ヲ以テ始マルモノナルカ故ニ保險者ノ責任モ亦其時ヲ以テ始マルモノト爲シタリ

積荷モ不可抗力ニ因リテ陸揚ノ遅延スルコトアリ又ハ不可抗力ニ因ラスシテ陸揚ノ遅延スルコトアリ其第一ノ場合ニ於ケル遅延ハ何人ヲモ責ムヘキ所ナキヲ以テ終了スルマテ保險者ノ責任ノ消滅セサルコトハ猶ホ船舶ニ於ケルト同シキナリ又不可抗力ニ因ラスシテ陸揚ノ遅延シタル場合モ船舶ニ於ケルト同シク其遅延ハ船長又ハ荷受人ノ都合ニ因レルモノナレハ之カ爲メ保險者ノ責任ハ繼續スヘキモノニ非ス是ヲ以テ法律ハ陸揚力終了スヘカリシ時ヲ以テ其責任終ルモノトシタリ

○海上保險證券——第六百六十一條 海上保險證券ニハ第四百三條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス一船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ其船舶ノ名稱國籍並ニ種類船長ノ氏名及ヒ發航港到達港又ハ寄航港ノ定アルトキハ其港名ニ積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ船舶ノ名稱國籍並ニ種類船積港及ヒ陸揚港佛商法第三三二條 一般ノ保險證券ニ記載スヘキ事項ハ保險ノ總則第四〇三條ニ規定セルヲ以テ

海上保險ニ付テモ此規定ニ從フヘキハ勿論ナリト雖モ此他尙ホ海上保險ニ特別ナルモノアルヲ以テ之ヲ茲ニ規定セリ茲ニ掲ケタル事項ノ中發航港寄航港及ヒ到達港ヲ記載スルハ之ヲ以テ船舶カ何所マテ航海スルカヲ知ルモノニシテ若シ保險契約ヲ爲シタル後ニ在リテ航海ヲ變更シタルトキハ其變更ハ以下叙述スルカ如ク其契約ノ效力ニ大ナル影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ之ヲ記載スルコト最モ緊要ナリ

○航海ヲ變更シタル場合ニ於ケル契約ノ效力——第六百六十二條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ航海ヲ變更シタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ保險者ノ責任カ始マリタル後航海ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其變更後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更力保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカタル事由ニ因リタルトキハ此限ニ在ラス到達港ヲ變更シ其實行ニ著手シタルトキハ保險シタル航路ヲ離レサルトキト雖モ航海ヲ變更シタルモノト看做ス

(佛商法第三五〇條獨商法第八一七條) 船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ其航海ハ其契約ニ至大ノ關係ヲ有ス若シ危

險ノ少ナキ場所ニ航海ヲ爲スニ付キ保險契約ヲ爲シタル後ニ至リ船舶所有者
カ擅ニ危險多キ場所ニ其航海ヲ變更シタルトキ例ヘハ横濱ヨリ函館ニ至ル航
海ヲ爲スニ付キ保險契約ヲ爲シタル後船舶所有者カ横濱ヨリ臺灣ニ至ル航海
ニ變更シタルトセンカ臺灣ニ至ル航海ハ危險多ク隨テ保險料高シ故ニ最初
契約シタル航海ヲ爲シシナランニハ危險ニ遭遇スルコトナカリシニ後ノ航
路ニ變更シタルカ爲メ危險ニ罹ルコトアリ此場合ニ於テ保險契約者カ仍ホ
契約ニ因リ責任ヲ負フモノトスルトキハ意外ノ損失ヲ被ルコト尠カラサルナ
リ

法律ハ航海ノ變更カ保險者ノ責任ノ始マル前後ニ依リ契約ノ效力ヲ區別シ又
其責任ノ始マリタル後ノ場合ニ付テハ之カ變更ヲ生シタル原因ニ依リテ區別
ヲ立テタリ

(一) 保險者ノ責任カ始マル前ニ航海ヲ變更シタルトキハ保險契約ハ全ク其效
力ヲ失フ此場合ニ於テハ其變更カ不可抗力ニ因リテ爲サレタルト否トヲ問フ
コトナシ例ヘハ最初契約シタル航海ハ暴風雨若クハ流水ノ爲メ又ハ戰爭ノ始

マリタルカ爲メ之ヲ變更シタルトモ又ハ船舶所有者ノ都合ニ因リ之カ變更ヲ
爲シタルトモ最初ヨリ其契約ハ效力ヲ失フ故ニ變更シタル航海ニ於テ船舶カ
危險ニ遭遇シタルトモ保險者ハ保險金ヲ支拂フコトヲ要セス又保險契約者ハ
保險料ヲ支拂フコトヲ要セサルナリ但シ此場合ニ於テ航海ノ變更カ不可抗力
ニ因リタルニ非サルトキハ保險契約者ハ保險者ヨリ契約締結ノ費用ノ請求ヲ
受ケタル場合ニ於テハ之ヲ辨濟セサルヘカラス

(二) 保險者ノ責任カ始マリタル後航海ヲ變更シタルトキハ即チ保險契約カ既
ニ其效力ノ生シタル後ノ變更ナルヲ以テ若シ其變更前ニ危險生セシニ於テハ
保險者ハ契約ヨリ生スル責任ヲ負ヒ保險金ヲ支拂ハサルヘカラスト雖モ若シ
其變更後ニ危險生シタル場合ニ於テハ保險契約者ハ之カ責任ヲ負フコトナシ
何トナレハ航海ノ變更ハ被保險者カ擅ニ爲シタルモノニシテ其事變ノ生シタ
ル場所ノ如キハ契約中ニ包含セサルモノナレハナリ然レトモ若シ其變更ニシ
テ保險契約者若クハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラル事由ニ因リタルトキ例ヘ
ハ前ニ舉ケタル例ノ如ク暴風流水又ハ戰爭等ノ爲メ航海ヲ變更セサルヘカラ

ナルニ至リタルトキノ如キハ之カ變更ヲ爲シタル者ヲ責ムヘカラサレハ此場合ニ於テハ航海ノ變更アリタルニ拘ラス保險契約者ノ責任ハ繼續スルモノトス到達港ヲ變更シタル場合ニ於テハ既ニ其實行ニ著手シタル以上ハ縱令最初契約シタル航路即チ保險シタル航路ヲ離レサルトキト雖モ法律ハ之ヲ航海ノ變更ト看做スナリ何トナレハ此場合ハ既ニ危險ノ生スル基礎ニ變更アリテ危險ノ性質ヲ變更シタリト謂フコトヲ得ヘキヲ以テナリ

○航海ノ遲延及ヒ航路ノ變更——第六百六十三條 被保險者カ發航ヲ爲シ若クハ航海ヲ繼續スルコトヲ怠リ又ハ航路ヲ變更シ其他著シク危險ヲ變更若クハ増加シタルトキハ保險者ハ其變更又ハ増加以後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更又ハ増加カ事故ノ發生ニ影響ヲ及ホサナリシトキ又ハ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ不可抗力若クハ正當ノ理由ニ因リテ生シタルトキハ此限ニ在ラス(舊商法第九五九條佛商法第三五一條獨商法第八一八條)

保險契約ヲ結フニ付キ時及ヒ航路ハ保險料ヲ定ムル爲メ大ナル關係ヲ有セリ例ヘハ日本近海ニ於テ夏期ハ一般ニ靜穩ナレトモ秋ノ末並ニ冬期ハ夏期ニ比

スレハ概シテ險惡ナルコト多シ夏期ニ航海セントシテ保險ヲ約シナカラ安ニ其航海ヲ秋ノ末マテ遲延シテ危險ニ遭遇スルトキハ保險者ハ之カ爲メ不慮ノ損失ヲ被ルヘシ又日本ヨリ歐洲ニ航海スル爲メ船舶ヲ保險ニ付シ其航路ハ紅海ヨリ蘇士ノ地峽ヲ經ルコトト定メタルヲ安ニ變更シテ亞非利加ノ南ヲ廻ルカ如キハ平穩ノ航路ヲ危險多キ航路ニ變更シタルモノニシテ之カ爲メ保險者ハ不利益ヲ受クルコト多カルヘシ若シ最初ヨリ被保險者カ危險多キ時若クハ海ニ航行スルナランニハ保險者ハ或ハ保險ヲ契約セサルヘタ或ハ高キ保險料ヲ受クルニ非サレハ契約セザリシナランニ被保險者カ保險者ノ承諾ヲ經ルコトナク又ハ契約ヲ變更スルコトナク安ニ航海ノ時及ヒ路ヲ變更シテ爲メニ危險ニ遭遇スルトモ是レ保險者ニ於テ契約上豫想セサル所ナリ故ニ被保險者カ安ニ航海ヲ遲延シ航路ヲ變更シタルトキ又ハ其他著シク危險ヲ變更若クハ増加シタルトキハ保險者ハ其變更又ハ増加後ニ生シタル事故ニ付キ責任ヲ負ハスト爲スハ當然ノ事ト謂フヘキナリ然レトモ航路ノ變更ノ如キハ航海ノ變更ト異ナリテ多少常ニ起ルモノト見ルハ至當ナリ故ニ之ニ因リテ著シク危險

ヲ變更若クハ増加セシトキノミニ限リ保險者ハ責任ヲ免ルルコトトセリ又縱令其變更若クハ増加アリトスルモ爾後ノ事故ノ發生ニ影響ヲ及ボササルコトアリ例ヘハ横濱ヨリ上海ニ航海スルニ際シ内海西國ト中國トノ間ヲ通過スヘキ場合ニ四國沖ヲ通過シタリトモ其界限一般ニ暴風吹キ荒ミテ其軌レヲ通過スルトモ同シク危險ニ遭遇スルカ如キトキハ之カ爲メ保險者ハ責任ヲ免ルヘキモノニ非ス又其變更又ハ増加カ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ不可抗力若クハ正當ノ理由ニ因リテ生シタルトキ保險契約書ニ記載スル航路ヲ取ルトキハ危險アリ例ヘハ流水アルヲ發見シ之ヲ避クル爲メ他ノ航路ニ變更シ又ハ航海ノ途中機關ニ損所ヲ生シ契約ノ航路ヲ取ルトキハ之ヲ修繕スヘキ港ナキヲ以テ修繕ノ爲メ他ノ航路ニ變更シタルカ如キトキハ之カ爲メ毫モ被保險者ヲ責ムヘキニ非サルヲ以テ此ノ如キ場合ニハ變更シタル航路ニ於テ危險生シタリトモ保險者ハ之ヲ負擔スヘキハ當然ナリ故ニ但書ノ規定ヲ設ケタルナリ

○船長ノ變更——第六百六十四條 保險契約中ニ船長ヲ指定シタルトキト雖モ

船長ノ變更ハ契約ノ效力ニ影響ヲ及ボサス(獨商法第八一九條)
保險契約書ニ船長ノ氏名ヲ記載スヘキコトハ第六百六十一條ニ規定スルカ如ク法律ノ命スル所ナレトモ保險契約ハ船體ニ重キヲ置キテ船長ノ誰タルヲ顧ミルモノニ非サルヲ常トスルカ故ニ其契約書ニ記載セル船長カ變更シタリトモ之カ爲メ保險者ノ責任ヲ免スヘキモノニ非ス是レ諸國立法例ノ多ク是認スル所ナレハ本法モ之カ規定ヲ設ケタリ若シ此ノ如キ場合ニ於テ契約當事者カ船長ニ重キヲ置クニ於テハ之ヲ特約シテ可ナリ然レトモ之ヲ原則トシテ認ムヘキ價值アラサルナリ

○船舶ノ變更——第六百六十五條 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ船舶ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其變更以後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リタルトキハ此限ニ在ラス(佛商法第三五一條獨商法第八二〇條)

船舶ノ名稱モ亦保險契約書中ニ記載スルコトヲ要スルモノ(第六六一條ニシテ

船舶ハ船長ト異ナリテ積荷又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益報酬等ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ當事者ハ之ニ重キヲ置クハ通例ナリ若シ船舶ニシテ堅牢ナラサルニ於テハ保險者或ハ保險ヲ約サリシナルヘク或ハ保險料高キニ非サレハ保險ヲ約サリシナランニ其契約書ニ指定シタル船舶ヲ變更シタルトキハ保險者ハ之カ爲メ意外ノ損失ヲ受クヘキナリ故ニ法律ハ船舶ヲ變更シタルトキハ其變更以後ニ生シタル事故ニ付テハ保險者ノ責任ヲ負ハサルモノトシタリ然レトモ此場合ニ於テモ前ニ舉ケタル二箇ノ變更ノ場合第六六二條第六六三條ノ如ク例外アリ即チ船舶ノ變更ニシテ契約當事者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リタル場合はナリ例ヘハ積荷ヲ積込ミタル船舶ニシテ損所ヲ生シタルカ爲メ其積荷ヲ積換ヘタルカ如キトキハ契約當然ノ效力トシテ保險者ノ責任ハ依然繼續スルモノニシテ毫モ變更スルコトナシ

○積荷ヲ積込ミタル船舶ノ名稱及ヒ其國籍ノ通知 第六百六十六條 保險契約ヲ爲スニ當タリ荷物ヲ積込ムヘキ船舶ヲ定メサリシ場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ其積荷ヲ船積シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク保險者ニ

對シテ船舶ノ名稱及ヒ國籍ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス保險契約者又ハ被保險者カ前項ノ通知ヲ怠リタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ(獨逸商法第八二一條)

積荷ヲ保險ニ付スルニ當リ之ヲ積込ムヘキ船舶ノ未タ定マラサルコトアリ此場合ニ於テハ船舶ノ名稱ヲ保險契約書中ニ記載スルコト能ハサレトモ保險者カ船舶ノ名稱ヲ知ルコトハ極メテ必要ナリ何トナレハ保險ニ付セラレタル積荷カ數多アル場合ニ一朝危險ニ遭遇セシトキ損害多キヲ慮リ之ヲ再保險ニ付スルコトアルヘケレハナリ是ヲ以テ後保險者又ハ被保險者カ其積荷ヲ船積シタルコトヲ知ルヤ之ヲ保險者ニ直チニ通知スヘキコトト爲シタリ又船舶ノ國籍モ保險契約書ニ記載スヘキ要件ノ一ナレハ是レ亦同時ニ保險者ニ通知セサルヘカラス

保險契約者又ハ被保險者カ以上ノ通知ヲ怠リタルトキハ之ニ加フヘキ制裁ナルヘカラス法律ハ其制裁トシテ保險契約ハ其效力ヲ失フヘキコトト爲シタ

○保險者ニ責任ナキ損害及ヒ費用——第六百六十七條 保險者ハ左ニ掲ケタル損害又ハ費用ヲ填補スル責任セズ一、保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵其自然ノ消耗又ハ保險契約者若クハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害二、船舶又ハ運送貨ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ發航ノ當時安全ニ航海ヲ爲スニ必要ナル準備ヲ爲サズ又ハ必要ナル書類ヲ備ヘサルニ因リテ生シタル損害三、積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ備船者荷送人又ハ荷受人ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害四、水先案内料入港料燈臺料檢疫料其他船舶又ハ積荷ニ付キ航海ノ爲メニ出タル通常ノ費用舊商法第九四一條第九六〇條佛商法第三五二條第三五四條獨商法第八二五條

義ニ第六百五十四條ニ於テ保險者ノ責任ヲ説クニ方リ海上保險ヲ約シタル保險者ハ航海ニ關スル事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ一切ノ損害ヲ填補スヘキ責アル旨ヲ説キタルハ保險者ハ航海中ニ生シタル損害ハ如何ナルモノニテモ例外ナク之ヲ負擔スヘキモノノ如シト雖モ元來保險契約ハ當事者ノ一方カ偶

然ナル一定ノ事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スヘキコトヲ約スルニ在リ第三八四條故ニ當然生スヘキ危險ハ固ヨリ之ヲ保險ニ付スヘキコトヲ得ヘキモノニ非ス又利害關係人ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害ノ如キモ保險者カ之ヲ填補スヘキモノニ非ス故ニ法律ハ此等ノモノヲ明言シ保險者ニ責任ナキモノヲ規定シタリ今法律ノ規定シタル各箇ノ場合ヲ左ニ叙述セン

第一 火災ダイナマイト等ノ如キ物品ハ其性質上殊ニ爆發シ易シ然レトモ之ニ適當ノ措置ヲ施サハ其危險ヲ減シテ通常ノ危險ニ止マラシムルコトヲ得ヘシ苟モ其措置ヲ施ササルモノハ隨意ヲ以テ危險ヲ招クモノナレハ自ラ其責任ニ任セサルヘカラス又濕氣ヲ離レサル秣藁ヲ船倉中ニ置クトキハ自然ニ發酵シテ火氣ヲ發スルノ恐アリ又瑕疵トハ廣キ意味ニテ積荷ニ付テ云ヘバ元來存スル瑕疵アリテ之アルカ爲メ他ノ部分他ノ積荷ニモ瑕疵ヲ生スルカ如キ物元來良品ナルモ時ノ經過時候ノ變遷等ニ因リ腐敗スヘキ物例ヘハ菓物雞卵魚肉等ノ如ク或ハ運送ノ際動搖スル爲メ腐敗スヘキ酒類等ノ如キ物

モ保險ノ目的ノ瑕疵ト稱スルコトヲ得ヘシ自然ノ消耗トハ使用ニ因リ自然ニ減損シ幾多ノ歲月ヲ經過スルトキハ遂ニ用ヲ爲ササルニ至リ隨テ使用ノ爲メ自然ニ其價額減少スヘキモノニシテ此ノ如キハ偶然ナル事故ニ因リテ生シタル損害ト稱スルコトヲ得サルナリ

保險契約者若クハ被保險者即チ危險ノ生シタル場合ニ於テ利益ヲ受クヘキ者自身ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害ハ保險者ヲシテ之ヲ填補セシムヘキモノニ非ス何人ト雖モ自己ノ惡意若クハ重大ナル過失ノ爲メ生シタル損害ヲ他人ヲシテ償ハシムヘキコトハ許スヘキモノニ非ス例ヘハ老朽用ニ堪ヘサルカ如キ船舶ヲ保險ニ付シタル者カ之ヲ航海ノ用ニ供スルヨリ寧ロ沈没セシメテ保險金ヲ得ルヲ以テ利益トスルトキ故ラニ沈没セシムルカ如キ又ハ積荷ヲ保險ニ付シタルトキ自ラ毀損若クハ海中ニ投棄スルカ如キハ是レ故ラニ招キタル損害ナレハ自ラ其責ニ任スルハ當然ナリ

此第一ノ場合ハ船舶ヲ保險ニ付シタル場合ト積荷ヲ保險ニ付シタル場合トヲ問ハス其總テノ場合ヲ包含スルナリ

第二

發航ノ當時船舶カ安全ニ航海ヲ爲スニ必要ナル準備ヲ爲スヘキコトハ船舶所有者ノ義務ナリ(第五六一條)又船中ニハ必要ナル書類ヲ備ヘ置クヘキコトモ亦船長船舶所有者ノ代理人ノ義務第五六二條ナリ船舶又ハ運送貨ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ以上ノ準備ヲ爲サス又ハ必要ナル書類ヲ備ヘ置カサルトキハ之カ爲メ海難ニ遇ヒ若クハ差押ヲ受クルコトアルヘクシテ保險者ハ不利益ヲ感スルコト多ケレハ此ノ如キ場合ニハ損害ヲ生スルコトアルトモ之ヲ填補スヘキ責任ナキモノトセリ

第三

積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ備船者荷送人又ハ荷受人ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ損害ヲ生シタル場合モ第一ノ場合ト同シク保險者ニ於テ責任ヲ負フヘキモノニ非ス此等ノ者ハ自身ニ保險契約者若クハ被保險者タルコトアルヘク此場合ニ於テハ第一ノ適用ヲ受クヘシ若シ然ラサルトキハ保險契約者若クハ被保險者ト利害ノ同シキ者ナルヲ以テ損害ハ自ラ招キタルニ等シケレハ保險者ヲシテ負擔セシムヘキモノニ非ス

第四 第四號ニ列記シタル費用ハ幾ニ説キタルカ如ク學者ノ所謂小海損ナルモノナレトモ元來海損ニ非シテ航海ノ常費タルニ過キサルカ故ニ船舶所有者ノ負擔スヘキモノニ屬シ所謂偶然ナル事故ニ因リテ生ヅタルモノニ非シテ此等ノ費用ノ生スヘキコトハ豫期スルコトヲ得ヘキモノナレハナリ

○共同海損ニ非サル損害ニ關スル保險者ノ責任——第六百六十八條 共同海損ニ非サル損害又ハ費用カ其計算ニ關スル費用ヲ算入セスシテ保險價額ノ百分ノ二ヲ超エサルトキハ保險者ハ之ヲ填補スル責ニ任セシテ右ノ損害又ハ費用カ百分ノ二ヲ超エサルトキハ保險者ハ其全額ヲ支拂フコトヲ要ス前二項ノ規定ハ當事者カ契約ヲ以テ保險者ノ負擔セサル損害又ハ費用ノ割合ヲ定メタル場合ニ之ヲ準用ス前三項ニ定メタル割合ハ各航海ニ付キ之ヲ計算ス佛商法第四〇八條獨商法第八四九條第八一條)

舊商法ニ於テハ共同海損並ニ單獨海損ハ其孰レノ場合ニ於テモ被保險價額ノ百分ノ一ヲ超エサルトキハ被保險者ハ保險者ニ對シテ損害額ヲ請求スルコトヲ得スト規定シタリ(舊商法第九四條然レトモ本法ニ於テハ共同海損ト舊商

法ノ所謂單獨海損トニ付キ區別ヲ設ケ舊商法所謂單獨海損ニ付テハ制限ヲ立テ其制限以下ノ損害ハ保險者之ヲ填補スルコトヲ要セス共同海損ニ付テハ毫モ其制限ヲ設ケス蓋シ純理上ヨリ言ヘハ損害ノ種類ヲ問ハス如何ナル些少ノ金額ト雖モ保險者ハ被保險者ニ對シテ之ヲ填補スヘキ責任アリト雖モ被保險者カ如何ニ些細ノ損害ヲ受ケタル場合ニ於テモ保險者カ之ヲ支拂フヘキコトトスルトキハ一之カ計算ヲ爲ササルヘカラサルモノニシテ其費用ハ却テ其填補スヘキ額ノ上ニ出テ當事者ハ之カ爲メ損失ヲ受クルニ至ルヲ以テ共同海損以外ノ損害即チ單獨海損ノ場合ニ於テハ其額カ計算ニ關スル費用額ヲ除キ保險額ノ百分ノ二ヲ超エサルトキハ保險者之ヲ支拂フヘキ責任ナク其以上ノ損害ハ總テ支拂フヘキコトトセリ之ニ反シテ共同海損ノ場合ニ於テハ以上ノ如キ制限ナキカ故ニ保險者ハ被保險者ノ受ケタル損害ハ如何ニ些少ナリト雖モ之ヲ支拂ハサルヘカラス法律ハ損害又ハ費用ノ種類ニ依リテ何故ニ此ノ如キ區別ヲ設ケタルカ是レ他ナシ共同海損ノ場合ニ於テハ其利害關係人ノ爲メ其損害額ノ多少ニ拘ラス其生ヅタル都度之ヲ計算スルノ必要アルヲ以テ

保險者ト被保險者トノ間ニ於テ別ニ計算ヲ爲スコトナクシテ損害額ヲ知ルコトヲ得ヘケレハ單獨海損ノ場合ノ如ク得失相償ハサルカ如キ事トナケレハナリ蓋シ制限額ヲ保險價額ノ百分ノ二ト爲シタルハ英佛獨等ノ諸國ニ實際用ヒラルル所ノ標準ニ從ヒタルナリ

保險契約ニ付キ當事者ハ或損害又ハ費用ヲ全ク保險者ニ於テ填補スルコトノ責任ナキ旨ヲ約スルコトハ其隨意ナリ(舊商法第九四五條佛商法第四〇九條獨商法第八五四條又損害又ハ其費用額全部ニ非スシテ之カ割合ヲ定メ何程ノ損害又ハ費用ハ保險者之ヲ填補セスト契約スルコトモ亦當事者ノ自由ナリ而シテ保險者カ負擔セサル損害又ハ費用ノ割合ヲ定メタル場合ニ於テ例ヘハ百分ノ五マヲノ損害ハ負擔セサルコトヲ約シタルトキハ保險者ハ保險額百分ノ五未滿ノ損害ハ之ヲ填補スル責任ナク之ニ反シテ其以上ノ損害アルトキハ其全額ヲ辨償セサルヘカラス

以上ノ損害カ數航海中ニ生シタルトキハ其終ニ之ヲ合算スヘキモノニ非スシテ一航海毎ニ之ヲ計算スヘキモノトセリ若シ數航海ヲ爲シタル場合ニ其間ニ

生シタル損害ヲ合算スルモノトスルトキハ或一ノ損害額ヲ合算スルトキハ制限額以上ニ出ツルコトアルヘクシテ法律ハ損害額カ百分ノ何程ト云フトキハ當事者ニ於テ航海ニ付キ計算シテ定ムヘキ意思ナリト推定シ以テ末項ノ規定ヲ設ケタルナリ

○積荷ノ毀損シタル場合ニ於ケル保險者ノ責任——第六百六十九條 保險ノ目的タル積荷カ毀損シテ陸揚港ニ到達シタルトキハ保險者ハ其積荷カ毀損シタル狀況ニ於ケル價額ノ毀損セサル狀況ニ於テ有スヘカリシ價額ニ對スル割合ヲ以テ保險額ノ一部ヲ填補スル責任ニ獨商法第八七九條

保險ニ付シタル積荷カ全部滅失シタルトキハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額ニ船積並ニ保險ニ關スル費用ヲ加ヘタルモノヲ以テ其保險價額(第六五七條)トシ保險者ハ之ニ依リテ支拂フヘケレトモ保險ノ目的物カ滅失シタルニ非スシテ單ニ毀損シテ陸揚港ニ到達シタルトキハ前ノ場合ニ於ケル規定ニ依ルコト能ハサルナリ此場合ニ於テハ現ニ積荷ハ毀損ヲ受ケナカラモ陸揚港ニ到達セルヲ以テ其毀損シタル儘ニ有スル價額ト其毀損セサル狀況ニ於テ有スヘ

カリ價額ト比較シ其差額ハ即チ陸揚港ニ於ケル損失ナリ例ヘハ保險價額
(船積ノ地及ヒ時ニ於ケル價額)ハ千二百圓陸揚港ニ於テ毀損タル儘有セル價
額七百圓又其積荷カ毀損セザリシモノトシタ有スル價額ヲ千五百圓ナリトセ
ンカ此場合ニ於テ保險者ハ直チニ右損失額八百圓ヲ支拂フヘキモノニ非ス亦
最初ノ保險價額千二百圓ヨリ毀損シタル儘有セル積荷ノ現價額七百圓ヲ控除
シタル差額五百圓ヲ支拂フモノニ非スシテ右毀損シタル價額ノ毀損セサル價
額ニ對スル割合ニテ保險價額千二百圓即チ積荷ノ原價ノ一部ヲ填補セサルヘ
カラサルモノトス其一部ノ額ハ六百四十圓ト爲ルナリ今之カ比例式ヲ舉タル
トキハ左ノ如シ

○ 1500:1500-700=1200:2 (64)

○ 不可抗力ニ因リ保險ノ目的物ヲ賣却シタル場合ニ於ケル保險者ノ責任——第
六七〇條 航海ノ途中ニ於テ不可抗力ニ因リ保險ノ目的タル積荷ヲ賣却シタ
ルトキハ其賣却ニ因リテ得タル代價ノ中ヨリ運送貨其他ノ費用ヲ控除シタル
モノト保險價額トノ差ヲ以テ保險者ノ責任トス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付

シタル場合ニ於テ第三百九十一條ノ適用ヲ妨ケス前項ノ場合ニ於テ買主カ代
價ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ其支拂ヲ爲スコトヲ要ス但其支拂ヲ爲シタル
トキハ被保險者ノ買主ニ對シテ有セル權利ヲ取得ス獨商法第八八一條
此規定ハ前條ト其主意ヲ同シタスルモノニシテ船長ハ航海中不可抗力ノ爲メ
其積荷ヲ賣却スルヲ得ルコトハ曩ニ第五百六十八條ニ付キ説キタル所ニシテ
航海ノ途中ニ於テ保險ノ目的タル積荷ヲ賣却スルトキハ之ヲ陸揚港ニ於テ賣
却スルト異ナリテ一般ニ其價額ノ低廉ナルコトハ言フヲ埃タサルナリ何トナ
レハ恰好ノ買主ヲ求ムルコト能ハス金錢ノ必要ニ迫ラレテ之ヲ得ルニ汲汲タ
レハナリ而シテ斯ク其賣却代價ノ低廉ヲ來シタル所以ハ一ニ航海ノ途中ニ於
テ不可抗力ノ爲メ已ムヲ得サルニ由テタル所置ノ結果ニ外ナラス而シテ此場
合ニ於テ積荷ノ利害關係人カ其賣却ヨリシテ取得スヘカリシ金額ヲ知ラント
スルニハ其賣却代價中ヨリ積荷ヲ運送スル爲メニ當然支出セサルヘカラサル
運送貨其他ノ費用ヲ控除セサルヘカラサルモノニシテ其殘額ヲ更ニ保險價額
ヨリ控除シタル差額ハ即チ航海ノ途中ノ賣却ヨリ來リタル損害額ニシテ保險

者ノ負擔セサルヘカラサルモノナリ今之カ例ヲ左ニ示サン
積荷ノ保險價額一萬二千圓其實却代價五千圓ニシテ運送費其他ノ費用ヲ千圓ト假定スルトキハ保險者ノ負擔スヘキ額ハ(12000-(5000-1000)-8000)八千圓ト爲ル是レ全部保險ニ付シタル場合ニ係ルモノニシテ若シ積荷ノ所有者カ保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタルトキハ保險ノ總則ニ規定セル第三百九十一條ニ依リ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リ之ヲ定ムヘキナリ而シテ是レ既ニ第六百五十五條ニ於テ詳説シタル所以ナレハ其割合ハ今復タ茲ニ説カサルナリ

航海ノ途中ニ於テ不可抗力ニ因リテ船長カ積荷ヲ賣却シタルモ其買主カ故意ニ基クト或ハ無實力ナルカ爲メナルト其事由ノ如何ヲ問ハス其代價ヲ支拂ハサルコトアリ此場合ニ於テハ之ヲ賣主ノ損失ト爲スコトヲ得ス保險者ニ於テ之カ支拂ヲ爲ササルヘカラス是レ積荷ノ賣却ト同シタ其損害ノ基ク所ハ航海ノ途中ニ於ケル不可抗力ニ在レハナリ而シテ是レ保險ノ性質ニ照シテ殆ト疑ナキコトナレトモ前項ニ於テハ既ニ積荷ヲ買主ニ賣却シタル以上ハ買主カ其

代價ヲ支拂ヒタル場合ト其之ヲ支拂ハサル場合トニ付キ何等ノ區別ヲ設ケサルカ故ニ最早保險者ハ其代價ニ付キ全ク責任ヲ有セサルニ非ヌヤトノ疑ノ起ラサルナキヲ保セス是ヲ以テ第二項ヲ置キ此場合ニ於テモ保險者ニ責任アル旨ヲ明カニシタルナリ而シテ保險者ニ於テ買主ニ代リテ代價ノ支拂ヲ爲シタルトキハ被保險者ハ既ニ賣主トシテ有スヘキ利益ノ保護ヲ受クタレトモ買主ハ其盡スヘキ義務ヲ未タ盡ササルヲ以テ賣主ノ之ニ對シテ有スル權利ハ保險者ニ移ササルヘカラス仍テ保險者ハ買主ニ對シテ未済ノ代價ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

○保險ノ目的ノ委付 第六百七十一條 左ノ場合ニ於テハ被保險者ハ保險ノ目的ヲ保險者ニ委付シテ保險金額ノ全部ヲ請求スルコトヲ得一船舶カ沈没シタルトキニ二船舶ノ行方カ知レサルトキニ三船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ四船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ五船舶又ハ積荷カ官ノ處分ニ依リテ押收セラレ六个月間解放セラレサルトキニ舊商法第九六五條舊商法第三六九條第三七五條舊商法第八六五條

保險ニ付シタル目的ノ全ク喪失シタル場合ニハ保險者ハ被保險者ニ保險金額ノ全部ヲ支拂ハサルヘカラサルコトハ保險ノ原則上自ラ然ルナリ又其目的ノ幾分ヲ救援シタルトキハ其救援シタル價額ヲ保險金額ヨリ控除ス然レトモ其船舶沈没シテ救援ノ途ナク或ハ破壊シタルトキハ縱令破船ノ餘片猶ホ存スルモ之ヲ船舶ノ全部喪失ト看做スヘキナリ今ヤ海商ニ付テハ保險ノ目的即チ船舶及ヒ積荷ヲ以テ唯リ有價物トスルニ止マラス併セテ商業上ノ目的ハ全ク滅失シタリト視ルヘキコトアリ此ノ如キ場合ニ於テ縱令其保險ノ目的一部猶ホ存シ若クハ之ヲ回復スルコトヲ得ヘシト雖モ被保險金額ノ全部ヲ得ルノ利益ヲ有セシメサルヘカラス又保險契約ノ原則ニ依レハ被保險者ハ其實ニ受ケタル損害ニシテ且ツ之ヲ證明シタル場合ニ非サレハ保險金額ヲ請求スルコトヲ得サルモノニシテ此事實ヲ證明セントスルニハ或ハ長キ年月間其請求權ノ實行ヲ停止セサルヲ得サル場合ナシトセス例ヘハ船舶カ發航後數年間其行方ノ知レサルトキ又ハ國ノ處分ニ依リテ船舶ノ押收セラレタルトキノ如キ其存否若クハ解放セラレヘキ時ノ期シ難キ場合ニ在リテハ被保險者ニ於テ其滅失ノ

事實ヲ證明スルコトヲ得サルカ故ニ空ク之ヲ默認ニ付セサルヲ得サルナリ委付ハ即チ被保險者ニ以上ノ利益ヲ得セシムルヲ以テ目的ト爲スニ在リ蓋シ保險契約ノ原則ニ從ヘハ被保險者ハ被保險物ノ全ク滅失シタル場合ニ於テハ被保險額ノ全額ヲ受取り其一部ノミ毀損シタル場合ニ於テハ唯其部分ニ對スル被保險額ヲ受取ルニ過キサルモノニシテ被保險物ハ何レノ場合ニ於テモ常ニ被保險者ノ所有ニ歸スルコトナシ然ニル委付ノ場合ニ在リテハ保險目的ノ殘存保險者ノ所有ニ歸スルコトナシ然ニル委付ノ場合ニ在リテハ保險目的ノ殘存若クハ救援スヘキ物ニ之ニ附著セル諸權利ヲ合シ保險者ニ讓與シテ保險金額ノ全額ヲ受クルナリ故ニ委付ハ被保險者ニ於テ實ニ全滅失ト同視スヘキ場合ニ於ケル推定上ノ全滅失ニ基クモノニシテ此權ヤ被保險者ノミニ屬シ唯其旨ヲ保險者ニ通知スレハ足リ保險者ノ承諾ヲ必要トセサルナリ然レトモ一一之ヲ通知シタル以上ハ直チニ其效力ヲ生シ縱令其後保險者又ハ被保險者ノ利益ニ變更ヲ生スヘキ事情ノ生スルトモ之カ爲メニ委付ヲ取消スコトヲ得ス何トナレハ委付ノ效力ハ被保險者ノ意思表示ト共ニ直チニ決定シ被保險物ニ對スル權利ハ委付後直チニ保險者ニ歸スヘクレハナリ但シ保險者其委付ノ理由ナ

キヲ述ヘ被保險者之ヲ承諾シタルトキハ然ラサルナリ
法律ハ被保險者カ保險ノ目的ヲ保險者ニ委付シテ保險金額ノ全部ヲ請求スル
コトヲ得ヘキ場合五箇ヲ列舉シタリ而シテ此五箇ノ事實ハ被保險者カ委付ノ
申込ヲ爲ス當時ニ於テモ仍ホ存續スルコト必要ナリ例ヘハ船舶又ハ積荷カ一
旦掠奪セラレ若クハ官ノ處分ニ依リテ押收セラレタリト雖モ委付ノ申込ノ前
既ニ之ヲ贖戻シ若クハ解放ヲ受ケタルコトヲ聞知シタルトキハ之カ申込ヲ爲
スコトヲ得ス但シ既ニ贖戻シ若クハ解放ヲ受ケタル後ナリト雖モ當事者ニ於
テ委付申込ノ當時其事實ヲ知ラサルトキハ此限ニ在ラサルナリ
今ヤ左ニ五箇ノ場合ヲ逐次叙述セン

第一 船舶カ沈没シタルトキ

沈没トハ船舶カ全ク海底ニ沈ミタルヲ謂フモノニシテ坐礁膠沙シタルカ如キ
ハ沈没トハ稱セサルナリ其坐礁膠沙シテ到底引卸スコト能ハサルカ如キモ
ノハ第三號ノ場合修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキニ入ルヘキナリ而シ
テ沈没ノ場合ニ於テハ縱令破損ナキモ亦同シク咸ハ之ヲ浮上ラザルヲ得ヘ

キコトナシトモ是レ莫大ノ費用ト時日トヲ要シ且ツ其成功必ス期ス
ヘカラサルモノニシテ被保險者ハ其船舶ヲ全ク滅失シタリト視テ之ヲ引揚ケ
其他潜水機等ヲ以テ救援スルコトヲ保險者ニ放任シ保險金全額ノ支拂ヲ要求
スルコトヲ得ヘシ又其沈没船舶ニ積載シタル積荷ニシテ保險ニ付シタルモノモ
亦右ニ同シキナリ

第二 船舶ノ行方カ知レサルトキ

行方不知トハ讀ミテ字ノ如ク船舶長ク音信ヲ絶テ以テ沈没其他滅失シタリト
認ムヘキモノヲ謂フ例ヘハ先年來ヨリ行方ノ知レサル畝傍艦ノ如キ是ナリ蓋
シ船舶ハ各港ニ出入スル毎ニ其所有者ニ音信ヲ通スルモノナレハ若シ船舶ニ
シテ概テ豫定シタル航海ノ時日ヲ經過シテ音信ナキトキハ右ノ認定ヲ爲スコ
トヲ得ヘシ而シテ此時日ハ次條ニ規定スル所ナリ

第三 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ

舊商法第九百六十五條第二項第一號中ニハ船舶カ破砕シ又ハ使用ニ堪ヘサル
時ヲ以テ其船舶ヲ委付スルコトヲ得ル場合ノ中ニ算入シタリト雖モ其破砕セ

ル程度及ヒ使用ニ堪ヘサル程度如何ヲ示ササルカ故ニ之カ爲メ紛争ヲ生スヘキノ虞アルヲ以テ本法ハ概括的ニ船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキト云ヒテ此等ノ場合ヲ包含セシメタルナリ

茲ニ一ノ注意スヘキコトアリ船舶カ坐礁膠沙シタル場合ハ新商法ニ於テハ本場合ニ入ルヘキモ舊商法(第九六七條前段)ニ於テハ船舶カ坐礁又ハ膠沙ニ罹リタル場合ニ於テ之ヲ引卸シ修繕ヲ加ヘテ到達港マテ航海ヲ繼續セシムルコトヲ得ヘキトキ保險者カ之カ爲メニ必要ナル費用ノ前貸ヲ爲スニ於テハ使用ニ堪ヘサルモノトシテ委付ヲ爲スコトヲ得スト爲シ此ノ如キ場合ニ於テ保險者カ費用ノ前貸ヲ爲シタルトキト否トニ依リ委付ヲ爲スコトヲ得ルト否トヲ定メタリト雖モ本法ニ於テハ船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキハ常ニ委付スルコトヲ得ル主義ヲ採リタルカ故ニ費用ノ前貸ノ有無ヲ以テ委付ノ條件トハ爲ササルナリ蓋シ坐礁又ハ膠沙シタル船舶ヲ引卸シ以テ之ニ修繕ヲ加フルニ於テハ或ハ航海ヲ爲スニ堪フルニ至ルモノアリトスルモ其引卸及ヒ修繕ニ要スル費用ハ却テ其得ル所ト相償フニ足ラサル場合ナシトセス是

レ舊商法カ此ノ如キ場合ニテモ被保險者ハ直チニ其船舶ヲ最早使用ニ堪ヘサルモノトシ輒ク委付ノ申込ヲ爲シ保險者ヲシテ適當ノ損害ヲ被ラシムルコトヲ恐レテ右ノ如キ規定ヲ爲シタルトモ新法ハ既ニ叙述シタルカ如ク船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキハ其如何ナル場合タルヲ問ハス常ニ之ヲ委付スルコトヲ得ルモノトシタルカ故ニ舊法ノ如キ區別ヲ爲ササルナリ而シテ船舶カ坐礁又ハ膠沙シタルトキハ其如何ナル場合タルヲ問ハス總テ本場合ニ入ルモノト謂フヘカラス右ニ述ヘタルカ如ク引卸ノ爲メ莫大ノ費用幾多ノ時日ヲ要シ之ヲ引卸シテ得失相償ハサルカ如キ場合ノ如キハ本場合ニ入ルヘシト雖モ然ラスシテ些細ノ費用僅少ノ時日ヲ要スレハ引卸スコトヲ得ヘキカ如キ場合ハ船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト謂フヲ得サルナリ故ニ此場合ハ一ニ事實問題ニ歸著スルモノトスヘキナリ

第四 船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ

捕獲トハ或戰國國ノ軍艦若クハ捕拿船ニ被ヒ捕拿免許狀ヲ帶ヒタル戰國國ノ民有船カ或船舶又ハ其積荷ヲ分捕スルヲ謂フモノニシテ戰爭法ニ依ル船舶ノ

捕獲ハ後ニ捕獲裁判所ノ判決ヲ受タルニ非サレハ國際公法上其效ナシ故ニ其捕獲セラレタル船舶ハ或ハ解放セララルコトアリ或ハ復奪セララルコトアリ或ハ買戻スコトアリ凡テ此等ノ場合ニ於テハ被保險者ハ其船舶ヲ委付シテ以テ其責ヲ保險者ニ移スコトヲ得ヘシ

第五 船舶又ハ積荷カ官ノ處分ニ依リテ押收セラレ六箇月間解放セラレサルトキ

捕獲ハ斷乎タル處分ニシテ船舶又ハ積荷ノ所有權ハ之ヲ捕獲シタル者ニ移レトモ押收ハ此ノ如キ處分ニ非スシテ本國又ハ外國ノ命令ニ依リテ差押ヘラレタルヲ謂フ故ニ他日解放セララルヘキ望ハアレトモ其使用權ニ至リテハ全ク奪ハラルモノナレハ其實ニシテ長ク繼續スルトキハ其損害ノ及フ所殆ト掠奪ニ異ナラサルモノアリ然レトモ押收ノ事實ニ基キ船舶又ハ積荷ヲ委付スル爲メニハ果シテ何程ノ期間繼續セハ十分ナリト看做スヘキカ若シ其期間長キニ過クレハ被保險者ノ利益ヲ害スヘク若シ又餘リ短キニ失スレハ保險者ノ不利ナレハ是ヲ以テ法律ハ官ノ處分ニ依リ押收セラレタル船舶又ハ積荷カ六箇月

間解放セラレサルトキ被保險者ハ保險ノ目的ヲ委付シテ保險金ヲ受取ルコトヲ得ルモノトセリ

○船舶ノ行方不知ト看做ス爲メニ要スル期間——第六百七十二條 船舶ノ存否カ六個月間分明ナラサルトキハ其船舶ハ行方ノ知レサルモノトス〔保險期間ノ定アル場合ニ於テ其期間カ前項ノ期間内ニ經過シタルトキト雖モ被保險者ハ委付ヲ爲スコトヲ得但船舶カ保險期間内ニ滅失セサリシコトノ證明アリタルトキハ其委付ハ無效トス〕舊商法第九六六條佛商法第三七五條第三七七條獨商法第八六六條

船舶ノ行方不知ナルトキハ委付ヲ爲スヲ得ルコトハ既ニ法律ノ規定スル所ナルカ其行方ノ知レサルトキハ恰モ人ノ失踪セル場合民法第三〇條ト同シク何程ノ期間ヲ經過スレハ斯ク謂フコトヲ得ヘキヤ之ヲ定ムル必要アリ舊商法及ヒ佛商法ノ如キハ沿岸航海ト遠洋航海トニ依リテ區別ヲ爲シ沿岸航海ノ場合ハ六箇月遠洋航海ノ場合ハ一箇年ト爲シタレトモ今日ノ如ク世界一般ニ交通機關ノ發達シタル時ニ於テ縱令遠洋航海ノ場合ト雖モ一箇年ノ長期間ヲ存ス

ヘキ必要ナク其沿岸航海タルト遠洋航海タルトヲ間ハス六箇月間モ船舶ノ存否不分明ニテ經過スレハ既ニ其行方知レサルモノト看做スニ足ルカ故ニ新商法ハ右ノ如キ區別ヲ爲スコトナク之ヲ一般ニ規定シタリ
舊商法ハ行方不知ノ期間ニ付キ起算點ヲ定メタレトモ(發航ノ時又ハ其船舶ニ付キ最後ノ通信アリタル時ヨリ)新商法ハ別ニ法文中ニ之ヲ規定セス蓋シ船舶ノ行方不知ノ場合モ猶ホ人ノ失踪ノ場合民法ニモ其起算點ヲ定メスノ如ク其行方不知ト爲リタルコトハ一ニ事實問題ニ屬スルヲ以テ其起算點ヲ定ムルニ二三ノ事實ニ制限スルコトヲ要セサルヲ以テナリ
保險契約ニハ其期間ヲ定メタルモノト否ラサルモノトアリ其期間ノ定アル場合ニ於テ其期間カ船舶ノ行方不知ノ爲メニ定メタル期間ノ盡クル時ヨリ長ケレハ事理甚タ明白ニシテ別ニ説明ヲ爲スヘキ要ナシト雖モ之ニ反シテ保險期間カ船舶ノ行方不知ノ爲メニ定メタル期間内ニ經過スルコトアリ例ヘハ明治三十四年一月一日船舶ニ六箇月ノ保險ヲ付シ其船舶ハ同年三月一日南洋ニ向ヒ出航シタル儘通信ナク行方知レサル場合ニ於テ保險契約ノ期間ハ六月三十

日ヲ以テ盡了スレトモ其當時ニ在リテ其船舶ハ出航後四箇月ヲ經過シタルノミナルヲ以テ未タ法律上之ヲ行方不知ノモノト看做サス其年八月三十一日以後ニ於テ始メテ行方不知ノモノト確定スルモノナレハ此場合ニ於テ保險者ハ此船舶ニ對シテ最早責任ナク又被保險者ハ之カ委付ヲ爲スコトヲ得サルニ付キ疑ナキ能ハス是レ本條第二項ノ規定アル所以ニシテ縱令保險期間カ行方不知ノ爲メニ定メタル期間ノ盡キサル以前ニ經過シタルトキト雖モ被保險者ハ委付ヲ爲スコトヲ得ルモノト爲セリ是レ諸國ノ法律ニ皆設クル所ノ規定ニシテ船舶ノ滅失カ保險期間内ニ生シタルモノト看做シタルニ在ルナリ然レトモ保險者ハ保險期間内ニ生セサル滅失ニ付テハ被保險者ニ對シテ固ヨリ其損失ヲ填補スヘキ責ナキコト論ヲ埃タサレハ苟モ船舶カ保險期間内ニ滅失セザリシコトノ證據アル場合ニ於テハ其委付ハ無効ニ歸セサルヘカラス例ヘハ船舶ヲ六十日間ノ保險ニ付シ明治三十四年一月一日南洋ニ向ヒテ出航シタル場合ニ於テ同年三月三日澳太利亞洲ノ或港ヨリ通信アリタル儘行方不知ト爲リタルトキハ其船舶ハ同年九月二日ヲ以テ行方不知ト看做サルヘシト雖モ其滅失ノ

發生ハ保險期間ノ滿了明治三十四年三月一日後ナルヲ以テ此場合ニ於テ保險者ハ其船舶ノ滅失ニ對シテ責任ヲ負ハサルナリ故ニ此ノ如キ場合ニ於テ保險者ハ自己ノ利益ナルコトノ證據ヲ舉クヘキ責任アリ何トナレハ保險者ハ保險期間ヲ經過シタル後船舶ノ滅失シタリトノ反對證據ヲ舉クルコトヲ得ヘシト雖モ被保險者ハ其保險期間内ニ船舶ノ滅失シタルコトニ付テハ音信ナキカ故ニ立證ヲ爲スコト至難ナレハナリ若シ此場合ニ於テモ被保險者ヨリ立證スヘキモノトスルトキハ多クハ保險契約上ノ權ヲ失フニ至ルヘキナリ

○第六百七十一條第三號ノ例外——第六百七十三條 第六百七十一條第三號ノ場合ニ於テ船長カ遲滞ナク他ノ船舶ヲ以テ積荷ノ運送ヲ繼續シタルトキハ被保險者ハ其積荷ヲ委付スルコトヲ得ス舊商法第九六八條佛商法第三九一條乃至第三九四條

第六百七十一條第三號ニハ船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキトアレトモ其場合ハ單ニ船舶ニハ限ラス積荷モ包含スルコトアリ例ヘハ積荷カ暗礁ニ乗上ケタル船舶ニ積載シアリテ之ヲ他ノ船舶ヲ以テ陸揚港ニ運送スヘキ

方法ナキカ縱令之アリトモ其運送ヲ爲スニハ數多ノ時日ヲ要シ豫期ノ時日ヨリ大ニ遲滞スルカ如キ場合ニ於テハ被保險者ニ其積荷ノ委付ヲ爲シ其保險金ヲ受取ルコトヲ許ササルヘカラス然ラサレハ被保險者ハ積荷ノ價額ノ下落又ハ時機ヲ失シタルカ爲メ意外ノ損失ヲ被ルヘケレハナリ然レトモ右ノ如キ場合ニ於テ船長カ他ノ船舶ヲ以テ積荷ノ運送ヲ繼續シ遲滞ナク之ヲ陸揚港ニ運送シタルトキハ被保險者ハ之カ爲メ毫モ損害ヲ被ルコトナキヲ以テ此ノ如キ場合ニハ積荷ヲ委付スルコトヲ許スヘキ理アラサルヲ以テ法律ハ第六百七十一條第三號ノ例外トシテ此規定ヲ設ケタリ而シテ其損害ヲ受ケタル船舶ノ船長ハ此ノ如キ場合ニハ代船ヲ出スヘキ權利アリ亦義務アルモノニシテ爾後保險上ノ危險ハ其代船ニ移ル何トナレハ其船舶ノ代換ハ必要ニ出テタレハナリ此場合ニ於テ保險者ハ事變ノ爲メニ生シタル直接又ハ間接ノ積荷續航上ノ費用ヲ負擔スヘキ義務アルヤ言フヲ俟タサルナリ

○委付ヲ爲スヘキ期間——第六百七十四條 被保險者カ委付ヲ爲サント欲スルトキハ三個月内ニ保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス前項ノ期間ハ第

六百七十一條第一號、第三號及ヒ第四號ノ場合ニ於テハ被保險者カ其事由ヲ知
タル時ヨリ之ヲ起算ス再保險ノ場合ニ於テハ第一項ノ期間ハ其被保險者カ
自己ノ被保險者ヨリ委付ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ之ヲ起算ス(舊商法第九六九
條佛商法第三七三條、第三七四條、獨商法第八六八條、第八六九條)

被保險者カ委付ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ於テ果シテ委付ヲ爲サントスルカ
又ハ單ニ損害ノ填補ヲ請求スルニ止メントスルカ其關係久シク確定セスシテ
存續スルトキハ當事者ノ迷惑尠ナラサルヘシ是ヲ以テ委付ヲ爲スヘキ期間
ヲ定メタリ而シテ舊商法ニ於テ委付ノ理由タル事實ノ發生ヲ保險者ニ通知ス
ヘキ旨ヲ規定シタリト雖モ海上保險ノ契約ニハ第六百五十三條ノ規定ニ依リ
損害保險第三編第十章第一節ノ規定ニ關スル第四百十二條ヲ適用スルカ故ニ
被保險者カ其損害ノ生シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク保險者ニ其通知
ヲ爲スヘキ義務アルヲ以テ再ヒ茲ニ同一ノ規定ヲ設ケタルナリ
委付ヲ爲ス期間ノ起算點ハ場合ニ因リテ異ナレリ船舶カ沈没シタルトキ(第六
七一條第一號)船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ(同條第四號)ハ被保險者カ其

事由ヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス又再保險ノ場合即チ保險者カ損害ノ生シタ
ルトキ之ヲ受ケサランカ爲メ其保險シタル物ヲ己レ自ラ他ニ對シテ保險ニ付
シタル場合ニ於テハ其被保險者カ自己ノ被保險者ヨリ委付ノ通知ヲ受ケタル
時ヨリ第一項ノ期間ヲ起算スルモノトセリ法律カ此規定ヲ設ケタルハ蓋シ再
保險ノ場合ニ於テハ第二ノ被保險者ハ第二ノ保險者ニ對シテハ被保險者ナレ
トモ第一ノ被保險者ニ對シテハ己レ自ラ保險者ノ地位ニ立ツカ故ニ多クハ自
己ノ被保險者ヨリ委付ノ通知ヲ受ケタルニ非サレハ之ヲ知ルコト能ハサルヲ以
テ第一ノ被保險者ヨリ之カ通知ヲ受ケタル時ヲ以テ委付ヲ爲スヘキ事由ヲ知
リタルモノト看做セタルニ由ルナリ

以上ノ規定ハ單ニ委付ヲ爲スヘキ期間ヲ定メタルニ過キサレハ縱令此期間ヲ
怠リタリトスルモ委付ヲ爲スコトノ權利ノミニ影響スルモノニシテ之カ爲メ
保險契約ヨリ生スル他ノ權利義務ニ毫モ影響ヲ生セサルナリ故ニ本條ノ期間
ヲ怠リタル被保險者ハ被保險物ノ委付ヲ爲スコトヲ得スト雖モ之ヲ委付ヒス
シテ保險者ヲシテ單ニ事變ヨリ生スル所ノ損害ヲ填補セシムルコトヲ得ルハ

論ヲ埃タルナリ
○委付ノ單純ナルコト——第六百七十五條——委付ハ單純ナルコトヲ要ス。委付ハ保險ノ目的ノ全部ニ付テ之ヲ爲スコトヲ要ス。但委付ノ原因カ其一部ニ付テ生シタルトキハ其部分ニ付テ之ヲ爲スコトヲ得。保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ委付ハ保險金額ノ割合ニ應シテ之ヲ爲スコトヲ得。商法第九六五條第三項、佛商法第三七二條。

委付ハ單純ナルコトヲ要ストハ條件又ハ期限附ニテ委付ヲ爲スコトヲ許ササルノ意義ナリ。若シ然ラサルニ於テハ委付ヲ許セタル主意ニ反スレハナリ。蓋シ委付ノ目的ハ保險ノ目的ヲ保險者ニ移シテ迅速ニ當事者ノ關係ヲ確定シ之ヲ終結スルニ在リ之ニ條件ヲ附スルコトヲ許ストキハ此目的ニ反スルヤ明白ナリ。且ツ元來委付ハ被保險者ノ權利ニシテ其義務ニ非サルカ故ニ被保險者カ條件ヲ附スルニハ必スヤ自己ノ利益ヲ圖リテ常ニ保險者ノ不利タルヘキヤ。雖然タルヘキナリ。此ノ如キハ固ヨリ許スヘカラサルナリ。——條件ニ付テハ——
委付ノ原因カ保險ノ目的ノ全部ニ付キ生シタルトキハ委付ヲ其全部ニ對シテ

爲ササルヘカラサルモノニシテ其中一部ニ對シテ委付ヲ爲スコトハ許サレザルナリ。若シ之ヲ許スニ於テハ被保險者ハ海難ニ遭ヒタル物件中善良ナル部分ヲ選擇シテ之ヲ自己ニ存シ其不良ナル部分ノミヲ保險者ニ委付シ保險者ヲシテ其シキ不利益ヲ受ケシムルニ至ルヤ必然ナリ。是レ委付ヲ許シテ被保險者ヲ保護スル目的ヲ超越セリ。委付ハ不可分ニシテ此ノ如キ場合ニ於テハ被保險者ハ物件ノ全部ヲ自己ニ存シテ委付ヲ爲ササルカ若クハ委付ヲ爲サント欲セハ其全部ヲ保險者ニ交付セサルヘカラサルナリ。

然レトモ若シ委付ノ原因カ保險物ノ全部ニ付キ生セスシテ單ニ其一部ニ付キ生シタルトキハ其部分ニ付テ之ヲ爲スコトヲ許ササルヘカラス。此場合ニ委付ヲ許シタルトモ之カ爲メ保險者ニ不當ノ損失ヲ受ケシムルニ非スシテ至當ノコトニ屬セリ。

又保險價額ノ全部ヲ保險ニ付シタルニ非スシテ其一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ委付ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ハ十分ノ六ナルヲ以テ被保險者ハ積荷ノ全部ニ對シ十分ノ六丈委付ヲ爲スコトヲ得ルモノニシテ殘ル十分

ノ四ニ付テハ依然自己ニ其積荷ニ關スル一切ノ權利ヲ保存スルヤ言フア埃タサルナリ
○委付ニ對スル異議 第六百七十六條 保險者カ委付ヲ承認シタルトキハ後日其委付ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

保險者カ委付ニ對シ承認ヲ與ヘタルトキ後日ニ至リ異議ヲ述フルコトヲ許ストキハ當事者ノ委付ニ付テノ關係長ク確定セサルニ至ルヲ以テ一旦承認ヲ爲シタル以上ハ其意思表示ハ容易ニ之ヲ翻スコトヲ許ササルナリ然レトモ其承認ト雖モ詐欺又ハ脅迫ニ因リタルトキハ民法總則ノ規定(民法第九六條ニ依リ之ヲ取消スコトヲ得ルヤ論ヲ埃タサルナリ(第二九四條參照又保險者カ委付ニ付キ縱令承認ヲ爲シタルト雖モ被保險者カ委付ヲ爲ス當時委付カ法律ノ規定シタル場合ニ適合セス若クハ海難既ニ去リテ當事者ニ於テ其旨ヲ了知セシカ如キ場合ニ於テハ異議ヲ唱フルコトヲ得ヘシ何トナレハ此ノ如キ場合ニ於テ被保險者ハ委付ヲ爲スコトヲ得ヘカラサレハナリ
○委付ノ效力 第六百七十七條 保險者カ委付ニ因リ被保險者カ保險ノ目的

ニ付キ有セル一切ノ權利ヲ取得ス(被保險者カ委付ヲ爲シタルトキハ保險ノ目的ニ關スル證書ヲ保險者ニ交付スルコトヲ要ス(舊商法第九七二條(佛商法第三八五條)

被保險者カ委付ヲ爲シタルトキハ保險者ハ保險金ノ全額ヲ支拂フヘキカ故ニ其代リニ被保險者カ保險ノ目的ニ付キ有セル一切ノ權利ヲ保險者ニ移スハ當然ナリ左レハ委付ノ效力トシテ保險者ハ保險金ヲ支拂フヘキ義務アリ被保險者ハ保險ノ目的ヲ拋棄シテ其一切ノ權利ヲ保險者ニ移スヘキ義務アリ又被保險者ハ保險ノ目的ニ關スル證書ヲ保險者ニ交付スヘキ義務アリ而シテ此委付ノ效力ハ被保險者ノ意思表示ト共ニ直チニ定マルモノナレハ一旦申込ミタル委付ノ效力ハ後日ニ至リ船舶ノ救助又ハ其歸航ニ依リテ變更スヘキモノニ非サルコトハ論ヲ埃タサル所ナリ是ヲ以テ新商法ハ舊商法ノ如ク斯ル規定ヲ設ケタルナリ(舊商法第九七五條)
又保險ノ目的ニ關スル證書ハ委付ヲ爲シタル以上ハ被保險者ニ於テ之ヲ保存スルノ必要ナキニ反シ保險者ニ取リテハ必要缺クヘカラサルモノニシテ若シ

之ナキニ於テハ保險者ハ之ニ關スル權利ヲ行使スルコトヲ得サルヲ以テ之ヲ保險者ニ交付スルハ至當ナリトス

○保險金受取ニ付テノ要件及ヒ之ヲ受取ルコトヲ得ヘキ期間——第六百七十八條 被保險者ハ委付ヲ爲スニ當タリ保險者ニ對シ保險ノ目的ニ關スル他ノ保險契約並ニ其負擔ニ屬スル債務ノ有無及ヒ其種類ヲ通知スルコトヲ要ス保險者ハ前項ノ通知ヲ受クルマテハ保險金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セス保險金ノ支拂ニ付キ期間ノ定アルトキハ其期間ハ保險者カ第一項ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ之ヲ起算ス(舊商法第九七〇條佛商法第三八三條同第三八四條獨商法第八七三條)

被保險者ハ疑ニ舉ケタル義務ノ外尙ホ一ノ義務ヲ負ヘリ即チ保險ノ目的ニ關シ他ニ對シテ保險ニ付シアルトキハ其契約並ニ保險ノ目的カ負擔スヘキ債務ノ有無及ヒ種類等ヲ保險者ニ通知セサルヘカラス此等ノモノハ委付ヲ爲シタルトキハ總テ保險者ノ利害ニ關スレハナリ而シテ此通知ヲ受ケタルコトハ保險者ノ爲メニハ必要ナルニ被保險者カ之ヲ等閑ニ付スルコトナシトセス故ニ其

義務ノ制裁トシテ被保險者カ此通知ヲ爲ササル間ハ之ニ對シ保險金ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セサルモノトセリ
他ノ保險契約ヲ保險者ニ通知スヘキコトハ重複保險ノ場合第三八七條ニ必要ヲ見ルナリ即チ同一ノ目的ニ付キ同時ニ數箇ノ保險契約ヲ爲シ其保險金額カ保險價額ニ超過シタルトキハ數多ノ保險者各割合ニ應シテ損害ヲ填補スル責任アリ又保險ノ目的ノ負擔ニ屬スル債務ノ通知ヲ爲スハ其債權者ノ請求權移リテ保險額内ニ轉スレハナリ
保險額ノ支拂ニ關シテ一定ノ期間ヲ設ケタル場合ニ在リテハ保險者カ右ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ其期間ヲ起算スルコトトシ右法律カ規定シタル所ノ主意ヲ貫徹セシメタリ
○委付ノ原因ノ證明——第六百七十九條 保險者カ委付ヲ承認セサルトキハ被保險者ハ委付ノ原因ヲ證明シタル後ニ非サレハ保險金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス
保險者カ被保險者ノ爲サントスル委付ヲ異議ナク承認シタルトキハ之ニ因リ

其委付ハ直チニ確定スルヲ以テ別ニ論スヘキコトナシト雖モ若シ保險者カ被保險者ノ爲ナントスル委付ヲ不當ト認メテ之ニ承認ヲ與ヘサルトキハ被保險者ハ委付ノ原因タル事實ヲ證明セサルヘカラス而シテ此證明ヲ爲ササル以上ハ被保險者ハ其責任ヲ盡シタリト謂フコトヲ得サルヲ以テ保險金ノ支拂ヲ強要スルコトヲ得サルナリ是レ證據法ノ原則上然ルヘキノ規定ナリ

第六章 船舶債權者

船舶モ他ノ財産ノ如ク債權ノ擔保タリト雖モ債權者カ普通ノ者ナルト船舶ニ付キ抵當權第六八六條ヲ有スルト先取特權ヲ有スルトニ因リテ其權利同一ナラサルナリ而シテ普通債權者ノ請求權ハ民法ノ規定ニ依ルモノナルカ故ニ特ニ茲ニ規定スヘキ必要ナシ然レトモ債權者カ船舶ノ上ニ先取特權及ヒ抵當權ノ如キ物上擔保權ヲ有スルトキハ特ニ本法ノ規定ニ依ルモノナルカ故ニ之ヲ舊商法ノ如ク一章トシテ規定シタル所以ナリ

○債權者カ先取特權ヲ有スル場合——第六百八十條 左ニ掲ケタル債權ヲ有ス

ル者ハ船舶其屬具及ヒ未タ受取ラサル運送貨ノ上ニ先取特權ヲ有ス

一 船舶並ニ其屬具ノ就賣ニ關スル費用及ヒ就賣手續開始後ノ保存費

二 最後ノ港ニ於ケル船舶及ヒ其屬具ノ保存費

三 航海ニ關シ船舶ニ課シタル諸稅

四 水先案内料及ヒ挽船料

五 救援並ニ救助ノ費用及ヒ船舶ノ負擔ニ屬スル共同海損

六 航海繼續ノ必要ニ因リテ生シタル債權

七 雇傭契約ニ因リテ生シタル船長其他ノ船員ノ債權

八 船舶カ其賣買又ハ製造ノ後未タ航海ヲ爲ササル場合ニ於テ其賣買又ハ

製造並ニ船裝ニ因リテ生シタル債權及ヒ最後ノ航海ノ爲メニスル船舶ノ

船裝食料並ニ燃料ニ關スル債權

九 第二號第四號乃至第六號及ヒ前號ニ掲ケタルモノヲ除ク外第五百四十

四條ノ規定ニ依リ委付ヲ許シタル債權舊商法第八四九條佛商法第一九〇

條第一九一條獨商法第七五七條

本條ニ於テ船舶債權者カ有スル權利ニ付テハ舊商法ニ於テハ別ニ先取特權ナル文字ヲ用ヒス其第八百四十條ニ依レハ船舶債權者ニ追及權アルコト明瞭ナレトモ其性質ハ不明ナリシト雖モ本法ニ於テハ先取特權ナル文字ヲ用ヒ明カニ其性質ヲ示シタルカ故ニ本章ニ特別規定ナキモノハ直チニ民法ノ規定ヲ適用ヒラルモノトス

本條先取特權ノ目的タルモノハ唯リ船舶及ヒ其屬具ニ止マラス未タ受取ラサル運送貨モ亦然ルナリ船舶ノ屬具カ船舶ト共ニ先取特權ノ目的タルハ屬具ハ船舶ノ從物(第五三九條)ニシテ從物ハ主物ノ處分ニ隨フヘキ民法ノ原則民法第八七條アルカ故ニ屬具カ船舶ト共ニ先取特權ノ目的タルハ當然ナレハ此外ニ説明ヲ要セス然レトモ未收ノ運送貨カ何故ニ船舶ト共ニ先取特權ノ目的タルカハ説明ヲ要スルナリ蓋シ運送貨ハ船舶ノ法定果實ニシテ其未タ受取ラサルモノハ恰モ天然果實ノ元物ヨリ未タ分離セラレサルモノノ元物ノ部分ト看做サレ之ト共ニ先取特權ノ目的タルト同シクシテ運送貨モ船舶ノ部分ト看做サルニ外ナラサルナリ是レ佛商法第二五九條第二六〇條第二七一條第二八〇

第三二〇條獨商法第七五九條其他ノ國ニモ本法ト同一ノ立法例ヲ見ル所ニシテ船舶債權者カ運送貨ニ付キ本條ノ權利ヲ有スルハ運送貨ノ未タ受取ラサルモノニ限ル若シ運送貨ニシテ既ニ受取ラレタルトキハ最早之ヲ船舶ノ部分ト看做スヲ得サルコトハ猶ホ天然果實ノ其元物ヨリ分離シタルトキハ元物ノ一部ト看做サレサルカ如キナリ

法律カ船舶債權者ニ此特權ヲ與フルハ蓋シ船舶ノ製造保存若クハ其航海上ノ利益債權者ノ勞力等ニ基クモノニシテ他ノ債權者ハ右ノ如キ恩惠功勞等ヲ加フルコトナケレハ獨リ本條ノ債權者ニ特別ノ辨償ヲ爲スハ最モ權宜ニ協フモノトスルニ出テタルナリ加之カ爲メ航海ノ業ヲ廣ク發達スルノ理由アリ殊ニ本條第三號ノ債權ハ國庫ニ與フル普通ノ特權ナリ然レトモ第九號ノ債權ハ普通ノ原則ヨリ生スルニ非スシテ特別ノ理由ヨリ生スルモノナリ

左ニ本條ニ列舉スルモノヲ順次叙述セン

第一 船舶並ニ其屬具ノ競賣ニ關スル費用及ヒ競賣手續開始後ノ保存費 此費用ハ民法第三百六條(一)般ノ先取特權ノ第一ニ位スル共益ノ費用ニ相當シ此

費用ヲ支出セサルハ債權者カ配當ヲ受クルニ要ラサルモノニシテ他ノ債權者一般ヲ益スルモノナレハ之ニ特權ヲ與ヘ第一位ニ置キタルモノナリ

第二 最後ノ港ニ於ケル船舶及ヒ其屬具ノ保存費 此債權ニ先取特權ヲ與フヘキモノナルコトハ民法ニ於テ動產ノ保存費用及ヒ不動產ノ保存費用ニ先取特權ヲ與ヘタルニ依リ知ルコトヲ得ヘケレハ別ニ説明ヲ要セザレトモ唯此順位ニ付テハ一言セサルヘカラス舊商法ニ於テハ此保存費ハ船舶ニ課シタル諸税ノ下位ニ置キタレトモ本法ニ於テハ彼此其順位ヲ顛倒セリ是レ他ナシ此保存費ハ最後ノ港ニ於テ生シタル債權ナルカ故ニ政府又ハ他ノ公共團體カ取立タル諸税ヨリモ必要ニシテ此保存費ヲ支出シタレハコン諸税モ亦取立ツルコトヲ得ヘケレハナリ

第三 航海ニ關シ船舶ニ課シタル諸税 船舶ハ之ニ課セラレタル諸税ヲ支拂フカ故ニ航海上種種ノ保護ヲ受クルモノニシテ港内ノ建築其他航海ノ用ニ供スル設備ノ保存新築ノ費用ハ主トシテ船舶ニ課スル税ヲ以テ支辨スルヲ通例トス然ラサルトモ公益ニ關スルモノニシテ是レ猶ホ不動產ヲ競買シタルトキ

租税其他ノ公課カ優先權ヲ有スルト同一ナリ

第四 水先案内料及ヒ挽船料 挽船ハ船舶ヲ無難ニ海上ヨリ港内ニ挽入レンカ爲メニ用フルモノニシテ是レハ逆風暴風雨等ノ爲メハ船舶ニ損所アルカ爲メ必要ナルナリ水先モ航海不案内ナル所ニ在リテハ其緊要ナルコト挽船ニ讓ラサルカ故ニ此兩者ハ同列ニ置キタルナリ

第五 救援並ニ救助ノ費用及ヒ船舶ノ負擔ニ屬スル共同海損 本號ニ屬スル債權ハ船舶ヲ海難ヨリ救フカ爲メニ生シタルモノナリ若シ此費用ヲ支出セタルニ於テハ船舶ハ沈没セシヤモ知ルヘカラス故ニ其債權者ハ船舶ニ必要ナル役務ヲ施シタル者ノ次ニ置クヲ以テ權宜ヲ得タリトス船舶カ負擔スヘキ共同海損ハ曩ニ第六百四十二條ニ於テ叙述シタレハ今復タ茲ニ叙述セサルナリ

第六 航海繼續ノ必要ニ因リテ生シタル債權 船長ハ航海繼續ノ爲メ必要ナルニ於テハ船舶ヲ抵當ト爲シ借財ヲ爲シ積荷ヲ賣却又ハ質入スルコトヲ得又ハ積荷ヲ直チニ航海ノ用ニ供スルコトヲ得第五六八條第五七二條ルモノニシテ船長カ此等ノ行爲ヲ爲シタルトキハ積荷ノ所有者金員ノ貸主ハ船舶所有者

ニ對シテ債權ヲ有スルモノニシテ此債權ハ亦一種ノ保存費タルヲ以テ之ヲ第六順位ニ置キタルナリ然ルニ舊商法ニ於テハ本號ノ次ニ在ル債權(船長及ヒ海員ノ債權ヲ本號ノ前ニ置キタレトモ本號ノ債權ナクシテハ船長其他ノ船員ノ債權モ亦之カ履行ヲ受クルコトヲ得サルヲ以テ本法ニ於テ彼此其順序ヲ顛倒シタルナリ

第七 雇傭契約ニ因リテ生シタル船長其他ノ船員ノ債權 雇傭契約ニ因リテ生シタル船長其他ノ船員ノ債權ニ先取特權ヲ與フルコトハ各國ノ法律皆同一ナリ是レ猶ホ民法ニ於テ雇人ノ給料ニ先取特權(民法第三〇六條第三〇九條ヲ與フルト同シキナリ唯其順位ニ至リテハ異同アリト雖モ船長其他船員ノ債權ハ競賣費保存費諸稅水先案內料及ヒ挽船料航海繼續費等ノ次ニシテ他ノ商取引ヨリ生スル所ノ債權ノ上ニ在ルハ各國皆一ナリ是レ海員ノ職業ヲ優遇シ且ツ其勤勞ノ缺クヘカラサル性質ヨリ生スルモノナリ其第六號ニ先スルヲ得タルハ前號ニ於テ叙述シタルカ如シ又其第五號ノ債權ノ上ニ位スルコトヲ得タルハ當時若シ該債權者ノ救助アルニ非サレハ船員モ船舶ト共ニ沈溺シタル

ヤモ知ルヘカラサレハナリ

本號ニ屬スル債權ハ唯リ眞ノ給料ノミナラス尙ホ自餘ノ債權モ雇傭契約ニ起因スルモノハ皆此中ニ屬ス例ヘハ滿期ニ至ラサル解雇ノ辨償外國港ニ於テ解雇シタルトキ歸國旅費等はナリ然レトモ是レ雇傭契約ニ起因シタルモノニ限ルカ故ニ其契約ニ起因セサル賞與金等ハ先取特權ヲ有スルモノニ非サルナリ第八 船舶カ其賣買又ハ製造ノ後未タ航海ヲ爲ササル場合ニ於テ其賣買又ハ製造並ニ續裝ニ因リテ生シタル債權及ヒ最後ノ航海ノ爲メニスル船舶ノ續裝食料並ニ燃料ニ關スル債權 船舶カ其賣買ノ後未タ航海ヲ爲ササル場合トハ船舶ノ製造中又ハ製造後賣買セラレテ未タ一回モ航海ヲ爲ササル場合ハ勿論既ニ航海ノ用ニ供シタル船舶ト雖モ賣買ニ因リ新所有者ニ移リテヨリ以來未タ航海ヲ爲ササルモノモ包含スルモノトス故ニ一旦航海ニ用ヒタル船舶ヲ賣却シ其買主カ代金ヲ支拂ハサルトキハ買主ノ所有ニ移リテヨリ以來未タ航海ヲ爲ササル間ニ在リテハ賣主ハ其代金ニ付テハ先取特權ヲ有ス船舶ノ製造並ニ續裝ニ因リテ生シタル債權モ船舶カ未タ航海ヲ爲ササル間ニ在リテハ其債

債權者モ亦先取特權ヲ有スルモノトス
以上ノ債權者カ先取特權ヲ有スルハ船舶カ未タ航海ヲ爲ササル間ニ限ルモノ
ニシテ此債權ノ生シタル後債權者カ其特權ヲ行使セサル前ニ於テ船舶カ航海
ヲ爲シタルトキハ債權ハ依然タルモ其先取特權ノミハ直チニ消滅ス蓋シ船舶
カ航海ヲ爲ササル以前ニ在リテハ船舶所有者ハ其船舶ニ付キ賣買製造修繕等
ヨリ生スル債權ノ外ハ多クハ他ノ取引關係ヲ生セサルカ故ニ航海ヲ爲ササル
以前ニ在リテハ船舶ハ此等債權者ノミノ特別擔保タルヘシト雖モ一旦航海ヲ
爲シタル以上ハ種種ノ取引關係ヲ生シ他ノ債權者ハ賣買製造並ニ修繕ニ關ス
ル債權者カ其債權ノ支拂ヲ受ケスシテ出航セシメタルモノト思科セスシテ取
引スル者多シ然ルニ豈ニ圖ラシヤ船舶ニ付キ出航以前ニ賣買製造並ニ修繕等
ニ因リテ生シタル債權アリテ先取特權ヲ有スルニ於テハ他ノ債權者ノ失望損
失尠少ナラサルナリ是ヲ以テ法律ハ以上ノ債權ハ船舶ノ航海ヲ爲ササル間ニ
非ナレハ之ニ對シテ先取特權ナキモノト爲シタリ

本號ノ債權者ノ中賣主ニ先取特權ヲ與ヘタルハ佛國商法第一九一條第八號及

白國商法ニ止マリ獨逸商法ノ如キハ之ヲ認メサルナリ然レトモ船舶ノ賣主
ニ其製造人ト同シテ先取特權ヲ與フルハ是レ猶ホ民法ニ於テ不動産ノ工事費
ニ關スル工匠技師及ヒ請負人ノ如ク不動産ノ賣主民法第三二五條及ヒ動產ノ
賣主同第三二二條ニ先取特權ヲ與ヘタルト一般ナルヲ以テ船舶ノ賣主ニモ先
取特權ヲ與ヘタルナリ

民法ノ規定民法第三二二條ニ依レハ動產ノ賣主カ之ニ對シテ有スル先時特權
ハ第三百三十三條ニ規定セル如ク債務者カ動產ヲ第三取得者ニ引渡シタル後
ニ在リテハ消滅スヘケレトモ其動產ニシテ債務者ノ手ニ存スル間ハ消滅スル
コトナシ然ルニ船舶ノ賣主ノ有スル先取特權ハ縱令船舶ニシテ其賣主ノ所有
ヲ脫セサル間ト雖モ賣買後其船舶ヲ航海ニ用ヒタルトキハ賣主ハ最早之ニ對
シテ先取特權ヲ行フコトヲ得サルモノト爲シタルヲ以テ本法ノ規定外ニ保ルモノ
法ニ比スルトキハ少シク制限セラレタルモノニシテ本法ノ規定外ニ保ルモノ
ニ付キ民法ノ規定ノ適用ヲ受ケントスルコトハ許サレサルナリ而シテ本法ニ
於テ制限シタル所以ハ既ニ叙述セタル理由ニ基クモノナレハ此場合ニ民法ノ

規定ヲモ適用スルコトスルトキハ本法ノ規定ハ全ク徒法ニ歸スヘキナリ(第六八五條第二項)
又最後ノ航海ノ爲メニスル船舶ノ艙裝食料並ニ燃料ニ關スル債權モ船舶ノ航海ニ對シテ功勞ヲ與ヘタルカ故ニ之ニ先取特權ヲ與フルハ當然ナリ而シテ舊商法ニハ燃料ニ關スル債權ヲ加ヘナリシト雖モ燃料ハ食料ト同視スヘキカ故ニ之ヲ茲ニ加ヘタリ

第九 第二號第四號乃至第六號及ヒ前號ニ掲ケタルモノヲ除ク外第五百四十四條ノ規定ニ依リ委付ヲ許シタル債權 船舶所有者ハ第五百四十四條ノ規定ニ依リ船長カ其法定ノ權限内ニ於テ爲シタル行爲又ハ船長其他ノ船員カ其職務ヲ行フニ當リ他人ニ加ヘタル損害ニ付テハ船舶運送貨等ヲ債權者ニ委付シテ其責ヲ免ルルコトヲ得ルモノニシテ船長ノ行爲ノ中本條第四號乃至第六號及ヒ第八號ノ債權ニハ先取特權ヲ與フヘキモノナルコトハ以上叙述シタル如クニシテ且ツ其順位モ各同一ナル能ハサルヲ以テ以上ノ如ク區別シテ規定シタリ而シテ右ノ外第五百四十四條ノ適用ヲ受クヘキ他ノ債權例ヘハ船長其他ノ

船員ノ過失ニ因リ積荷又ハ旅客ノ手荷物ヲ滅失毀損シタルヨリ生シタル債權又船舶ノ衝突シタル場合ニ於ケル損害賠償ノ如キニモ先取特權ヲ與フヘキモノナレハ之ニ其特權ヲ與フルコトト爲シタレトモ其順位ニ至リテハ其性質以上掲ケタル他ノ債權ニ劣ルカ故ニ本號ニ置キタルナリ

以上ハ本法ニ於テ先取特權ヲ與ヘタル債權ナリ

舊商法ニ於テハ船舶ノ構造又ハ艙裝ノ爲メノ消費貸ヨリ生スル債權舊商法第八四九條第八號ニモ特權ヲ與ヘタレトモ本法ニ於テハ之ヲ採用セス蓋シ此等ノ債權カ擔保ノ原因ヲ爲スヤ間接ナリ例ヘハ其債權カ金錢アレハ之ヲ利用シテ生スル結果ニシテ始メテ擔保ノ原因ヲ爲スニ過キス是レ猶ホ舊民法擔保編ニ於テ保證ヲ供スル義務アル公吏ニ保證金ヲ貸與シタル者並ニ不動產ノ讀渡ノ當時其賣買代金又不動產ニ關スル工事請負工匠技師等トノ契約ノ當時工事ノ代金辨濟ノ爲メ金員ヲ貸與シタル者ニ先取特權ヲ與ヘタリシモ新民法ニ於テハ此等ノ者ニ對シ一切先取特權ヲ與ヘナリシト同趣旨ニ出テタルカ如シ且ツ又舊商法第八百四十九條第八號末段ノ債權船舶カ未タ引渡サレサル間ハ自

己ノ計算ニテ構造セシムル者ノ爲シタル代價割拂ニ付テノ債權ニ付テハ債權者ト債務者ト通謀スレハ詐欺ヲ爲シ易ケレハナリ
舊商法第八百四十九條第九號ニ於テ最後ノ航海又ハ最後ノ保險料支拂期間ニ係ル船舶及ヒ附屬物ノ保險料ニ付テノ債權ニ特權ヲ與ヘタリシモ本法ハ之ヲ採用セス何トナレハ保險料ハ之ヲ徵收ヲ怠リシ債權者ニ却テ過失アリト云フコトヲ得ヘケレハ其過失アル者ヲ保護シテ特ニ利益ヲ與フルノ必要ナキヲ以テナリ

舊商法ニ於テハ右ノ外向ホ船舶所有者又ハ賣却者ニ對スル總テノ債權ニモ先取特權ヲ與ヘタレトモ(舊商法第八四九條第一三號此ノ如キハ之ヲ與フルノ必要ヲ認メサルカ故ニ本法ニハ採用セザリシナリ若シ舊法ノ如クスルトキハ擔保ノ原因タラサル債權ノ爲メニ先取特權ヲ與ヘ置權者ト看做スコト能ハサル者ニモ先取特權ヲ與ヘ之ヲ要スルニ普通ノ債權者ニ先取特權ヲ與フルニ至リ民法ニ於テ先取特權ヲ與ヘタル債權者トノ權衡ヲ失ス殊ニ本法ニ於テハ本條第八號ノ債權ノ先取特權ハ船舶カ發航スルトキハ消滅スルモノトシタレハ第六八

五條之ト權衡ヲ得ルカ爲メニ先取特權ヲ與ヘサル所以ナリ

舊商法ニ於テハ一般ニ最後ノ航海ヨリ生スル債權ニ先取特權ヲ與フルコトト爲シタレトモ本法ニ於テハ航海ノ前後ヲ問ハス航海ヨリ生シタル債權ニ付キ先取特權ヲ與フヘキ理由アルモノニハ皆一樣ニ之ヲ與ヘ唯其權利ノ順位ニ付テノミ後ノ航海ヨリ生シタルモノヲ前ノ航海ヨリ生シタルモノニ先タシムルコトト爲シタリ(第六八二條第三項)

○運送貨ノ負擔スル責任——第六百八十一條 船舶債權者ノ先取特權ハ運送貨ニ付テハ其先取特權ノ生シタル航海ニ於ケル運送貨ノ上ニノミ存在ス(舊商法第八五〇條(舊商法第七五九條))

船舶ノ運送貨ヲ土地ノ果實ト同視シ船舶債權者ノ債權ニ對シ船舶ト同一ノ責任ニ當ラシムルコトハ既ニ前條ニ於テ叙述シタル所ナリ然レトモ是レ專ラ未收ノ運送貨ニ付テ然ルモノニシテ若シ其運送貨ニシテ既ニ支拂濟ト爲リ船舶所有者ノ手中ニ入リタルトキハ最早特別ノ船舶財產ニ非スシテ其普通ノ財產タルヲ以テ特別ノ責任ニ當ルヘキ理アラサルナリ而シテ運送貨カ船舶債權者

ノ債權ニ對シテ責任ニ當ルハ其未收ノ部分ニ限レトモ其未收ノ部分ト雖モ制限ナク悉皆責任ヲ負フモノニ非スシテ亦制限ヲ受クルモノトス即チ數同ノ航海ニ對スル運送貨ノ未タ受取ラサルモノアル場合ニ於テ其責任ハ唯其先取特權ノ生シタル航海ニ於ケル運送貨ノ上ニノミ存在ス例ハ横濱ヨリ香港マテ三同ノ航海ヲ爲シ其第二回ノ航海ニ於テ積荷ヲ滅失シタルヨリ船舶所有者カ其利害關係人ニ對シ損害ヲ賠償スヘキ場合ニ於テハ運送貨ノ其責任ニ當ルモノハ第二回分ニシテ未タ受取ラサルモノニ過キス故ニ若シ第二回分ハ既ニ受取濟ト爲レルカ將タ其未收ノ全額ヲ以テスルモ責任ヲ盡スニ足ラサルトキハ縱令第一回及ヒ第三回分ノ運送貨ハ如何ニ多ク存在スルトモ兩回分ノ運送貨ハ其責任ニ當ルモノニ非ス

○先取特權ノ順位 第六百八十二條 船舶債權者ノ先取特權カ互ニ競合スル場合ニ於テハ其優先權ノ順位ハ第六百八十條ニ揭ケタル順序ニ從フ但同條第四號乃至第六號ノ債權間ニ在リテハ後ニ生シタルモノ前ニ生シタルモノニ先ツ同一順位ノ先取特權者數人アルトキハ各其債權額ノ割合ニ應ジテ辨濟ヲ受

ク但第六百八十條第四號乃至第六號ノ債權カ同時ニ生セザリシ場合ニ於テハ後ニ生シタルモノ前ニ生シタルモノニ先ツ先取特權カ數同ノ航海ニ付テ生シタル場合ニ於テハ前二項ノ規定ニ拘ハラス後ノ航海ニ付テ生シタルモノ前ノ航海ニ付テ生シタルモノニ先ツ(舊商法第八四九條獨商法第七七〇條乃至第七七三條)

船舶債權者ノ有スル諸種ノ先取特權カ同時ニ於テ互ニ競合スル場合ニ於テハ其順位ハ第六百八十條ニ揭ケタル順序ニ從フモノニシテ其順序ハ疊ニ同條ニ付キ叙述シタルカ如ク總テ學理上ノ理由ニ基キタルモノナリ而シテ船舶及ヒ運送貨ヲ以テ先ツ第一號ノ債權ノ辨濟ニ充テ其殘餘ヲ以テ第二號ノ債權ニ充ツルカ如ク順次ニ之ヲ充用スヘキモノナレハ若シ第一號ノ債權ヲ辨濟シタルカ爲メ毫モ殘餘ナキ場合ニ於テハ第二號以下ノ債權ニ付テハ毫モ配當ヲ受タルコトヲ得サルモノトス然レトモ第六百八十條第四號乃至第六號ノ債權ノ間ハ常ニ必スシモ同條ニ揭ケタル順序ニ從フモノニ非ス此等ノ債權カ同時ニ生シタルトキハ規定ノ順序ニ從フヘシト雖モ若シ其發生ニ前後アルトキハ規定

順序ニ從ハスシテ後ニ生シタルモノ却テ前ニ生シタルモノニ先ツコトセリ
例ヘハ船舶カ救援救助ノ費用ヲ要シ債權ノ生シタル(第五號後ニ至リ航海繼續
ノ必要ノ爲メ積荷ヲ賣却シテ債權ノ生シタルトキ(第六號)ハ規定ノ順序ハ第六
號ノ航海繼續費ノ債權ハ第五號ノ救援救助費ヨリ劣ルト雖モ之ニ拘ラス第五
號ノ債權ニ先ツモノトス其第四號ノ債權ト第五號又ハ第六號ノ債權トノ間ニ
於テモ亦同シキモノトス是レ他ナシ後ニ生シタル債權ニ因リ船舶カ存在シ運
送貨ヲ取ルコトヲ得ルニ至リタルモノナレハ先取特權ヲ與フルノ精神上固ヨ
リ然ラサルヲ得サルヲ以テ右ノ如ク規定シタルモノナリ

以上ハ各種ノ先取特權カ一箇ツツ競合シタル場合ナレトモ各種ノ先取特權者
數人アルコトアリ例ヘハ第四號ニ於テ水先案内ヲ爲シタル者二人以上アルコト
挽船ヲ爲シタル者ト水先案内ヲ爲シタル者トアルコトアリ又第六號ニ於テ積
荷ヲ賣却セラレタル者數人アルコトアリ第七號ニ於テ船長其他ノ船員カ同時
ニ給料ヲ請求スルコトアリ此等順位同一ナル債權者間ニ在リテハ更ニ區別ヲ
爲スヘキ理アラサルカ故ニ各其債權額ノ割合ニ應シテ平等ニ辨濟ヲ受クルモ

ノトス然レトモ此場合ニ於テモ第四號乃至第六號ノ債權カ同時ニ生セスシテ
其發生ニ前後アルトキハ同シク後ニ生シタルモノ却テ前ニ生シタルモノニ先
ツコトセリ而シテ此ノ如キ區別ヲ爲ス理由ハ前項ニ叙述シタル所ニ同シキ
ナリ

前二項ハ先取特權ヲ有スル債權カ同一ノ航海ニ於テ生シタル場合ニ關スルモ
ノニシテ數同ノ航海ニ付テ生シタル場合ニ非サルナリ例ヘハ横濱ヨリ香港マテ
一航海ヲ爲シタルトキ日本ノ内海ト香港ノ近海ニ於テ二人ノ水先案内者ヲ雇
ヒ又ハ往航海復航共ニ積荷ヲ航海ノ用ニ供シテ債權ノ生シタルカ如キ場合ナリ
若シ然ラスシテ二回以上ノ航海ヲ爲シ其都度先取特權者ノ生シタルトキハ其
債權者間ノ順位ハ航海ノ前後ヲ問ハス通シテ右ノ規定ニ從ハシムルモノニ非
ス此場合ニ於テハ後ノ航海ニ付テ生シタルモノ却テ前ノ航海ニ付テ生シタル
モノニ先ツモノトス而シテ是レ二箇ノ意味ニ於テ然ルナリ即チ(一)同一順位ノ
先取特權例ヘハ第六百八十條第七號ノ債權(船長其他船員ノ給料等)ハ第二回航
海ニ付キ生シタルモノ第一回航海ニ付キ生シタルモノヨリ先ツコト換言スレハ

同一順位内ニ於テ優先權ニ前後ヲ生スルコト是ナリ(二)規定上ノ順位カ異ナルニ拘ラス後ノ航海ニ付キ生シタル債權ハ下位ニ在ルモノト雖モ前ノ航海ニ付キ生シタル債權ニシテ上位ニ在ルモノニ先ツモノトス例ヘハ後ノ航海ニ付キ生シタル船長ノ給料(第七號)ハ前航海ニ付キ生シタル水先案内料(第四號)又ハ航海繼續費(第六號)ニ優レルナリ是レ亦先取特權ヲ與フルノ精神上固ヨリ然ラサルヲ得サルモノニシテ後ノ航海ニ付キ生シタル債權ニ因リテ船舶並ニ運送貨ノ存在スルヲ以テナリ

○船舶債權者ノ先取特權ト他ノ先取特權トノ順位——第六百八十三條 船舶債權者ノ先取特權ト他ノ先取特權ト競合スル場合ニ於テハ船舶債權者ノ先取特權ハ他ノ先取特權ニ先ツ

前二條ニ規定シタル先取特權ノ順位ハ船舶債權者ノ有スル先取特權即チ本章ニ規定スル先取特權間ノミニ係レリ然レトモ尙ホ此他ノ先取特權ニシテ本章ノ先取特權ト競合スルコトアリ例ヘハ民法ニ規定スル一般ノ先取特權ト船舶債權者ノ先取特權ト互ニ競合シタル場合ニハ各其債權ノ割合ニ應ジテ辨濟ヲ受

クヘキヤ將タ其孰レヲ先キニスヘキヤヲ規定セサルヘカラス而シテ本章ノ先取特權ノ目的タル船舶及ヒ運送貨ハ所謂海產ナルモノニシテ船舶債權者カ之ヲ擔保トシ取引ヲ爲スモノナレハ其債權者ヲ他ノ債權者ニ先ツト爲スハ當然ナリ

○船舶讓渡ノ場合ニ於ケル追及權及ヒ先取特權ノ消滅方法ノ一——第六百、十四條 船舶所有者カ其船舶ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ讓受人ハ其讓渡ヲ登記シタル後先取特權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ一个月ヲ下ルコトヲ得ス先取特權者カ前項ノ期間内ニ其債務ノ申出ヲ爲ササリシトキハ其先取特權ハ消滅ス(舊商法第八五一條佛商法第一九三條)

先取特權ハ其擔保スル債權ニシテ時効又ハ其他債權ノ普通ノ消滅方法ニ因リ例ヘハ其債權者カ辨濟ヲ受ケタルトキハ消滅スルハ勿論ナレトモ其外尙ホ特別ノ方法ニ因リテ消滅スルコトアリ今ヤ本條及ヒ次條ニ於テ其特別ノ消滅方法ヲ規定セリ

民事訴訟法ノ規定船舶ニ對スル強制執行又ハ競賣法ノ規定ニ依リテ船舶ヲ競賣シタルトキハ船舶ニ對スル先取特權ハ抵當權ノ如ク之ニ因リテ消滅シ先取特權者ハ其代金ノ配當ヲ受クルノミ之ニ反シテ船舶カ任意ニ賣買セラレタルトキハ其船舶債權者ハ民法第三百四條ニ依リ其買主ニ對シテ之ニ規定シタル差押ノ手續ヲ爲スニ於テハ其賣却代金ニ對シテモ先取特權ヲ行フコトヲ得ヘシト雖モ是レ其權利ニシテ義務ニ非サルカ故ニ船舶債權者ハ此方法ニ依ラスシテ普通ノ方法ニ從ヒ船舶カ讓渡サレタル場合ニ於テモ依然船舶ニ對シテ其權利ヲ行フコトヲ得是レ先取特權カ物權ニシテ追及權ノ存スル所以ナリ然レトモ船舶債權者カ船舶ノ賣却代金ニ對シテ其權利ヲ行ハスシテ長ク船舶其物ニ對シテ權利ヲ行フコトスルトキハ此先取特權ハ民法ニ於ケル不動產ニ關スル先取特權民法第三三七條乃至第三四〇條ノ如ク登記セラレサルカ故ニ其買主ハ自己ノ船舶ニ對シテ如何ナル先取特權カ存スルヤハ知ラサルモノニシテ其代金ヲ支拂ヒタル後ニ至リ再ヒ先取特權者ニ對シテ義務ヲ盡ササルヘカラサルニ至リ任意賣買ノ場合ニ於テモ買主カ或手續ヲ盡シ或期間ヲ

經過シタルトキハ先取特權ハ消滅スルモノトセリ是レ諸國立法例ノ認ムル所ナリ而シテ舊商法ニ於テハ船舶カ讓渡人ノ異議ヲ受クルコトナク取得者ノ名義及ヒ計算ニテ船籍港ヨリ新ニ航海ヲ爲シ且ツ其發航以來少クモ六十日ヲ經過シタル後消滅スト規定シ外國ニ於テモ佛法系ノ國ニ於テハ此主義ヲ採ルモノ少カラス然レトモ此主義ニ在リテハ先取特權ノ消滅早キニ過キ沿岸航海等ヲ除クノ外ハ多クハ該權ヲ與ヘタル目的ヲ達スルコト能ハス是ヲ以テ本法ニ於テハ此主義ヲ採ラス讓受人ヲシテ其讓渡ヲ登記シタル後先取特權者ニ一定ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲サシムル旨ヲ公告セシムルコトト爲シタリ而シテ其期間一个月以上ナリトス若シ此期間カ長キニ失スレハ讓受人ニ不利ニシテ又短キニ失スルトキハ先取特權者ニ不利タルカ故ニ之ヲ一个月ヲ下ラサル期間ト定メタル所以ナリ

若シ先取特權者カ右期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲ササリシトキハ其先取特權ハ消滅スルモノトセリ此ノ如クスルトキハ先取特權者ノ權利モ保護セラレ又船舶ノ讓受人ノ受クル迷惑モ大ナラサルナリ

○先取特權ノ消滅方法ノ二——第六百八十五條第一項 船舶債權者ノ先取特權ハ其發生後一年ヲ經過シタルトキハ消滅ス(舊商法第九七六條、佛商法第四三三條、獨商法第九〇六條)

船舶債權者ノ先取特權カ長ク存在スルトキハ抵當權者又ハ其他ノ債權者ノ迷惑ヲ被ルコト尠シナラサルヘク殊ニ本法ニ於テハ航海ノ前後ヲ問ハス總テ航海ヨリ生スル債權ニモ先取特權ヲ與ヘタルカ故ニ其債權ノ古キモノ少カラス然ルニ之ヲシテ長ク存在セシムルハ他ノ損害ト爲リ立法上宜ヲ得タルモノト謂フコトヲ得ス而シテ舊商法ニ於テハ極メテ短期一年ノ時効ニ因リテ船舶債權者ノ債權其モノヲ消滅セシメ之ト共ニ其先取特權ヲモ消滅セシムルノ主義ナリシカ故ニ別ニ先取特權ノ時効ヲ規定セザリシナリ然レトモ先取特權ハ早ク消滅セシムヘキ理由アルモ之ニ因リテ擔保セラルル債權ヲシテ此ノ如キ短期時効ニ罹ラシムルハ不當ナルヲ以テ本法ニ於テ主タル債權ト之ヲ擔保スル先取特權トハ各別ニ其時効ヲ規定シタル所以ニテ本條ニ於テ先取特權ノミニ關スル時効ヲ規定シタルナリ

○先取特權ノ消滅方法ノ三——第六百八十五條第二項 第六百八十八條第八號ノ先取特權ハ船舶ノ發航ニ因リテ消滅ス(舊商法第八四九條第七號但書、佛商法第一九一條第八項)

船舶ノ賣主製造人其他機裝食料燃料等ニ關スル債權者ノ有スル先取特權第六八〇條第八號ハ船舶カ發航スルヤ直チニ消滅スルコトスルハ固ヨリ當然ナリ其理由ハ曩ニ第六百八十八條第八號ニ付キ叙述シタルハ今復タ茲ニ詳述セザレトモ要スルニ此債權ハ船舶カ發航スルマテモ辨濟ヲ受クルコトヲ怠ルヘキ性質ノモノニ非サルト此先取特權カ發航後マテモ存スルコトスルトキハ此ノ如キ先取特權ノ存スルコトヲ知ラサル他港ノ者カ船舶所有者ト取引ヲ爲シ意外ノ損失ヲ受クルトニ在リ

○抵當權——第六百八十六條 登記シタル船舶ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得(船舶ノ抵當權ハ其屬具ニ及フ船舶ノ抵當權ニハ不動產ノ抵當權ニ關スル規定ヲ準用ス(舊商法第八五二條乃至第八五五條))
船舶ハ所有權並ニ其讓渡ニ付キ登記ヲ爲スカ故ニ不動產ノ如ク抵當權ノ目的

ト爲スコトヲ得ルモノトセリ是レ舊商法並ニ外國ノ立法例ノ皆認ムル所ナリ
加之我邦ニ於テハ舊商法以前ヨリ既ニ抵當權ノ設定ヲ許セシナリ

船舶ノ屬具ハ其從物ニシテ船舶ノ一部ト看做スモノナレハ船舶ヲ抵當權ノ目
的ト爲シタルトキハ屬具モ亦隨ヒテ其目的タルコトスルハ當然ノ規定ナリ
然レトモ運送貨ニ付テハ舊商法ハ第八百四十九條第十二號ニ於テ抵當權カ當
然運送貨ニモ及フモノト爲セリト雖モ法律カ付與スル先取特權ナレハ格別當
事者契約シテ生セシムル抵當權ニ在リテハ運送貨マテモ包含スルモノト想像
スルコトハ殆ト之ナカルヘキカ故ニ本法ニ於テハ之ヲ包含セサルモノトセ
リ

船舶ノ抵當權ハ不動産ノ抵當權ニ酷似スルカ故ニ不動産ノ抵當權ニ關スル規
定ヲ茲ニ準用スルコトシタリ

○先取特權ト抵當權トノ順位——第六百八十七條 船舶ノ先取特權ハ抵當權ニ
先テ之ヲ行フコトヲ得舊商法第八四九條獨商法第七一條

此規定ハ舊商法並ニ外國ノ立法例ニモ存スル所ニシテ民法第三百三十九條ニ

於テ登記シタル不動産保存ノ先取特權及ヒ不動産工事ノ先取特權ハ抵當權ニ
先ツト規定シタルト同趣旨ナリ蓋シ船舶債權者カ修繕費保存費救助費等ヲ支
拂ヒ又ハ勞力ヲ給シタル等ニ因リ船舶カ存在スルヲ以テ抵當權者モ抵當權ヲ
行使スルコトヲ得ルニ至リタルモノナレハ先取特權者カ抵當權者ニ先テテ其
權利ヲ行コトヲ得ルモノトスルハ固ヨリ當然ナリ

○質權——第六百八十八條 登記シタル船舶ハ之ヲ以テ質權ノ目的ト爲スコト
ヲ得ス

船舶ニ付テハ第六百八十六條ニ於テ既ニ抵當權ヲ認メタルカ故ニ最早質權ハ
之ヲ認ムル實際ノ必要ナキモノトセリ蓋シ船舶ハ運轉航行ヲ以テ其目的ト爲
スカ故ニ隨テ質權ヲ認メタル國ニ在リテモ實際ニ於テ質權ヲ生セシムル場合
極メテ少シ殊ニ其質權ヲ法律ニ於テ之ヲ認ムルニ於テハ尙ホ詳細ナル規定ヲ
必要トシ實際ニ適用ナキ無用ノ法文ヲ多ク設クサルヘカラサルニ至ル不利ア
ルヲ以テ本法ニ於テハ之ヲ認メサルコトトセリ

○製造中ノ船舶——第六百八十九條 本章ノ規定ハ製造中ノ船舶ニ之ヲ準用ス

舊商法第八五七條佛國千八百七十四年ノ法律第五條

船舶所有者カ金錢ヲ要スルハ之ヲ製造スルノ時ニ在ルヲ以テ其製造中ニ在ル船舶ヲ以テ債務ノ抵當ト爲シ之カ登記ヲ受クルコトヲ得ルニ於テハ船舶所有者ノ爲メ新ニ金融ノ途ヲ開キ造船業ノ獎勵ト爲リ隨テ海商ノ發達ヲ助クルカ故ニ製造中ノ船舶ニ本章ノ規定ヲ準用スルコト爲シタルナリ

以上叙述シタル所ヲ以テ海商ニ關スルモノヲ總テ説了セリ然レトモ茲ニ一ノ注意スヘキコトアリ即チ舊商法ハ新商法ノ實施ト同時ニ廢止セラレタレトモ新商法施行後仍ホ海商ノ編中或場合ニ於テハ舊商法ノ效力ヲ有スルコトアリ是レ商法執行法ニ詳ニ規定シアレハ就キラ看ルヘキナリ

商法海商終

講習科規則摘要

- 一 乙種講習科ハ講義録ニ依リテ獨習ヲ爲スモノトス
- 一 講習期ハ二月ニ始リ十一月ニ終ル
- 一 講義録ハ各講師擔任ノ部分ヲ一括シテ配布ス
- 一 講習料ハ金拾貳圓トス但三十四年度ニ限リ左ノ一部又ハ二部ヲ講習スルコトヲ得
- 第一部 民事 訴訟法 金六圓
- 第二部 刑法、經濟學 金四圓
- 第三部 民法、行政法、國民法 金五圓
- 右講習料ハ何レモ一ヶ月分以上ヲ分納スルコトヲ得(但入學ノ際ニハ成ルヘシ)
- 一 講習生ハ講義録ニ掲載セル事項ニ付キ質問ヲ爲スコトヲ得但一問毎ニ別紙ニ認メ且一問毎ニ一音信料ヲ添フルコトヲ要ス
- 一 講習料ハ和佛法律學校會計課宛ニテ送付スヘシ但郵券代用ハ一割増ノ事

明治二十二年十二月九日內務省許可

明治三十四年十月廿七日印刷
明治三十四年十月卅一日發行

編輯者
東京市四谷區四谷仲町三丁目廿八番地
小田 幹治 郎

印刷者
東京市芝區四ノ久保明舟町十一番地
金子 鐵五 郎

印刷所
東京市芝區四ノ久保明舟町十一番地
金子 活版 所

發行所 司法省
東京市麴町區富士見町六丁目十六番地
和佛法律學校
(電話番町百七十四番)